

東芝デジタル複合機

# 設定管理ガイド

---








# はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。  
この取扱説明書は、本機操作パネルの [設定/登録] ボタンや [カウンタ] ボタンから行う操作や設定について説明しています。  
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

## ■ 本書の読みかた

### □ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

-  **警告** 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷\*1を負う可能性があること」を示しています。
-  **注意** 「誤った取り扱いをすると人が傷害\*2を負う可能性、または物的損害\*3のみが発生する可能性があること」を示しています。
-  **注意** 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
-  **補足** 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
-  **関連事項** 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

- \*1 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- \*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
- \*3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

### □ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5540C/6540C/6550C	e-STUDIO6550C Series
e-STUDIO2540C/3540C/4540C	e-STUDIO4540C Series

### □ 本文中の操作パネルとタッチパネル画面について

- 本書に掲載している操作パネルとタッチパネル画面は、e-STUDIO4540C Seriesを例にしています。e-STUDIO6550C Seriesの操作パネルとタッチパネル画面は、操作パネルの形状とボタンの配置、タッチパネル画面のサイズがe-STUDIO4540C Seriesと異なりますが、各部の名称や機能は共通です。
- タッチパネル画面はオプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

---

## □ 商標について

- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、SafariおよびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

# 目次

---

はじめに.....	1
-----------	---

## 第1章 設定項目（ユーザ設定）

---

ユーザ設定メニューに入る.....	8
<b>機器設定</b> .....	<b>9</b>
言語切替.....	9
白黒画面反転.....	10
明るさ調整.....	12
自動階調補正.....	13
位置合わせ.....	15
<b>コピー設定</b> .....	<b>16</b>
<b>ファクス設定</b> .....	<b>19</b>
<b>スキャン設定</b> .....	<b>21</b>
<b>ファイリングボックス設定</b> .....	<b>24</b>
<b>リスト印刷</b> .....	<b>25</b>
<b>カセット</b> .....	<b>28</b>
<b>アドレス帳</b> .....	<b>31</b>
アドレス帳の管理.....	31
グループの管理.....	46
<b>Eメール確認</b> .....	<b>67</b>
<b>Bluetooth印刷</b> .....	<b>68</b>
<b>ユーザパスワード変更</b> .....	<b>69</b>

## 第2章 設定項目（管理者設定）

---

管理者設定メニューに入る.....	73
<b>機器設定</b> .....	<b>75</b>
機器情報.....	75
メール通知.....	77
パスワードの変更.....	79
日付／時刻.....	82
節電モード.....	85
表示レベル.....	90
自動階調補正.....	91
位置合わせ.....	96
ポップアップ.....	97
ステータスメッセージ.....	98
オートクリア.....	99
ライセンス管理.....	100
言語設定.....	104
システムアップデート.....	109
クローニング.....	112
パネルキャリブレーション.....	119
ログエクスポート.....	122
ジョブスキップ.....	124
キーボードレイアウト.....	126
<b>ネットワーク設定</b> .....	<b>129</b>
TCP/IPの設定（IPv4）.....	129

TCP/IPの設定 (IPv6).....	134
IPX/SPXの設定 .....	143
NetWare設定 .....	144
SMBの設定 .....	146
AppleTalkの設定 .....	148
HTTPの設定.....	150
Ethernetの設定 .....	152
LDAPおよびフィルタリング機能の設定 .....	153
IPセキュリティの設定.....	155
ネットワーク状態確認 .....	157
<b>コピー設定 .....</b>	<b>160</b>
<b>ファクス設定 .....</b>	<b>163</b>
記録モードの設定 .....	163
<b>ファイル設定 .....</b>	<b>165</b>
<b>Eメール設定.....</b>	<b>166</b>
<b>インターネットファクス設定 .....</b>	<b>168</b>
<b>セキュリティ設定 .....</b>	<b>170</b>
証明書管理.....	170
セキュアPDF .....	178
インテグリティチェック .....	180
<b>レポート出力設定 .....</b>	<b>183</b>
<b>リスト印刷 .....</b>	<b>189</b>
<b>プリンタ／ファイリングボックス設定.....</b>	<b>190</b>
<b>無線LAN／Bluetooth .....</b>	<b>192</b>
<b>ユーザパスワード変更.....</b>	<b>193</b>
<b>IEEE 802.1X認証設定.....</b>	<b>194</b>
802.1X認証をセットアップする .....	194
<b>システムの初期化 .....</b>	<b>206</b>

### 第3章 カウンタの管理

<b>トータルカウンタ .....</b>	<b>210</b>
<b>トータルカウンタ印刷.....</b>	<b>213</b>
<b>部門管理カウンタ .....</b>	<b>214</b>
<b>部門管理.....</b>	<b>219</b>
部門管理設定メニューに入る .....	219
部門管理リストの印刷 .....	221
部門管理の有効／無効 .....	222
新しい部門コードの登録 .....	223
部門コードの変更 .....	227
部門コードの削除 .....	230
部門カウンタのクリア .....	231
全部門一括制限.....	233
ブラック無制限.....	234
コピー / プリント割当初期化.....	235
全部門のカウンタのクリア .....	236
全部門コードの削除 .....	237

---

## 第4章 付録

---

<b>リスト印字例</b> .....	<b>240</b>
トータルカウンタリスト .....	240
部門管理リスト .....	241
アドレス帳登録リスト .....	242
グループ登録リスト .....	243
システム設定リスト (ユーザ).....	244
NIC設定ページ.....	245
システム設定リスト (管理者).....	247
PS3フォントリスト .....	263
PCLフォントリスト.....	264
<b>区点コード表</b> .....	<b>265</b>
<b>索引</b> .....	<b>271</b>





# 1

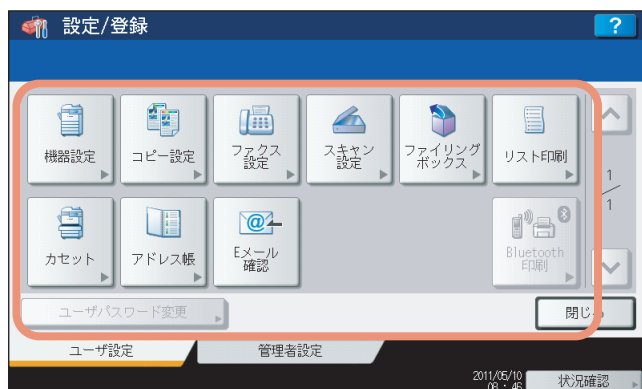
## 設定項目（ユーザ設定）

ユーザ設定メニューに入る .....	8
<b>機器設定</b> .....	<b>9</b>
言語切替 .....	9
白黒画面反転 .....	10
明るさ調整 .....	12
自動階調補正 .....	13
位置合わせ .....	15
<b>コピー設定</b> .....	<b>16</b>
<b>ファクス設定</b> .....	<b>19</b>
<b>スキャン設定</b> .....	<b>21</b>
<b>ファイリングボックス設定</b> .....	<b>24</b>
<b>リスト印刷</b> .....	<b>25</b>
<b>カセット</b> .....	<b>28</b>
<b>アドレス帳</b> .....	<b>31</b>
アドレス帳の管理 .....	31
グループの管理 .....	46
<b>Eメール確認</b> .....	<b>67</b>
<b>Bluetooth印刷</b> .....	<b>68</b>
<b>ユーザパスワード変更</b> .....	<b>69</b>

## ユーザ設定メニューに入る

以下の手順で、ユーザ設定メニューを表示します。

- 1 操作パネルの「設定/登録」ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。
- 2 「ユーザ設定」タブを押します。  
ユーザ設定メニューが表示されます。
- 3 必要なユーザ設定操作を続けて行います。



- 📖 P.9 「機器設定」
- 📖 P.16 「コピー設定」
- 📖 P.19 「ファクス設定」
- 📖 P.21 「スキャン設定」
- 📖 P.24 「ファイリングボックス設定」
- 📖 P.25 「リスト印刷」
- 📖 P.28 「カセット」
- 📖 P.31 「アドレス帳」
- 📖 P.67 「Eメール確認」
- 📖 P.68 「Bluetooth印刷」
- 📖 P.69 「ユーザパスワード変更」

### 注意

- Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth印刷] からBluetoothのBIP印刷設定を行うことができます。Bluetooth BIP設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。
- [ユーザパスワード変更] は、内部認証を行っている場合のみ使用できます。
- ユーザ管理を行っている場合、Administrator権限を持たないユーザで本機にログインすると、[管理者設定] タブは使用できません。

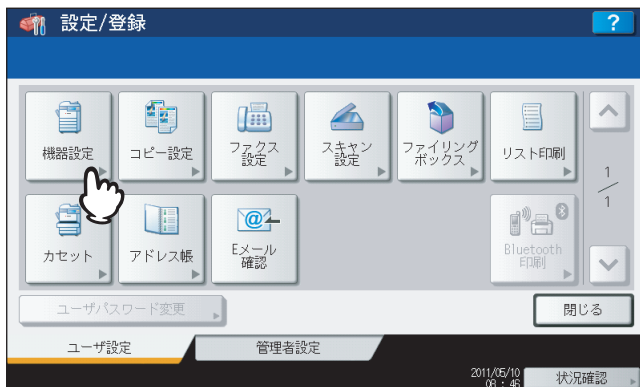
このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.9 「言語切替」
- P.10 「白黒画面反転」
- P.12 「明るさ調整」
- P.13 「自動階調補正」
- P.15 「位置合わせ」

## ■ 言語切替

タッチパネルの表示言語を変更します。

### 1 ユーザ設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

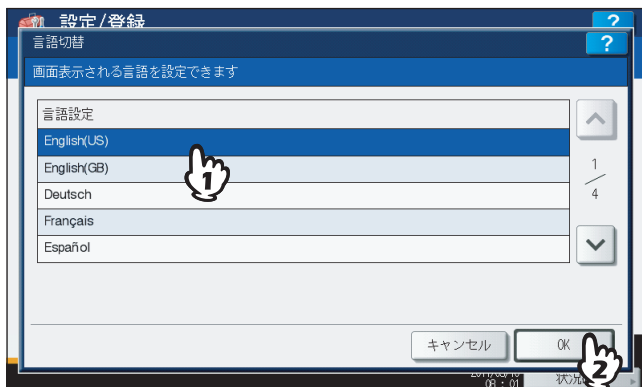
☞ P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 [言語切替] を押します。



言語切替画面が表示されます。

### 3 使いたい言語を選択し、[OK] を押します。



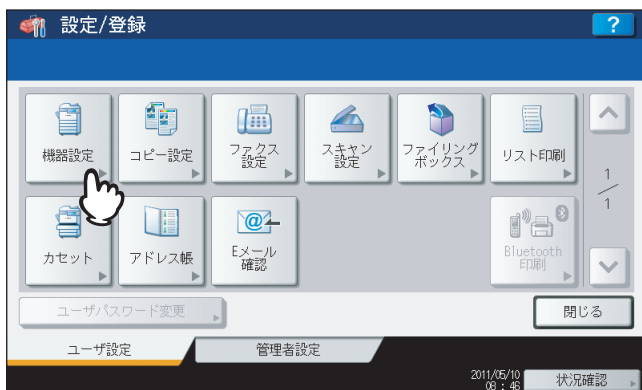
選択した言語でタッチパネルを表示します。

## ■ 白黒画面反転

タッチパネルの白黒を反転して表示します。

白黒反転表示は、タッチパネルの画面が明る過ぎたり、もっと鮮明に表示したいときに便利な機能です。

### 1 ユーザ設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

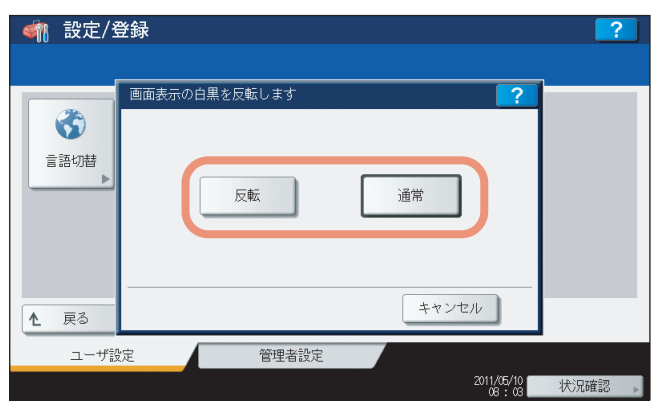
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 [白黒画面反転] を押します。

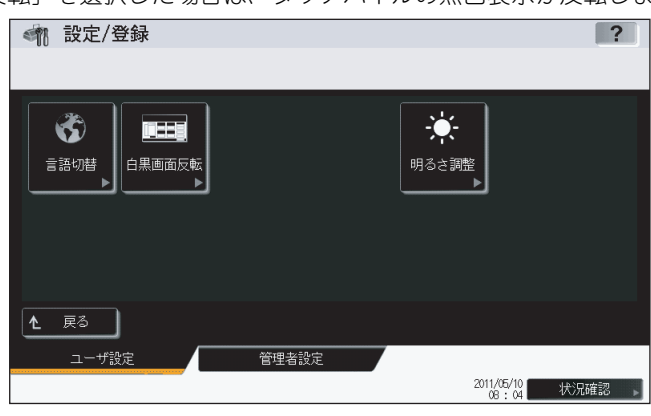


白黒反転画面が表示されます。

3 反転表示する場合は、[反転] を押します。反転表示しない場合は、[通常] を押します。



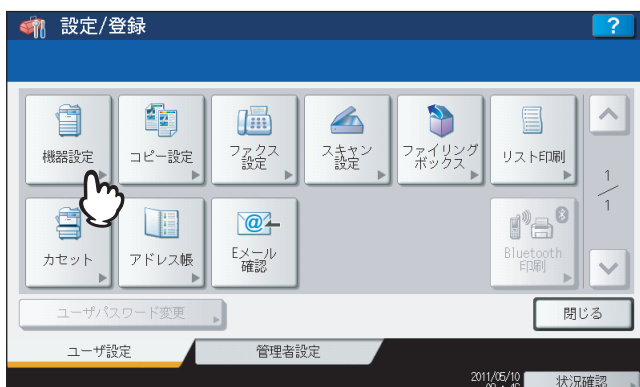
[反転] を選択した場合は、タッチパネルの黒白表示が反転します。



## ■ 明るさ調整

タッチパネルのコントラストを調整します。

### 1 ユーザ設定メニューの【機器設定】を押します。



機器設定メニューが表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

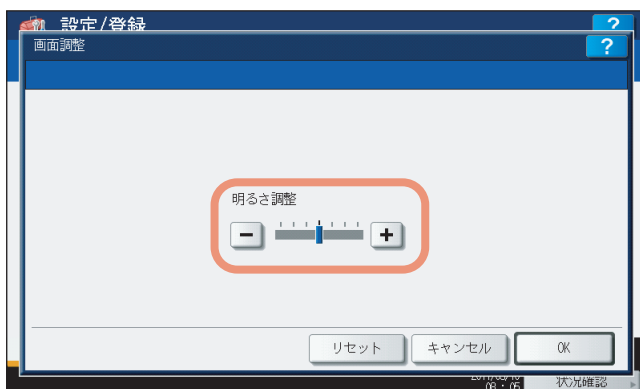
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 【明るさ調整】を押します。



画面調整画面が表示されます。

### 3 タッチパネルのコントラストを調整します。



[-] を押しスライダーを左に設定すると、タッチパネルの背景が暗くなります。[+] を押しスライダーを右に設定すると、背景が明るくなります。

#### 補足

[リセット] を押し、明るさ調整の値を工場出荷維持の状態に戻します。

## ■ 自動階調補正

画像の濃淡や色合いがずれて、思うようにコピーや印刷ジョブのカラー調整ができなくなったときに、自動的に機械の色階調を補正できます。

### 注意

- ユーザ設定メニューの自動階調補正は、表示レベルの自動階調補正の設定を [ユーザー] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。  
📖 P.90 「表示レベル」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズ用の紙（推奨用紙）をカセット\*1にセットします。他の用紙サイズでは補正を操作することはできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われな場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバーまたは自動両面原稿送り装置\*2を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

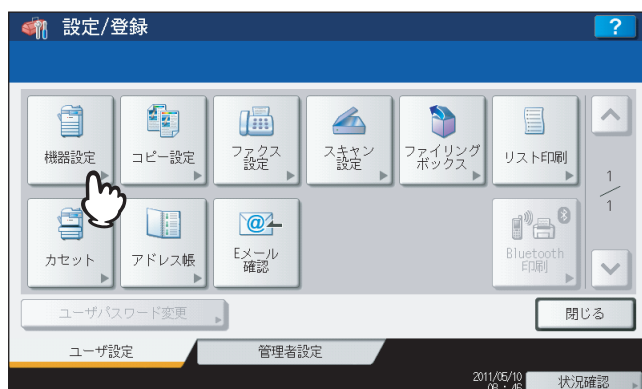
\*1 本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

\*2 e-STUDIO4540C Seriesの場合、自動両面原稿送り装置はオプションです。

## 1 カセットに階調補正に使用する用紙をセットします。

本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

## 2 ユーザ設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

### 補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

### 3 「自動階調補正」を押します。



自動階調補正メニューが表示されます。

### 4 以下の操作の手順1を参照してください。

コピー自動階調補正を行う場合

📖 P.92 「コピー自動階調補正を操作する」

プリンタ自動階調補正を行う場合

📖 P.94 「プリンタ自動階調補正を操作する」

#### 補 足

コピーおよびプリンタ自動階調補正の手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。



## ■ 位置合わせ

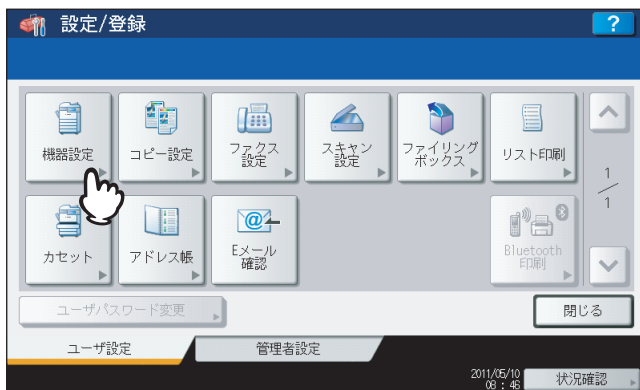
色ズレが発生したときに、位置を補正します。

### 注意

ユーザー設定メニューの位置合わせは、表示レベルの位置合わせの設定を [ユーザー] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

📖 P.90 「表示レベル」

### 1 ユーザー設定メニューの [機器設定] を押します。



機器設定メニューが表示されます。

### 補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

### 2 [位置合わせ] を押します。



位置合わせメニューが表示されます。

### 3 以下の操作の手順3を参照してください。

📖 P.96 「位置合わせ」

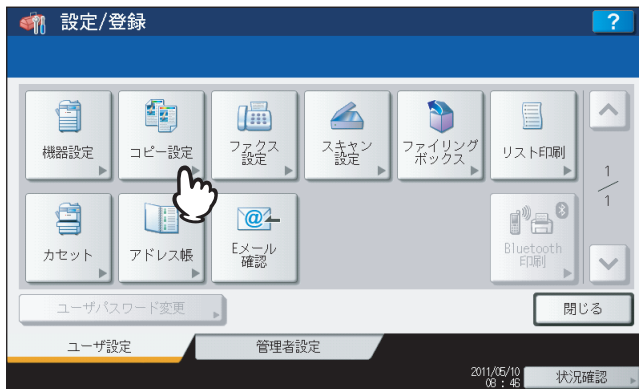
### 補足

位置合わせの手順は、管理者設定メニューから行った場合と同じです。

# コピー設定

コピー操作時の初期設定を変更します。

## 1 ユーザ設定メニューの【コピー設定】を押します。



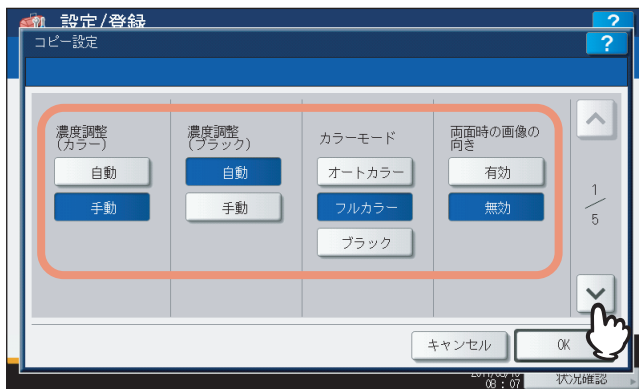
コピー設定画面が表示されます。

### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

## 2 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



**濃度調整 (カラー)：**カラーコピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、[手動]を押します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動]を押します。

**濃度調整 (ブラック)：**白黒コピー操作時の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、[手動]を押します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動]を押します。

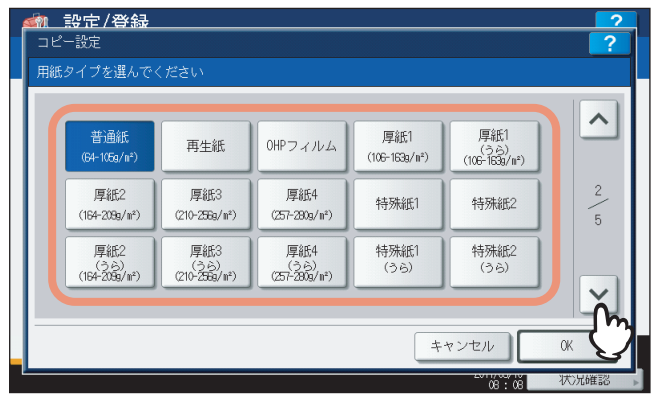
**カラーモード：**コピー時に初期設定として適用するカラーモードのボタンを押します。ブラック無制限(📖 P.234)が有効になっている場合は、[ブラック]のみ選択することができます。

**両面時の画像の向き：**「両面時の画像の向き」の機能を使用するかを選択します。使用する場合は[有効]を、使用しない場合は[無効]を押します。

### 補足

「両面時の画像の向き」の機能の詳細については、コピーガイドを参照してください。

**3** 手差し給紙時に初期設定として適用する用紙タイプのボタンを押し、 を押します。  
e-STUDIO4540C Seriesをお使いの場合



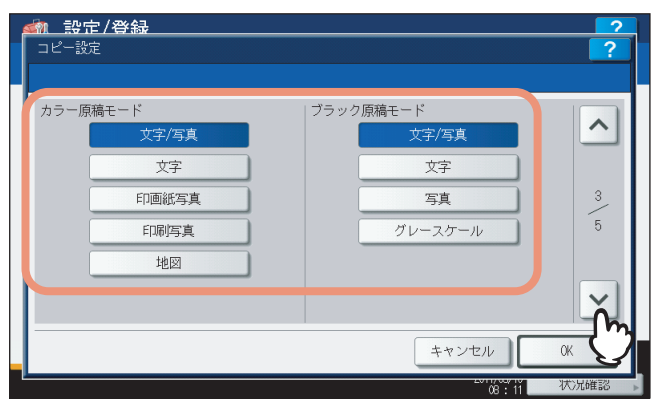
e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合



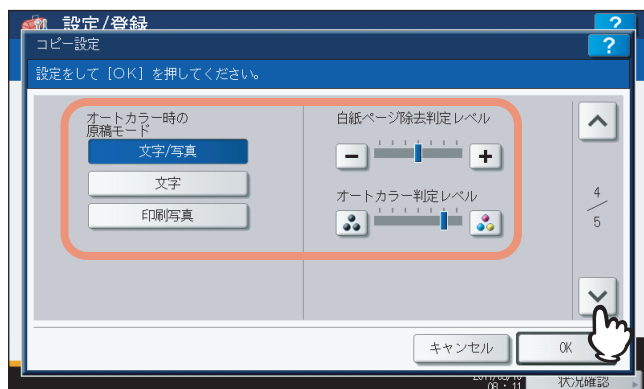
**補 足**

用紙タイプの詳細については、コピーガイドを参照してください。

**4** 「カラー原稿モード」および「ブラック原稿モード」で、原稿コピー時に初期設定として適用する原稿モードのボタンを押し、 を押します。



## 5 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



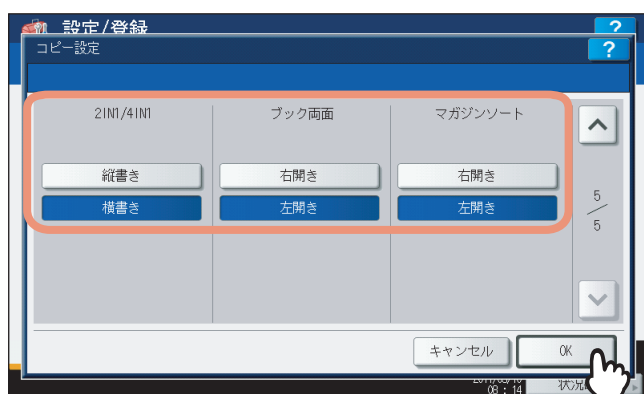
**オートカラー時の原稿モード**：オートカラーモードでコピーする際に初期設定として適用する原稿モードボタンを押します。

**白紙ページ除去判定レベル**：コピー操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、原稿から白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。機能の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

**オートカラー判定レベル**：オートカラーコピー時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。

を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。

## 6 必要に応じて下記項目を設定し、**[OK]** を押します。



**2IN1/4IN1**：2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- ・ [縦書き]：2IN1/4IN1コピーで右から左および上から下にページをレイアウトし印刷します。
- ・ [横書き]：2IN1/4IN1コピーで左から右および上から下にページをレイアウトし印刷します。

**ブック両面**：ブック両面コピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- ・ [右開き]：右側にページをめくる冊子（主に縦書きの冊子）をコピーします。
- ・ [左開き]：左側にページをめくる冊子（主に横書きの冊子）をコピーします。

**マガジンソート**：マガジンソートコピー時に初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- ・ [右開き]：マガジンソートコピーで右ページから冊子が開くように製本します。
- ・ [左開き]：マガジンソートコピーで左ページから冊子が開くように製本します。

### 補 足

- ・ 反転表示された項目が初期設定として保存されます。
- ・ 各機能の詳細については、**コピーガイド**を参照してください。

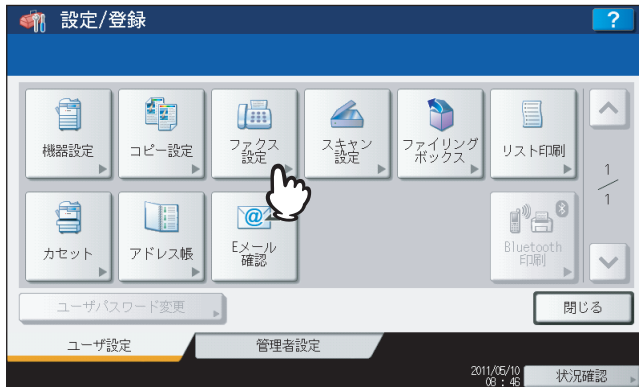
# ファクス設定

ファクス・インターネットファクス機能の初期設定を変更します。  
FAXユニット (オプション) が装着されていない場合は、「解像度」、「原稿モード」、「濃度調整」、「プレビュー設定」および「初期プレビュー表示設定」の設定のみ行えます。  
その他の設定項目については、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

## 補足

FAXユニット (オプション) が装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクス送信に適用されます。

### 1 ユーザ設定メニューの [ファクス設定] を押します。



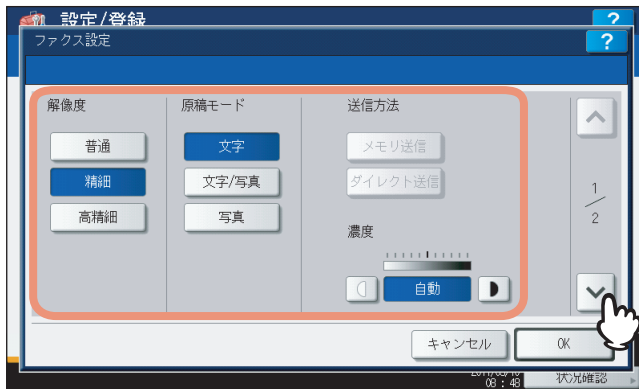
ファクス設定画面が表示されます。

## 補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

### 2 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



**解像度**：原稿の精細度に応じた読み取り解像度を選択します。

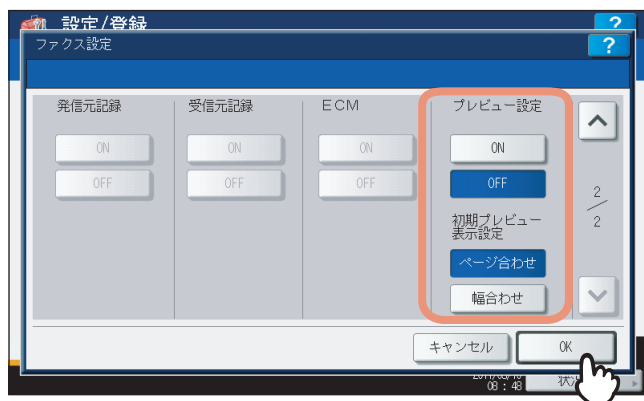
- 普通：普通の大きさの文字による原稿に適しています。
- 精細：小さな文字や細かい図などを含む原稿に適しています。
- 高精細：精密な図などを含む原稿に適しています。

**原稿モード**：原稿のタイプに応じた読み取りモードを選択します。

- 文字：文字や線画による原稿に適しています。
- 文字/写真：文字と写真が混在している原稿に適しています。
- 写真：写真原稿に適しています。

**濃度調整**：原稿の読み取り濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または  を押し任意の濃度を設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

### 3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



**プレビュー設定**：プレビュー機能を有効にすると、ファクス・インターネットファクスジョブを送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。この機能を有効にする場合は、[ON] を押します。無効にする場合は、[OFF] を押します。

**初期プレビュー表示設定**：プレビュー画面の表示方法を選択します。「ページ合わせ」または「幅合わせ」を選択できます。

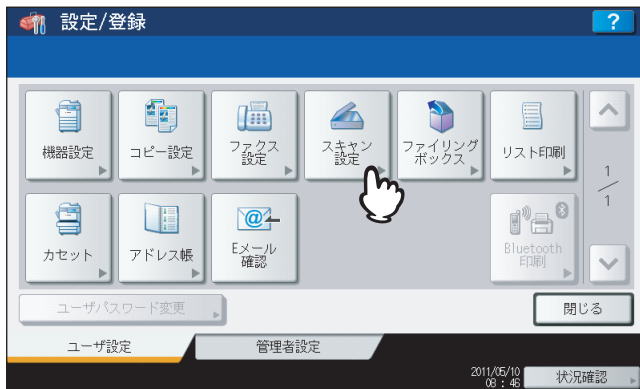
#### 補 足

反転表示された項目が初期設定として保存されます。

# スキャン設定

スキャンジョブの初期設定を変更します。

## 1 ユーザ設定メニューの [スキャン設定] を押します。



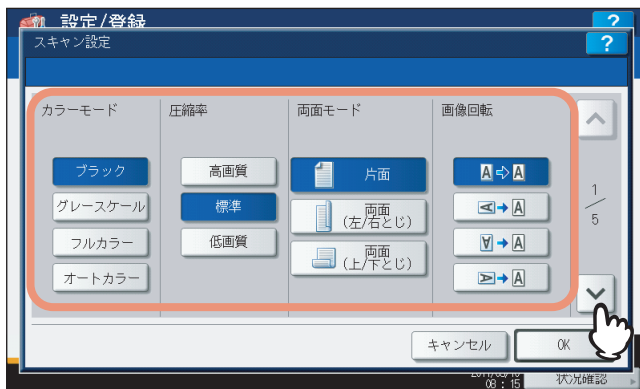
スキャン設定画面が表示されます。

### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

## 2 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。







**カラーモード**：初期値として適用するカラーモードのボタンを押します。

**圧縮率**：グレースケール、フルカラー、オートカラー スキャン時に初期設定として適用する画質モードのボタンを押します。

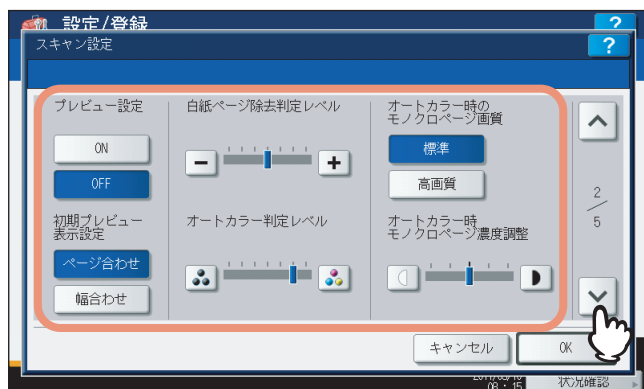
**両面モード**：初期設定として適用する片面/両面モードのボタンを押します。

- [片面]：片面原稿のスキャンを初期設定にします。
- [両面 (左/右とじ)]：左右綴じ両面原稿 (両面が上下同じ向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。
- [両面 (上/下とじ)]：上下綴じ両面原稿 (両面が上下逆向きの原稿) のスキャンを初期設定にします。

**画像回転**：画像回転の初期設定として適用する項目ボタンを押します。

- ：スキャンしたイメージを回転せずにスキャンします。
- ：スキャンしたイメージを90度右に回転します。
- ：スキャンしたイメージを180度回転します。
- ：スキャンしたイメージを90度左に回転します。

### 3 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



**プレビュー設定**：プレビュー機能を有効にすると、スキャンジョブを保存またはメール送信する前に、スキャンイメージを表示し確認することができます。この機能を有効にする場合は、[ON] を押します。無効にする場合は、[OFF] を押します。

**初期プレビュー表示設定**：プレビュー画面の表示方法を選択します。「ページ合わせ」または「幅合わせ」を選択できます。

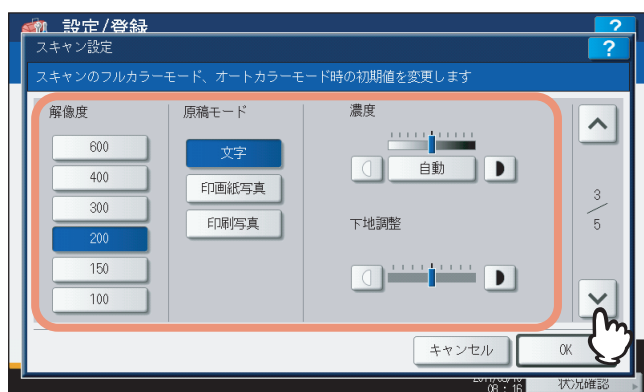
**白紙ページ除去判定レベル**：スキャン操作時にスキャンした原稿が白紙ページと判定された場合に、原稿から白紙ページを自動的に削除するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、スキャンした原稿は白紙と判定されやすくなります。機能の詳細は、**スキャンガイド**を参照してください。

**オートカラー判定レベル**：オートカラーモード時に、スキャンした原稿がカラー原稿か白黒原稿かを判定するための判断基準を設定します。 を押しスライドバーを右に設定すると、カラー原稿と判定されやすくなります。 を押しスライドバーを左に設定すると、白黒原稿と判定されやすくなります。

**オートカラー時のモノクロページ画質**：オートカラーモード時に白黒画像として認識された原稿をスキャンするときの画質モードのボタンを押します。[標準] または [高画質] を選択できます。

**オートカラー時モノクロページ濃度調整**：オートカラーモード時に白黒原稿として認識された原稿をスキャンするときの濃度を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、より薄くスキャンします。 を押しスライドバーを右に設定すると、より濃くスキャンします。

### 4 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



**解像度**：カラーモード時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

**原稿モード**：カラーモード時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

**濃度**：カラーモード時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または  を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

**下地調整**：カラーモード時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライドバーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライドバーを右に設定すると、背景が暗くなります。



## 5 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。

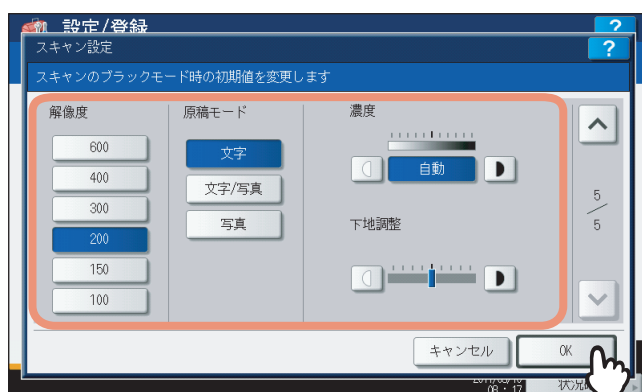


**解像度**：グレースケールスキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

**濃度**：グレースケールスキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または  を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

**下地調整**：グレースケールスキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライダーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライダーを右に設定すると、背景が暗くなります。

## 6 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



**解像度**：ブラックスキャン時に初期設定として適用する解像度のボタンを押します。

**原稿モード**：ブラックスキャン時の初期設定として適用する原稿モードのボタンを押します。

**濃度**：ブラックスキャン時の濃度の初期値を設定します。濃度を手動で設定する場合は、 または  を押し濃度レベルを設定します。原稿に合わせて自動的に濃度を設定する場合は、[自動濃度] を押します。

**下地調整**：ブラックスキャン時の下地調整の初期値を設定します。 を押しスライダーを左に設定すると、背景が明るくなります。 を押しスライダーを右に設定すると、背景が暗くなります。

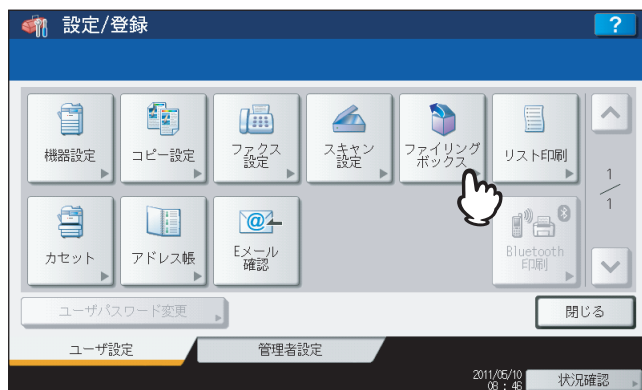
### 補足

反転表示された項目が初期設定として保存されます。

## ファイリングボックス設定

スキャン操作によりファイリングボックスに保管したカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類を設定します。

### 1 ユーザ設定メニューの【ファイリングボックス】を押します。



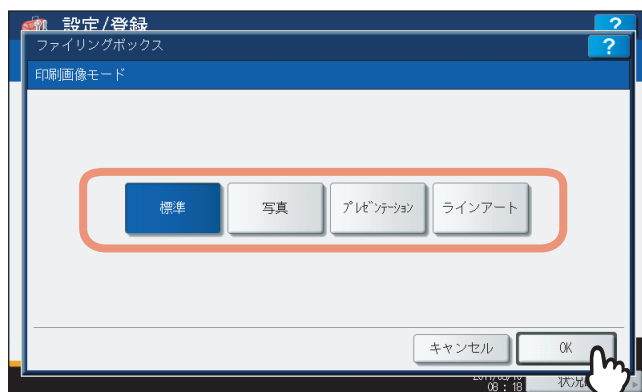
ファイリングボックス画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 「印刷画像モード」で、ファイリングボックスからカラー文書を印刷する際に適用する原稿種類のボタンを押し、【OK】を押します。



**【標準】**：通常のカラー文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

**【写真】**：写真を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

**【プレゼンテーション】**：プレゼンテーション資料を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

**【ラインアート】**：多くの文字やラインアートで構成される文書を印刷するのに適切なイメージ品質を適用します。

# リスト印刷

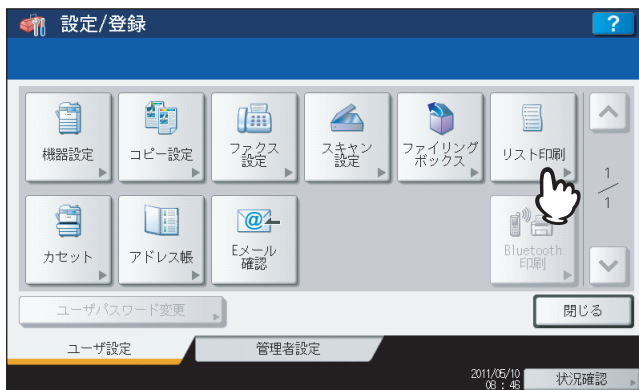
この機能では、以下のリストを印刷できます。

- アドレス帳登録リスト  
アドレス帳に登録されている宛先の一覧を印刷します。
- グループ登録リスト  
アドレス帳にグループ登録されている宛先の一覧を印刷します。
- システム設定リスト (ユーザ設定)  
ユーザ設定の設定状況を示すリストを印刷します。

## 補足

リスト印刷では、A4-Rに設定されたカセットの用紙を優先的に使用して、排紙トレイに排紙します。

## 1 ユーザ設定メニューの [リスト印刷] を押します。

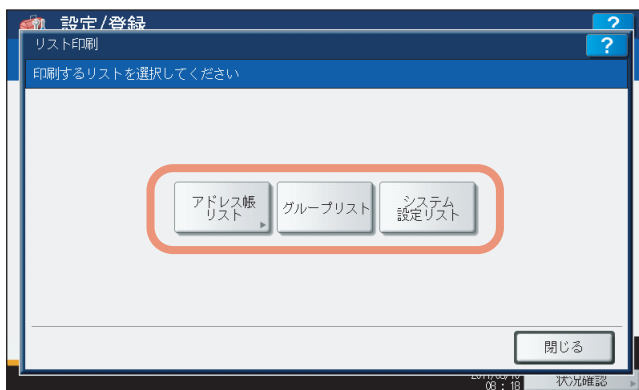


リスト印刷画面が表示されます。

## 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
[P.8 「ユーザ設定メニューに入る」](#)

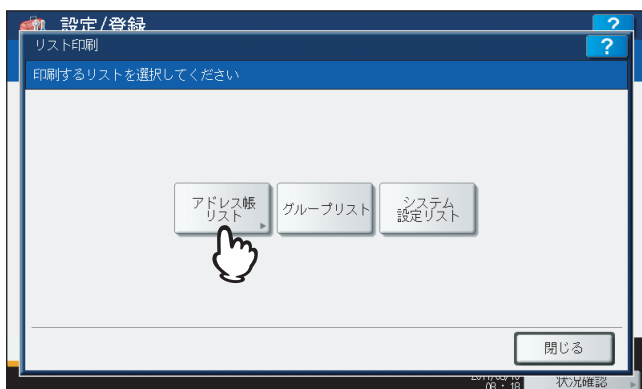
## 2 印刷したいリストに応じて、操作を続けます。



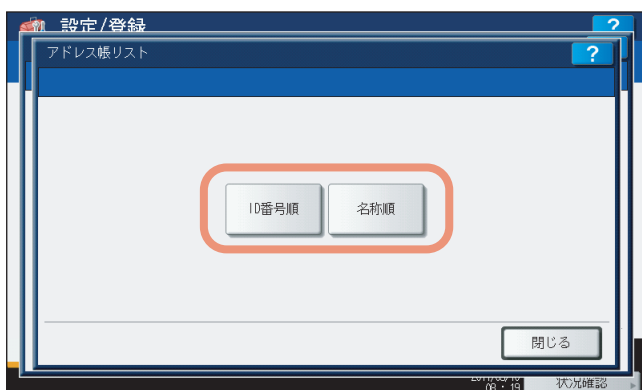
- 📖 P.26 「アドレス帳登録リストを印刷する」
- 📖 P.27 「グループ登録リストを印刷する」
- 📖 P.27 「システム設定リスト (ユーザ設定) を印刷する」

## アドレス帳登録リストを印刷する

### 1 [アドレス帳リスト] を押します。



### 2 [ID番号順] を押すと、ID番号で並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。[名称順] を押すと、フリガナ順に並べ替えられたアドレス帳登録リストが印刷されます。



- 本機が部門管理されていない場合は、アドレス帳登録リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとアドレス帳登録リストが印刷されます。ただし、ブラック無制限 (P.234) が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、アドレス帳登録リストが印刷されます。

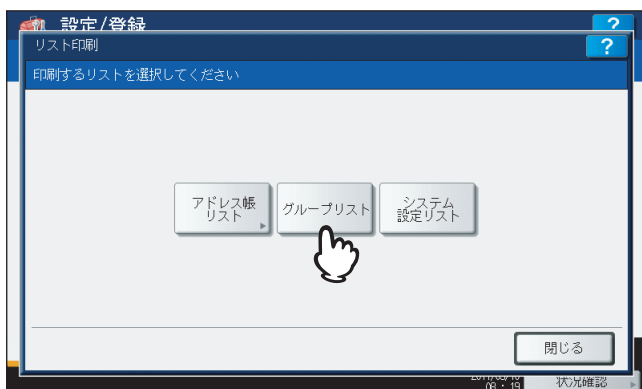
#### 補足

アドレス帳登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

📖 P.242 「アドレス帳登録リスト」

## グループ登録リストを印刷する

### 1 [グループリスト] を押します。



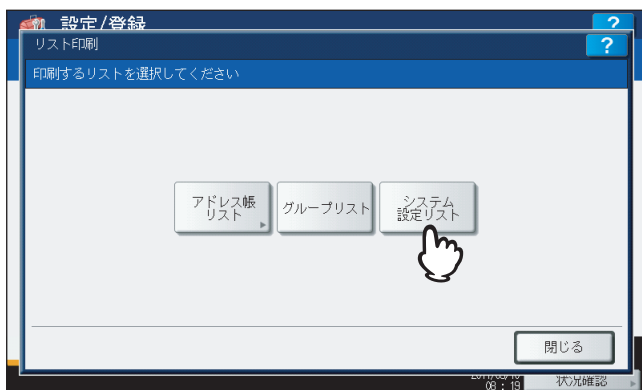
- 本機が部門管理されていない場合は、グループ登録リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとグループ登録リストが印刷されます。ただし、ブラック無制限 (P.234) が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、グループ登録リストが印刷されます。

#### 補足

グループ登録リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。  
P.243 「グループ登録リスト」

## システム設定リスト (ユーザ設定) を印刷する

### 1 [システム設定リスト] を押します。



- 本機が部門管理されていない場合は、システム設定リストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとシステム設定リストが印刷されます。ただし、ブラック無制限 (P.234) が有効な場合には、部門コードの入力画面は表示されず、システム設定リストが印刷されます。

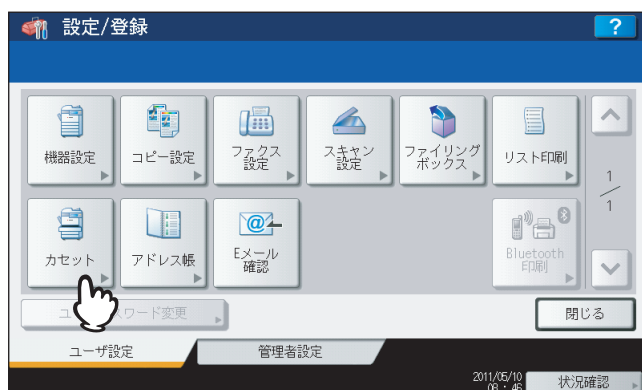
#### 補足

システム設定リストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。  
P.244 「システム設定リスト (ユーザ)」

# カセット

各カセットにセットした用紙のサイズや用紙タイプを設定します。

## 1 ユーザ設定メニューの【カセット】を押します。



カセット画面が表示されます。

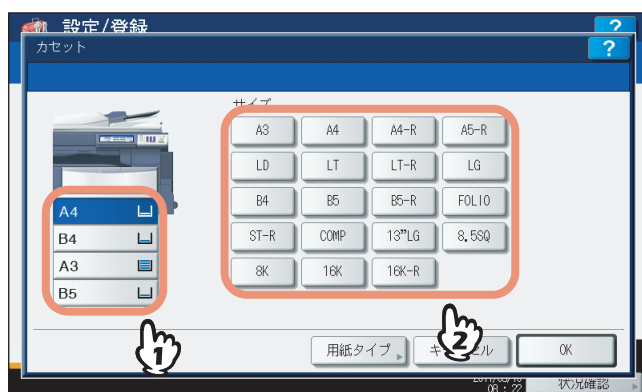
### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

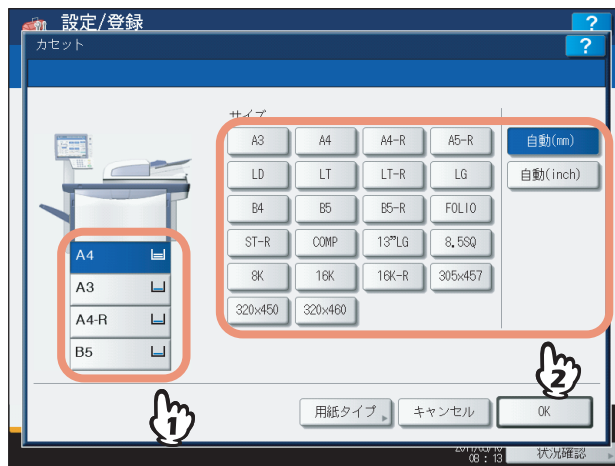
## 2 用紙サイズを変更したいカセットのイラスト部分を押し、設定したい用紙サイズのボタンを押します。

e-STUDIO4540C Seriesをお使いの場合



- 選択したカセットを希望する用紙サイズに変更します。
- 普通紙以外の用紙を設定する場合やカセットの用途を設定する場合は、[用紙タイプ] を押し、手順3に進みます。  
[用紙タイプ] を設定しない場合は、[OK] を押して設定を終了してください。

## e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合



- 選択したカセットを希望する用紙サイズに変更します。
- 普通紙以外の用紙を設定する場合やカセットの用途を設定する場合は、[用紙タイプ] を押し、手順3に進みます。  
[用紙タイプ] を設定しない場合は、[OK] を押して設定を終了してください。
- [自動 (mm)] または [自動 (inch)] を使用し、カセットの用紙サイズを自動検知させることができます。A3やA4サイズなどのAB系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (mm)] を押します。また、LDやLTなどのLT系列の用紙をお使いの場合は、[自動 (inch)] を押します。このカセットに用紙をセットしたときに、用紙サイズが自動的に登録されます。

**注意**

自動検知ボタン ([自動 (mm)] または [自動 (inch)]) と異なる系列の用紙をカセットにセットすると、「！」マークが表示され、用紙のサイズを検知できない場合があります。この場合には、用紙の系列に合わせた自動検知ボタンに切り替えてください。

### 3 用紙タイプを設定したいカセットのイラスト部分を押して、設定したい用紙タイプのボタンを押したら、[OK] を押して設定を保存します。

e-STUDIO4540C Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[再生紙] または [厚紙1]、[厚紙2]、[厚紙3] を押します。

e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合



用紙タイプに応じて、[普通紙1]、[普通紙2]、[再生紙]、[厚紙1]、[厚紙2]、[厚紙3] を押します。

#### 補足

- 用紙タイプの詳細については、**コピーガイド**を参照してください。
- [挿入シート]、[表紙]、[特殊] または [FAX] を押して、特定のジョブで使用するカセットを設定することもできます。たとえば、[挿入シート] を押すと、設定したカセットの用紙をシート挿入に使用できるようになります。
- 用紙種類を「厚紙1」～「厚紙3」に設定したカセットや、使用用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、自動用紙選択モードでは使用されません。  
自動用紙選択モードの詳細は、**コピーガイド**を参照してください。
- 使用用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。  
オートカセットチェンジの詳細は、以下のページを参照してください。  
📖 P.160 「コピー設定」



## アドレス帳

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.31 「アドレス帳の管理」
- P.46 「グループの管理」

### ■ アドレス帳の管理

アドレス帳に登録した宛先は、操作パネルの [ファクス] ボタンを押したときに表示される画面などで、宛先一覧として表示されます。ファクスやインターネットファクスを送信するときに、宛先一覧を選択して、簡単に送信先を指定できます。また、アドレス帳に登録した宛先は、スキャンのEメール送信の宛先にも使用できます。

アドレス帳には、ファクス番号、Eメールアドレス、または両方を指定した3000件の宛先を登録できます。また、FAXユニット（オプション）が装着されている場合は、送信方法、ECM、海外指定送信、回線指定、サブアドレス設定などの付加機能を宛先ごとに指定することができます。

#### 注意

FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ、登録したファクス番号をファクス送信の宛先として利用できます。

アドレス帳メニューでは、宛先を管理するために以下の操作を行えます。

- P.31 「宛先を登録する」
- P.37 「宛先を編集する」
- P.39 「宛先を削除する」
- P.41 「宛先を検索する」

#### 補足

アドレス帳のデータは、TopAccessの管理者モードからインポートまたはエクスポートすることができます。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

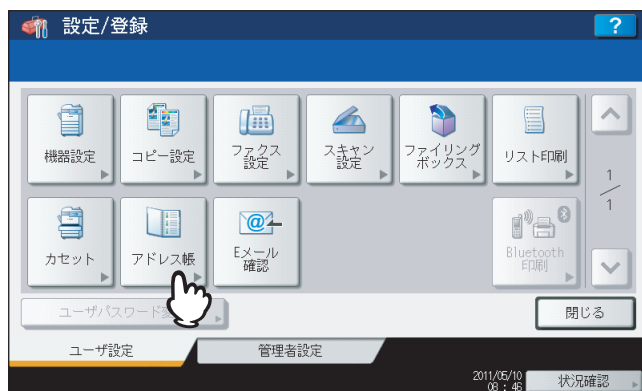
### □ 宛先を登録する

新しい宛先をアドレス帳に登録します。登録する方法は、以下の2つの方法があります。

- P.31 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」
- P.35 「ログ一覧からアドレス帳に登録する」

#### [設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する

##### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

- P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

## 2 [個人用] タブを押します。



## 3 連絡先を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。

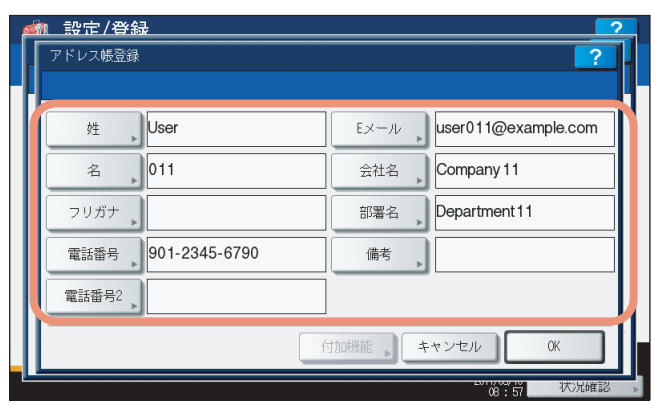


アドレス帳登録画面が表示されます。

### 補足

タッチパネルに宛先を登録できる空きボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

#### 4 タッチパネルのボタンを押して、以下の宛先情報を入力します。



- [姓]：宛先の姓を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。
- [名]：宛先の名を入力します。入力した名前は、タッチパネルの宛先一覧に表示されます。
- [フリガナ]：宛先のフリガナを入力します。
- [電話番号]：宛先のファクス番号を入力します。
- [電話番号2]：宛先のサブファクス番号を入力します。（上記「電話番号」にリダイヤルしても通信できないときに、「電話番号2」に登録があればその番号にファクスします。）
- [Eメール]：宛先のEメールアドレスを入力します。
- [会社名]：宛先の会社名を入力します。
- [部署名]：宛先の部署名を入力します。
- [備考]：必要に応じて、宛先のキーワードを入力します。このキーワードでも宛先を検索することができます。

各項目の入力可能文字数は、以下のとおりです。

項目	入力可能文字数
[姓]	半角／全角ともに32文字
[名]	
[フリガナ]	全角カタカナで64文字
[電話番号]	半角数字で128文字
[電話番号2]	
[Eメール]	半角英数文字で192文字
[会社名]	半角／全角ともに64文字
[部署名]	
[備考]	半角／全角ともに256文字

**注意**

登録するには、「姓」または「名」いずれかと「電話番号」または「Eメール」いずれかを入力してください。

## 補 足

- [電話番号]、[電話番号2] を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーから行えます。文字入力のしかたの詳細は、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。  
📖 P.265 「区点コード表」
- [電話番号] および [電話番号2] を押すと、ダイヤル番号を入力するための下記画面が表示されます。「電話番号」および「電話番号2」は、通常「-」を含めずに入力してください。「-」を入力する場合は、[ポーズ] を押してください。（「-」を入れるとポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。）ダイヤル番号の入力は、テンキーから行えます。

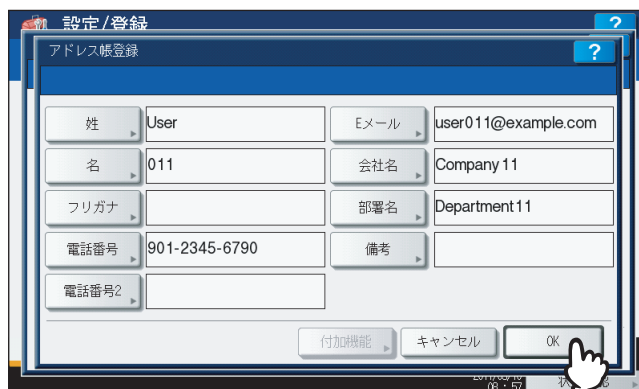


## 5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

### 注 意

- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、[GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書](#)を参照してください。

## 6 [OK] を押して、宛先を登録します。



アドレス帳に宛先が登録されます。

## ログ一覧からアドレス帳に登録する

送/受信履歴の画面から、相手先の電話番号やEメールアドレスなどの情報をアドレス帳に登録できます。

### 送信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル (テンキー入力またはLDAP検索) による送信
- Eメールアドレスを直接入力 (テンキー入力またはLDAP検索) したEメール送信

### 受信履歴で登録可能

- 直接ダイヤル (テンキー入力またはLDAP検索) によるポーリング受信
- Eメール受信

### スキャン履歴で登録可能

- Eメールアドレスを直接入力したEメール送信

- 1 タッチパネルの [状況確認] を押します。
- 2 [ログ] タブを選択し、[送信] (または [受信]、[スキャン]) を押します。



送信ログ一覧 (または受信ログ一覧、スキャンログ一覧) が表示されます。

- 3 アドレス帳に登録したいファクス番号またはEメールアドレスから送信されたジョブを選択し、[アドレス帳登録] を押します。



### 注意

スキャンログ一覧からBcc送信された宛先をアドレス帳に登録するには、TopAccessのEメール設定で「BCC送信アドレス表示」を [ON] に設定する必要があります。「BCC送信アドレス表示」が [OFF] の場合、スキャンログ一覧にはEメールアドレスの代わりに [BCC宛先] と表示され、その宛先を選択しても [アドレス帳登録] を使用することはできません。「BCC送信アドレス表示」の設定を切り替える方法については、**TopAccess** ガイドを参照してください。

## 4 宛先情報を編集します。

状況確認

履歴登録

ID NO. : 0012

姓	User	Eメール	user012@example.com
名	012	会社名	Company012
フリガナ		部署名	
電話番号	22	備考	
電話番号2			

付加機能 キャンセル OK

各項目の説明は、以下の操作の手順4を参照してください。

☞ P.31 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」

## 5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

### 注意

- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

## 6 [OK] を押して、宛先を登録します。

状況確認

履歴登録

ID NO. : 0012

姓	User	Eメール	user012@example.com
名	012	会社名	Company012
フリガナ		部署名	
電話番号	22	備考	
電話番号2			

付加機能 キャンセル OK

アドレス帳に宛先が登録されます。

## □ 宛先を編集する

アドレス帳の宛先を編集します。

### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

### 2 [個人用] タブを押します。



### 3 編集したい宛先を押して、[編集] を押します。



アドレス帳編集画面が表示されます。

#### 注意

- タッチパネルに目的の宛先がない場合は、 を押して次の画面を表示します。
- 検索機能を使って、目的の宛先を探すこともできます。宛先を検索する方法は、以下のページを参照してください。  
 P.41 「宛先を検索する」

#### 4 宛先情報を編集します。

姓	User	Eメール	User004@example.com
名	004	会社名	CompanyName04
フリガナ		部署名	DepartmentName04
電話番号	345-6789-0123	備考	
電話番号2			

各項目の説明は、以下の操作の手順4を参照してください。

☞ P.31 「[設定/登録] ボタンからアドレス帳に登録する」

#### 5 付加機能を設定したい場合は、[付加機能] を押します。

##### 注意

- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。
- 付加機能についての詳細は、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット取扱説明書**を参照してください。

#### 6 [OK] を押して、宛先を保存します。

姓	User	Eメール	User004@example.com
名	004	会社名	CompanyName04
フリガナ		部署名	DepartmentName04
電話番号	345-6789-0124	備考	
電話番号2			

編集した宛先の情報が保存されます。



## □ 宛先を削除する

アドレス帳の宛先を削除します。

- 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

### 補足

ユーザー設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
 P.8 「ユーザー設定メニューに入る」

- 2 [個人用] タブを押します。



- 3 削除したい宛先を押して、[削除] を押します。

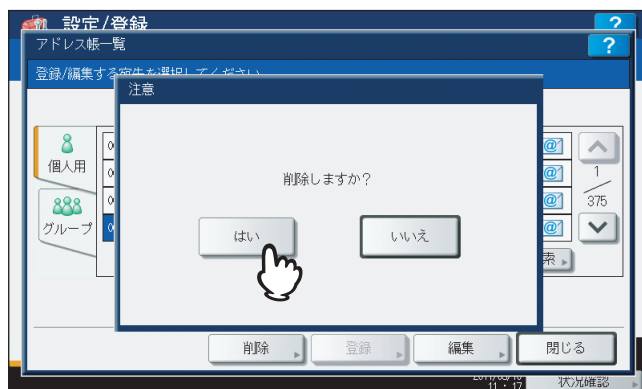


注意画面に「削除しますか?」と表示されます。

### 補足

タッチパネルに目的の宛先がない場合は、[▽] を押して次の画面を表示します。

## 4 [はい] を押します。



選択した宛先が削除されます。

### 補足

削除を中止する場合は、[いいえ] を押してください。

## □ 宛先を検索する

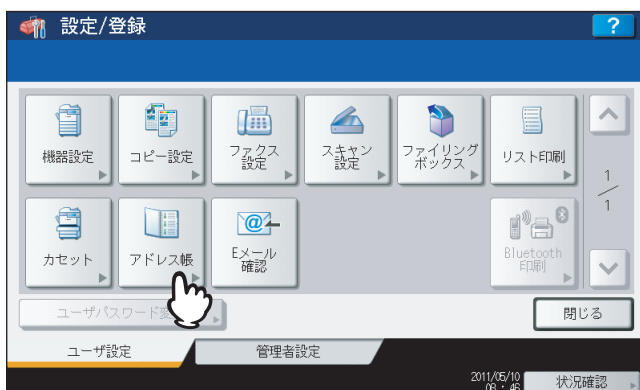
アドレス帳に登録されている宛先を検索するには、以下の2つの方法があります。宛先情報を編集したい宛先をアドレス帳から探す際に便利な機能です。

☞ P.41 「ID番号で宛先を検索する」

☞ P.42 「文字列を入力し宛先を検索する」

### ID番号で宛先を検索する

#### 1 ユーザ設定メニューの【アドレス帳】を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

☞ P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

#### 2 【個人用】タブを押します。



#### 3 【ID番号検索】を押します。



ID検索画面が表示されます。

#### 4 テンキーからID番号を入力し、[OK] を押します。



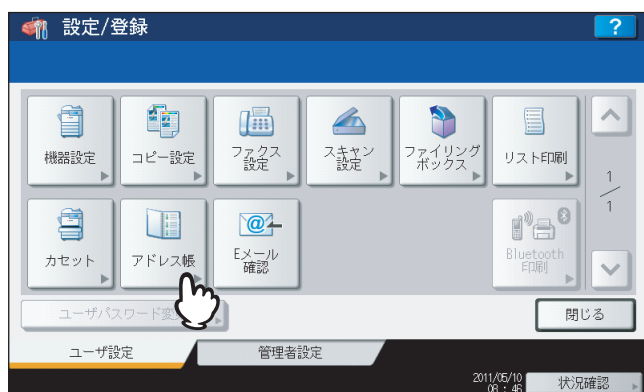
#### 5 検索条件に合致した宛先の画面に移動します。宛先を押し、[編集] を押して宛先の情報を編集します。または、[削除] を押して宛先を削除します。



宛先の編集手順については、以下のページを参照してください。  
📖 P.37 「宛先を編集する」

### 文字列を入力し宛先を検索する

#### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

## 2 [個人用] タブを押します。

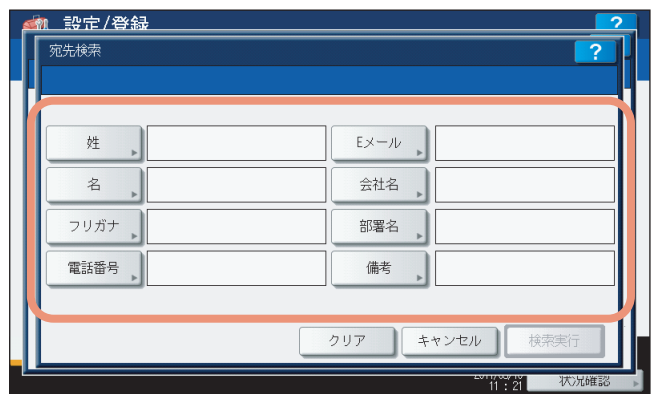


## 3 [宛先検索] を押します。



宛先検索画面が表示されます。

## 4 検索文字を入力する項目のボタンを押します。



- [電話番号] を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
- [電話番号] を押すと、ダイヤル番号入力画面が表示されます。

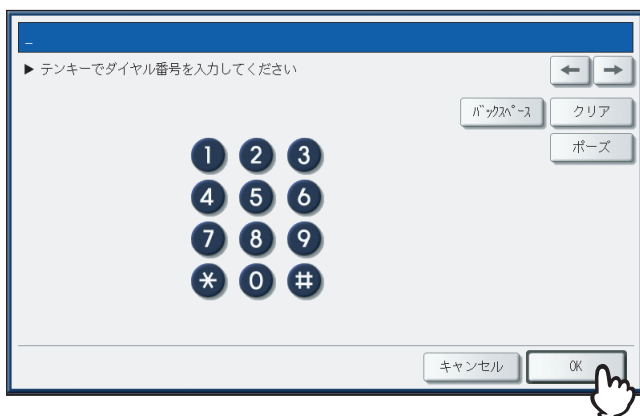
## 5 検索する文字や文字列を入力し、[OK] を押します。

### • 文字入力画面



数字の入力は、テンキーからも行えます。

### • ダイヤル番号入力画面

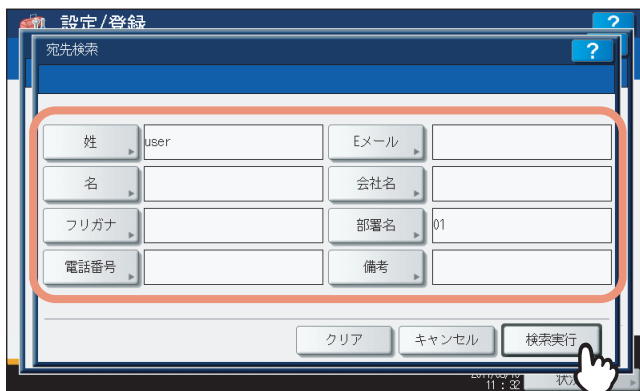


「-」を入力する場合は、「ポーズ」を押してください。ダイヤル番号の入力は、テンキーからも行えます。

### 補足

- 指定された項目欄に検索文字を含む宛先の検索を行います。
- 文字入力のしかたの詳細は、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。  
また、「区点コード」から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。  
[P.265 「区点コード表」](#)

## 6 必要な項目の検索文字列を指定したら、「検索実行」を押します。



### 補足

入力した検索文字列をクリアしたい場合は、「クリア」を押します。

- 7 検索された宛先が画面に表示されます。目的の宛先を押し、[OK] を押して宛先の情報を編集します。



宛先の編集手順については、以下のページを参照してください。  
📖 P.37 「宛先を編集する」

## ■ グループの管理

複数の宛先を含むグループを作成します。Eメール送信、ファクス、インターネットファクス送信の際に個別に宛先を指定することなく、グループに登録された複数の宛先を一括で指定できます。

アドレス帳には最大200グループ、また1つのグループには、最大400件の宛先を登録できます。

### 注意

- ファクス番号、Eメールアドレスはそれぞれ別の宛先としてカウントされるので、1つの連絡先にそれら両方を設定した場合は、2件の宛先を登録したことになります。
- FAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ、登録したファクス番号をファクス送信の宛先として利用できます。

グループメニューでは、グループを管理するために以下の操作を行えます。

📖 P.46 「グループを登録する」

📖 P.50 「グループを編集する」

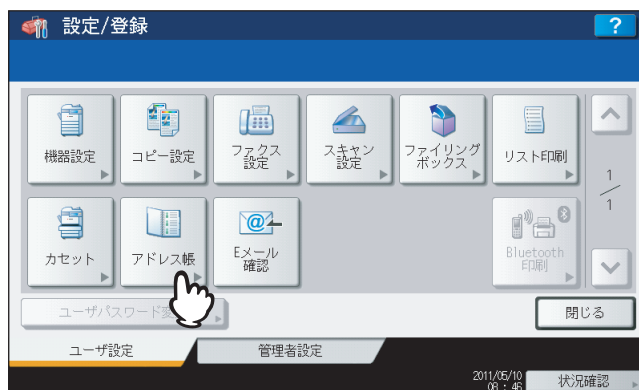
📖 P.58 「グループを削除する」

📖 P.60 「グループを検索する」

## □ グループを登録する

新しいグループをアドレス帳に登録します。

### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

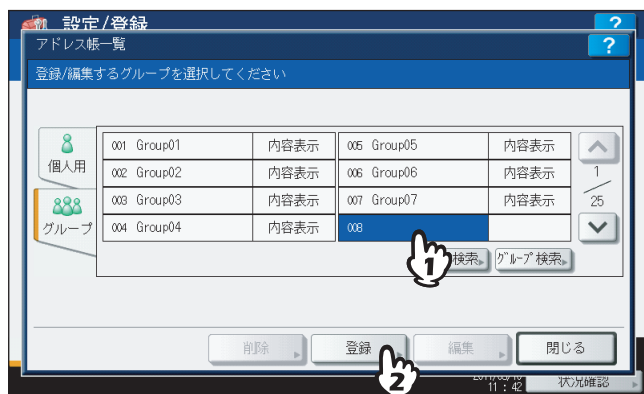
### 2 [グループ] タブを押します。



グループリストが表示されます。



### 3 グループを登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。

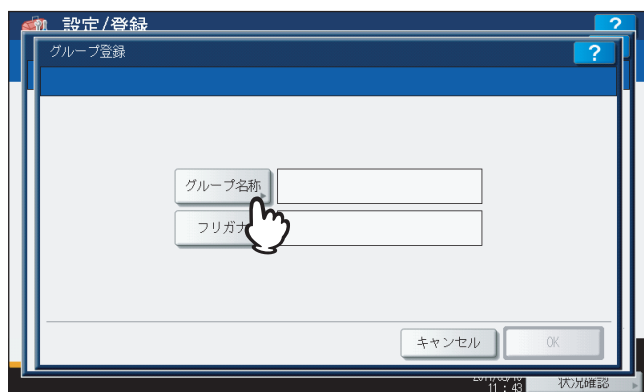


グループ帳登録画面が表示されます。

#### 補足

タッチパネルに空きボタンがない場合は、 を押して未登録のグループボタンを表示します。

### 4 [グループ名称] を押します。



文字入力画面が表示されます。

### 5 グループ名を入力し、[OK] を押します。



- グループ名にフリガナを入力する場合は、次の手順に進んでください。
- グループ名にフリガナを入力しない場合は、手順8に進んでください。

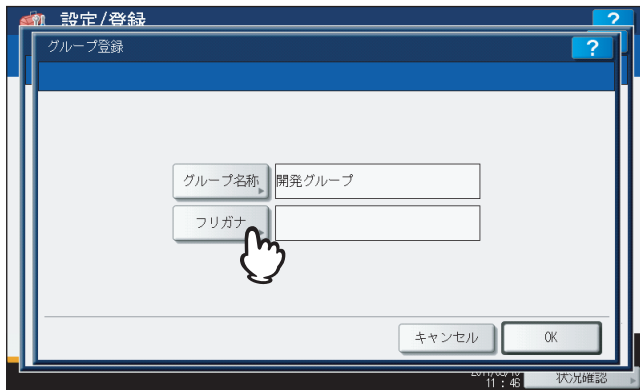
#### 補足

文字入力のしかたの詳細は、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

[P.265 「区点コード表」](#)

## 6 [フリガナ] を押します。

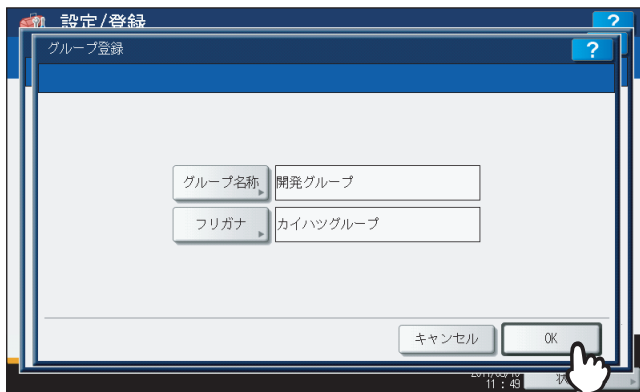


カタカナ入力画面が表示されます。

## 7 フリガナを入力し、[OK] を押します。



## 8 [OK] を押します。



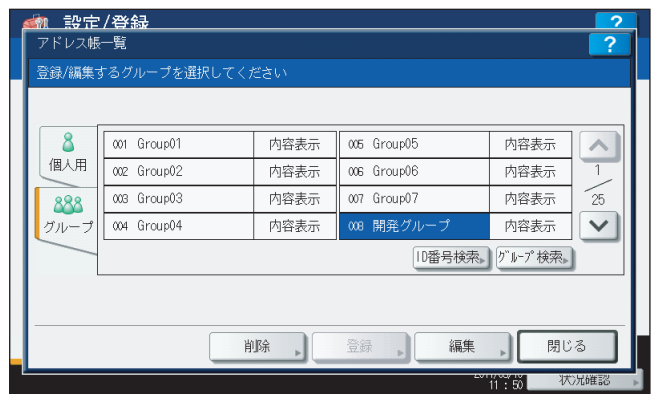
グループメンバーの確認画面が表示されます。

9 グループに追加したい宛先を押して反転表示させ、[OK] を押します。



- 宛先を手動で選択し追加するには、以下のページを参照してください。  
[P.53 「宛先を追加または削除する」](#)
- ID番号で検索し宛先を追加するには、以下のページを参照してください。  
[P.54 「ID番号で検索して宛先を追加または削除する」](#)
- 文字列で検索し宛先を追加するには、以下のページを参照してください。  
[P.55 「検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する」](#)

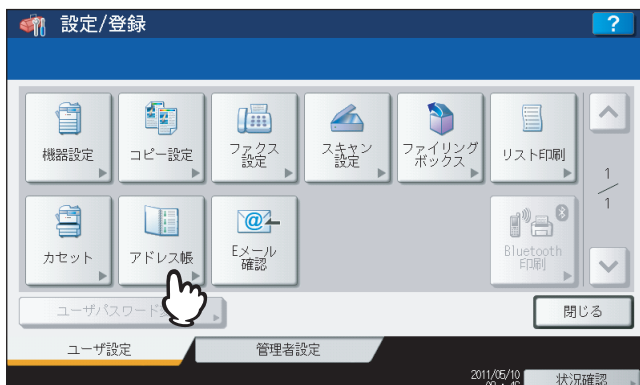
10 新しいグループが作成され、タッチパネルの画面に表示されます。



## □ グループを編集する

アドレス帳に登録されているグループの名前を変更したり、宛先の追加や削除を行います。

### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



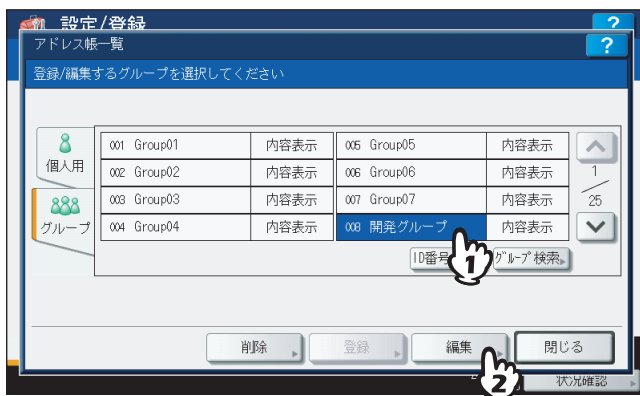
アドレス帳一覧画面が表示されます。

### 2 [グループ] タブを押します。



グループリストが表示されます。

### 3 編集したいグループボタンを押して、[編集] を押します。

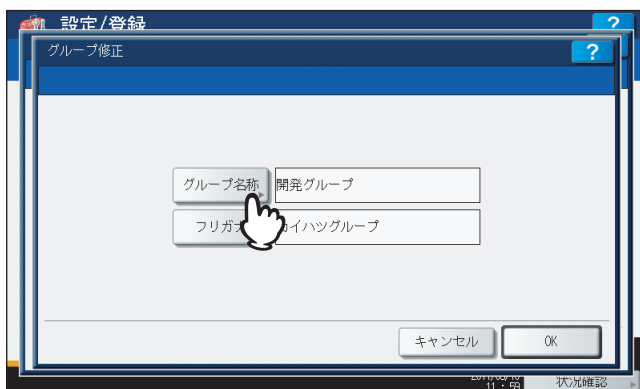


グループ編集画面が表示されます。

#### 補足

- タッチパネルに目的のグループがない場合は、 を押して次の画面を表示します。
- 検索機能を使って目的のグループを探すこともできます。
  - 📖 P.60 「ID番号でグループを検索する」
  - 📖 P.62 「グループ名でグループを検索する」

#### 4 [グループ名称] を押します。



- 文字入力画面が表示されます。
- グループ名を変更しない場合は、手順8に進みます。

#### 5 グループ名を入力し、[OK] を押します。



- フリガナを変更する場合は、次の手順に進みます。
- フリガナを変更しない場合は、手順8に進みます。

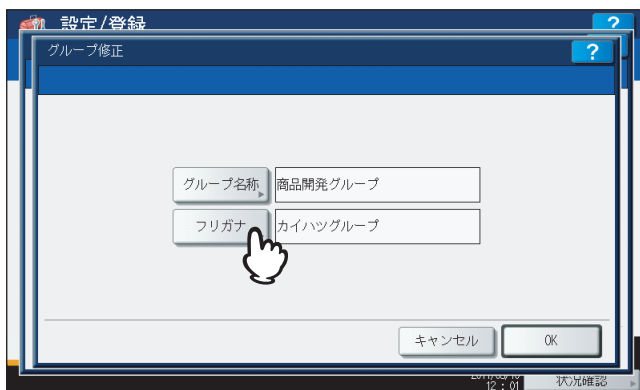
#### 補足

文字入力のしかたの詳細は、**かんたん操作ガイド**を参照してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.265 「区点コード表」

#### 6 [フリガナ] を押します。

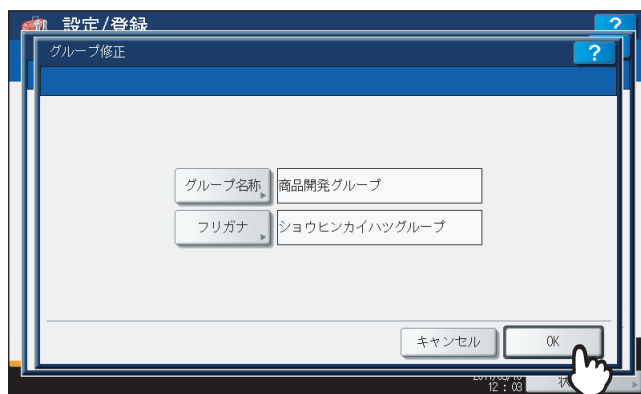


カタカナ入力画面が表示されます。

## 7 フリガナを入力し、[OK] を押します。



## 8 [OK] を押します。



グループメンバ確認画面が表示されます。



- グループの宛先を変更しない場合は、次の手順に進みます。
- グループの宛先を変更する場合は、以下のページを参照してください。
  - 手で宛先を選択し追加や削除を行う。  
P.53 「宛先を追加または削除する」
  - ID番号で宛先を検索し追加や削除を行う。  
P.54 「ID番号で検索して宛先を追加または削除する」
  - 文字列で宛先を検索し追加や削除を行う。  
P.55 「検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する」

### 補足

反転表示されている宛先が、グループに登録されている宛先です。

## 9 [OK] を押します。





編集した内容が保存されます。



## 宛先を追加または削除する

- 1 グループに追加するには反転表示されていない宛先を押し反転表示させます。グループから削除するには反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、[OK] を押します。



- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

### 補足

-  または  を押すと、違うページの宛先が表示されます。
- [宛先クリア] を押すと、グループに登録されているすべての宛先が削除されます。

## ID番号で検索して宛先を追加または削除する

### 1 [ID番号検索] を押します。



ID検索画面が表示されます。

### 2 テンキーでID番号を入力し、[OK] を押します。



検索された宛先がタッチパネルに表示されます。





3 グループに追加するには宛先を押し反転表示させます。グループから削除するには反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、[OK] を押します。



- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

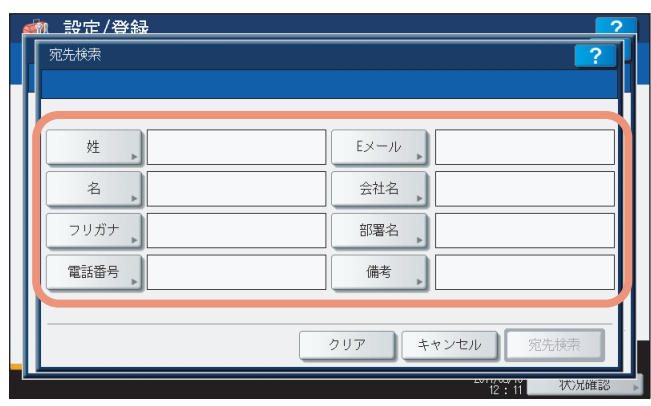
### 検索文字や文字列で検索して宛先を追加または削除する

1 [宛先検索] を押します。



宛先検索画面が表示されます。

2 検索文字を入力する項目のボタンを押します。



- [電話番号] を除く各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。
- [電話番号] を押すと、ダイヤル番号入力画面が表示されず。

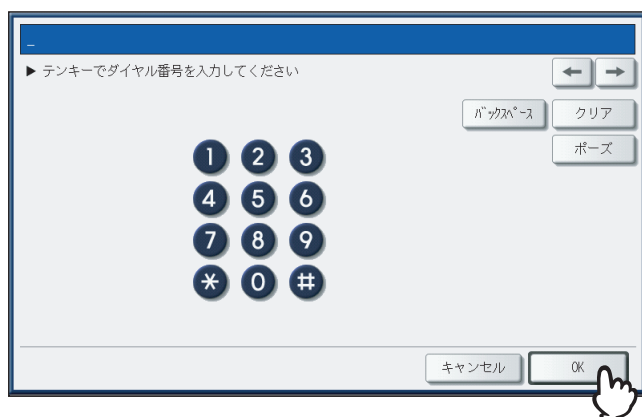
### 3 検索文字や文字列を入力し、[OK] を押します。

- 文字入力画面



数字の入力は、テンキーからも行えます。

- ダイヤル番号入力画面



「-」を入力する場合は、「ポーズ」を押してください。ダイヤル番号の入力は、テンキーからも行えます。

#### 補 足

- 項目欄に入力した検索文字や文字列を含む宛先の検索を行います。
- 文字入力のしかたの詳細は、**かんたん操作ガイド**を参照してください。  
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。  
📖 P.265 「区点コード表」



#### 4 必要な項目の検索文字や文字列を指定したら、[宛先検索] を押します。

検索された宛先がタッチパネルに表示されます。

#### 補足

入力した検索文字や文字列を消去したい場合は、[クリア] を押します。

#### 5 グループに追加したい宛先を押し反転表示させます。グループから削除したい宛先は反転表示を解除してください。宛先の追加や削除が終了したら、[OK] を押します。

- 宛先のファクス番号とEメールアドレスの両方をグループに追加またはグループから削除する場合は、宛先の名前の上を押します。
- 宛先のファクス番号のみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。
- 宛先のEメールアドレスのみをグループに追加またはグループから削除する場合は、 を押します。

#### 補足

検索された宛先が1ページに収まりきらない場合は、 または  を押してページを切り替えてください。

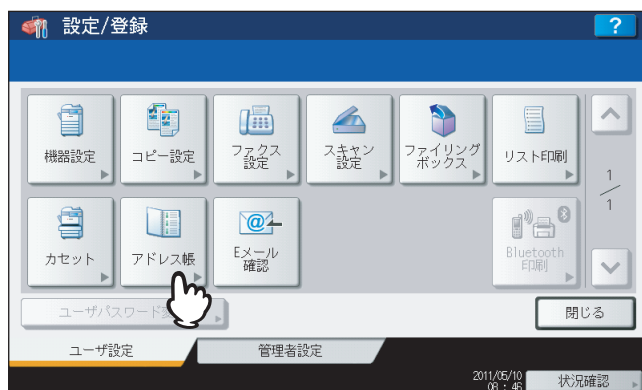
## □ グループを削除する

アドレス帳のグループを削除します。

### 注意

グループを削除しても、[個人用] タブの宛先のデータは削除されません。ただし、[個人用] タブで宛先のデータを削除すると、その宛先は登録されているグループからも削除されます。

### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 [グループ] タブを押します。



グループリストが表示されます。

### 3 削除したいグループボタンを押して、[削除] を押します。

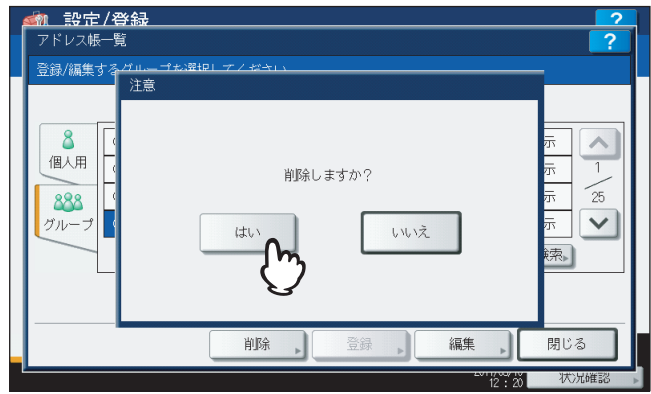


注意画面に「削除しますか?」と表示されます。

#### 補足

タッチパネルに目的のグループがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

### 4 [はい] を押します。



選択したグループが削除されます。

#### 補足

削除を中止する場合は、[いいえ] を押してください。

## □ グループを検索する

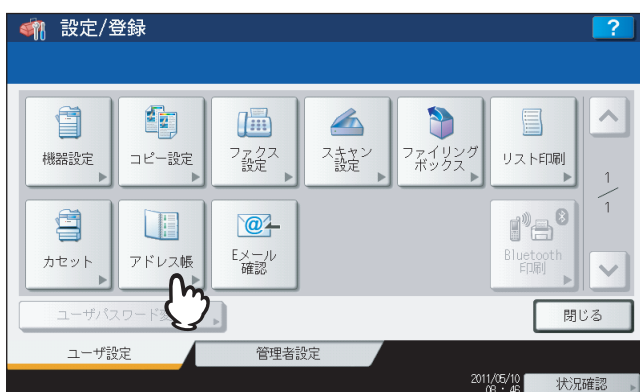
アドレス帳のグループを検索します。目的のグループを探すときに便利な機能です。検索する方法は、以下の2つの方法があります。

☞ P.60 「ID番号でグループを検索する」

☞ P.62 「グループ名でグループを検索する」

### ID番号でグループを検索する

#### 1 ユーザ設定メニューの【アドレス帳】を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

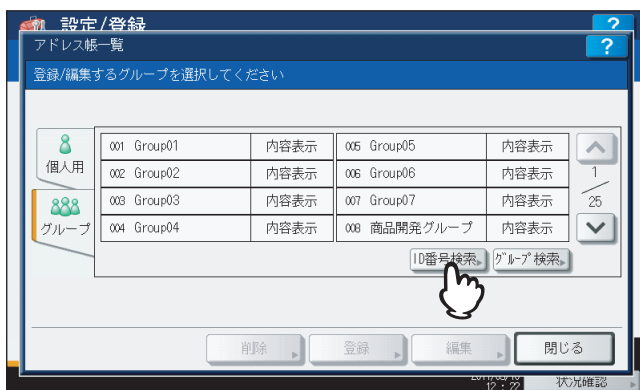
☞ P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

#### 2 【グループ】タブを押します。



グループリストが表示されます。

#### 3 【ID番号検索】を押します。

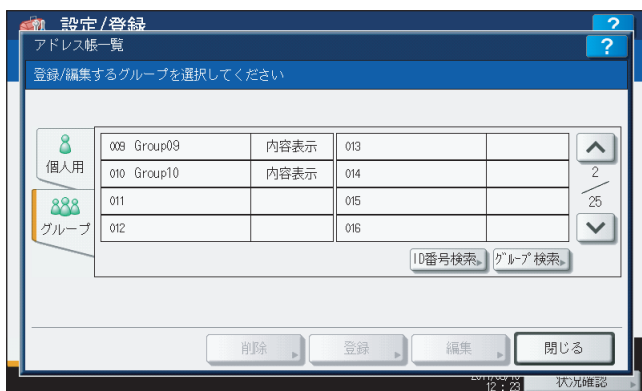


ID検索画面が表示されます。

#### 4 テンキーからID番号を入力し、[OK] を押します。



検索されたグループが表示されます。



#### 5 グループボタンを押し、グループの情報を編集する場合は【編集】を、グループを削除する場合は【削除】を押します。

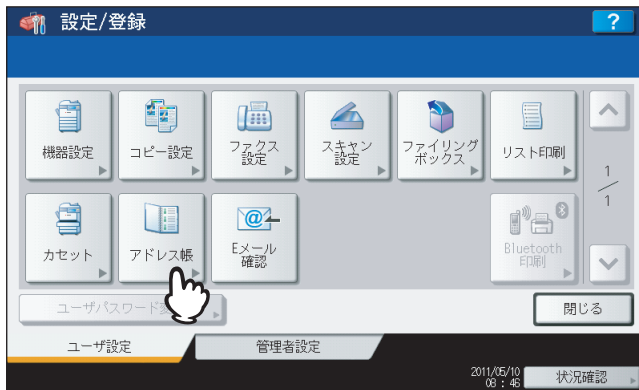


グループの編集手順については、以下のページを参照してください。

📖 P.50 「グループを編集する」

## グループ名でグループを検索する

### 1 ユーザ設定メニューの [アドレス帳] を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

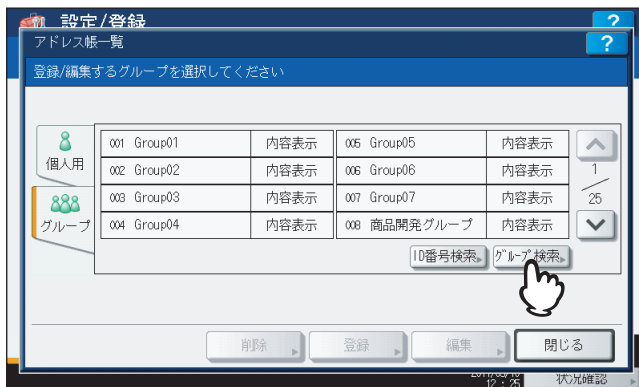
ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 [グループ] タブを押します。



グループリストが表示されます。

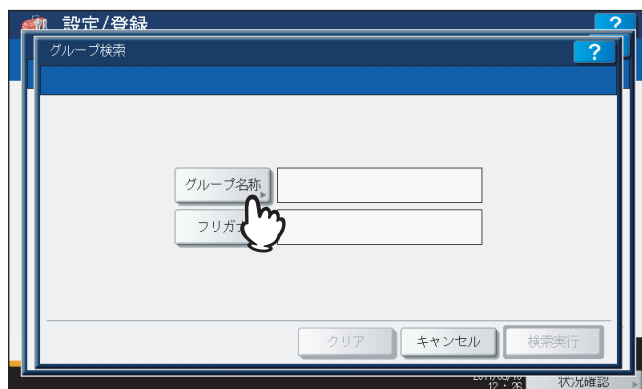
### 3 [グループ検索] を押します。



グループ検索画面が表示されます。



## 4 [グループ名称] を押します。



文字入力画面が表示されます。

## 5 検索文字や文字列を入力し、[OK] を押します。



- グループ名にフリガナが入力されている場合は、次の手順に進みます。
- グループ名にフリガナが入力されていない場合は、手順8に進みます。

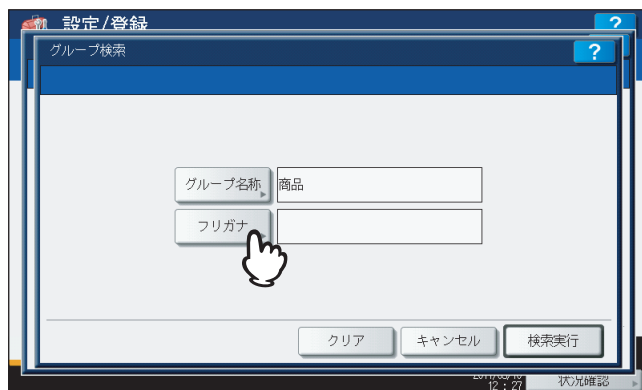
## 補足

- ここで入力した検索文字や文字列を含むグループの検索を行います。
- 文字入力のしかたの詳細は、**かんたん操作ガイド**を参照してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.265 「区点コード表」

## 6 [フリガナ] を押します。

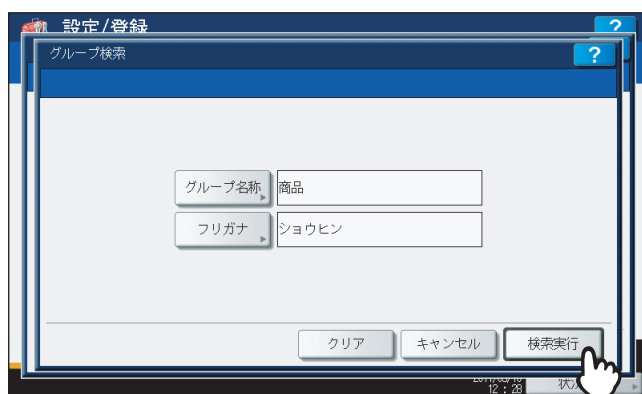


カタカナ入力画面が表示されます。

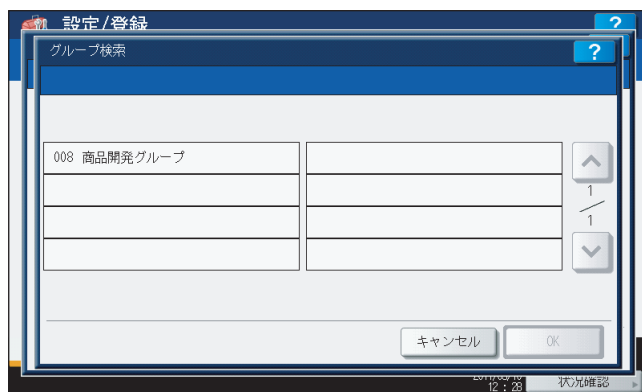
## 7 フリガナを入力し、[OK] を押します。



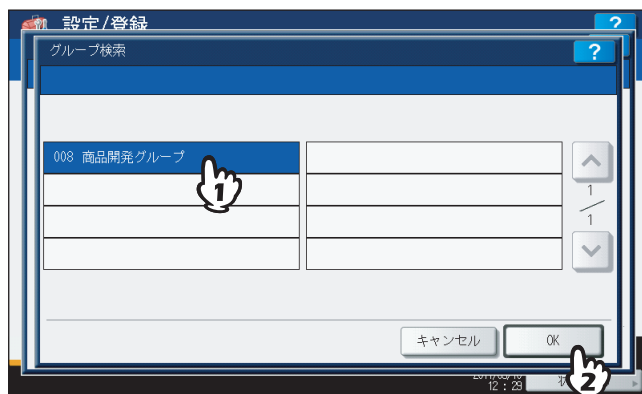
## 8 [検索実行] を押します。



検索されたグループが表示されます。



## 9 目的のグループボタンを押し、[OK] を押してグループの情報を編集します。



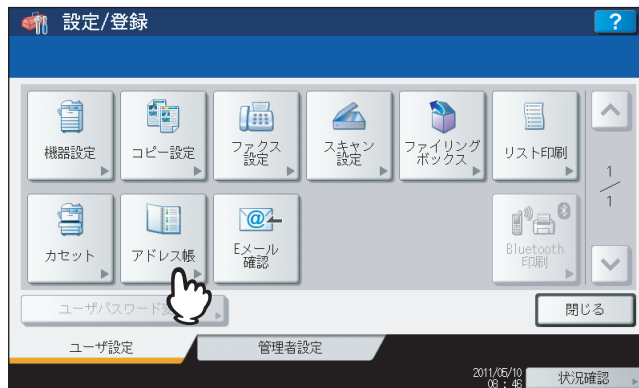
グループの編集手順については、以下のページを参照してください。

📖 P.50 「グループを編集する」

## □ グループメンバを確認する

グループに登録されている宛先を確認します。

### 1 ユーザ設定メニューの【アドレス帳】を押します。



アドレス帳一覧画面が表示されます。

#### 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

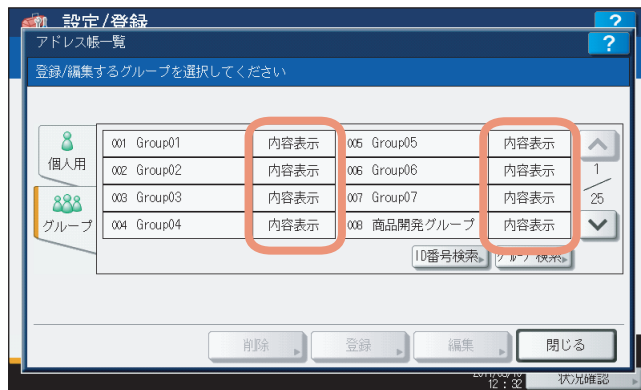
📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

### 2 [グループ] タブを押します。



グループリストが表示されます。

### 3 メンバを確認したいグループボタンの [内容表示] を押します。



グループに登録されているメンバが表示されます。



#### 補足

1つの宛先にファクス番号とEメールアドレスの両方を登録してある場合は、ファクス番号の後にEメールアドレスが表示されます。

# Eメール確認

[Eメール確認] を押すと、POP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）があるかを確認します。

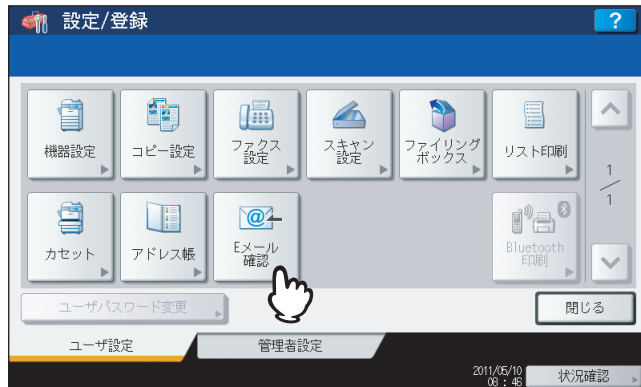
## 注意

この操作を行うには、TopAccess からPOP3サーバーの設定を行ってください。POP3サーバーの設定については、**TopAccessガイド**を参照してください。

## 補足

自動的にPOP3サーバーに接続し新着のEメール（インターネットファクス）を確認することもできます。

## 1 ユーザ設定メニューの [Eメール確認] を押します。



POP3サーバーと通信を始めます。新着のEメールがPOP3サーバーにある場合は、Eメールデータを取り出して自動的に印刷します。

## 補足

ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.8 「ユーザ設定メニューに入る」

## Bluetooth印刷

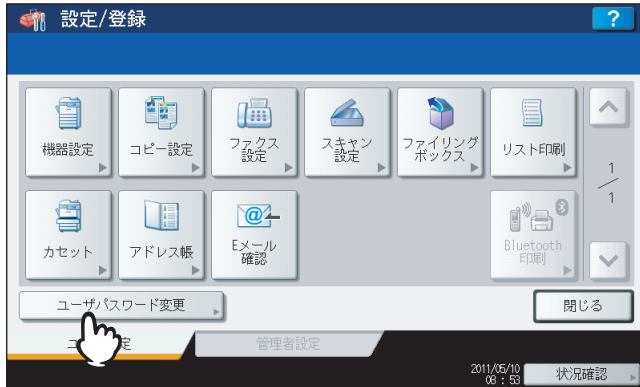
---

Bluetoothモジュール（オプション）がインストールされている場合は、[Bluetooth印刷] からBluetoothのBIP印刷設定を行うことができます。Bluetooth BIP設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

# ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザは認証画面で入力した認証パスワードをこのメニューから変更できます。

## 1 ユーザ設定メニューの【ユーザパスワード変更】を押します。



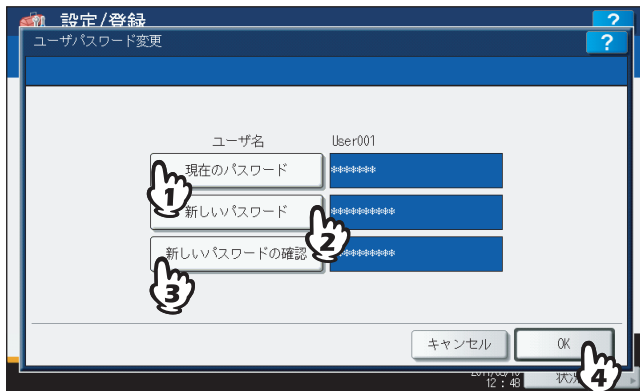
ユーザパスワード変更画面が表示されます。

### 補足

- ユーザ設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
P.8 「ユーザ設定メニューに入る」
- 【ユーザパスワード変更】は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。

## 2 ユーザパスワードを変更します。

- 1) [現在のパスワード] を押して、現在使用しているパスワードを入力します。
- 2) [新しいパスワード] を押して、新しいパスワードを入力します。
- 3) [新しいパスワードの確認] を押して、新しいパスワードを再度入力します。
- 4) [OK] を押して、新しいパスワードを保存します。



ユーザ設定メニュー画面に戻ります。

### 補足

- 上記ボタン（[現在のパスワード]、[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認]）を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーから行えます。
- [現在のパスワード]、[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] ボックスに入力されたパスワードは、\*（アスタリスク）で表示されます。





## 設定項目（管理者設定）

管理者設定メニューに入る .....	73
<b>機器設定</b> .....	<b>75</b>
機器情報 .....	75
メール通知 .....	77
パスワードの変更 .....	79
日付／時刻 .....	82
節電モード .....	85
表示レベル .....	90
自動階調補正 .....	91
位置合わせ .....	96
ポップアップ .....	97
ステータスメッセージ .....	98
オートクリア .....	99
ライセンス管理 .....	100
言語設定 .....	104
システムアップデート .....	109
クローニング .....	112
パネルキャリブレーション .....	119
ログエクスポート .....	122
ジョブスキップ .....	124
キーボードレイアウト .....	126
<b>ネットワーク設定</b> .....	<b>129</b>
TCP/IPの設定（IPv4） .....	129
TCP/IPの設定（IPv6） .....	134
IPX/SPXの設定 .....	143
NetWare設定 .....	144
SMBの設定 .....	146
AppleTalkの設定 .....	148
HTTPの設定 .....	150
Ethernetの設定 .....	152
LDAPおよびフィルタリング機能の設定 .....	153
IPセキュリティの設定 .....	155
ネットワーク状態確認 .....	157
<b>コピー設定</b> .....	<b>160</b>
<b>ファクス設定</b> .....	<b>163</b>
記録モードの設定 .....	163
<b>ファイル設定</b> .....	<b>165</b>

<b>Eメール設定</b> .....	<b>166</b>
<b>インターネットファクス設定</b> .....	<b>168</b>
<b>セキュリティ設定</b> .....	<b>170</b>
証明書管理.....	170
セキュアPDF.....	178
インテグリティチェック.....	180
<b>レポート出力設定</b> .....	<b>183</b>
<b>リスト印刷</b> .....	<b>189</b>
<b>プリンタ／ファイリングボックス設定</b> .....	<b>190</b>
<b>無線LAN／Bluetooth</b> .....	<b>192</b>
<b>ユーザパスワード変更</b> .....	<b>193</b>
<b>IEEE 802.1X認証設定</b> .....	<b>194</b>
802.1X認証をセットアップする.....	194
<b>システムの初期化</b> .....	<b>206</b>

# 管理者設定メニューに入る

以下の手順で、管理者設定メニューを表示します。

**1** 操作パネルの「設定/登録」ボタンを押して、設定/登録メニューに入ります。

**2** 「管理者設定」タブを押します。

- ユーザ管理をしていない場合は、管理者パスワードを入力する必要があります。  
次の手順に進んでください。
- ユーザ管理をしている場合は、Administrator権限を持つユーザで本機にログインしてください。  
「管理者設定」タブを押すと管理者設定メニューが表示されます。  
手順5に進んでください。

## 注意

Administrator権限を持たないユーザで本機にログインすると、「管理者設定」タブは使用できません。  
各ユーザへの権限の付与は、ロール情報の設定で行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

**3** 「パスワード」を押します。



文字入力画面が表示されます。

**4** 管理者パスワードを入力し「OK」を押します。



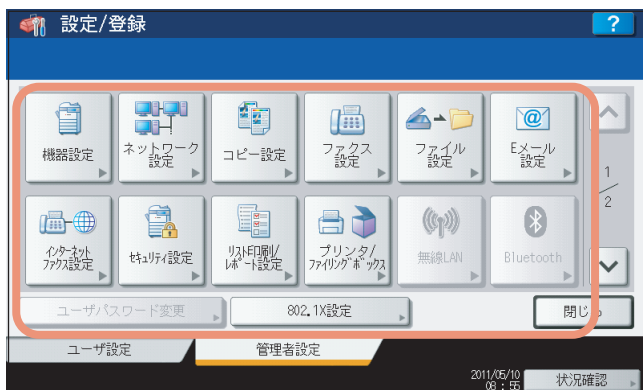
管理者設定メニューが表示されます。

## 補足

- 管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。
- 入力したパスワードは、\*（アスタリスク）で表示されます。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 5 必要な管理者操作を続けて行います。

管理者設定メニュー (1/2)



管理者設定メニュー (2/2)



- 📖 P.75 「機器設定」
- 📖 P.129 「ネットワーク設定」
- 📖 P.160 「コピー設定」
- 📖 P.163 「ファクス設定」
- 📖 P.165 「ファイル設定」
- 📖 P.166 「Eメール設定」
- 📖 P.168 「インターネットファクス設定」
- 📖 P.170 「セキュリティ設定」
- 📖 P.183 「レポート出力設定」
- 📖 P.189 「リスト印刷」
- 📖 P.190 「プリンタ/ファイリングボックス設定」
- 📖 P.192 「無線LAN/Bluetooth」
- 📖 P.193 「ユーザーパスワード変更」
- 📖 P.194 「IEEE 802.1X認証設定」
- 📖 P.206 「システムの初期化」

### 注意

- 無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合は、[無線LAN] から無線LANの設定を行えます。無線LAN設定については、**GN-1060無線LANモジュール取扱説明書**を参照してください。
- Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth] からBluetoothの設定を行えます。Bluetooth設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.75 「機器情報」
- P.77 「メール通知」
- P.79 「パスワードの変更」
- P.82 「日付/時刻」
- P.85 「節電モード」
- P.90 「表示レベル」
- P.91 「自動階調補正」
- P.96 「位置合わせ」
- P.97 「ポップアップ」
- P.98 「ステータスメッセージ」
- P.99 「オートクリア」
- P.100 「ライセンス管理」
- P.104 「言語設定」
- P.109 「システムアップデート」
- P.112 「クローニング」
- P.119 「パネルキャリブレーション」
- P.122 「ログエクスポート」
- P.124 「ジョブスキップ」
- P.126 「キーボードレイアウト」

## ■ 機器情報

機器情報を設定します。ここで設定した情報は、TopAccessの装置ページに表示されます。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の【機器設定】を押します。



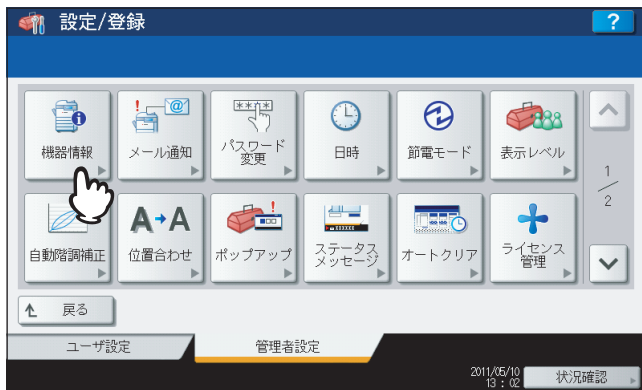
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【機器情報】を押します。



機器情報画面が表示されます。

### 3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



【設置場所】：設置場所を入力します。

【サービス電話番号】：サービス連絡先を入力します。

【情報】：サービス連絡先の担当者を入力します。

【管理者メッセージ】：管理者のメッセージを入力します。

#### 補 足

- 上記の各ボタン（[サービス電話番号] は除く）を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。
- [サービス電話番号] を押すと、ダイヤル番号を入力するための下記画面が表示されます。電話番号は、通常「-」を含めずに入力してください。「-」を入力する場合は、[ポーズ] を押してください。（「-」を入れるとポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。）ダイヤル番号の入力は、テンキーからも行えます。



## ■ メール通知

用紙切れ、サービスマンコールなど本機に特定のイベントが発生したときに、通知メッセージをEメール送信します。通知メッセージの宛先には、最大3か所のEメールアドレスを指定することができます。

### 補足

メール通知を行うイベントはTopAccessから設定します。設定方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

### 注意

この機能を使用するには、ご利用のネットワークにSMTPサーバーが必要です。また、インターネット通信ができるように、正しく設定されている必要があります。

## 1 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。



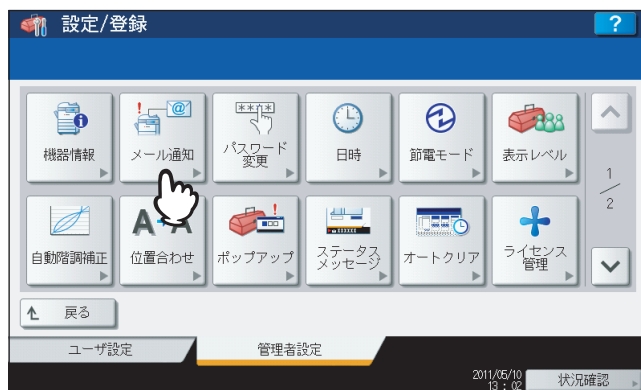
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

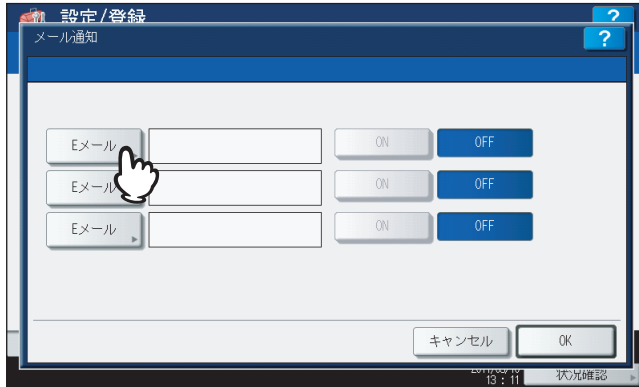
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [メール通知] を押します。



メール通知画面が表示されます。

### 3 [Eメール] を押します。



文字入力画面が表示されます。

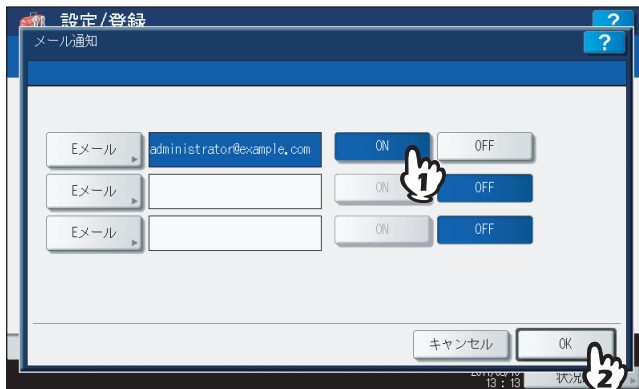
### 4 通知を送るEメールアドレスを入力し、[OK] を押します。



#### 補足

- 必要に応じて3か所のEメールアドレスまで指定することができます。通知を有効にするときは、最低1か所のアドレスを入力してください。
- 数字の入力は、テンキーからも行えます。

### 5 通知を有効にするEメールアドレス欄の [ON] を押し、[OK] を押します。



通知を無効にする場合は、[OFF] を押します。

#### 注意

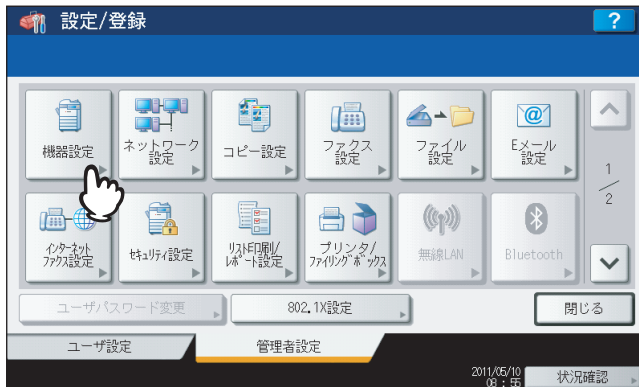
[ON] はEメールが入力されている欄のみ選択することができます。



## ■ パスワードの変更

管理者パスワードの変更を行います。また、本機担当のサービスエンジニアがサービス用パスワードを忘れてしまった場合に、このメニューからそのパスワードをリセットすることができます。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の【機器設定】を押します。



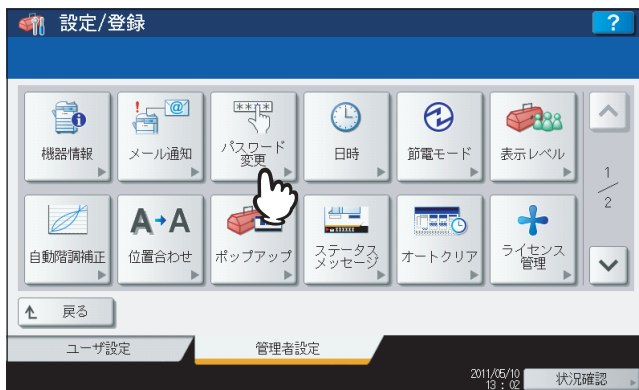
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

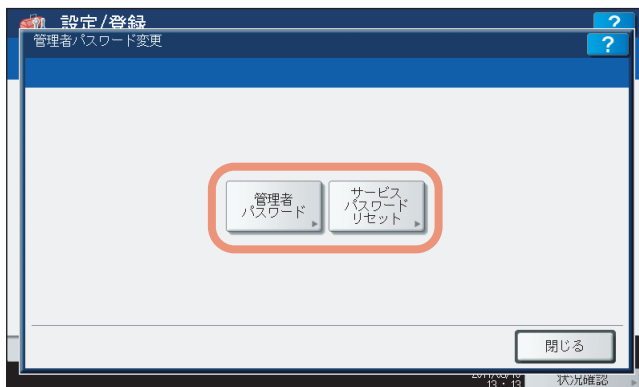
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【パスワード変更】を押します。



パスワード変更メニューが表示されます。

### 3 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



📖 P.80 「管理者パスワードを変更する」

📖 P.81 「サービス用パスワードをリセットする」

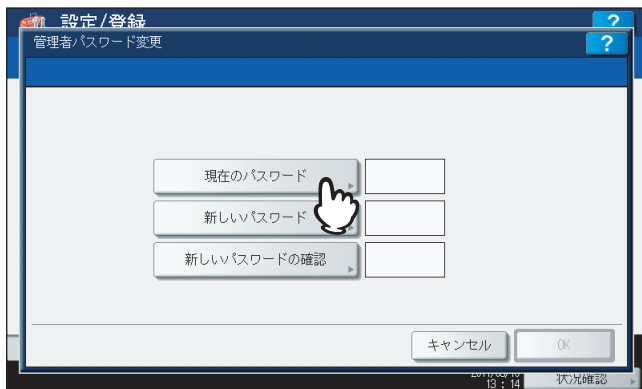
## 管理者パスワードを変更する

### 1 [管理者パスワード] を押します。



管理者パスワードを変更するための画面が表示されます。

### 2 [現在のパスワード] を押します。



文字入力画面が表示されます。

### 3 現在使用しているパスワードを入力し、[OK] を押します。



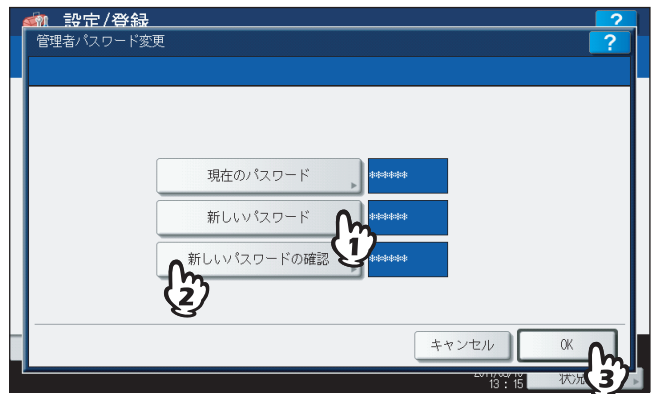
入力したパスワードは、\* (アスタリスク) で表示されます。数字の入力は、テンキーからも行えます。

#### 補足

はじめて管理者パスワードを変更する場合は、初期設定の管理者パスワード「123456」を入力します。

#### 4 新しいパスワードを設定し、保存します。

- 1) [新しいパスワード] を押し、新しいパスワードを入力します。
- 2) [新しいパスワードの確認] を押し、新しいパスワードを再度入力します。
- 3) [OK] を押します。



##### 補足

[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確認してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

##### 注意

管理者パスワードは、6文字～64文字で指定してください。入力できる文字は英数字および以下のシンボル文字です。

! # ( ) \* + , - . / : ; = ? @ \ ^ \_ ` { | } ~

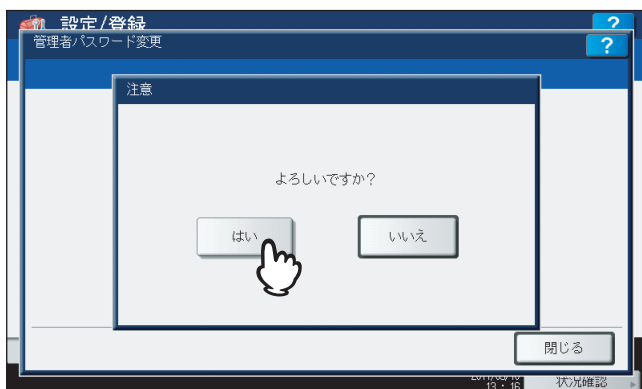
#### サービス用パスワードをリセットする

##### 1 [サービスパスワードリセット] を押します。



注意画面に「よろしいですか?」と表示されます。

## 2 [はい] を押してサービス用パスワードをリセットします。



サービス用パスワードのリセットを中止するときは、[いいえ] を押します。

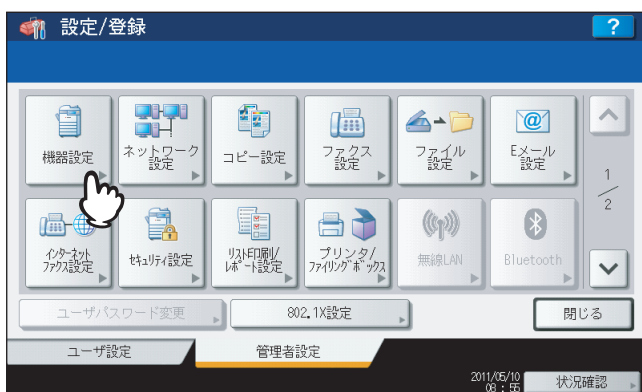
## ■ 日付／時刻

現在の日付や時刻を入力して、本機内部時計の時刻合わせを行います。

### 注意

SNTPサービスを利用して本機の時間設定を自動的に更新している場合、手動での日付や時刻の設定は行うことはできません。SNTPサービスの設定は、TopAccessの管理者モードから行います。詳細は、**TopAccess**ガイドを参照してください。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

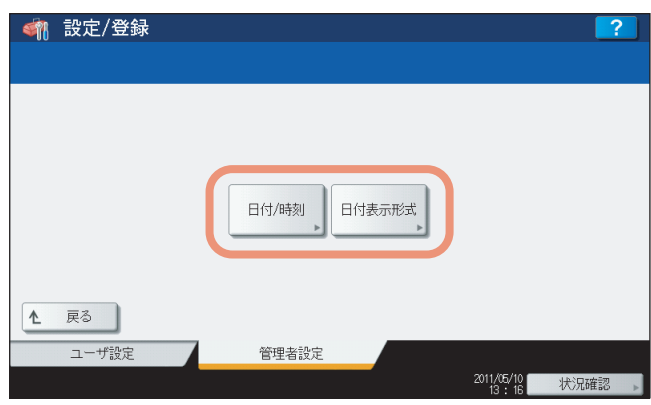
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [日時] を押します。



日時メニューが表示されます。

## 3 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



- 📖 P.83 「日付や時刻を調整する」
- 📖 P.84 「日付フォーマットを変更する」

## 日付や時刻を調整する

### 1 [日付/時刻] を押します。



日付/時刻画面が表示されます。

- 2 矢印ボタンを使って変更したい箇所を反転表示させテンキーで値を入力したら、[OK] を押します。



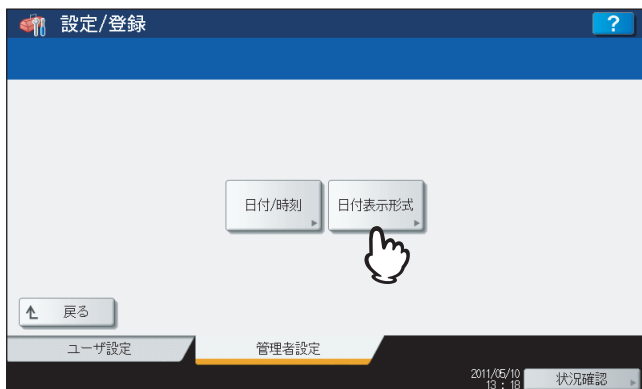
日時メニューに戻ります。

#### 補足

年/月/日のいずれかの値を変更すると、曜日は自動的に設定されます。

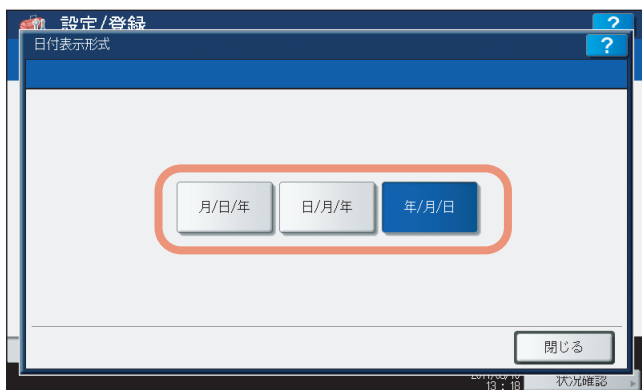
## 日付フォーマットを変更する

- 1 [日付表示形式] を押します。



日付表示形式画面が表示されます。

- 2 目的の日付フォーマットボタンを押します。



日時メニューに戻ります。

## ■ 節電モード

このメニューでは、以下の節電モードを設定できます。

- **ウィークリータイマー**

この機能を設定すると、本機を自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。たとえば、始業時刻、終業時刻に合わせてタイマーを設定すると、本機は設定時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。

### 補 足

ウィークリータイマー機能によってスリープモードまたはスーパースリープモードに移行した本機を復帰させるには、操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

### 注 意

主電源スイッチをオフにした場合は、ウィークリータイマーは動作しません。

- **自動節電モード**

この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機を節電（低電力）モードに移行させることができます。

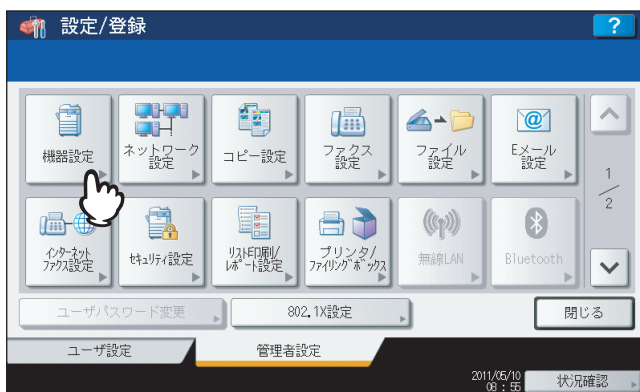
- **スリープモード／スーパースリープモード**

この機能を設定すると、一定時間本機が使用されない場合に、自動的に本機をスリープモードまたはスーパースリープモードに移行させることができます。スリープモード／スーパースリープモードでは、本機の待機時に不要な部分への通電を遮断します。節電モード設定では、スーパースリープモードの消費電力が一番小さくなり、スリープモード、自動節電モードの順に待機時の消費電力が大きくなります。

### 補 足

節電モードの種類や移行手順については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

## 1 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。



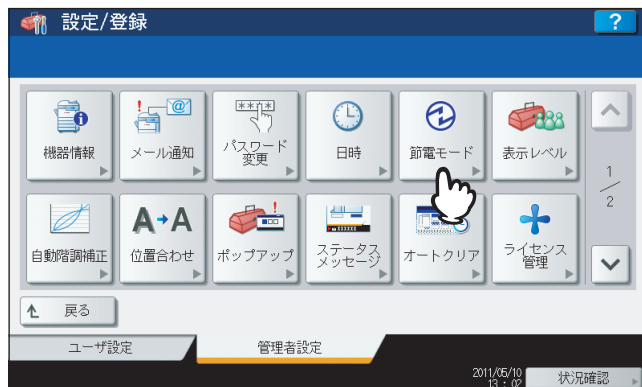
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

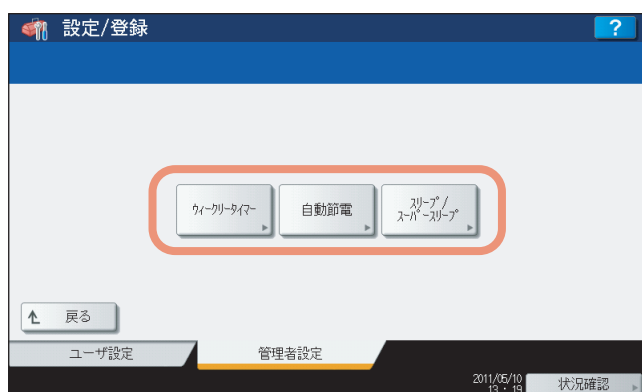
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 「節電モード」を押します。



節電モードメニューが表示されます。

## 3 設定したい節電モードに応じて、操作を続けます。



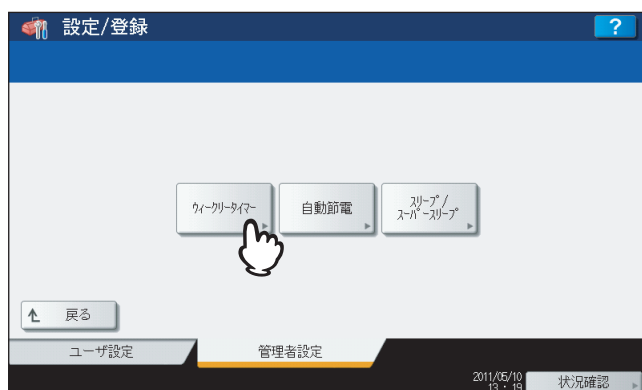
📖 P.86 「ウィークリータイマーを設定する」

📖 P.88 「自動節電モードを設定する」

📖 P.89 「スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する」

## ウィークリータイマーを設定する

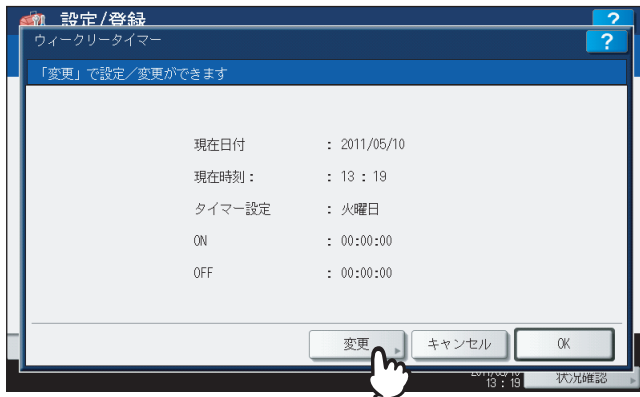
### 1 「ウィークリータイマー」を押します。



ウィークリータイマーの設定画面が表示されます。



## 2 画面の設定を確認し、変更する必要がある場合は [変更] を押します。



変更がなければ、[OK] を押して終了します。

## 3 ウィークリータイマーを設定します。

- 1) 目的の曜日ボタンを押します。
- 2) [ON] を押し、スリープモードまたはスーパースリープモードから復帰する時刻をテンキーから入力します。時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
- 3) [OFF] を押し、スリープモードまたはスーパースリープモードに入る時刻をテンキーから入力します。時間と分の切り替えは、矢印ボタンで行ってください。
- 4) [OK] を押し、設定を保存します。

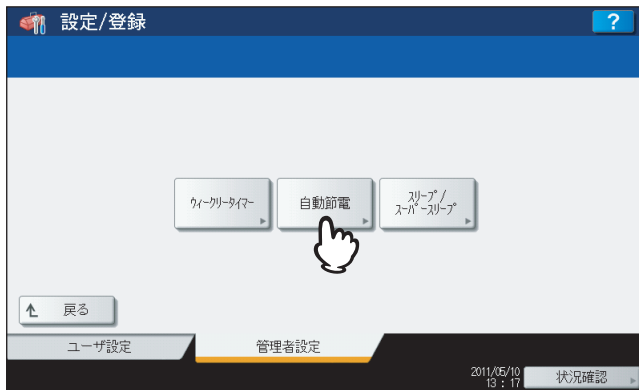


### 補足

- 入力した時刻をクリアしたい場合は、操作パネルの [クリア] ボタンを押します。
- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードにする場合は、ON/OFFとも同じ時刻を入力してください。  
例) [日曜日] に [ON] : 0 : 00、[OFF] : 0 : 00を設定した場合  
本機は、土曜日のオフ時刻として指定された時刻に自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行し、月曜日の復帰時刻として指定された時刻までスリープモードまたはスーパースリープモードを継続します。
- 本機を終日スリープモードまたはスーパースリープモードに移行させたくない場合は、目的の曜日に以下の設定を行ってください。  
[ON] : 0 : 00 / [OFF] : 24 : 00  
本機は、終日ウィークリータイマー機能によるスリープモードまたはスーパースリープモードには移行しません。ただし、一定時間使用されない場合には、[スリープ/スーパースリープ] で設定された時間に従って、自動的にスリープモードまたはスーパースリープモードに移行します。

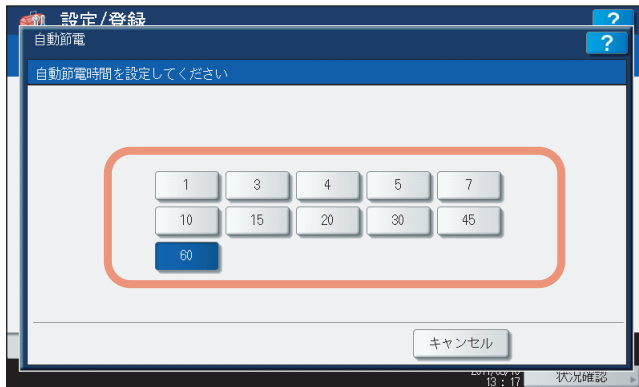
## 自動節電モードを設定する

### 1 [自動節電] を押します。



自動節電の設定画面が表示されます。

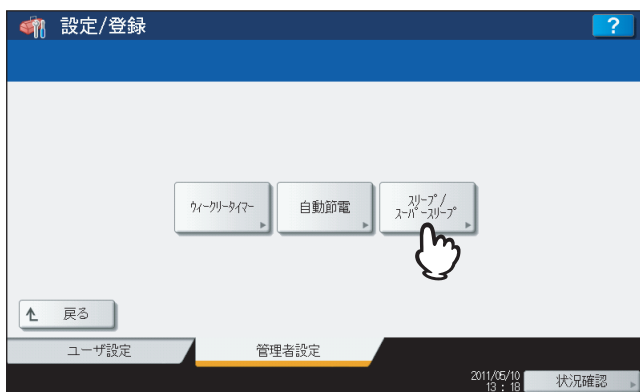
### 2 自動節電に移行するまでの時間 (分) のボタンを押します。



自動節電の設定を保存し、前の画面に戻ります。

## スリープモードまたはスーパースリープモードを設定する

### 1 [スリープ/スーパースリープ] を押します。



スリープ/スーパースリープの設定画面が表示されます。

### 2 下記項目を設定し、設定内容を保存します。

- 1) スリープモード/スーパースリープモードに移行するまでの時間 (分) のボタンを押します。
- 2) 本機をスリープモードに移行させるか、スーパースリープモードに移行させるかを設定します。[有効] を押すと、スーパースリープモードに移行します。
- 3) [OK] を押します。



#### 注意

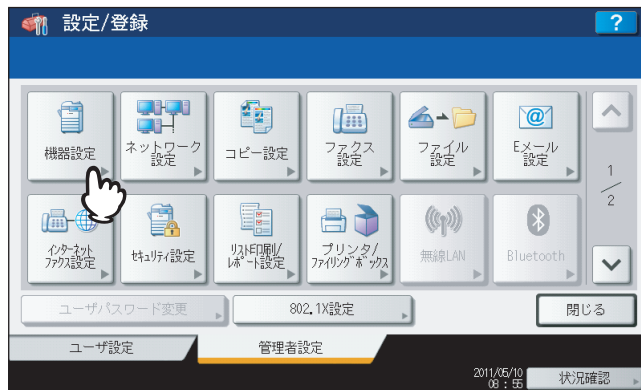
- 本機の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。
- 以下のオプション機器が装着されている場合、[スーパースリープ] を [有効] にしてもスーパースリープモードには移行しません。
  - 無線LANモジュール
  - Bluetoothモジュール
  - データ消去オプション
  - e-BRIDGE ID Gate
- 以下の機能が有効な場合、[スーパースリープ] を [有効] にしてもスーパースリープモードには移行しません。
  - IPsec機能 (オプション)
  - FAXユニット (オプション) 装着時のダイヤルイン機能
- 本機をスーパースリープモードから復帰させるためのプロトコル設定は、TopAccess の管理者モードから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

## ■ 表示レベル

自動階調補正と位置合わせの各操作をユーザ設定メニューでユーザに許可するか、管理者設定メニューで管理者が操作するかを設定します。

自動階調補正と位置合わせの操作ボタン（[自動階調補正]、[位置合わせ]）は、ここでの設定に従い、ユーザ設定メニューまたは管理者設定メニューに表示されます。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の [機器設定] を押します。



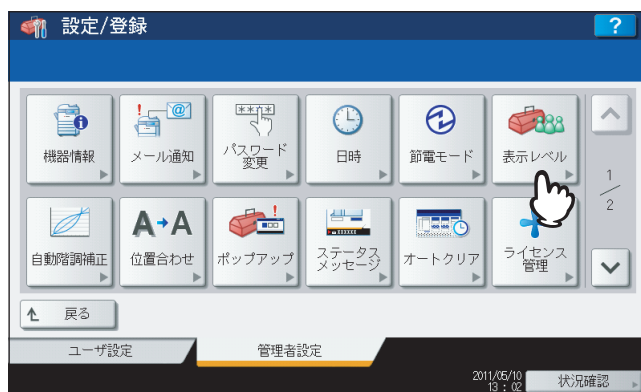
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

#### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

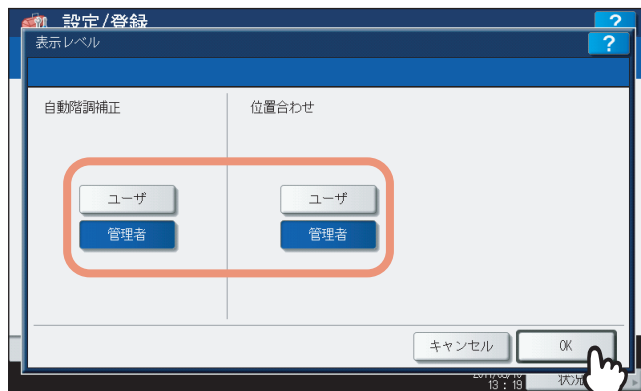
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [表示レベル] を押します。



表示レベル画面が表示されます。

### 3 ユーザ設定メニューに表示する場合は [ユーザ] を、管理者設定メニューに表示する場合は [管理者] を押し、[OK] を押します。



自動階調補正および位置合わせの操作権限の設定が保存されます。

## ■ 自動階調補正

画像の濃淡や色合いがずれて、思うようにコピーや印刷ジョブのカラー調整ができなくなったときに、自動的に本機の色階調を補正します。

### 注意

- 管理者設定メニューの自動階調補正は、表示レベルの自動階調補正の設定を [管理者] に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。  
 〓 P.90 「表示レベル」
- 補正を行う前に、A4またはLTサイズ用の紙（推奨用紙）をカセット\*1にセットします。他の用紙サイズでは補正を操作することはできません。
- ガラス面の汚れやガラス面への異物の付着などにより、正しく補正が行われな場合があります。ガラス面の清掃を定期的に行ってください。
- 補正実行中は原稿カバーまたは自動両面原稿送り装置\*2を持ち上げたり、前面カバーを開けたりしないでください。正しく補正されません。
- 補正実行中の割り込みコピーはできません。
- ひんぱんに色合いがずれる場合は、弊社サービスエンジニアにご相談ください。

\*1 本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

\*2 e-STUDIO4540C Seriesの場合、自動両面原稿送り装置はオプションです。

## 1 カセットに階調補正に使用する用紙をセットします。

本機に大容量給紙装置が装着されているときは、大容量給紙装置に用紙をセットしてください。大容量給紙装置が装着されていない場合には、A4またはLTがセットされている一番上のカセットに用紙をセットしてください。

## 2 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。



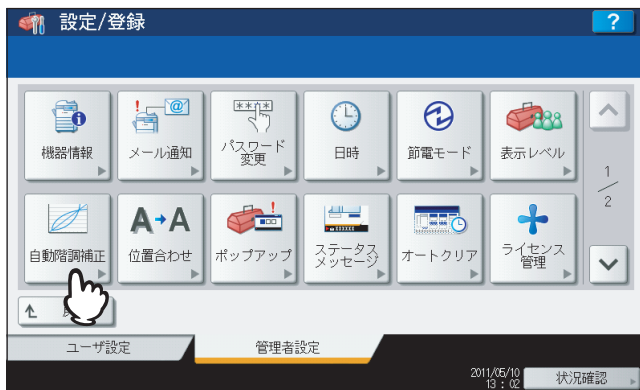
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

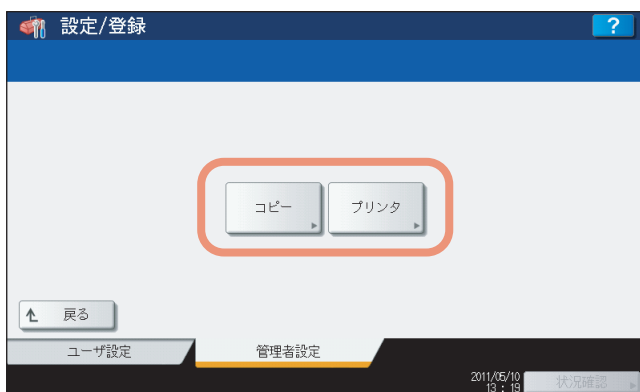
〓 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 3 「自動階調補正」を押します。



自動階調補正メニューが表示されます。

### 4 実行したい階調補正操作に応じて、操作を続けます。



📖 P.92 「コピー自動階調補正を操作する」

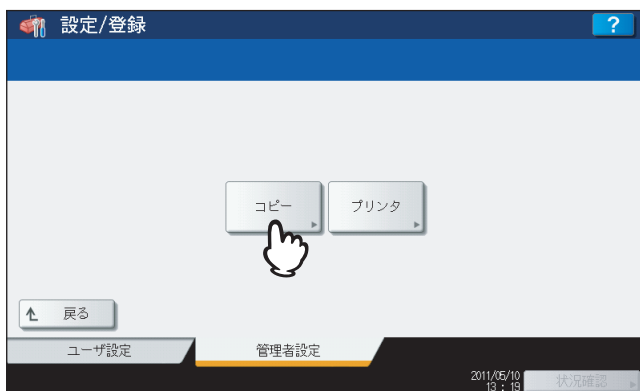
📖 P.94 「プリンタ自動階調補正を操作する」

#### 補足

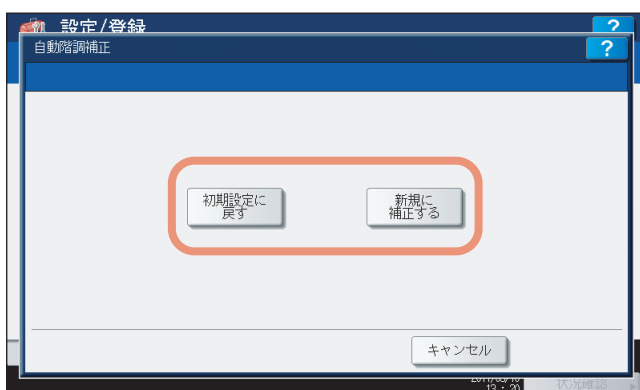
e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合は、[プリンタ] の代わりに [600dpi印刷] および [1200dpi印刷] が表示されます。

## コピー自動階調補正を操作する

### 1 「コピー」を押します。

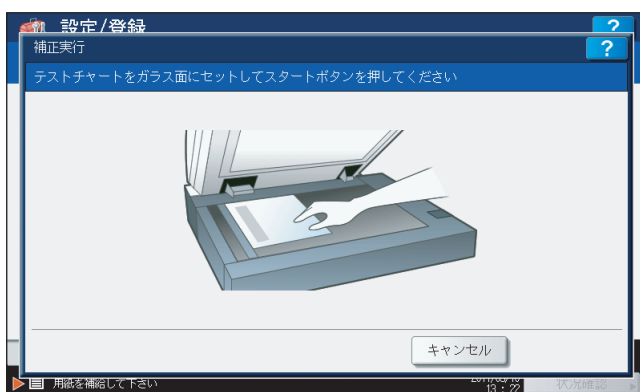


- 2 [初期設定に戻す] を押して初期設定に補正するか、[新規に補正する] で補正設定を調整します。



- [初期設定に戻す] を押すと、システムは初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
- [新規に補正する] を押すと、チャートを印刷し、タッチパネルに補正ガイドのイラストが表示されます。[新規に補正する] を押した場合は、次の手順に進みます。

- 3 チャートは印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。



- 4 操作パネルの [スタート] ボタンを押します。

補正を開始します。「補正中です」という表示がタッチパネルから消え、補正が完了するまで本機を操作しないでください。

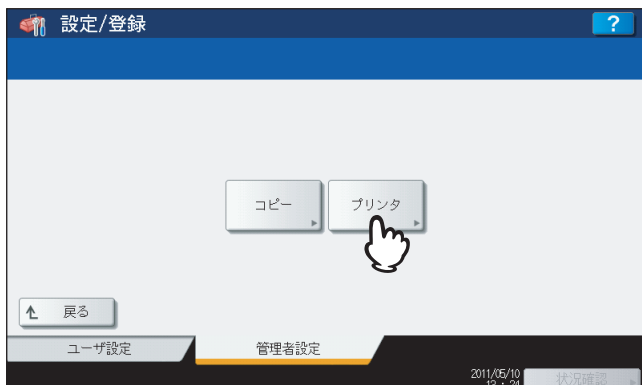
#### 注意

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

## プリンタ自動階調補正を操作する

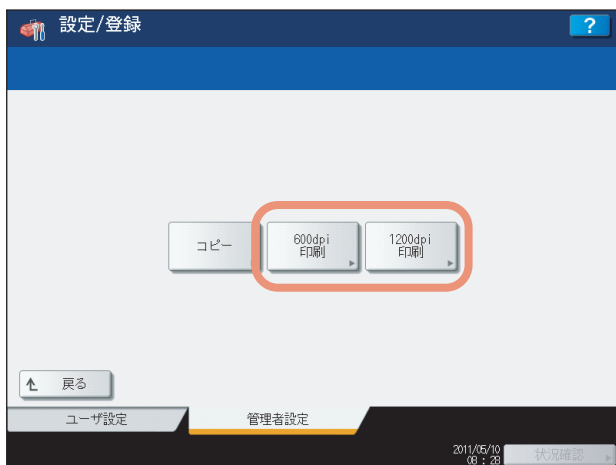
### 1 必要に応じて、下記のボタンを押します。

e-STUDIO4540C Seriesをお使いの場合



[プリンタ] を押します。

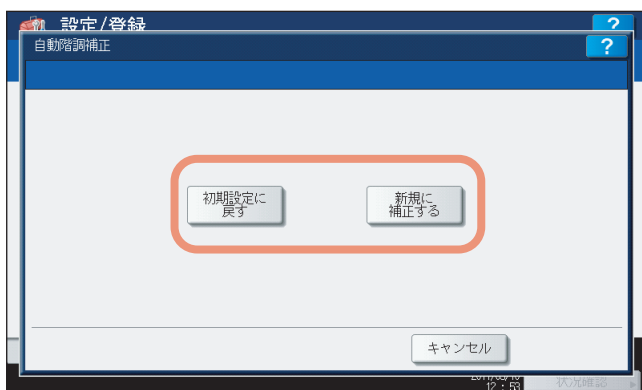
e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合



下記のいずれかのボタンを押します。

- [600dpi印刷]  
600dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。
- [1200dpi印刷]  
1200dpiの印刷ジョブに適用される階調補正を行います。

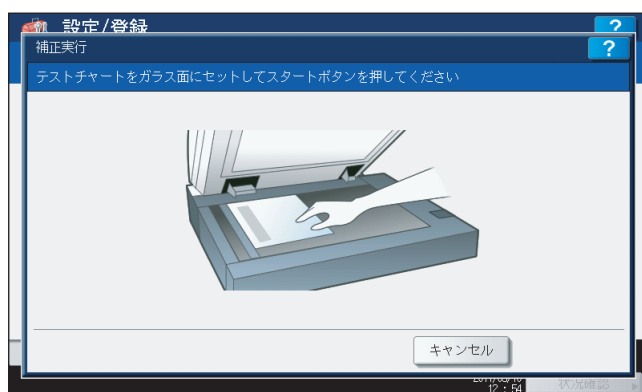
### 2 [初期設定に戻す] を押して初期設定に補正するか、[新規に補正する] で補正設定を調整します。



- [初期設定に戻す] を押すと、システムは選択したジョブタイプを初期設定の補正レベルにセットし、前の画面に戻ります。
- [新規に補正する] を押すと、チャートを印刷し、タッチパネルに補正ガイドのイラストが表示されます。[新規に補正する] を押した場合は、次の手順に進みます。



- 3 チャートは印刷面を下向きに黒い長方形（2個）が左側になるように、原稿スケールに沿って左奥コーナーの基準に合わせ原稿ガラス上にセットします。



- 4 操作パネルの【スタート】ボタンを押します。

補正を開始します。「補正中です」という表示がタッチパネルから消え、補正が完了するまで本機を操作しないでください。

**注意**

チャートのセットがずれていると、タッチパネルに「正しくチャートをセットしてください」と表示されます。その場合には、手順3に戻ってチャートをセットし直してください。

## ■ 位置合わせ

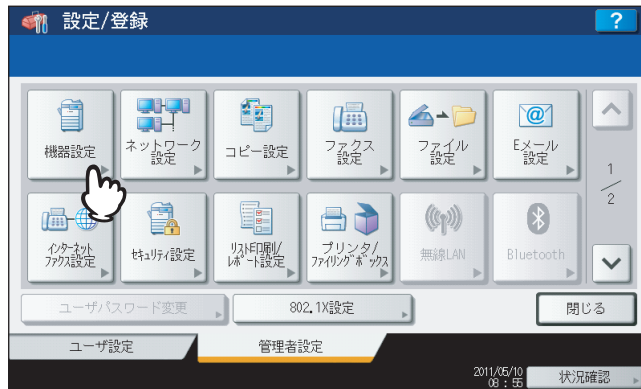
色ズレが発生したときに、位置を補正します。

### 注意

管理者設定メニューの位置合わせは、表示レベルの位置合わせの設定を「管理者」に設定したときに表示されます。表示レベルを変更する操作については、以下のページを参照してください。

📖 P.90 「表示レベル」

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の「機器設定」を押します。



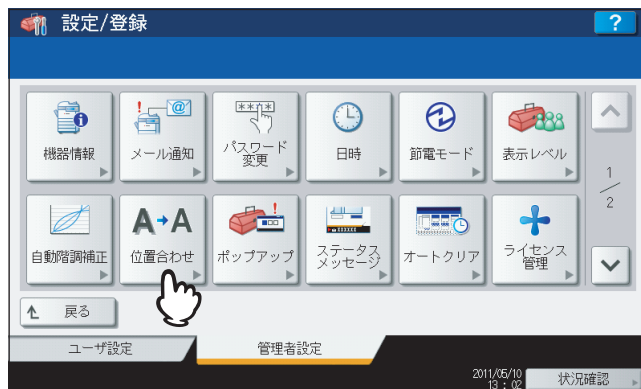
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

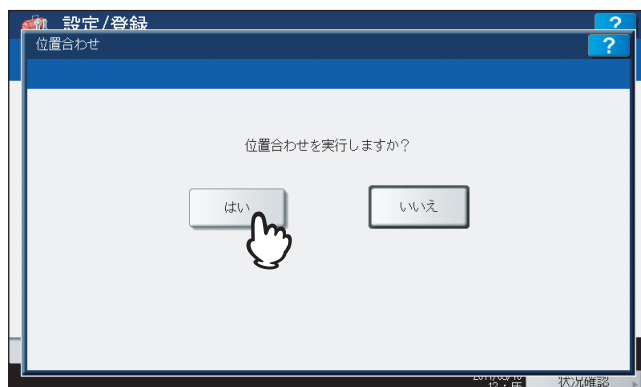
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 「位置合わせ」を押します。



位置合わせ画面が表示されます。

### 3 「はい」を押します。

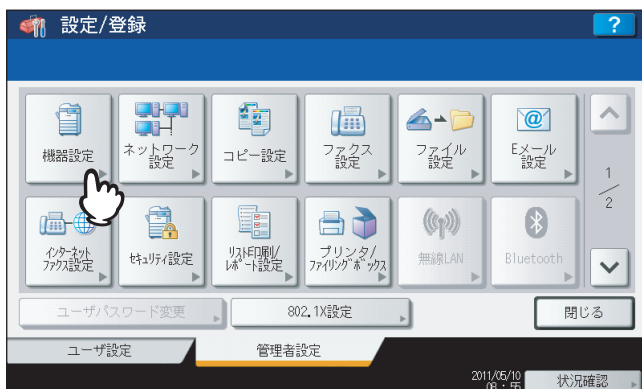


位置合わせ処理を開始します。

## ■ ポップアップ

カセットを引き出すたびに用紙サイズを変更するかどうかのメッセージを表示するかや、紙づまり解除後に印刷を継続するかどうかのメッセージを表示するかを設定します。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。



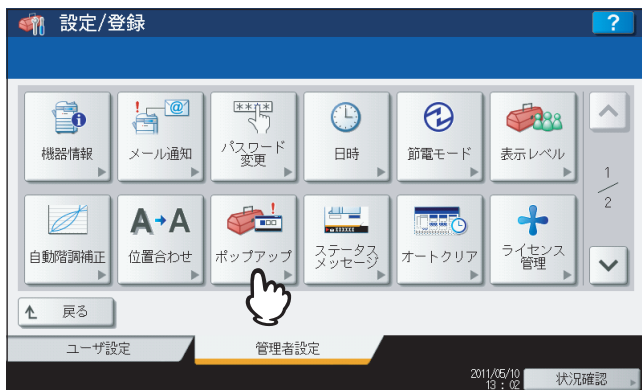
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

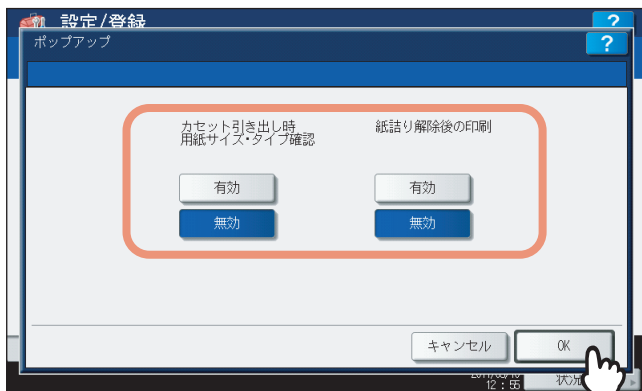
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [ポップアップ] を押します。



ポップアップ画面が表示されます。

### 3 各項目の [有効] または [無効] を押し、[OK] を押します。



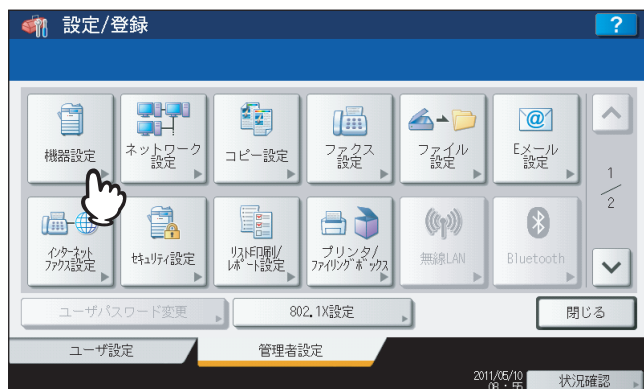
**カセット引き出し時 用紙サイズ・タイプ確認**：有効にすると、カセットを抜き差ししたときに、用紙サイズや用紙タイプの変更を確認するメッセージが表示されます。

**紙詰り解除後の印刷**：有効にすると、紙づまりを解除したときに、「印刷を中止しますか？」と確認メッセージが表示され、[いいえ] を押すと印刷が再開されます。

## ■ ステータスメッセージ

用紙切れ、トナーニアEMPTYなど本機に特定のイベントが発生したときに、タッチパネルの下部にメッセージを表示します。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【ステータスメッセージ】を押します。



ステータスメッセージ画面が表示されます。

### 3 各項目の【ON】または【OFF】を押し、【OK】を押します。



**トナー切れ事前通知**：有効にすると、各トナーカートリッジのトナーが少なくなったときに画面左下にメッセージが表示されます。

**用紙切れ通知**：有効にすると、各カセットの用紙がなくなったときに画面左下に「用紙を補給して下さい」と表示されます。

## ■ オートクリア

本機を操作の途中で一定時間放置した場合に、操作パネルの表示をクリアし初期画面に戻る時間を設定します。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の【機器設定】を押します。



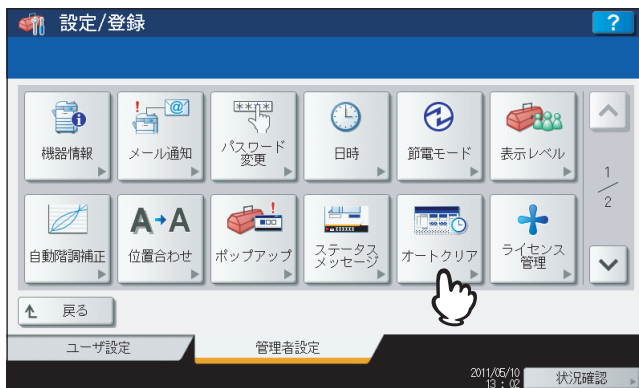
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

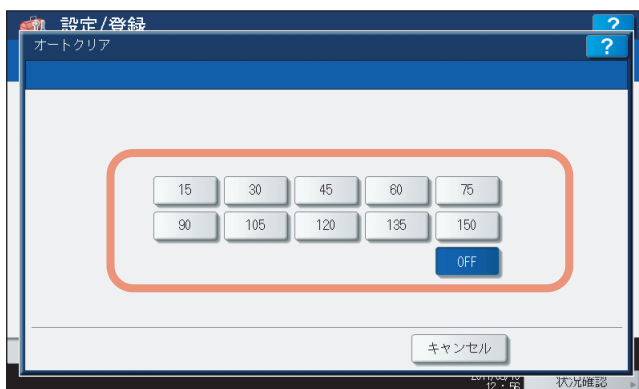
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [オートクリア] を押します。



オートクリア画面が表示されます。

### 3 秒単位で希望する時間のボタンを押します。



- 選択した時間でオートクリアがセットされます。
- オートクリアを無効にしたい場合は、[OFF] を押します。

#### 注意

オートクリアを [OFF] に設定すると、設定/登録、状況確認やテンプレート画面を含めたすべてのモードでの操作でオートクリアが無効になります。

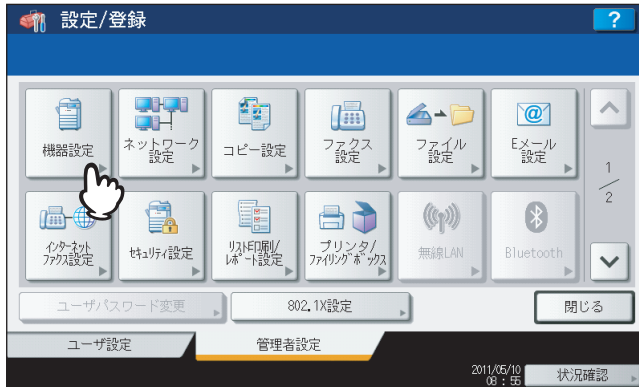
## ■ ライセンス管理

本機にインストールされている、特定のオプションのライセンスIDなどの製品情報を確認します。また、必要に応じてそれらのオプションを本機にインストールすることができます。

### 重要

オプションのインストールは、サービスエンジニアの指示に従って行ってください。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



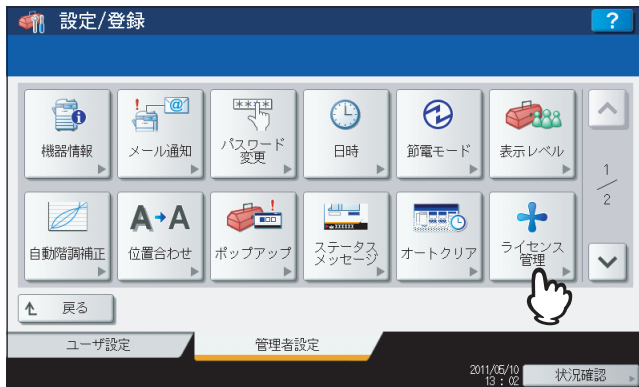
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

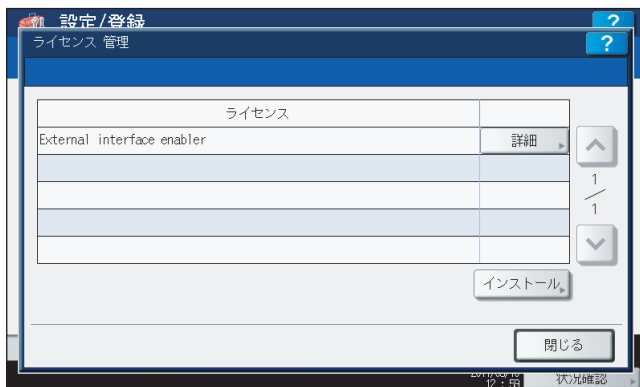
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【ライセンス管理】を押します。



ライセンス管理画面が表示され、インストール済みのオプションがリスト表示されます。

### 3 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



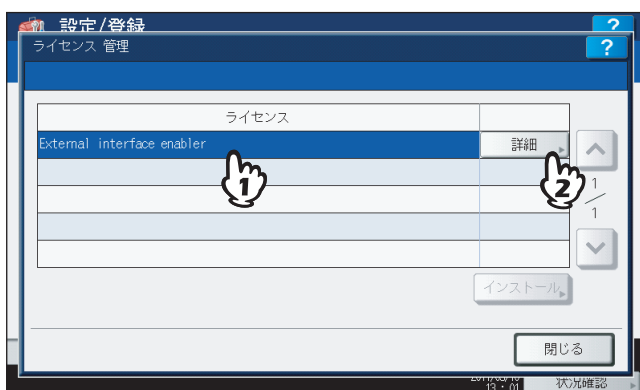
- 📖 P.101 「製品情報を表示する」
- 📖 P.102 「オプションをインストールする」

#### 重要

オプションのインストールは、サービスエンジニアの指示に従って行ってください。

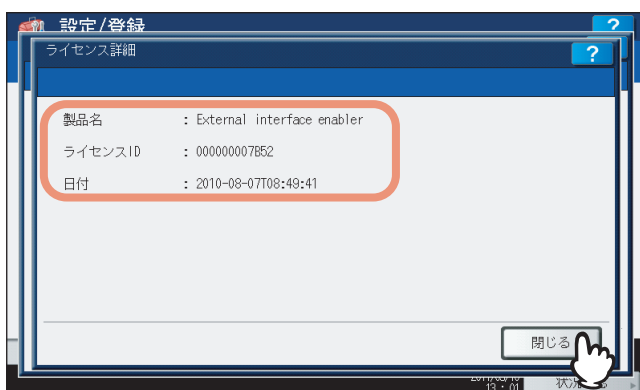
## 製品情報を表示する

### 1 製品情報を確認したいオプションを選択し、[詳細] を押します。



ライセンス詳細画面が表示されます。

### 2 製品情報を確認したら、[閉じる] を押します。



ライセンス管理画面に戻ります。

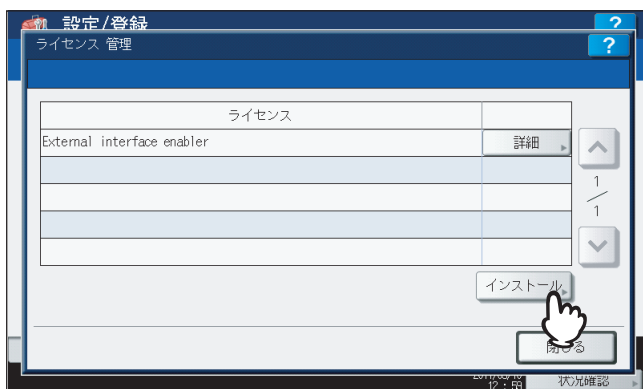
#### 補足

以下の情報が表示されます。

- 製品名：オプション名
- ライセンスID：オプションのライセンスID
- 日付：インストール日時

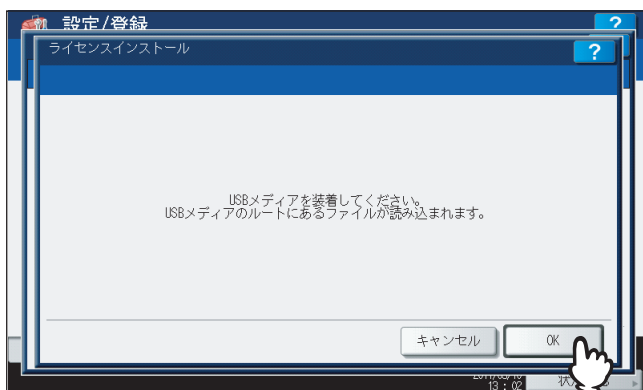
## オプションをインストールする

### 1 「インストール」 を押します。



ライセンスインストール画面が表示されます。

### 2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。

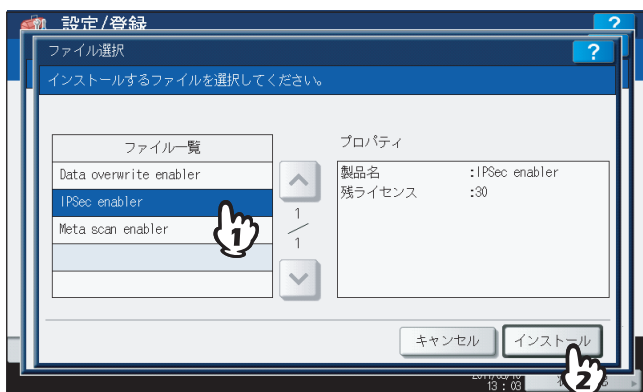


ファイル選択画面が表示されます。

#### 補足

USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

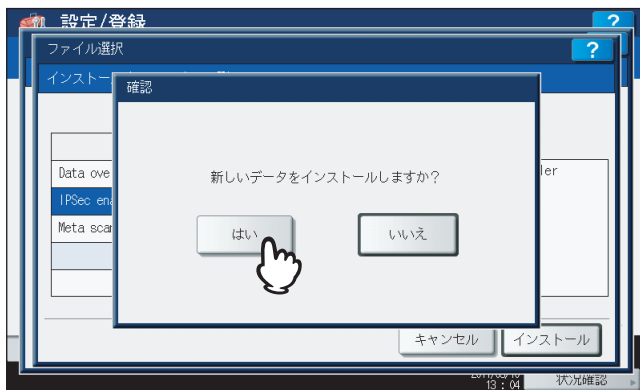
### 3 インストールするオプションを選択し、[インストール] を押します。



インストールの確認画面が表示されます。



#### 4 [はい] を押します。



インストールが開始されます。

#### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

#### 5 インストールが終了したら、[OK] を押します。



インストールしたオプションが、ライセンス管理画面に表示されます。

#### 補足

インストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました。もう一度実行しますか?」と表示されます。この場合には、[はい] を押して、インストールを再度実行してください。

#### 6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

#### 補足

設定を反映するため本機の再起動が必要になります。タッチパネルに「電源をいれ直してください」と表示されたら、操作パネルの[電源] ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

## ■ 言語設定

タッチパネルの表示言語の追加や削除を行います。また、このメニューから標準で使用する言語を切り替えることもできます。

### 補 足

- 工場出荷時には、以下の言語パックが標準でインストールされています。

日本語	米語	英語	ドイツ語	フランス語
スペイン語	イタリア語	デンマーク語	フィンランド語	ノルウェー語
スウェーデン語	オランダ語	ポーランド語	ロシア語	

- 新たに追加できる言語については、サービスエンジニアにお尋ねください。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



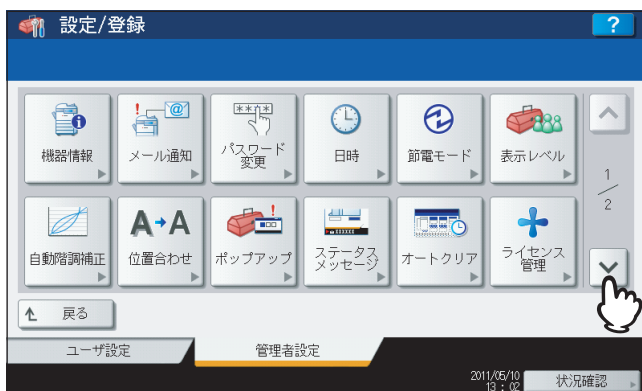
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

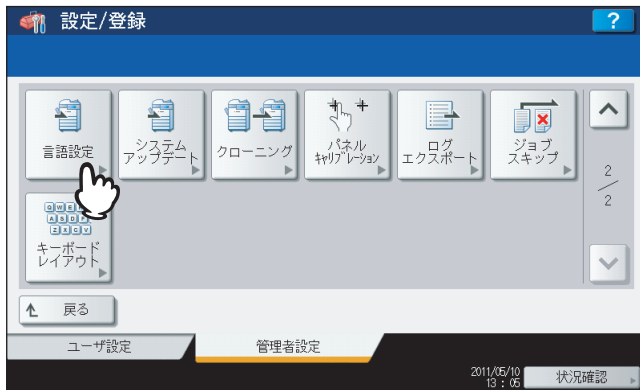
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 機器設定メニュー（1/2）で、 を押します。



機器設定メニュー（2/2）が表示されます。

### 3 [言語設定] を押します。



言語設定画面が表示されます。

### 4 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



- 📖 P.105 「表示言語を追加する」
- 📖 P.107 「表示言語を削除する」
- 📖 P.108 「標準で使用する言語を設定する」

#### 補 足

表示言語を追加する場合は、インストールしたい言語パックをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

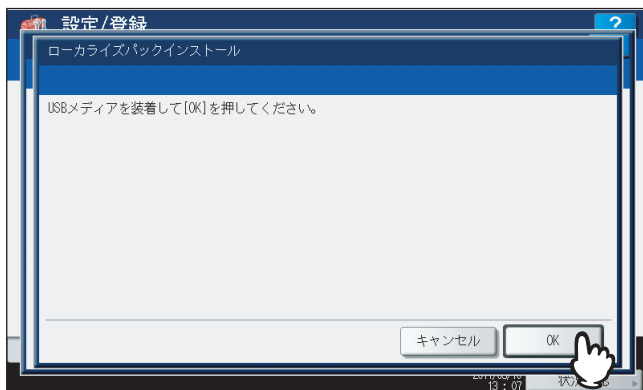
## 表示言語を追加する

### 1 [インストール] を押します。



ローカライズパックインストール画面が表示されます。

## 2 言語パックを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。

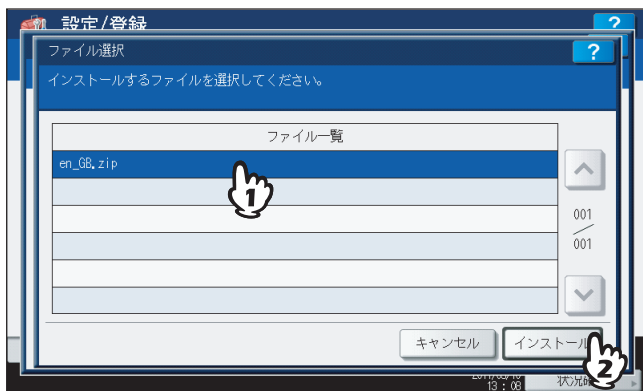


ファイル選択画面が表示されます。

### 補足

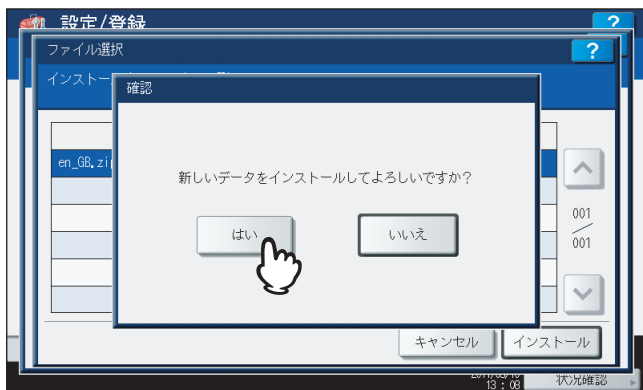
USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

## 3 インストールしたい言語パックを選択し、[インストール] を押します。



インストールの確認画面が表示されます。

## 4 [はい] を押します。

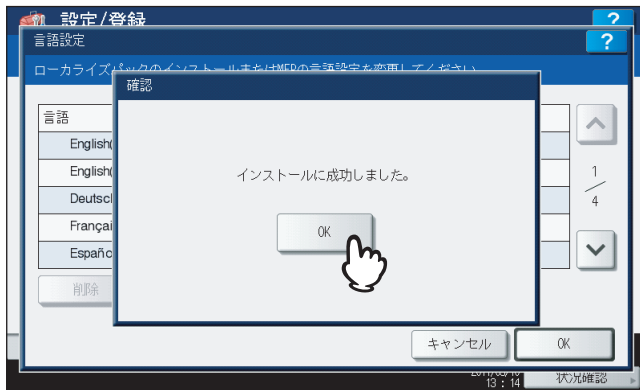


インストールが開始されます。

### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

## 5 インストールが終了したら、[OK] を押します。



機器設定メニュー (2/2) に戻ります。

### 補足

言語パックのインストールに失敗すると、警告画面に「インストールに失敗しました」と表示されます。[閉じる] を押して、操作を再度実行してください。

## 6 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。

### 表示言語を削除する

### 1 削除したい言語パックを選択し、[削除] を押します。

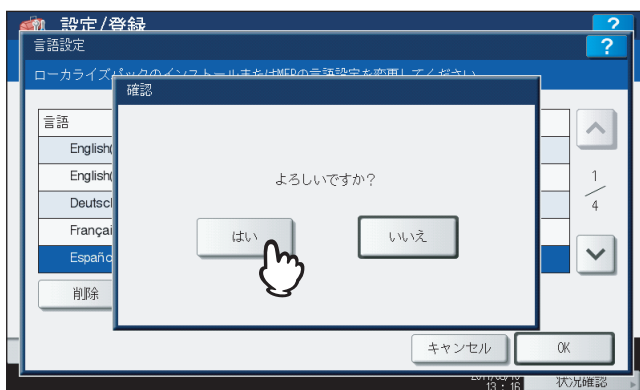


確認画面に「よろしいですか?」と表示されます。

### 注意

米語、英語および標準で使用している言語は、削除できません。

### 2 [はい] を押します。



削除を終了すると、言語設定画面に戻ります。

## 標準で使用する言語を設定する

- 1 標準で使いたい言語を選択し、[初期言語設定] を押します。



選択した言語の横に  が表示されます。



- 2 [OK] を押します。



設定を保存し、前の画面に戻ります。

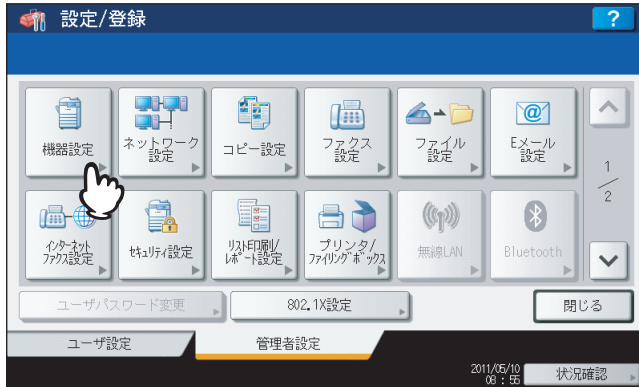
## ■ システムアップデート

本機のシステムをアップデートするためのファイルをインストールします。

### 補足

- ファイルの入手については、サービスエンジニアにお尋ねください。
- 操作を行う前に、アップデート用のファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。

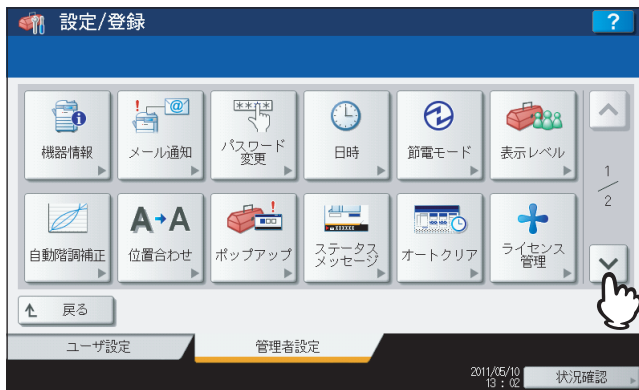


機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

### 補足

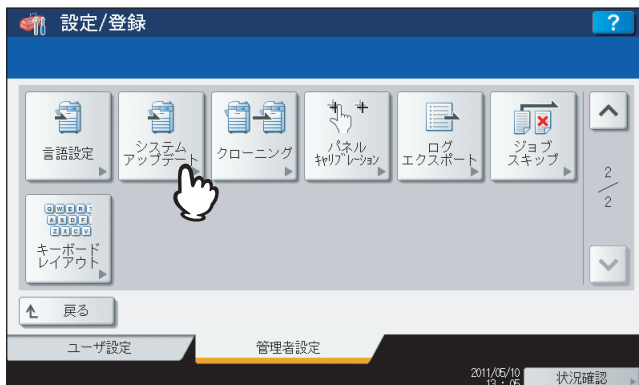
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
[P.73 「管理者設定メニューに入る」](#)

### 2 機器設定メニュー (1/2) で、 を押します。



機器設定メニュー (2/2) が表示されます。

### 3 [システムアップデート] を押します。



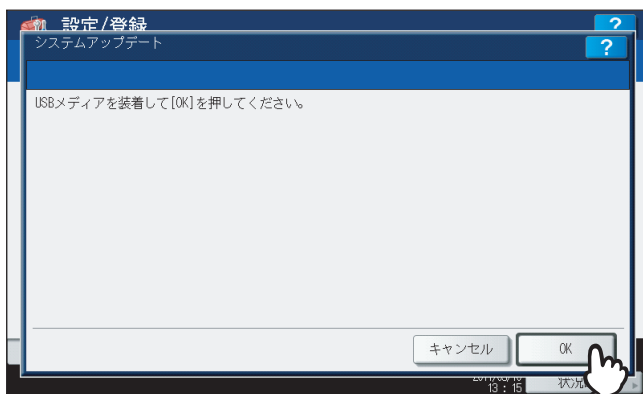
システムアップデート画面に現在インストールされているソフトウェアの一覧およびそれらのバージョンが表示されます。

#### 4 「インストール」を押します。



USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

#### 5 アップデート用ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK]を押します。

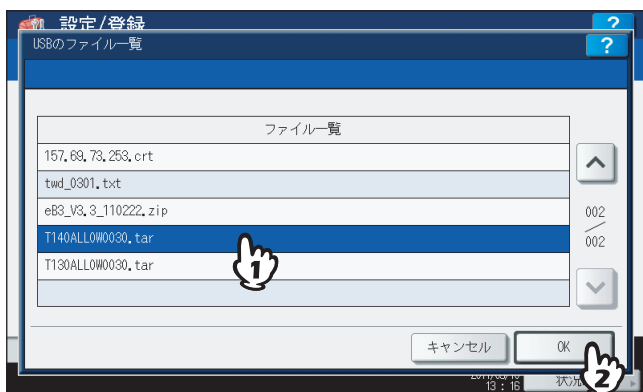


USBのファイル一覧画面が表示されます。

#### 補足

USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

#### 6 ファイルの種類を選択し、[OK]を押します。



システムアップデート画面が表示されます。

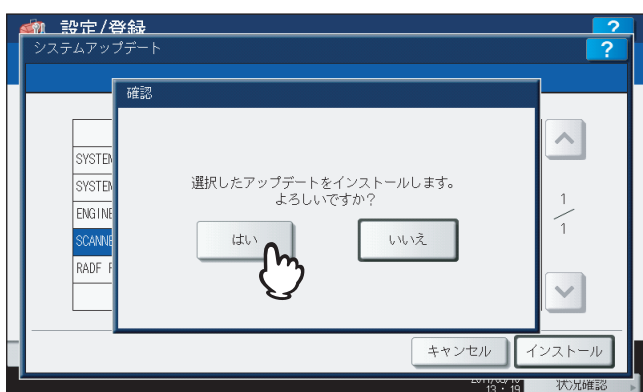


7 インストールしたいアップデート用のファイルを選択し、[インストール] を押します。



インストールの確認画面が表示されます。

8 [[はい] を押します。

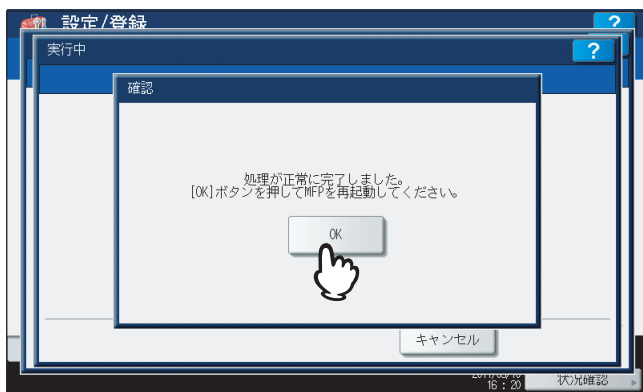


インストールが開始されます。

**注意**

- データの転送が完了するまで絶対に USB メディアを取り外さないでください。データの転送中に USB メディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [[はい] を押すと、警告画面に「他のジョブまたは管理者機能を実行中のため、処理できません。」と表示されます。この場合には [[閉じる] を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。

9 インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、[OK] を押し、本機を再起動します。



システムの更新処理が行われます。更新処理が完了すると、自動的に本機が再起動されます。

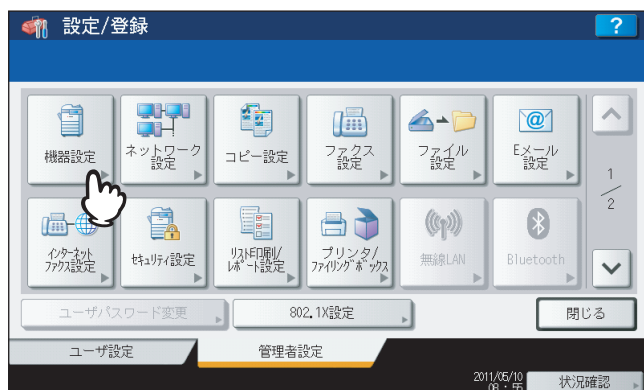
## ■ クローニング

クローニング機能を使って設定データやユーザデータの複製ファイルを作成します。また、その複製ファイルを他の同一シリーズのMFPにインストールすることができます。複数のMFPに同じ設定を施したい場合などに、便利な機能です。

### 注意

複製ファイルは、同一シリーズの機種に対して互換性がありますが、他シリーズの機種に対しては互換性がありません。たとえば、e-STUDIO4540Cで作成した複製ファイルは、e-STUDIO4540C Seriesの各機種へインストールすることができますが、e-STUDIO6550C Seriesの機種にインストールすることはできません。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



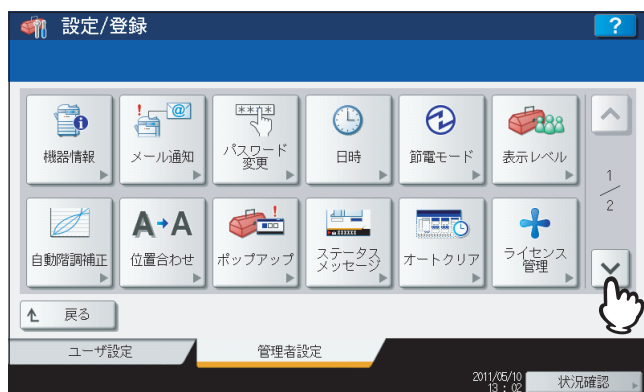
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 機器設定メニュー（1/2）で、 を押します。



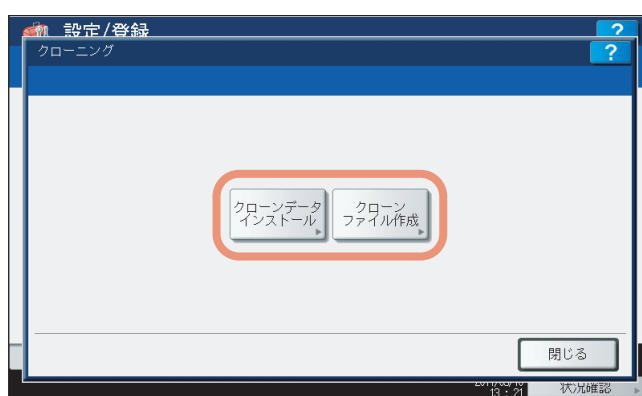
機器設定メニュー（2/2）が表示されます。

### 3 [クローニング] を押します。



クローニング画面が表示されます。

### 4 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



📖 P.113 「複製データをインストールする」

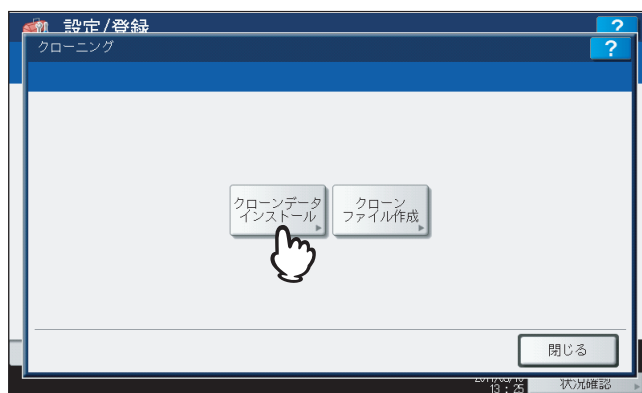
📖 P.117 「複製ファイルを作成する」

#### 補足

複製データをインストールする場合は、インストールしたい複製ファイルをあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

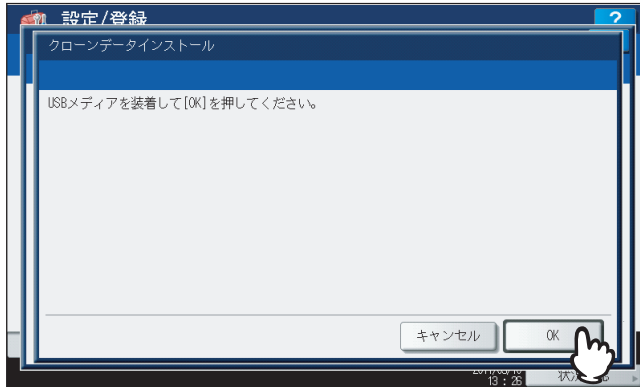
## 複製データをインストールする

### 1 [クローンデータインストール] を押します。



クローンデータインストール画面が表示されます。

## 2 複製ファイルを保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。

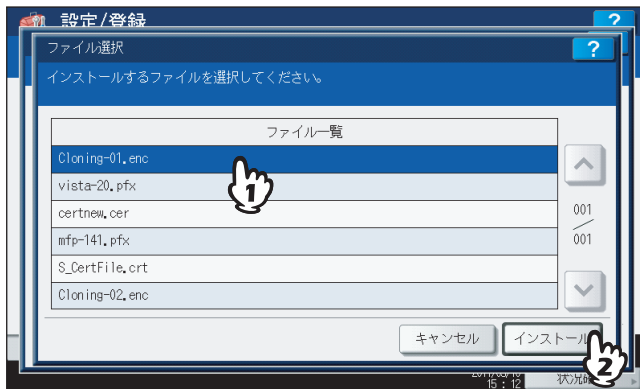


ファイル選択画面が表示されます。

### 補足

USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

## 3 インストールしたい複製ファイルを選択し、[インストール] を押します。

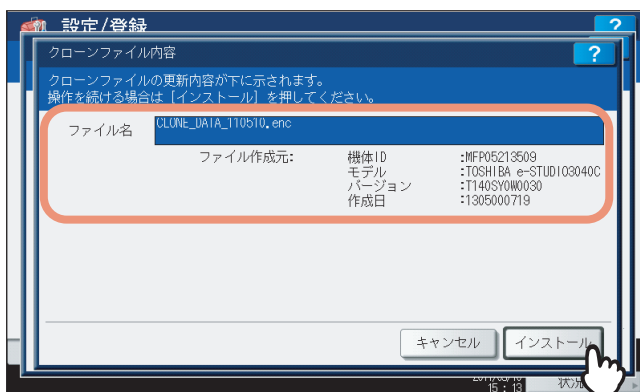


クローンファイル内容画面が表示されます。

### 注意

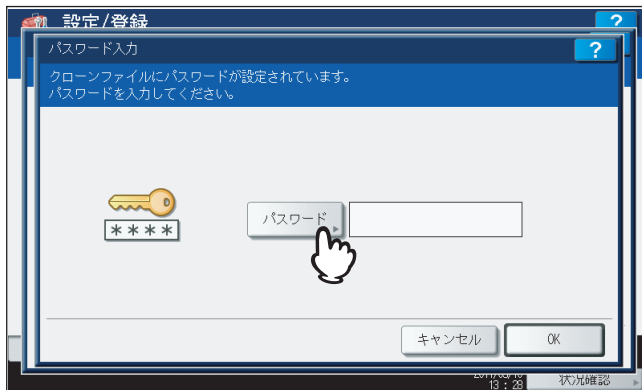
選択できるファイル数は、1操作につき1ファイルです。

## 4 ファイル名およびファイルコンテンツを確認し、[インストール] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

5 [パスワード] を押します。



文字入力画面が表示されます。

6 パスワードを入力し [OK] を押します。

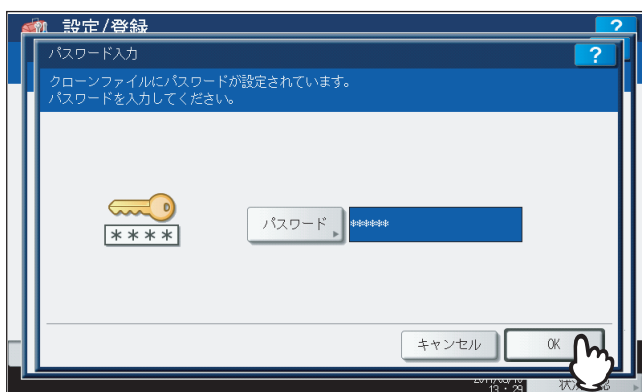


パスワード入力画面に戻ります。

補足

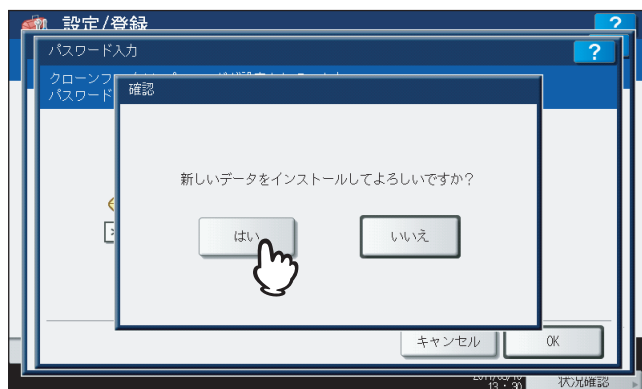
入力したパスワードは、\* (アスタリスク) で表示されます。数字の入力は、テンキーからも行えます。

7 [OK] を押します。



インストールの確認画面が表示されます。

## 8 [はい] を押します。

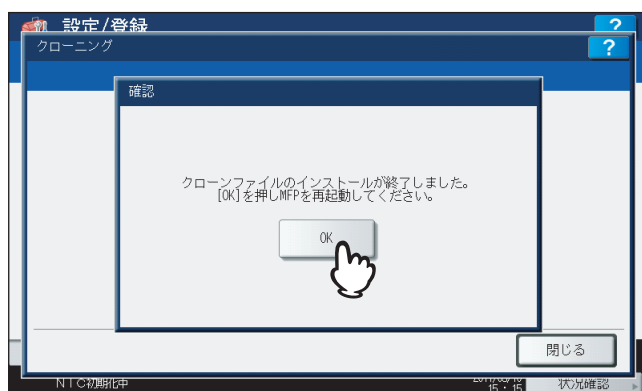


インストールが開始されます。

### 注意

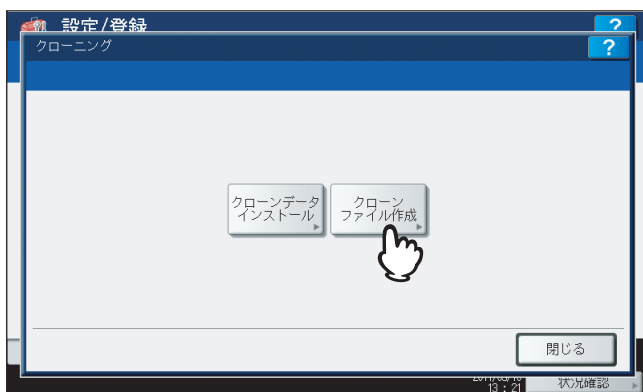
データの転送が完了するまで絶対にメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

## 9 インストールが終了したら、USBメディアを本機のUSBポートから取り外し、[OK] を押して本機を再起動します。



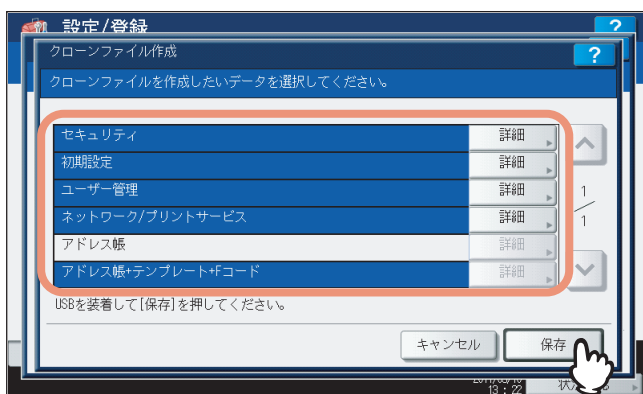
## 複製ファイルを作成する

### 1 [クローンファイル作成] を押します。



クローンファイル作成画面が表示されます。

### 2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、複製ファイルを作成するデータを選択して [保存] を押します。



保存画面が表示されます。

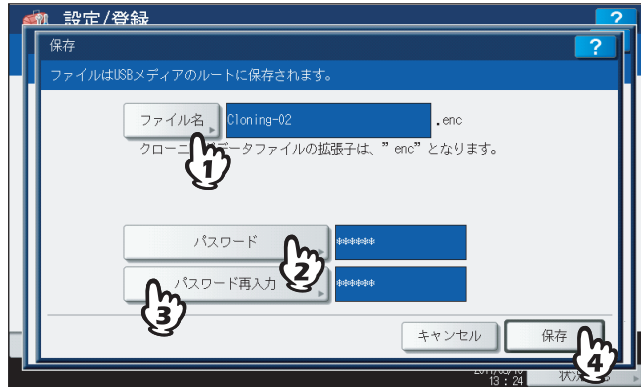
#### 補足

- USBポートの正確な位置については、**かんたん操作ガイド**を参照してください。
- 複製する必要のないデータは、データカテゴリのボタンを押し反転表示を解除してください。
- [詳細] を押すと、どのデータが複製されるかを確認することができます。

データカテゴリ	複製されるデータ
セキュリティ	セキュリティレベル、セキュアイレース、自己診断、暗号化、認証
初期設定	機器設定、コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、Eメール、共有フォルダ、プリンタ、メール通知、ログ設定、EWB設定
ユーザー管理	ユーザ、グループ、ロール、割当、部門コード、マイメニューのテンプレート/アドレス帳
ネットワーク/プリントサービス	ネットワーク設定、プリントサービス、無線LAN、Bluetooth、ディレクトリサービス
アドレス帳	アドレス帳
アドレス帳+テンプレート+Fコード	アドレス帳、テンプレート、Fコード

### 3 ファイル名を入力し、パスワードを設定したら保存します。

- 1) [ファイル名] を押し、ファイル名を入力します。  
ファイル名は、128文字以内で入力してください。
- 2) [パスワード] を押し、パスワードを入力します。
- 3) [パスワード再入力] を押し、パスワードを再度入力します。
- 4) [保存] を押します。



複製ファイルの作成が開始されます。

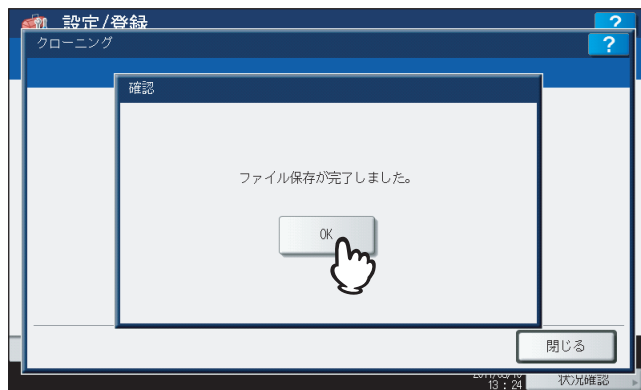
#### 補足

[ファイル名]、[パスワード] および [パスワード再入力] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確認してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

#### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

### 4 複製ファイルの作成が終了したら、[OK] を押します。



クローニング画面に戻ります。

#### 補足

- 複製ファイルの作成に失敗すると、警告画面に「ファイルの保存に失敗しました。」と表示されます。この場合には、[閉じる] を押して、操作を再度実行してください。
- 複製ファイルの保存中にUSBメディアのメモリの空き容量がなくなると、注意画面に「USBが容量オーバーです。交換してください。」と表示されます。この場合には、新しいUSBメディアに交換し操作を再度実行してください。

### 5 USBメディアを本機のUSBポートから取り外します。



## ■ パネルキャリブレーション

タッチパネル上のボタンが押しにくいときに、位置を補正します。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [機器設定] を押します。



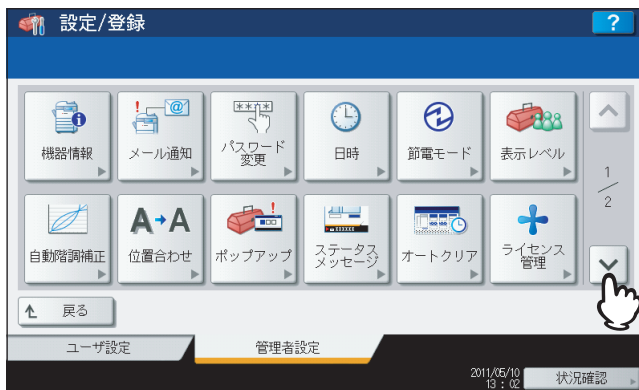
機器設定メニュー (1/2) が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

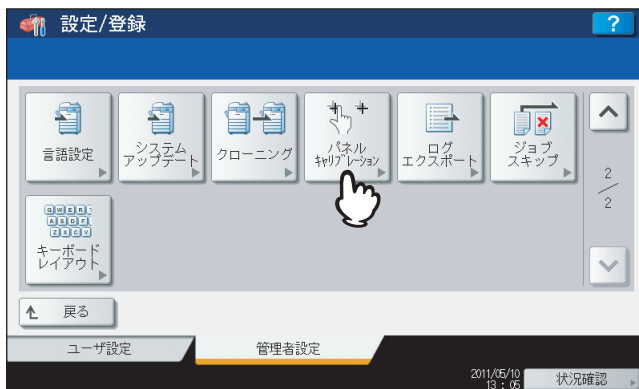
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 機器設定メニュー (1/2) で、 を押します。



機器設定メニュー (2/2) が表示されます。

### 3 [パネルキャリブレーション] を押します。



パネルキャリブレーション操作画面 (1) が表示されます。

#### 4 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。



パネルキャリブレーション操作画面 (2) が表示されます。

#### 5 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。



パネルキャリブレーション操作画面 (3) が表示されます。

#### 6 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。



パネルキャリブレーション操作画面 (4) が表示されます。

## 7 タッチパネルのメッセージに従い、ペン先で+字に触れます。



パネルキャリブレーション操作を完了し、機器設定メニュー (2/2) に戻ります。

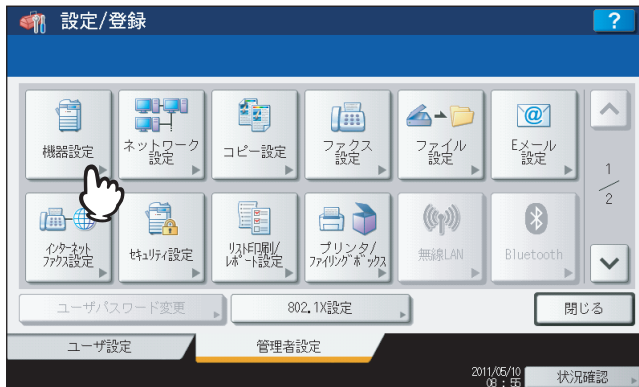
### 注意

パネルキャリブレーションを操作中は、他の機能でのタッチパネル操作は無効となります。パネルキャリブレーションを操作中に本機の前面カバーを開けた際にトナー交換のガイダンスが表示された場合は、前面カバーを閉じてパネルキャリブレーション操作を終了してから、トナーの交換を行ってください。

## ■ ログエクスポート

状況確認画面のログ一覧に表示される各操作のログ（印刷／送信／受信／スキャン）を、USBメディアにエクスポートします。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



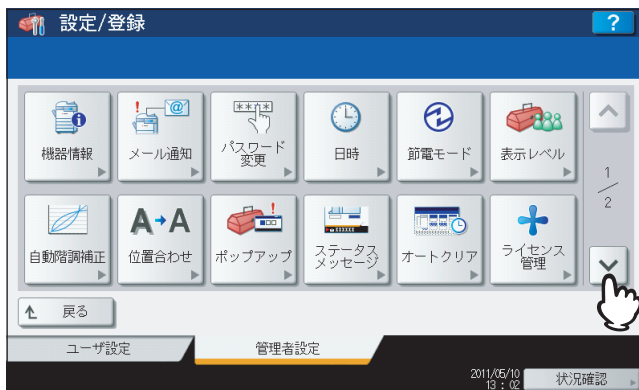
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 機器設定メニュー（1/2）で、を押します。



機器設定メニュー（2/2）が表示されます。

### 3 【ログエクスポート】を押します。



ログエクスポート画面が表示されます。

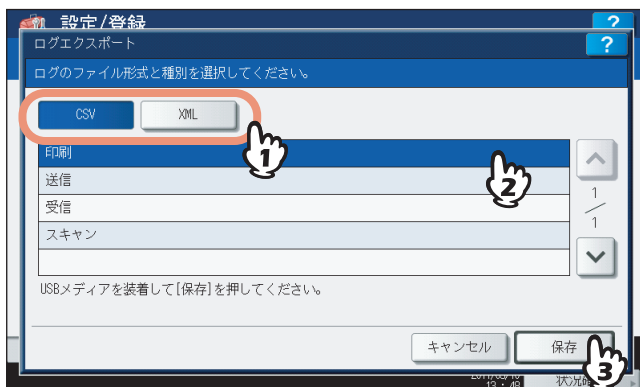
### 4 USBメディアを本機のUSBポートに接続します。

#### 補足

USBポートの正確な位置については、**かんたん操作ガイド**を参照してください。

## 5 ログのエクスポートを開始します。

- 1) ログをCSV形式でエクスポートするか、XML形式でエクスポートするかを選択します。
- 2) エクスポートするログを選択します。
- 3) [保存] を押すと、エクスポートを開始します。



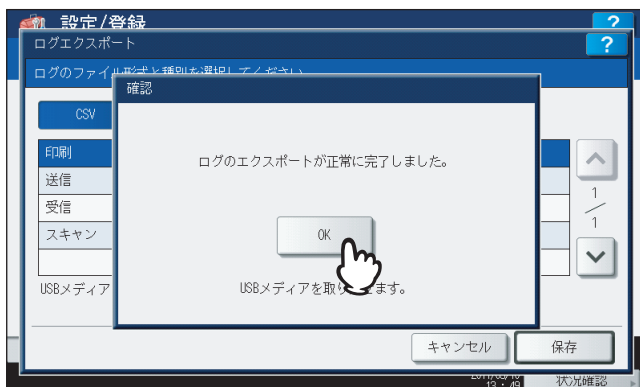
### 補足

1操作につき選択できるログの種類は、1種類です。

### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

## 6 エクスポートが終了したら、[OK] を押します。



## 7 USBメディアを取り外します。

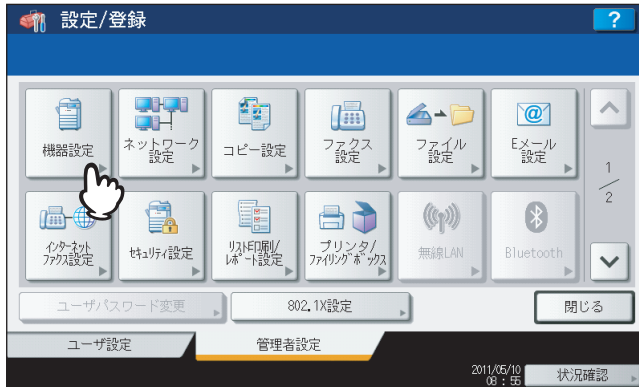
## ■ ジョブスキップ

このメニューでは、ジョブスキップ機能を有効にするかを選択します。この機能を有効にすると、コピーや印刷ができない条件が発生した場合に、保留の原因となったジョブをスキップし、他のジョブを優先して出力することができます。

### 補 足

ジョブが保留された原因を解除する方法については、コピーガイドおよび印刷ガイドを参照してください。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【機器設定】を押します。



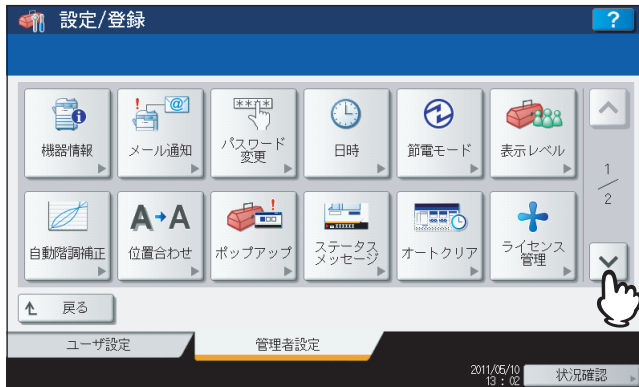
機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

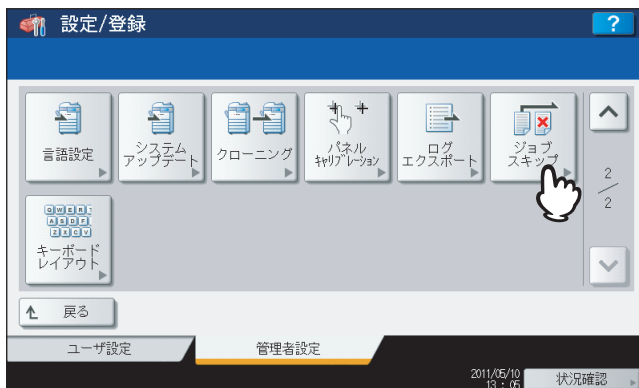
☞ P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 機器設定メニュー（1/2）で、 を押します。



機器設定メニュー（2/2）が表示されます。

### 3 【ジョブスキップ】を押します。



ジョブスキップ画面が表示されます。

4 [ON] を押してジョブスキップ機能を有効にし、[OK] を押して設定を保存します。



ジョブスキップ機能を使用しない場合は、[OFF] を押し、[OK] を押して設定を終了してください。

## ■ キーボードレイアウト

タッチパネルに表示される文字入力画面のキーボードレイアウトを変更します。

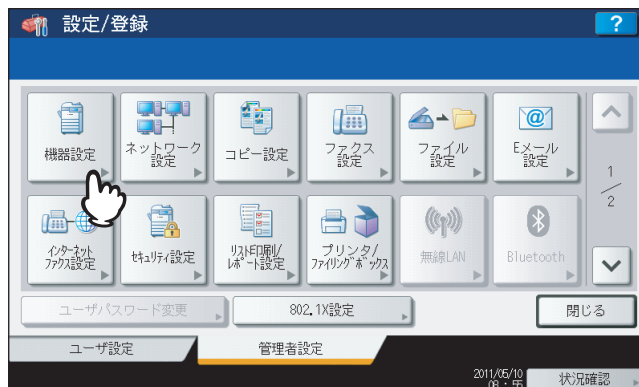
### 注意

- タッチパネルの表示言語が日本語に設定されている場合は、パスワードやメールアドレスを入力するための「Basic」キーボードのレイアウトを変更することができます。  
英数字を入力するための下記キーボード（「英字入力」キーボード）のレイアウトは「QWERTY」配列固定です。



- タッチパネルの表示言語を切り替える方法は、以下のページを参照してください。  
P.9 「言語切替」

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の「機器設定」を押します。

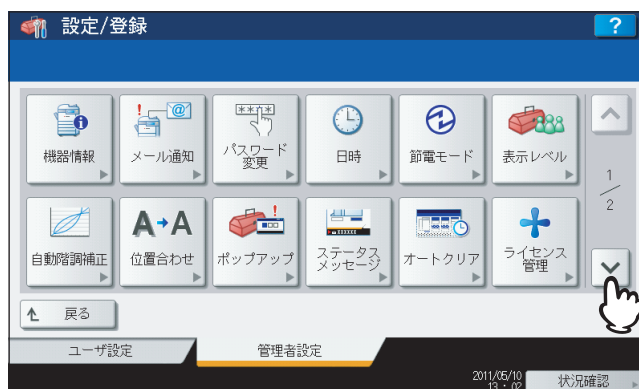


機器設定メニュー（1/2）が表示されます。

### 補足

- 管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 機器設定メニュー（2/2）で、 を押します。



機器設定メニュー（2/2）が表示されます。



### 3 [キーボードレイアウト] を押します。



キーボードレイアウト画面が表示されます。

### 4 使用したいキーボードレイアウトを選択し、[OK] を押します。



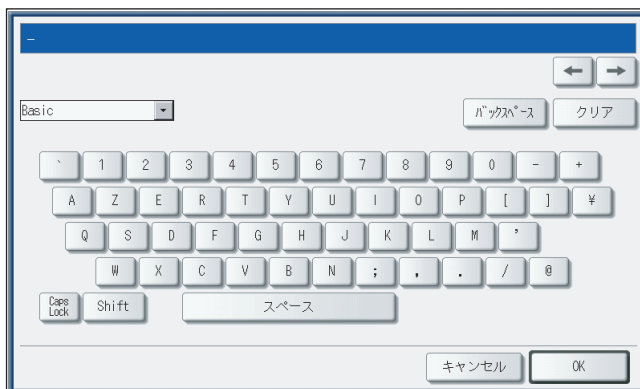
- 機器設定メニュー (2/2) に戻ります。
- 「Basic」キーボードのレイアウトは、以下のように切り替わります。
  - [QWERTY] を選択した場合



- [QWERTZ] を選択した場合



- [AZERTY] を選択した場合



このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.129 「TCP/IPの設定 (IPv4)」
- P.134 「TCP/IPの設定 (IPv6)」
- P.143 「IPX/SPXの設定」
- P.144 「NetWare設定」
- P.146 「SMBの設定」
- P.148 「AppleTalkの設定」
- P.150 「HTTPの設定」
- P.152 「Ethernetの設定」
- P.153 「LDAPおよびフィルタリング機能の設定」
- P.155 「IPセキュリティの設定」
- P.157 「ネットワーク状態確認」

### 注意

ネットワーク設定では、設定変更後に[更新]を押し、NICの初期化を行います。[更新]を押し、数秒後にタッチパネルに「NICの初期化中」と表示されますが、そのメッセージが表示されるまでの時間は設定によって異なります。

## ■ TCP/IPの設定 (IPv4)

TCP/IPプロトコルの設定を行います。WebベースユーティリティのTopAccessやファイリングボックス、またはネットワーク印刷、ネットワークスキャン、インターネットファクスなど、本機のネットワーク機能を利用するにはTCP/IPプロトコルを設定する必要があります。

TCP/IPの設定では、アドレス設定方法の選択、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの割り付け(手で割り付ける場合)を設定します。

ご利用のネットワークの環境によって、TCP/IPプロトコルの設定方法は異なります。

### • DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する場合：

本機に割り付けるTCP/IP設定が分からない場合は、アドレス設定方法で「自動」を選択します。アドレス設定方法で「自動」を選択すると、ネットワークがDHCPをサポートしている場合は、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得します。ネットワークがDHCPをサポートしていない場合は、AutoIP機能を使って適当なIPアドレスを本機に割り付けます。ただし、ネットワークの途中にルーターがある場合はAutoIP機能が動作しないことがあります。

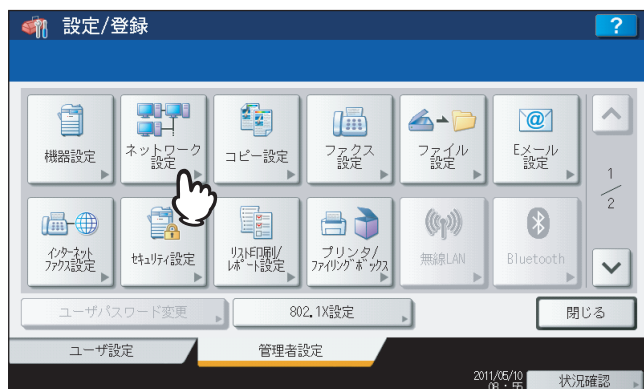
### • DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する場合：

DHCPサーバーがあるローカルエリアネットワークに接続し、AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使用して本機のTCP/IPを設定したい場合は、アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択します。アドレス設定方法で「自動IPなし」を選択すると、DHCPサーバーから本機のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、WINSプライマリ、WINSセカンダリ、POP3サーバーアドレス、およびSMTPサーバーアドレスを取得し、AutoIPによるIPアドレスの割り付けは無効にします。

### • 固定IPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合：

各デバイスに固定のIPアドレスを使用するローカルエリアネットワークに接続する場合は、アドレス設定方法で「マニュアル」を選択し、IPアドレスを指定します。必要に応じてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイも設定します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

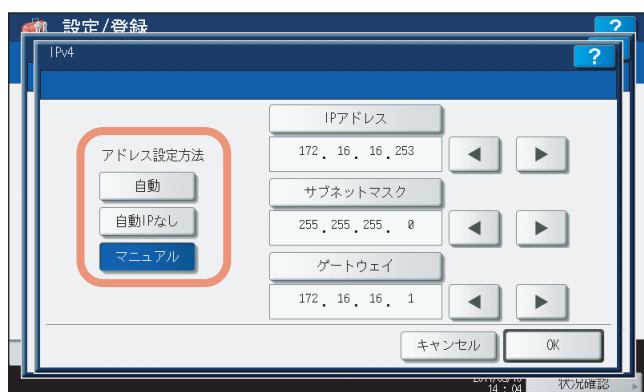
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [IPv4] を押します。



IPv4画面が表示されます。

## 3 アドレス設定方法に応じて、操作を続けます。



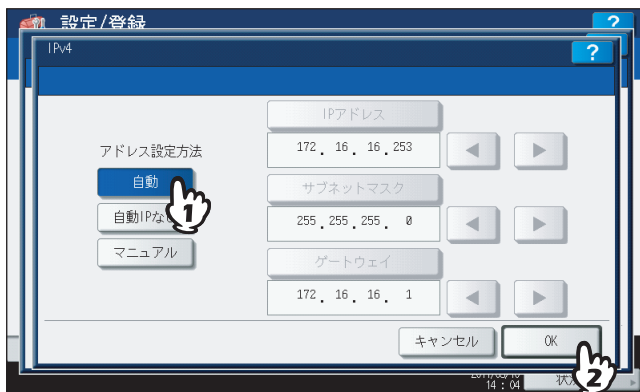
📖 P.131 「DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する」

📖 P.132 「DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する」

📖 P.132 「固定IPアドレスを使用してTCP/IPを設定する」

## DHCPまたはAutoIPでTCP/IPを設定する

- 1 「アドレス設定方法」で [自動] を押し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

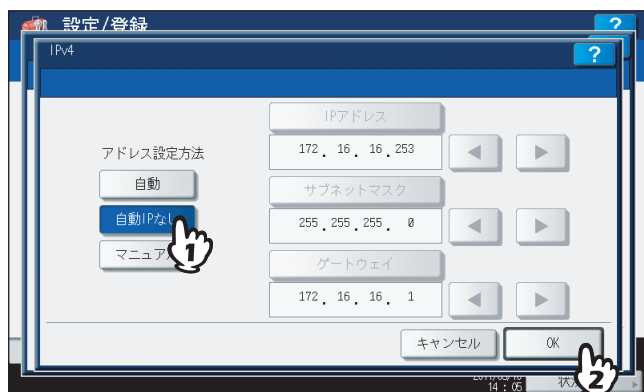
- 2 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

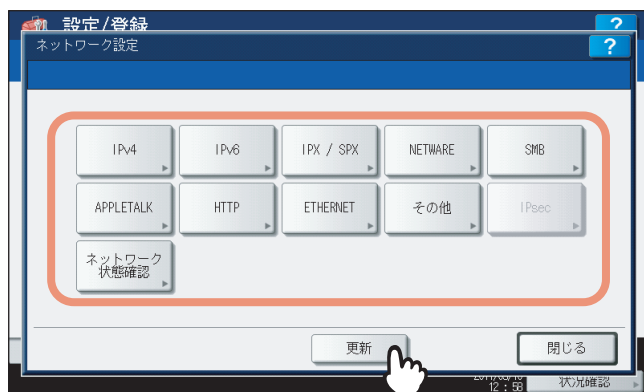
## DHCPのみを使用してTCP/IPを設定する

- 1 「アドレス設定方法」で [自動IPなし] を押し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

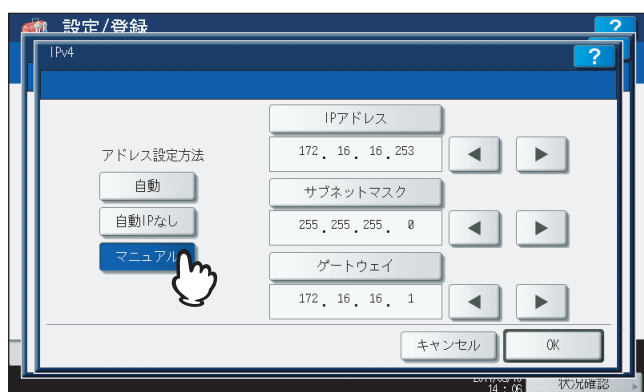
- 2 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

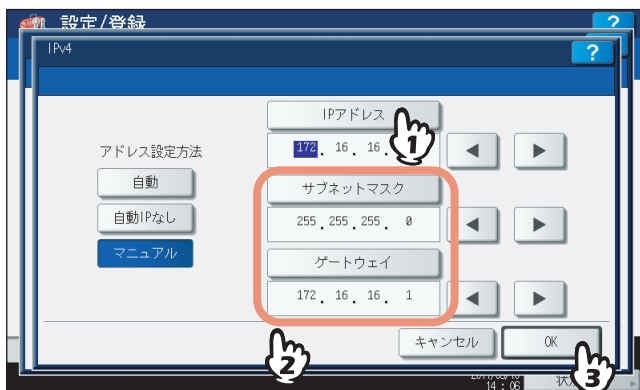
## 固定IPアドレスを使用してTCP/IPを設定する

- 1 「アドレス設定方法」で [マニュアル] を押します。



## 2 下記項目を入力し、設定内容を保存します。

- 1) [IPアドレス] を押して、テンキーで本機のIPアドレスを入力します。
- 2) 必要に応じて、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイも入力します。
- 3) [OK] を押します。

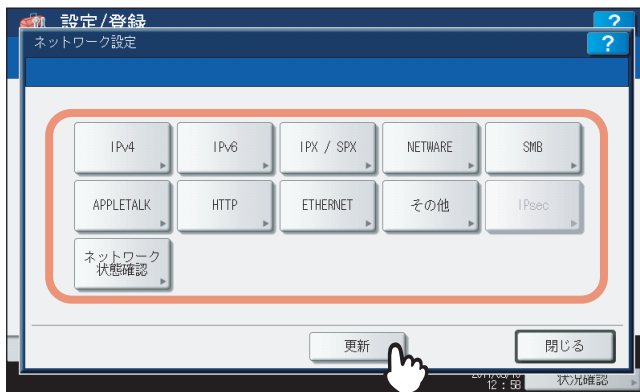


ネットワーク設定メニューに戻ります。

### 補足

入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

## 3 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ TCP/IPの設定 (IPv6)

IPv6の設定を行います。

IPv6の設定では、IPv6プロトコルの有効/無効、アドレス設定方法の選択をすることにより、IPv6アドレスなどを設定します。

アドレス設定方法の選択によって、IPv6アドレスの取得方法は異なります。

- **【手動】を選択した場合：**

IPv6アドレス、プレフィックスおよびデフォルトゲートウェイを手動で設定します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

📖 P.134 「手動でIPv6の設定を行う」

- **【ステートレス】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーおよびルーターからIPv6アドレスを自動で取得します。最大9個のIPv6アドレスを登録することができます。

📖 P.137 「自動でIPv6の設定を行う（ステートレスのネットワーク環境）」

### 補 足

ルーターからは最大7個のIPv6アドレスを取得できます。DHCPv6サーバーから取得できるIPv6アドレスは、1個です。また、1つのリンクローカルアドレスが、自動的に生成されます。

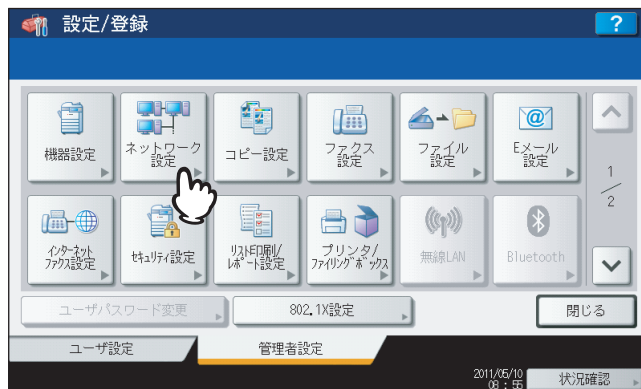
- **【ステートフル】を選択した場合：**

DHCPv6サーバーからIPv6アドレスを自動で取得します。登録できるIPv6アドレスは、1個です。

📖 P.140 「自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）」

## 手動でIPv6の設定を行う

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ネットワーク設定】を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

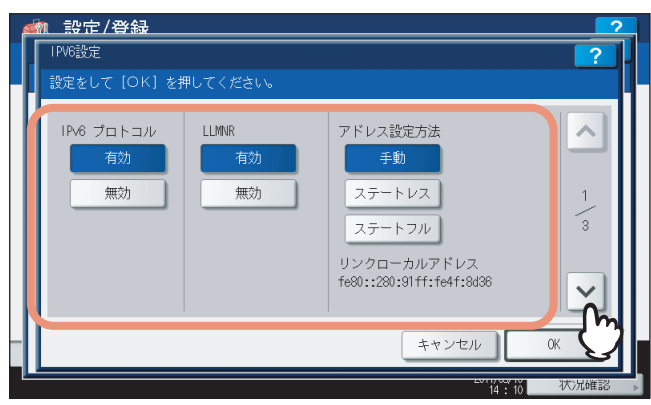


## 2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

## 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**IPv6プロトコル**：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

**LLMNR**：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを使用する場合は、[有効] を押しします。使用しない場合は、[無効] を押しします。

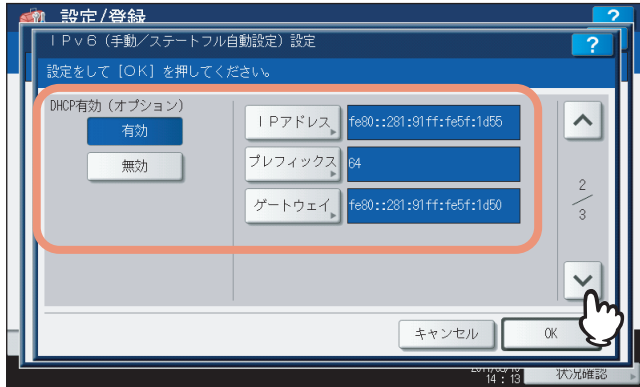
**アドレス設定方法**：IPv6アドレスの設定方法に [手動] を選択します。

**リンクローカルアドレス**：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

### 注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- 「LLMNR」の [有効] / [無効] は、「IPv6プロトコル」で [有効] を選択すると使用できます。

#### 4 下記項目を設定し、 を押します。



**DHCP有効 (オプション)**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報（DNSサーバーなどのIPv6アドレス）を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

**[IPv6アドレス]**：本機のIPv6アドレスを入力します。

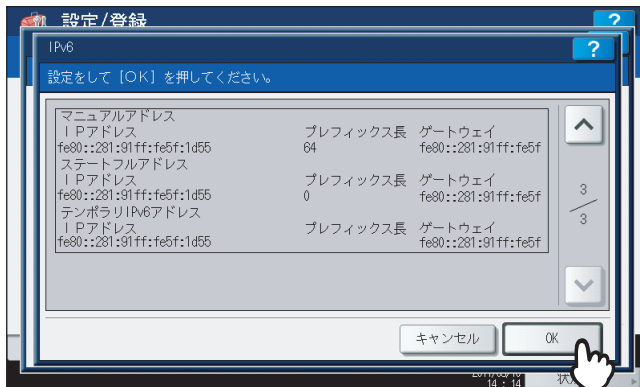
**[プレフィックス]**：IPv6アドレスのプレフィックスを入力します。

**[ゲートウェイ]**：デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

#### 補足

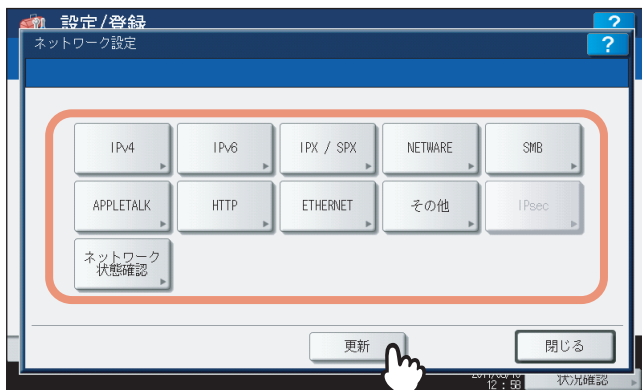
[IPv6アドレス]、[プレフィックス] および [ゲートウェイ] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

#### 5 設定内容を確認し、[OK] を押します。



ネットワーク設定メニューに戻ります。

6 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

補足

重複したIPv6アドレスがDAD (Duplicate Address Detection) 機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

自動でIPv6の設定を行う (ステートレスのネットワーク環境)

1 管理者設定メニュー (1/2) の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

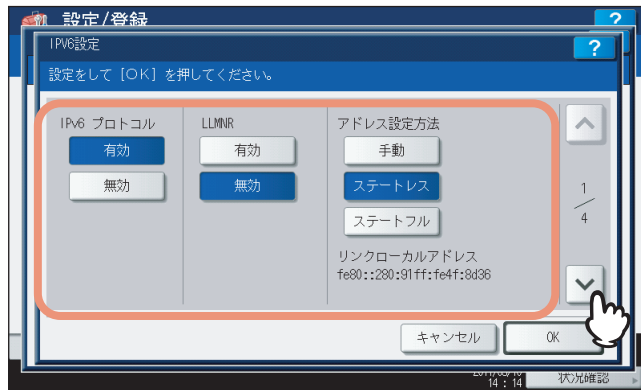
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
[P.73 「管理者設定メニューに入る」](#)

2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、 を押します。



**IPv6プロトコル**：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

**LLMNR**：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを使用する場合は、[有効] を押し、使用しない場合は、[無効] を押しします。

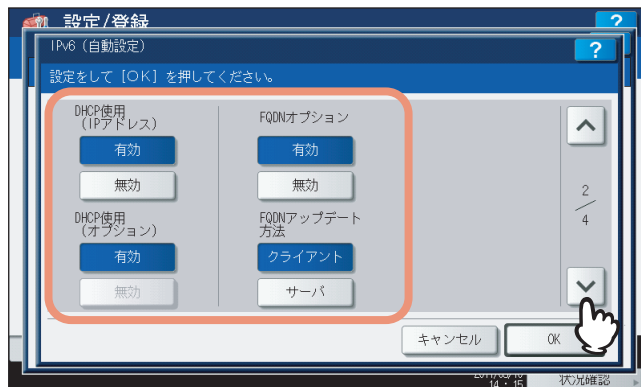
**アドレス設定方法**：IPv6アドレスの設定方法に [ステートレス] を選択します。

**リンクローカルアドレス**：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

#### 注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- [LLMNR] の [有効] / [無効] は、「IPv6プロトコル」で [有効] を選択すると使用できます。

### 4 下記項目を設定し、 を押します。



**DHCP使用 (IPアドレス)**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用する場合は、[有効] を押し、使用しない場合は、[無効] を押しします。

**DHCP使用 (オプション)**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、[有効] を押し、使用しない場合は、[無効] を押しします。

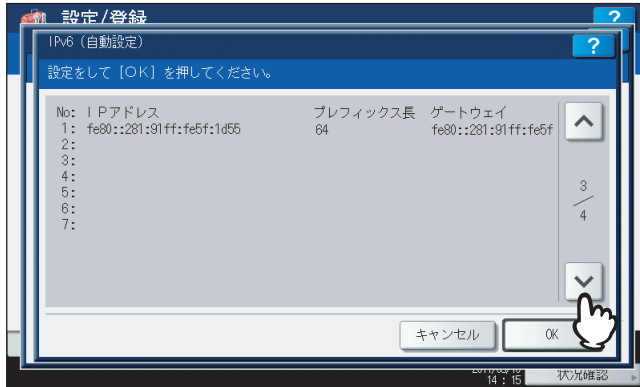
**FQDNオプション**：DNSを使用してFQDN (Fully Qualified Domain Name : 完全修飾ドメイン名) を設定する場合は、[有効] を押し、設定しない場合は、[無効] を押しします。

**FQDNアップデート方法**：本機からDNSを更新する場合は、[クライアント] を押し、DHCPv6サーバーからDNSを更新する場合は、[サーバ] を押しします。

#### 補足

DHCP使用 (IPアドレス) を有効にすると、DHCP使用 (オプション) は自動的に有効に設定されます。

5 設定内容を確認し、**▼** を押します。



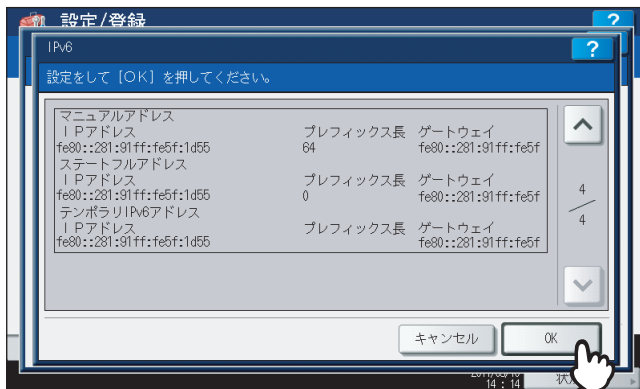
補 足

ルーターから取得したIPv6アドレスが表示されます。最大7個のIPv6アドレスを保持することができます。

注 意

本機がMフラグに「0」が設定されているRA (Router Advertisement) をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作しません。ルーターの設定でRAのMフラグの設定を「1」に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために操作パネルの [電源] ボタンを使って本機の電源を入れ直してください。

6 設定内容を確認し、**[OK]** を押します。

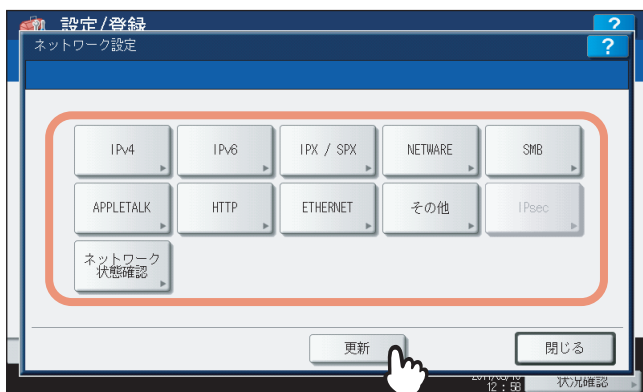


ネットワーク設定メニューに戻ります。

補 足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

## 7 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

### 補足

重複したIPv6アドレスがDAD（Duplicate Address Detection）機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。

## 自動でIPv6の設定を行う（ステートフルのネットワーク環境）

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の[ネットワーク設定]を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

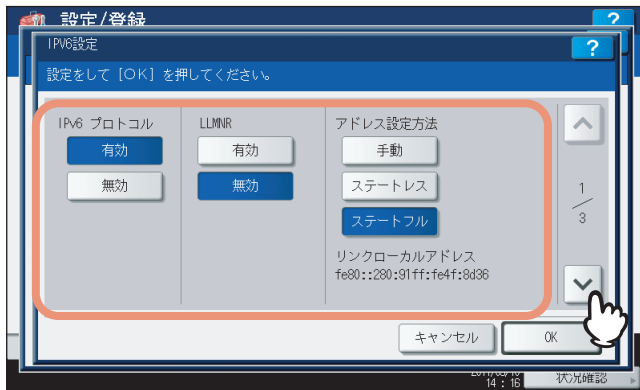
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [IPv6] を押します。



IPv6設定画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、 を押します。



**IPv6プロトコル**：[有効] を押して、IPv6プロトコルを有効にします。

**LLMNR**：LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルを使用する場合は、[有効] を押しします。使用しない場合は、[無効] を押しします。

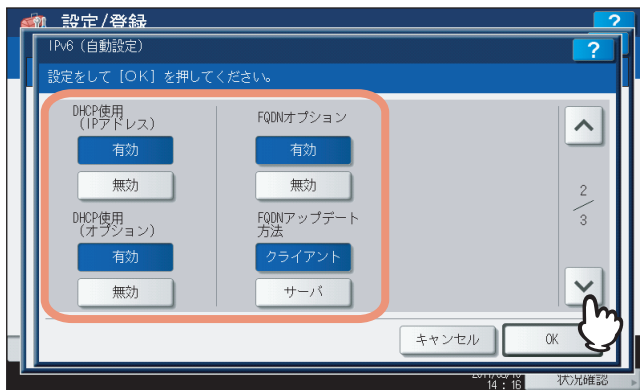
**アドレス設定方法**：IPv6アドレスの設定方法に [ステートフル] を選択します。

**リンクローカルアドレス**：IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。

#### 注意

- リンクローカルアドレスは、ルーターを超えたネットワークには接続できません。
- [LLMNR] の [有効] / [無効] は、「IPv6プロトコル」で [有効] を選択すると使用できます。

### 4 下記項目を設定し、 を押します。



**DHCP使用 (IPアドレス)**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用する場合は、[有効] を押しします。使用しない場合は、[無効] を押しします。

**DHCP使用 (オプション)**：DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のオプション情報 (DNSサーバーなどのIPv6アドレス) を使用するかどうかを選択します。使用する場合は、[有効] を押しします。使用しない場合は、[無効] を押しします。

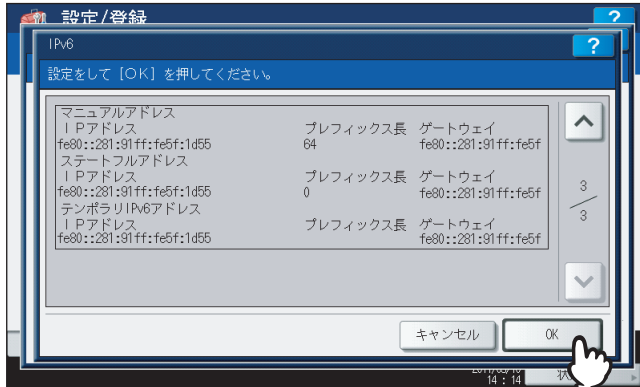
**FQDNオプション**：DNSを使用してFQDN (Fully Qualified Domain Name : 完全修飾ドメイン名) を設定する場合は、[有効] を押しします。設定しない場合は、[無効] を押しします。

**FQDNアップデート方法**：本機からDNSを更新する場合は、[クライアント] を押しします。DHCPv6サーバーからDNSを更新する場合は、[サーバ] を押しします。

#### 注意

DHCP使用 (IPアドレス) とDHCP使用 (オプション) の両方を無効にすることはできません。

## 5 設定内容を確認し、[OK] を押します。

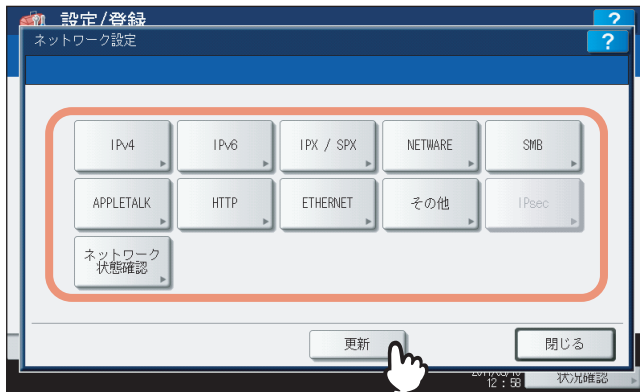


ネットワーク設定メニューに戻ります。

### 補足

DHCPv6サーバーから取得したIPv6アドレスが表示されます。

## 6 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

### 補足

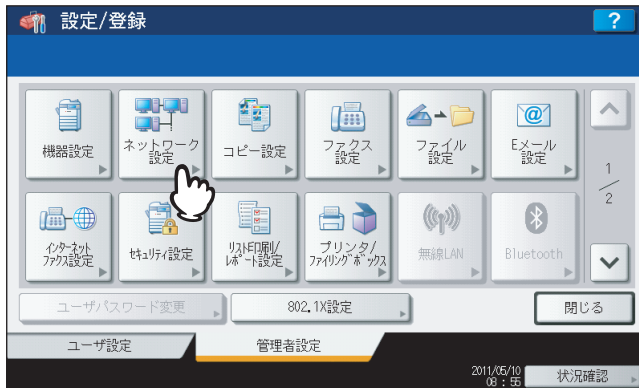
重複したIPv6アドレスがDAD（Duplicate Address Detection）機能により検知された場合は、タッチパネルに「IPv6アドレスが重複しています」と表示されます。



## ■ IPX/SPXの設定

IPX/SPXプロトコルを設定します。IPX/SPXプロトコルは、通常NetWareのファイルサーバーと通信を行う場合に設定します。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補足

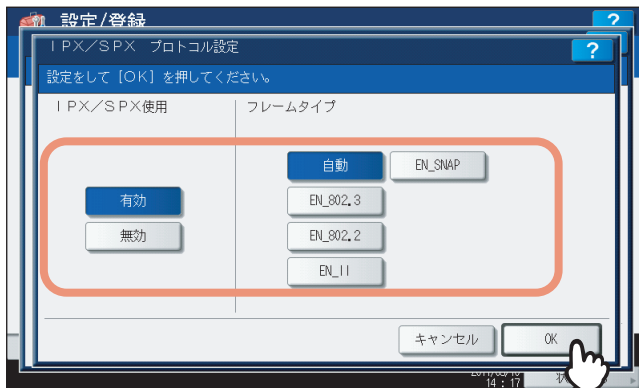
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
 ④ P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [IPX/SPX] を押します。



IPX/SPXプロトコル設定画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**IPX/SPX使用**：IPX/SPXプロトコルを使用する場合は、[有効]を押します。使用しない場合は、[無効]を押します。  
**フレームタイプ**：[自動]を押して、自動的に適切なフレームタイプを検出するか、特定のフレームタイプボタンを押します。使用するフレームタイプが分からない場合は、[自動]を選択します。

#### 4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

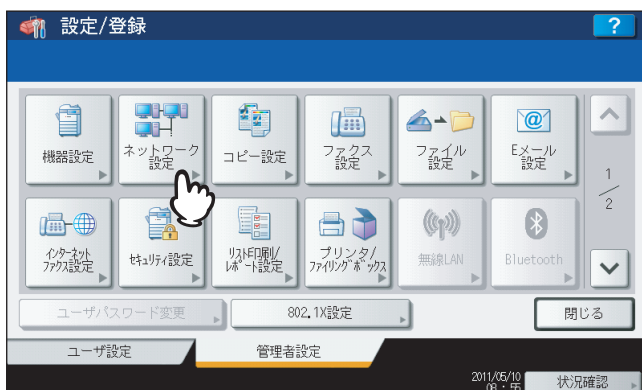
### ■ NetWare設定

接続するNetWare構成を設定します。

#### 注意

Novell印刷用のNetWareファイルサーバーを使用する場合は、必ず設定してください。

#### 1 管理者設定メニュー（1/2）の[ネットワーク設定]を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

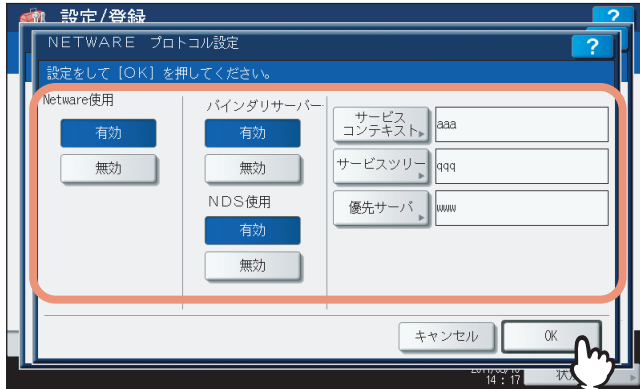
[P.73 「管理者設定メニューに入る」](#)

#### 2 [NETWARE] を押します。



NETWAREプロトコル設定画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



- Netware使用**：NetWareプロトコルを使用するかを選択します。
- バインダリサーバー**：NetWareファイルサーバーとバインダリモードの通信を可能にするかを選択します。
- NDS使用**：NetWareファイルサーバーとNDSモードの通信を可能にするかを選択します。
- [サービスコンテキスト]**：NetWare プリントサーバーがあるNDSコンテキストを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
- [サービスツリー]**：NDSツリーを入力します。NDSモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、必ず設定してください。
- [優先サーバ]**：NetWareファイルサーバー名を入力します。バインダリモードでNetWareファイルサーバーに接続する場合は、設定することをお勧めします。

#### 補 足

- [サービスコンテキスト]、[サービスツリー] および [優先サーバ] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。
- バインダリモードとNDSモードは同時に有効にすることができます。

### 4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ SMBの設定

SMBネットワークの各プロパティを設定し、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスや、SMB印刷を有効にします。SMBを有効にすると、SMB印刷が利用可能になるほか、本機の共有フォルダを参照できるようになります。また、異なるサブネット間のファイル共有やプリンタ共有をWINSサーバーを使って解決している場合は、WINSサーバーアドレスを指定します。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ネットワーク設定】を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

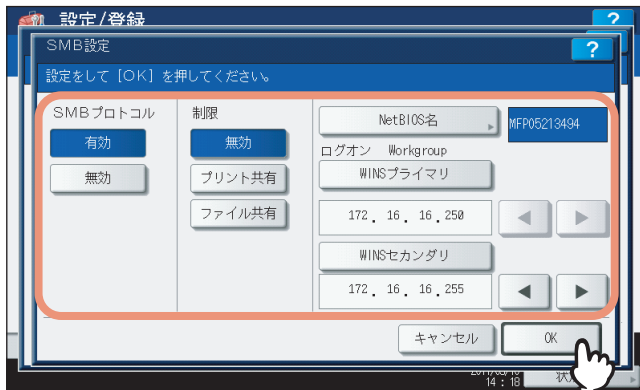
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [SMB]を押します。



SMB設定画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**SMBプロトコル**：SMBを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。[有効] を選択した場合は、[制限] で制限する機能を選択してください。

**制限**：プリンタ/ファイル共有を制限するかを設定します。下記項目のいずれかひとつを選択することができます。

- **[無効]**：プリンタ/ファイル共有を制限しません。SMB印刷と本機の共有フォルダの参照が有効になります。
- **[プリント共有]**：SMB印刷を無効にします。
- **[ファイル共有]**：本機の共有フォルダの参照を無効にします。

**[NetBIOS名]**：Windowsネットワーク上で表示される本機の名称を入力します。工場出荷時には、「MFP-<NIC シリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。

**ログオン**：本機が参加しているWindowsネットワーク環境を表示します。本機がワークグループネットワークに参加している場合は、「workgroup」を表示し、Windowsドメインネットワーク（NTドメイン、またはActive Directoryドメイン）に参加している場合は、「domain」を表示します。「workgroup」または「domain」の設定はTopAccessからのみ変更できます。変更方法の詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

**[WINSプライマリ]**：このボタンを押して、テンキーからプライマリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。異なるサブネットからNetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。

入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

**[WINSセカンダリ]**：このボタンを押して、テンキーからセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを入力します。WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要がある場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定してください。プライマリWINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。

入力欄の移動は矢印ボタンを使います。

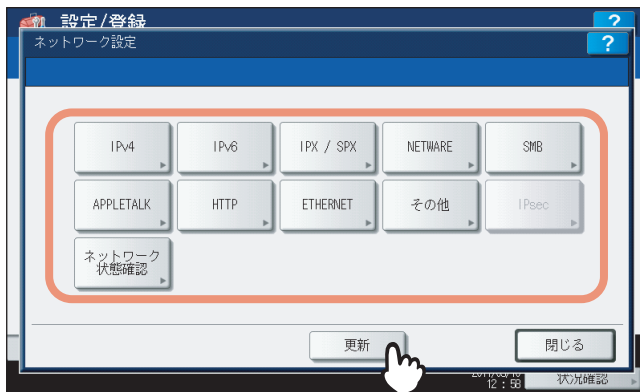
#### 補足

[NetBIOS名] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 注意

- 「SMBプロトコル」で「無効」、または「制限」で「ファイル共有」を選択した場合は、本機共有フォルダへの保管機能は無効になります。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機のSMBの設定の「ログオン」が「workgroup」の場合は、Windowsドメインネットワークへの参加が失敗しています。この場合は、Windows Serverの設定、およびTopAccessのSMBの設定が間違っていないかを確認してください。
- TopAccess（管理者モード）のSMBの設定で、「domain」を選択し、本機の電源投入後、または本機のネットワーク設定を変更し、「更新」を押した場合に、Windowsドメインネットワークへの参加を行います。
- 「NetBIOS名」には、半角英数字および「-」（ハイフン）以外の文字は使用しないでください。その他の文字を使用した場合、警告メッセージが表示されます。
- 「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」には、0で始まるIPアドレス（例：0.10.10.10）、127で始まるIPアドレス（例：127.10.10.10）および224で始まるIPアドレス（例：224.10.10.10）は入力しないでください。入力した場合、WINSサーバーを参照することはできなくなります。
- 「WINSプライマリ」「WINSセカンダリ」に「0.0.0.0」を入力した場合は、WINSサーバーを使用しません。
- TCP/IPの「アドレス設定方法」で「自動」または「自動IPなし」が設定されている場合、「WINSプライマリ」および「WINSセカンダリ」の設定をDHCPサーバーから取得することができます。

## 4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、「更新」を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## AppleTalkの設定

AppleTalkプロトコルは、MacintoshコンピュータからAppleTalk印刷を利用する場合には、必ず有効にし、適切な設定を行ってください。

### 1 管理者メニュー（1/2）から「ネットワーク設定」を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

## 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

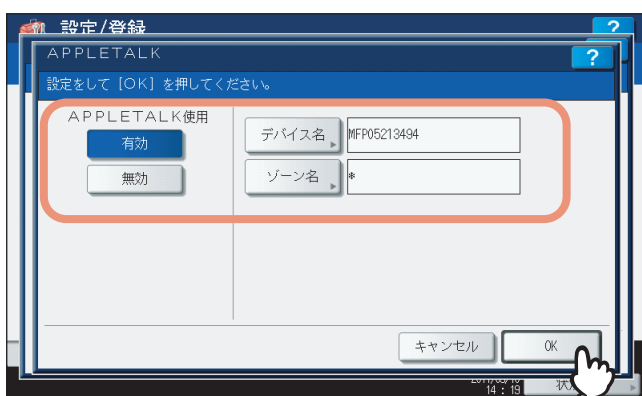
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

2 [APPLETALK] を押します。



APPLETALK画面が表示されます。

3 下記項目を設定し、[OK] を押します。

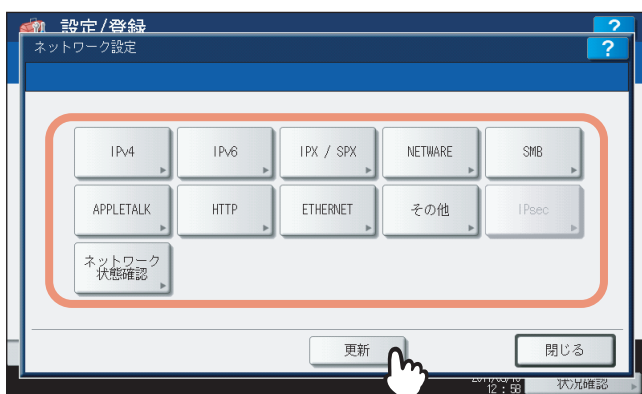


**APPLETTALK使用**：AppleTalkを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。  
**[デバイス名]**：本機のデバイス名を入力します。  
**[ゾーン名]**：AppleTalkゾーン名を入力します。ゾーン名がないネットワークに設定する場合は、デフォルトゾーン「\*」を入力します。

補 足

[デバイス名] および [ゾーン名] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ HTTPの設定

TopAccessやファイリングボックスなどWebベースのユーティリティを利用する場合には、HTTPネットワークサーバーサービスを有効にします。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ネットワーク設定】を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

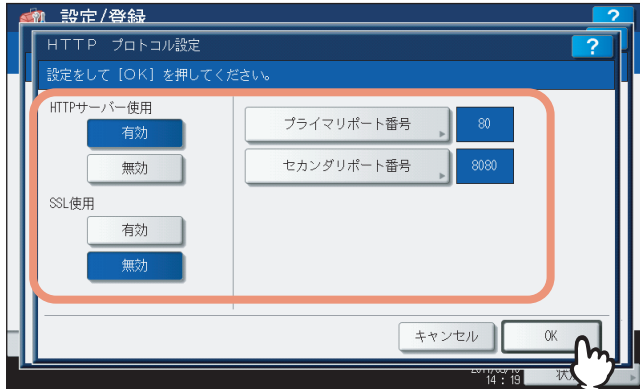
### 2 【HTTP】を押します。



HTTPプロトコル設定画面が表示されます。



3 下記の項目を設定し、[OK] を押します。



**HTTPサーバー使用**：HTTPネットワークサーバーサービスを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。WebユーティリティのTopAccess、ファイリングボックスを使用する場合は、有効にしてください。

**SSL使用**：SSL (Secure Sockets Layer) を使用するかを選択します。有効にすると、TopAccessやファイリングボックス Webユーティリティの操作により通信されるデータは暗号化されます。

**[プライマリポート番号]**：HTTPアクセスするとき使用するポート番号を入力します。通常「80」を使用します。

**[セカンダリポート番号]**：WebユーティリティのTopAccessとファイリングボックスにアクセスするときのポート番号を入力します。通常「8080」を使用します。

補 足

[プライマリポート番号] および [セカンダリポート番号] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。

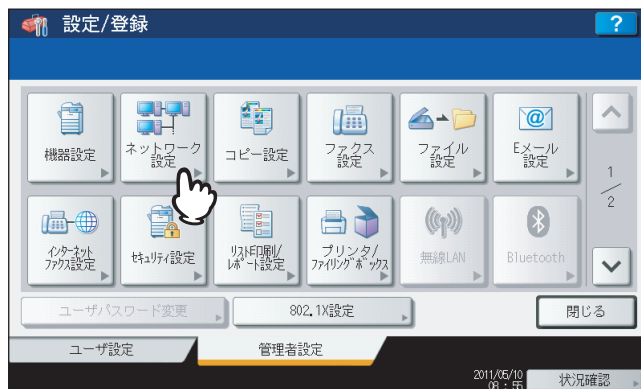


画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ Ethernetの設定

Ethernetの速度を設定します。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ネットワーク設定】を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

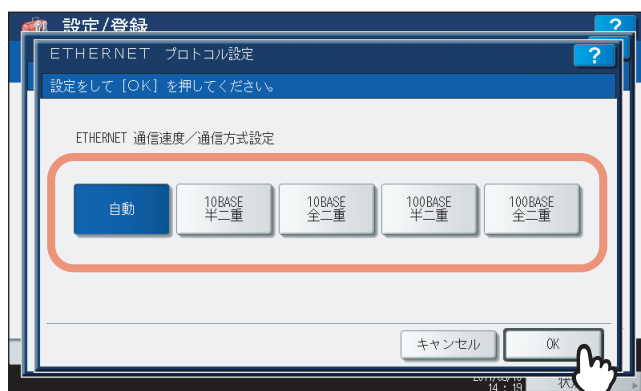
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【ETHERNET】を押します。



ETHERNETプロトコル設定画面が表示されます。

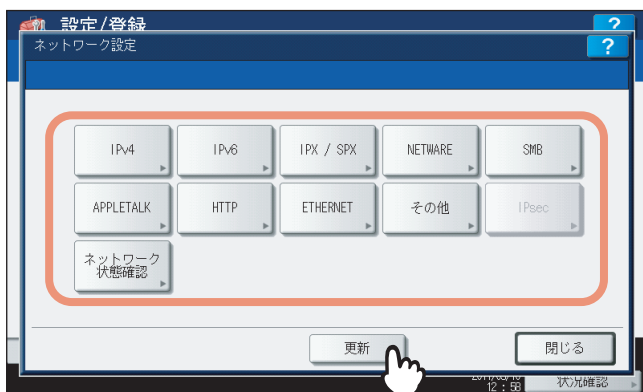
### 3 Ethernet速度を自動的に検知する【自動】を押すか、特定のEthernet速度のボタンを押して、【OK】を押します。



#### 注 意

- 特定の Ethernet 速度のボタンを選択する場合は、接続しているネットワークの速度と同じ設定にする必要があります。もし、Ethernetの設定が分からない場合は、【自動】を選択してください。
- 設定を行ってもネットワークの接続が不安定な場合は、一度電源をオフ／オンしてください。

4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

■ LDAPおよびフィルタリング機能の設定

LDAPディレクトリサービスを有効にすると、Eメール送信やインターネットファクス送信、ファクス送信時にLDAPサーバーから相手先を検索することができます。また、TopAccessでテンプレートを作成する際や、アドレス帳登録を行う際に、LDAPサーバーから相手先を検索することもできます。

また、このメニューでは、IPフィルタリング機能およびMACアドレスフィルタリング機能を使用するかを選択することができます。

補足

LDAPディレクトリサービスの追加は、TopAccessを使用して操作します。ディレクトリサービスの登録の詳細については、**TopAccessガイド**を参照してください。

注意

LDAPディレクトリサービスが無効になっていると、Eメール送信時のユーザ認証時に送信者アドレスをLDAPサーバーから取得できなくなります。

1 管理者設定メニュー (1/2) の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

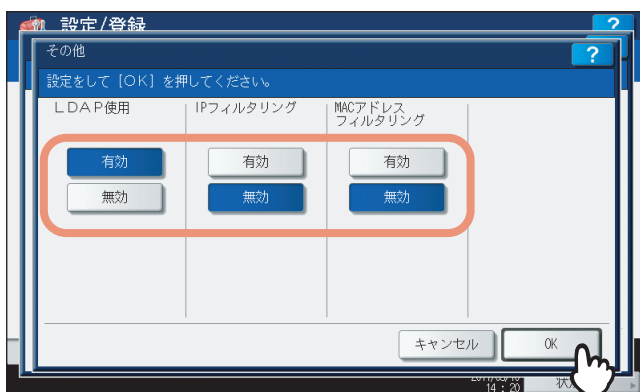
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [その他] を押します。



その他画面が表示されます。

## 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。

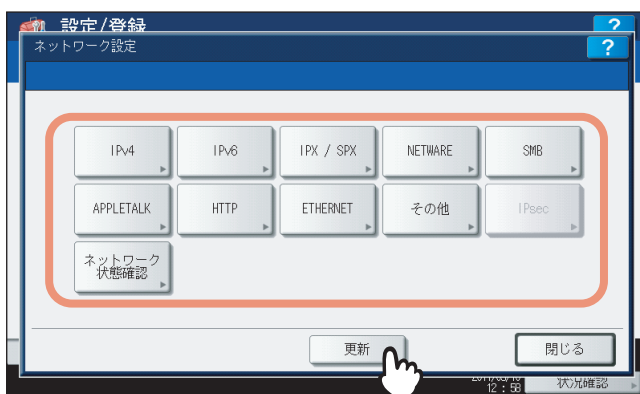


**LDAP使用**：LDAPネットワークサービスを使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

**IPフィルタリング**：IPフィルタリング機能を使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

**MACアドレスフィルタリング**：MACアドレスフィルタリング機能を使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

## 4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ IPセキュリティの設定

IPsecオプション (オプション) が導入されている場合、IPsec (IP Security Protocol) による暗号化通信が可能となります。

IPセキュリティの設定では、以下の操作を行えます。

- 現在適用されているポリシー名の確認
- IPsec通信の有効/無効の切り替え
- IPsecセッションのフラッシュ (リセット)

### 補足

IPsecに必要なポリシーの登録などは、TopAccessから行います。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

### 注意

[IPsec] は、IPsecオプション (オプション) が導入されている場合のみ使用できます。

## 1 管理者設定メニュー (1/2) の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

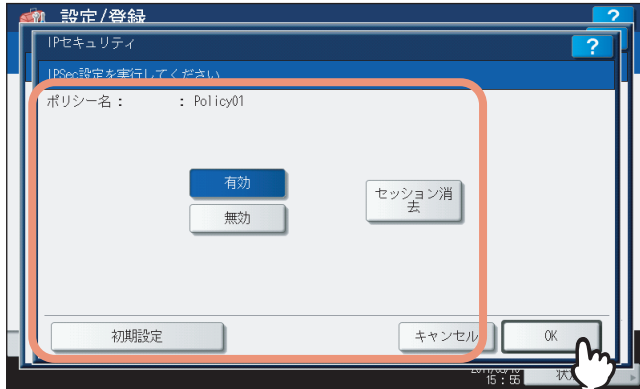
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [IPsec] を押します。



IPセキュリティ画面が表示されます。

### 3 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



**ポリシー名**：現在適用されているポリシー名が表示されます。

**【有効】**：IPsec通信を使用します。

**【無効】**：IPsec通信を使用しません。

**【セッション消去】**：IPsec通信に使用するキーの漏えいや、セキュリティの侵害が発生した場合に、このボタンを使用して、現在のセッションを手動で消去し、新しいセッションを開始させることができます。

**【初期設定】**：IPsecの設定を工場出荷時の状態に戻します。

#### 補 足

【初期設定】を押すと、操作の実行を確認するメッセージが表示されます。

### 4 必要に応じて他のネットワーク設定を続け、[更新] を押します。



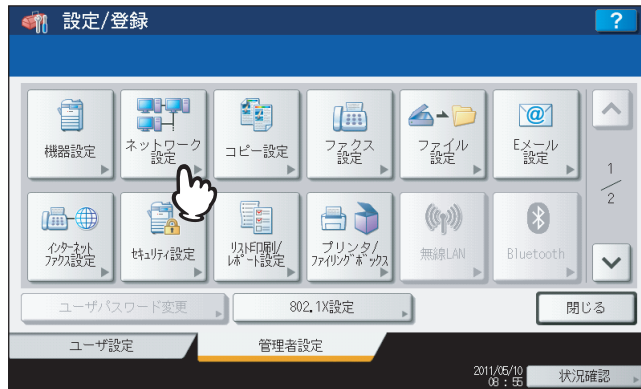
画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## ■ ネットワーク状態確認

ネットワーク状態確認では、Ping機能とTraceroute機能を使用できます。

Ping機能では、本機からネットワーク上の各種サーバーへの接続状態を確認することができます。また、Traceroute機能では、目的のサーバーまでのネットワーク経路を表示できます。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [ネットワーク設定] を押します。



ネットワーク設定メニューが表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

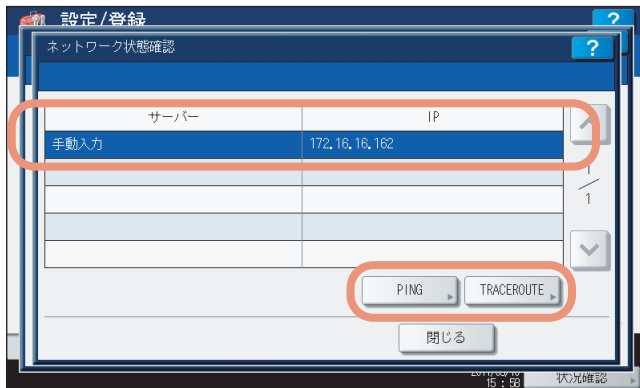
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [ネットワーク状態確認] を押します。



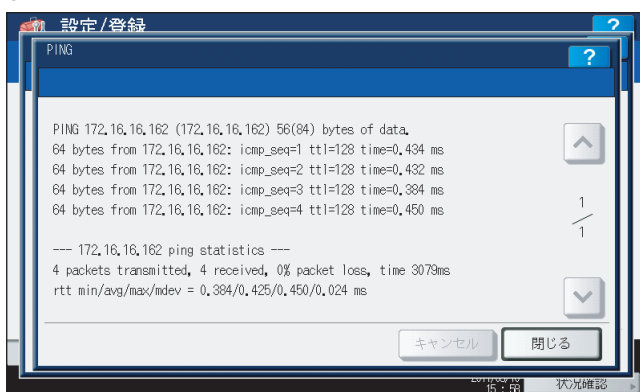
ネットワーク状態確認画面が表示されます。

### 3 目的のサーバーを選択し、[PING] または [TRACEROUTE] を押します。

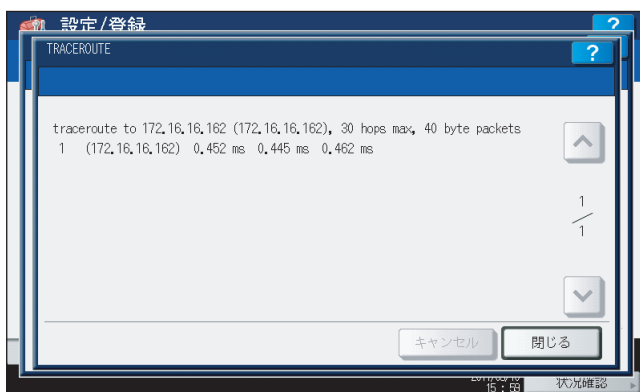


実行結果が表示されます。

Pingを実行した場合、以下の画面が表示されます。



Tracerouteを実行した場合、以下の画面が表示されます。



#### 注意

サーバーに到達可能なときは、実行結果のサーバーはIPアドレスで表示されますが、何らかの理由でサーバーに到達できない場合は、実行結果はホスト名で表示されます。

#### 補足

目的のサーバーを選択する方法は、2つあります。

設定されている各種サーバーを表示一覧から選択する場合：

表示できるサーバーおよび対応プロトコルは、以下のとおりです。

- プライマリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリDNSサーバー (IPv4/IPv6)
- プライマリWINSサーバー (IPv4)
- セカンダリWINSサーバー (IPv4)
- SMTPサーバー (IPv4/IPv6)
- POP3サーバー (IPv4/IPv6)



- プライマリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- セカンダリSNTPサーバー (IPv4/IPv6)
- LDAPサーバー 1
- LDAPサーバー 2
- LDAPサーバー 3
- LDAPサーバー 4
- LDAPサーバー 5
- リモートサーバー 1
- リモートサーバー 2

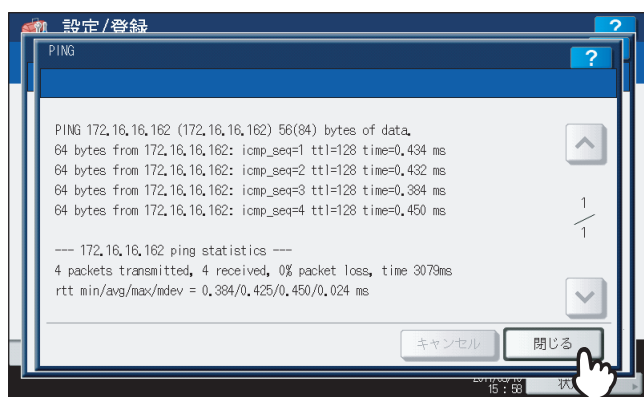
#### 手動で目的のサーバーを指定する場合：

サーバー名または、IPv4アドレス、IPv6アドレスを手入力します。手動入力欄を押すと、タッチパネルに文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

#### 注意

TopAccessの「共有フォルダに保管」でリモートサーバー 1/リモートサーバー 2のネットワークパスにWINS名を入力した場合は、表示一覧からそれらのサーバーを選択してネットワーク状態確認操作を実行することはできません。この場合には、リモートサーバー 1/リモートサーバー 2のIPアドレスを手動で入力し、実行してください。

## 4 [閉じる] を押します。



ネットワーク状態確認画面に戻ります。

# コピー設定

最大コピー部数、自動両面モード、優先ソートモードなどのコピー操作に関する初期設定を変更します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の【コピー設定】を押します。



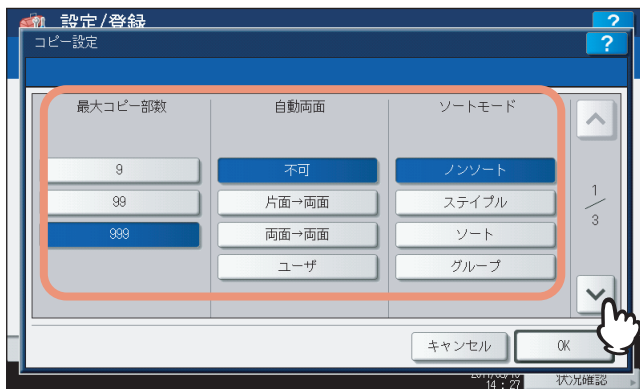
コピー設定画面が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 下記項目を設定し、 を押します。



**最大コピー部数**：許可する最大コピー部数のボタンを押します。

### 補足

設定できる最大コピー部数は、以下のとおりです。

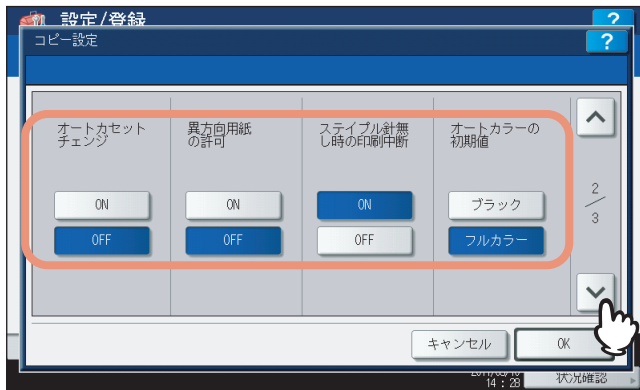
- e-STUDIO6550C Seriesをお使いの場合：9999部
- e-STUDIO4540C Seriesをお使いの場合：999部

**自動両面**：自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに初期値として適用される両面コピー設定を選択します。

- [不可]：両面コピー設定を [片面→片面] に設定します。
- [片面→両面]：両面コピー設定を [片面→両面] に設定します。
- [両面→両面]：両面コピー設定を [両面→両面] に設定します。
- [ユーザ]：自動両面原稿送り装置に原稿をセットしたときに、両面コピー設定の選択画面が自動的に表示されます。

**ソートモード**：初期設定のソートモードを設定します。ステイプルを選択時は左上にステイプルが初期値になります。ステイプルはオプションのフィニッシャが必要です。

3 下記項目を設定し、 を押します。



**オートカセットチェンジ**：コピー操作を行う際に給紙元のカセットを手動で指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。

[ON] を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。  
[自動用紙選択] を押してコピー操作を行う際は、この機能は常に有効となります。[自動用紙選択] の詳細は、**コピーガイド**を参照してください。

**注意**

使用用途を「無し」以外に設定したカセットの用紙は、オートカセットチェンジの対象になりません。  
カセットの使用用途を確認または設定するときは、以下のページを参照してください。

📖 P.28 「カセット」

**異方向用紙の許可**：[ON] を選択すると、コピー中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。

**補足**

コピー中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。  
A4サイズの内紙にコピー中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動用紙選択] 指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	A4およびA4-Rの内紙を給紙
ON	OFF	A4の内紙を給紙	A4の内紙を給紙
OFF	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	—
OFF	OFF	A4の内紙を給紙	—

**ステイプル針無し時の印刷中断**：サドルステッチ以外のステイプル処理を行っている際にステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。

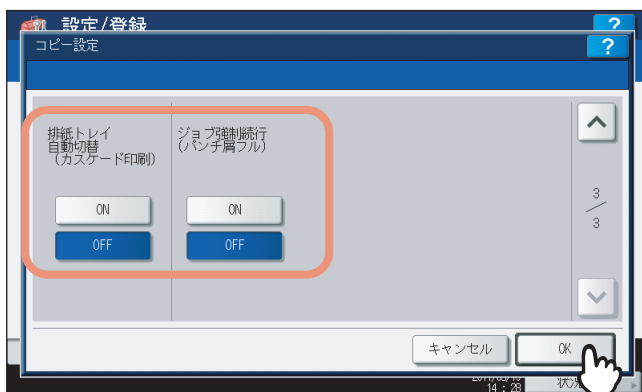
[ON] を選択すると印刷を中断します。[OFF] を選択した場合はステイプルせずに印刷を続行します。

**注意**

サドルステッチの場合、ステイプル針切れを起こすと印刷は中断されます。

**オートカラーの初期値**：オートカラーコピー時の初期値モードを設定します。

#### 4 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)：**[ON] を選択すると、排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。[OFF] を選択した場合は、印刷を中断します。

**ジョブ強制続行 (パンチ屑フル)：**[ON] を選択すると、ホールパンチユニット (オプション) のパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。[OFF] を選択した場合は、印刷を中断します。

# ファクス設定

FAXユニットや回線増設ユニット（オプション）が装着されていない場合は、[記録モード]の「切り捨て印刷」および「縮小印刷」の設定のみ行えます。その他のファクス設定のメニューについては、**GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAX ユニット取扱説明書**を参照してください。

### 補 足

FAXユニット（オプション）が装着されていない場合には、このメニューで設定する項目は、インターネットファクスによる原稿受信に適用されます。

## ■ 記録モードの設定

### □ 切り捨て印刷と縮小印刷を設定する

インターネットファクスにより受信した原稿の印刷設定を行います。印刷には、切り捨て印刷と縮小印刷の2つの設定があります。

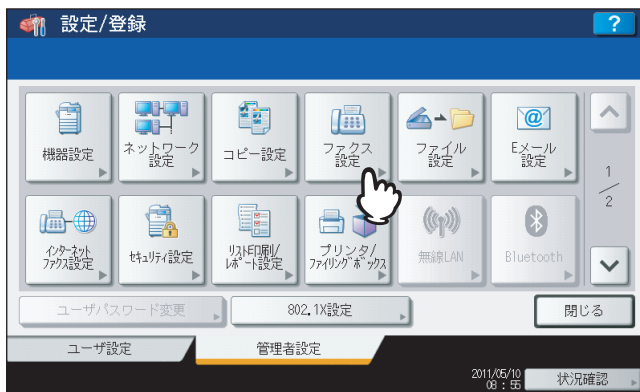
切り捨て印刷: ON、OFF

- ON :原稿が印刷範囲を超えた場合、超えた長さが10mm以下であれば用紙印刷範囲を超える印刷範囲は切り捨てられます。
  - OFF: 受信原稿の長さが用紙印刷範囲を超える場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。
- \*切り捨て印刷の詳細設定については、サービスエンジニアにお尋ねください。

縮小印刷: ON、OFF

- ON :受信原稿が記録紙より長い場合は、記録紙に収まるように縦方向に90%縮小し、記録紙に収まるよう印刷します。
- OFF: 受信原稿が記録紙の印刷範囲より長い場合は、2枚の用紙に分割して印刷されます。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ファクス設定】を押します。



ファクス設定画面が表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 「記録モード」を押します。



記録モード画面が表示されます。

## 3 「切り捨て印刷」の【ON】または【OFF】、「縮小印刷」の【ON】または【OFF】を押し、【OK】を押します。



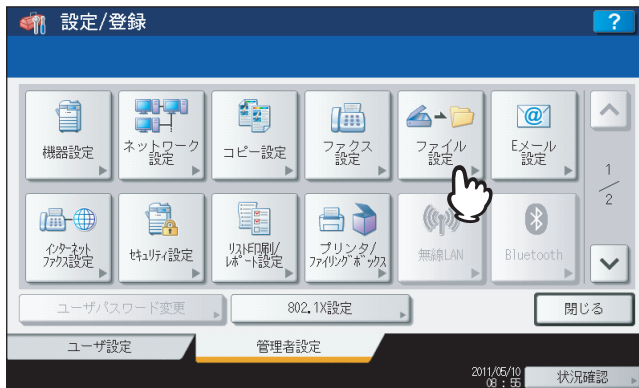
登録した項目は、システム設定リストで確認することができます。

📖 P.247 「システム設定リスト（管理者）」

# ファイル設定

本機の共有フォルダに保存されたファイルを何日保持するかを設定します。本機のハードディスク空き容量を確保するため、定期的に保存ファイルを削除したい場合に設定します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の【ファイル設定】を押します。



メンテナンス画面が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 保存ファイルの自動削除を有効にします。

- 1) [ON] を押します。
- 2) 保存したファイルを自動的に削除するまでの日数をテンキーから入力します。  
1から99日まで入力することができます。操作パネルの【クリア】ボタンを押すと、入力した値を消して入力し直すことができます。
- 3) [OK] を押し、設定を保存します。



### 補足

[OFF] を選択した場合は、そのまま [OK] を押し、ファイル設定を終了してください。

# Eメール設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

- **Eメールメッセージのプロパティ**

Eメール送信操作によって送信されるEメールメッセージの詳細を設定します。

以下の設定を行うことができます。

- 送信者アドレス
- 送信者名
- 本文

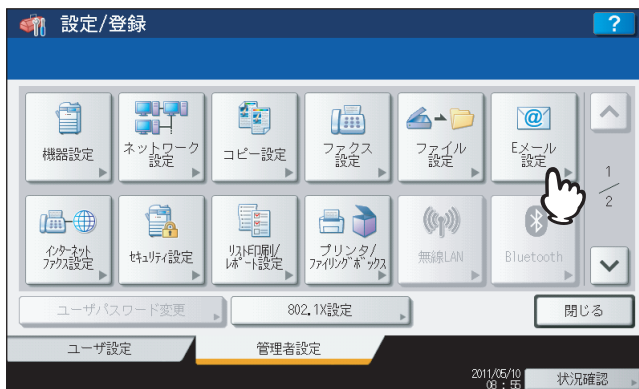
- **Eメールの分割送信サイズ**

指定した分割サイズでEメール送信ジョブを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。

- **Eメールの本文送信**

Eメールを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の[Eメール設定]を押します。



Eメール設定画面が表示されます。

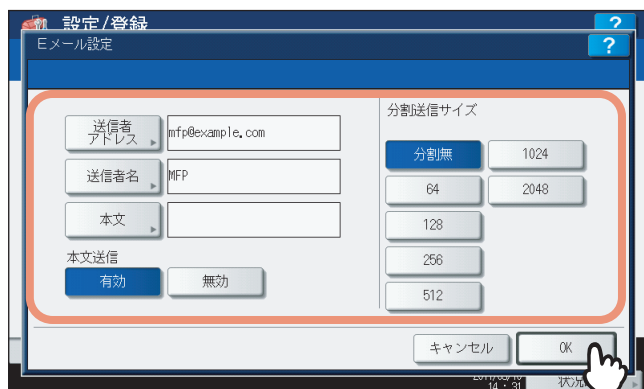
### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」



## 2 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**[送信者アドレス]**：本機のEメールアドレスを入力します。

**[送信者名]**：本機の名称を入力します。

**[本文]**：Eメール送信時に初期値として入力される本文メッセージを入力します。

**本文送信**：本文を送信する場合は、[有効] を押します。送信しない場合は、[無効] を押します。

**分割送信サイズ**：目的の分割送信サイズボタンを押します。分割しない場合は、[分割無] を押します。

### 注意

Eメール送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

### 補足

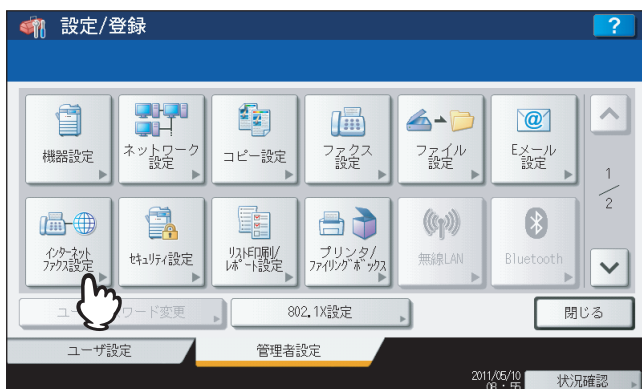
[送信者アドレス]、[送信者名]、[本文] の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

# インターネットファクス設定

このメニューでは、以下の項目を設定します。

- **インターネットファクスのプロパティ**  
インターネットファクスによって送信されるメッセージの詳細を設定します。  
以下の設定を行うことができます。
  - 送信者アドレス
  - 送信者名
  - 本文
- **インターネットファクスの分割ページサイズ**  
指定した分割ページサイズでインターネットファクスを分割して送信できます。ネットワークの通信量による通信エラーを少なくすることができます。
- **インターネットファクスの本文送信**  
インターネットファクスを送信する際に、メッセージ本文を送信するかどうかを設定します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の [インターネットファクス設定] を押します。



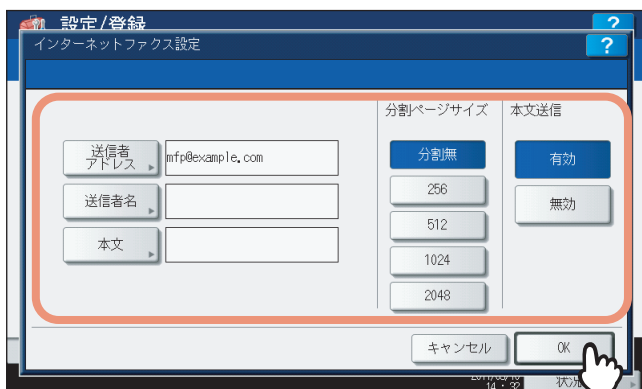
インターネットファクス設定画面が表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**[送信者アドレス]**：本機のEメールアドレスを入力します。

**[送信者名]**：本機の名称を入力します。

**[本文]**：本文メッセージを入力します。

**分割ページサイズ**：目的の分割ページサイズボタンを押します。分割しない場合は、[分割無]を押します。

**本文送信**：本文を送信する場合は、[有効]を押します。送信しない場合は、[無効]を押します。

### 注意

インターネットファクス送信を有効にするには「送信者アドレス」を必ず設定してください。

### 補足

[送信者アドレス]、[送信者名]、[本文] の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

# セキュリティ設定

このメニューでは、以下の操作を行います。

- P.170 「証明書管理」
- P.178 「セキュアPDF」
- P.180 「インテグリティチェック」

## ■ 証明書管理

デバイス証明書やCA証明書のインポートや、デバイス証明書のエクスポートを行います。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【セキュリティ設定】を押します。



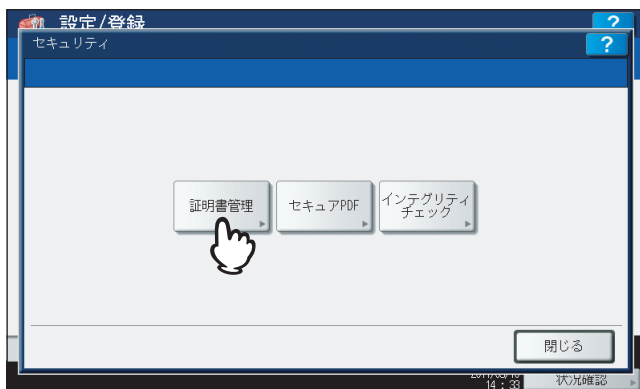
セキュリティ画面が表示されます。

#### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

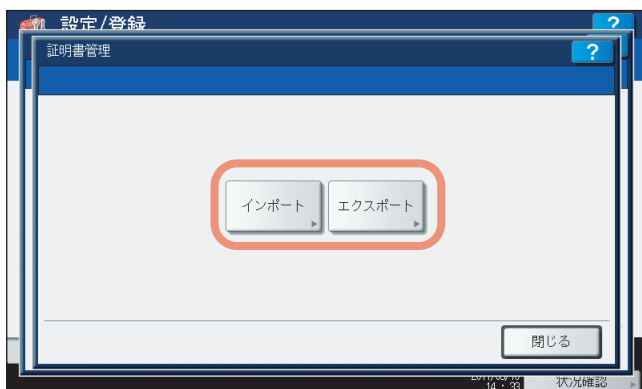
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【証明書管理】を押します。



証明書管理画面が表示されます。

### 3 実行したい設定に応じて、操作を続けます。



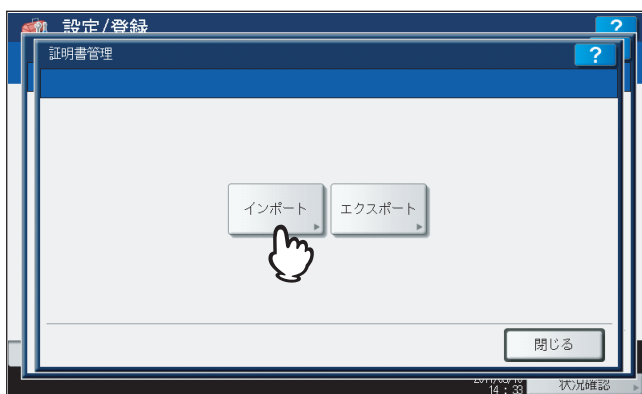
- 📖 P.171 「デバイス証明書をインポートする」
- 📖 P.174 「CA証明書をインポートする」
- 📖 P.176 「デバイス証明書をエクスポートする」

#### 補足

本機に証明書をインポートする場合は、インポートしたい証明書をあらかじめUSBメディアのルートに保存しておいてください。

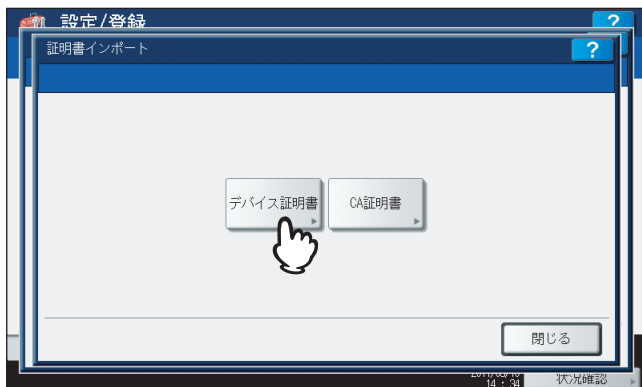
## デバイス証明書をインポートする

### 1 「インポート」を押します。



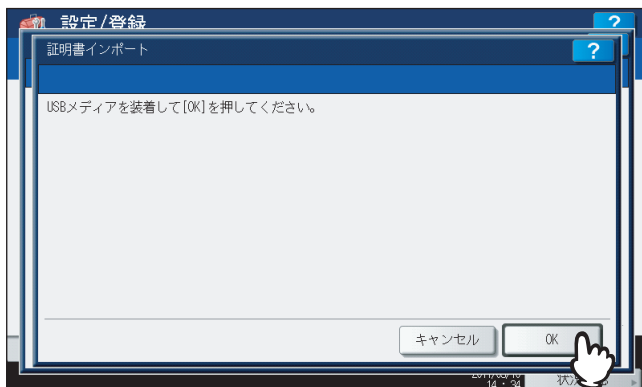
証明書インポート画面が表示されます。

### 2 「デバイス証明書」を押します。



USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

### 3 証明書を保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。

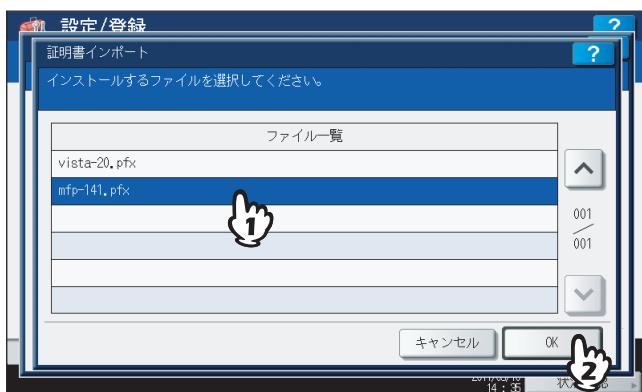


ファイルを選択する画面が表示されます。

#### 補足

USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

### 4 インポートしたい証明書を選択し、[OK] を押します。

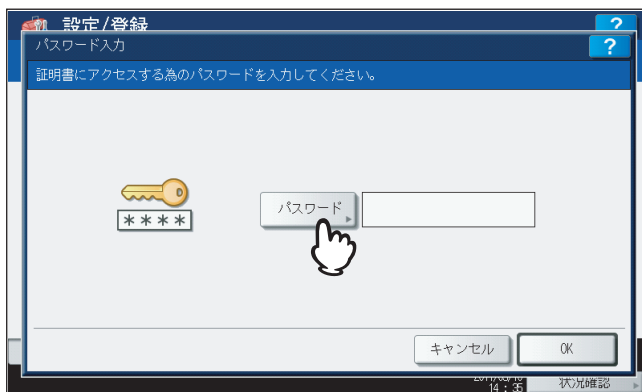


- 証明書が「.pfx」または「.p12」ファイルの場合は、パスワード入力画面が表示されます。次の手順に進んでください。
- 証明書が上記以外のファイルの場合は、インポートが開始されます。手順8に進んでください。

#### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

### 5 [パスワード] を押します。



入力画面が表示されます。

## 6 パスワードを入力し [OK] を押します。



- 入力したパスワードは、\* (アスタリスク) で表示されます。数字の入力は、テンキーからも行えます。
- パスワード入力画面に戻ります。

## 7 [OK] を押します。

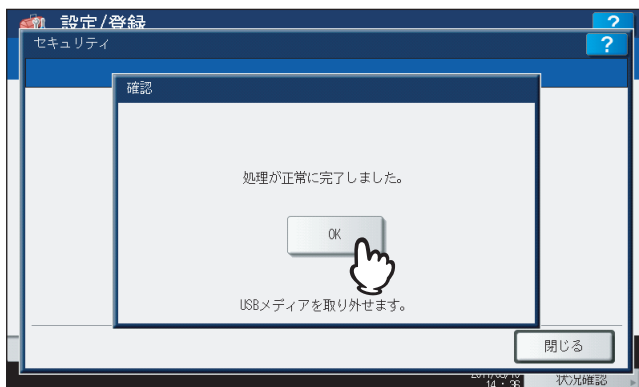


インポートが開始されます。

### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

## 8 インポートが終了したら、[OK] を押します。

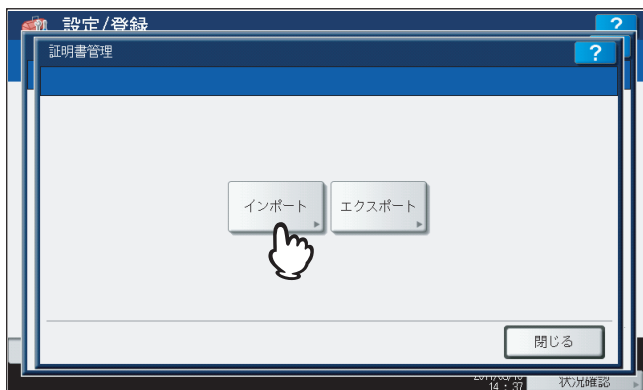


セキュリティ画面に戻ります。

## 9 USBメディアを取り外します。

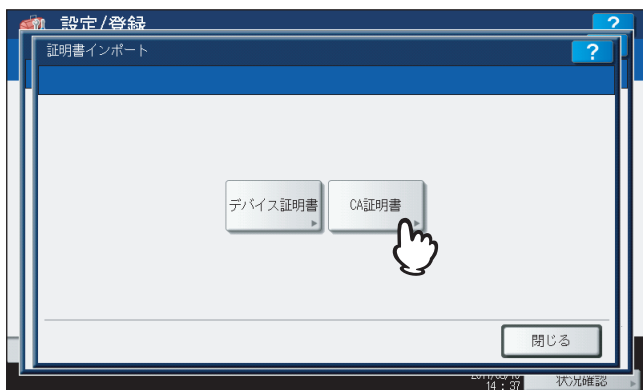
## CA証明書をインポートする

### 1 [インポート] を押します。



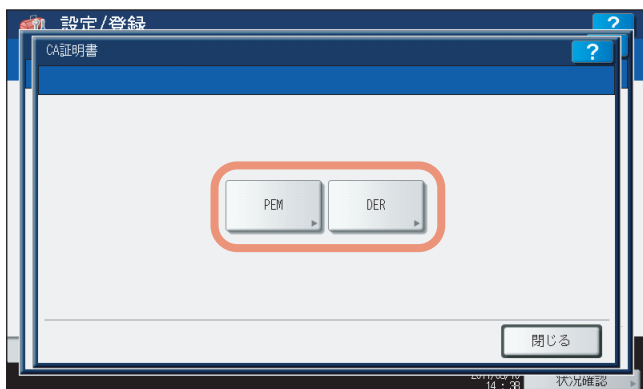
証明書インポート画面が表示されます。

### 2 [CA証明書] を押します。



CA証明書画面が表示されます。

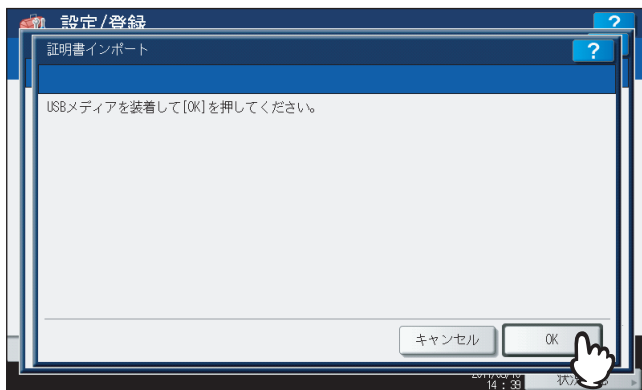
### 3 CA証明書のエンコード方式を選択します。



USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。



4 証明書を保存したUSBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK] を押します。

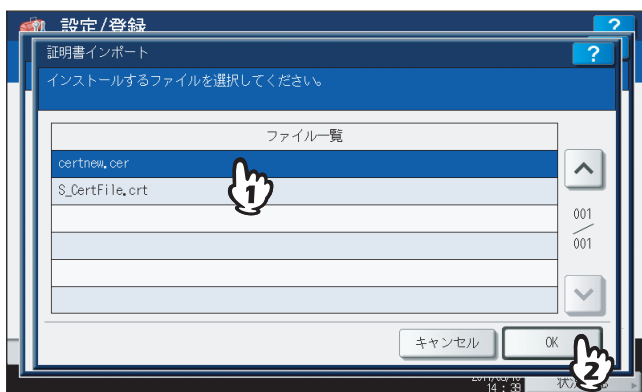


ファイルを選択する画面が表示されます。

**補足**

USBポートの正確な位置については、*かんたん操作ガイド*を参照してください。

5 インポートしたい証明書を選択し、[OK] を押します。

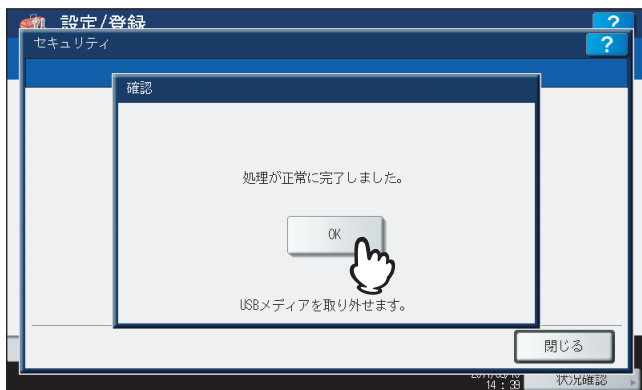


インポートが開始されます。

**注意**

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

6 インポートが終了したら、[OK] を押します。



セキュリティ画面に戻ります。

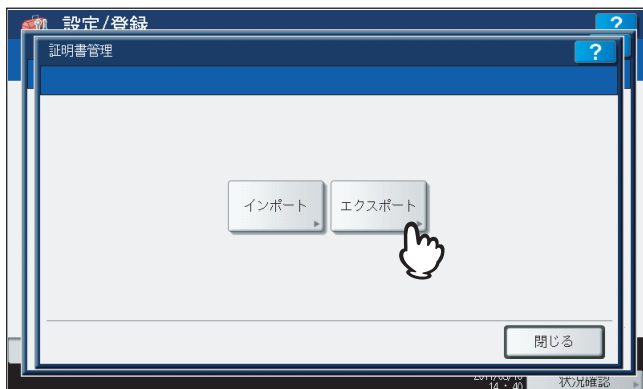
7 USBメディアを取り外します。

## デバイス証明書をエクスポートする

### 補足

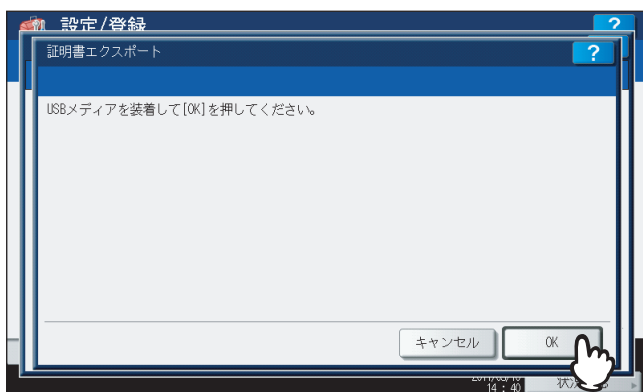
エクスポートされるファイル形式は、PEM（「.certファイル」）です。

### 1 「エクスポート」を押します。



USBメディアの装着を促すメッセージが表示されます。

### 2 USBメディアを本機のUSBポートに接続し、[OK]を押します。

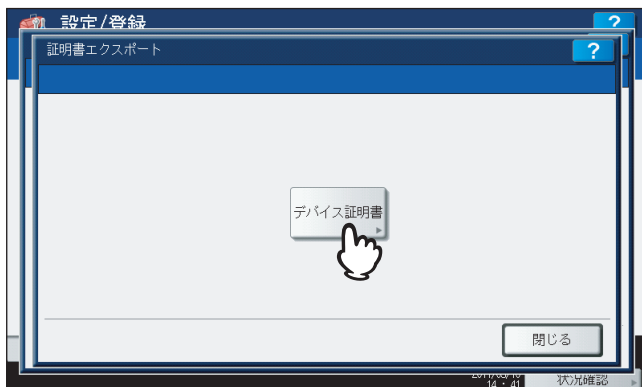


証明書エクスポート画面が表示されます。

### 補足

USBポートの正確な位置については、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。

### 3 [デバイス証明書] を押します。

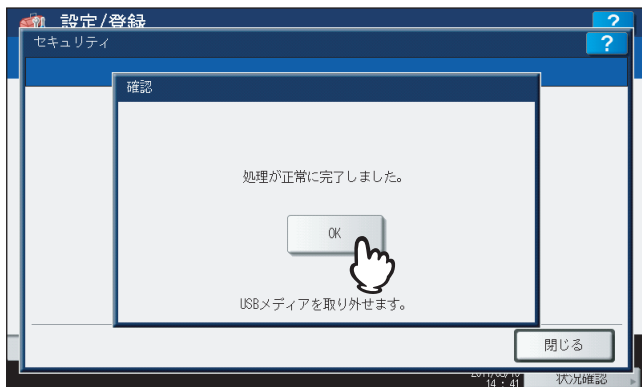


エクスポートが開始されます。

#### 注意

データの転送が完了するまで絶対にUSBメディアを取り外さないでください。データの転送中にUSBメディアを取り外すと、USBメディアが破損する恐れがあります。

### 4 エクスポートが終了したら、[OK] を押します。



セキュリティ画面に戻ります。

### 5 USBメディアを取り外します。

## ■ セキュアPDF

本機でスキャンしたデータを暗号化PDFとして生成する際に適用する、暗号化設定の初期値を設定します。また、暗号化PDF強制モードの有効/無効を切り替えます。

### 補足

本セキュリティ設定は、共有フォルダ/USBに保管操作およびEメール送信操作に適用します。

### 1 管理者設定メニュー（1/2）の【セキュリティ設定】を押します。



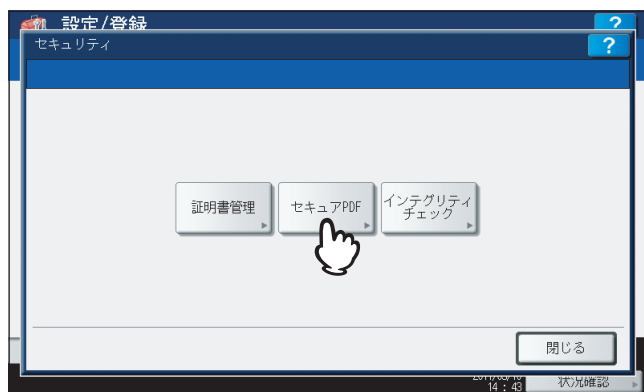
セキュリティ画面が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

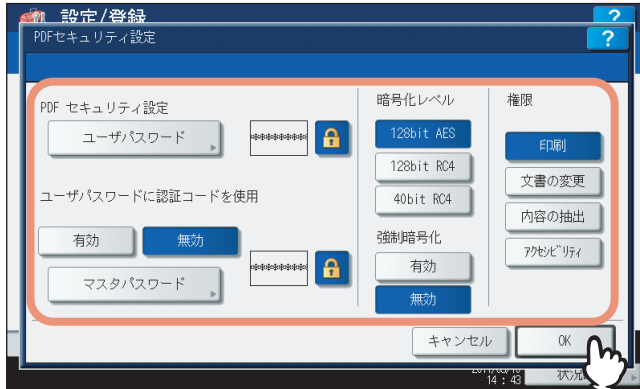
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 【セキュアPDF】を押します。



PDFセキュリティ設定画面が表示されます。

### 3 暗号化PDFを生成する際に適用する初期値を設定し、[OK] を押します。



**[ユーザーパスワード]**：暗号化PDFを開くために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、ユーザーパスワードは設定されていません。

**ユーザーパスワードに認証コードを使用**：ユーザー認証のユーザー名をユーザーパスワードに使用する場合は、[有効] を押します。ユーザー認証のユーザー名を使用せず、ここで設定するユーザーパスワードを使用する場合は、[無効] を押します。

**[マスタパスワード]**：PDFの暗号化設定を変更するために必要なパスワードを入力します。工場出荷時の状態では、マスタパスワードは設定されていません。

**暗号化レベル**：生成するPDFの暗号化レベルを選択します。

- [128bit AES]：Acrobat 7.0、PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。
- [128bit RC4]：Acrobat 5.0、PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。
- [40bit RC4]：Acrobat 3.0、PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。

**強制暗号化**：本機でスキャンしたデータを出力する際に、強制的に暗号化PDFのみを許可する場合は、[有効] を押します。他のファイル形式 (JPEGやTIFFなど) を許可する場合は、[無効] を押します。

**権限**：暗号化PDFに対する権限を選択します。

- 印刷：印刷を許可します。
- 文書の変更：文書の変更を許可します。
- 内容の抽出：内容のコピーと抽出を許可します。
- アクセシビリティ：アクセシビリティを有効にします。

#### 補足

[ユーザーパスワード] および [マスタパスワード] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

#### 注意

- ユーザーパスワードとマスタパスワードに同じパスワードを設定することはできません。
- ユーザーパスワード、マスタパスワードともに1文字以上32文字以下で設定してください。入力したパスワードは、「\*」で表示されます。
- ユーザーパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合 (🔒) は、ユーザはパスワードを変更することはできません。
- マスタパスワードの表示欄横の鍵アイコンが反転表示され有効な場合 (🔒) は、ユーザは暗号化レベルおよび権限を変更することはできません。
- [40bitRC4] を選択した状態で、[内容の抽出] または [アクセシビリティ] の一方を選択しても、両方の設定が有効になり、また一方を取り消しても両方が無効になります。
- 強制暗号化モードを [有効] に設定すると、暗号化PDF以外のファイル形式 (JPEGやTIFFなど) を本機から出力することは禁止されます。また、暗号化PDFを生成できない以下の共有フォルダに保管機能は、使用できなくなります。
 

コピー & ファイル	ファクス & ファイル
インターネットファクス & ファイル	ネットワークファクス & ファイル

## ■ インテグリティチェック

このメニューでは、以下のインテグリティチェックを行います。

- [最小限]  
セキュリティ機能を実行する実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。
- [全て]  
全ての実行コード、およびセキュリティ実行コードが参照するデータをチェックします。

### 1 管理者設定メニュー (1/2) の [セキュリティ設定] を押します。



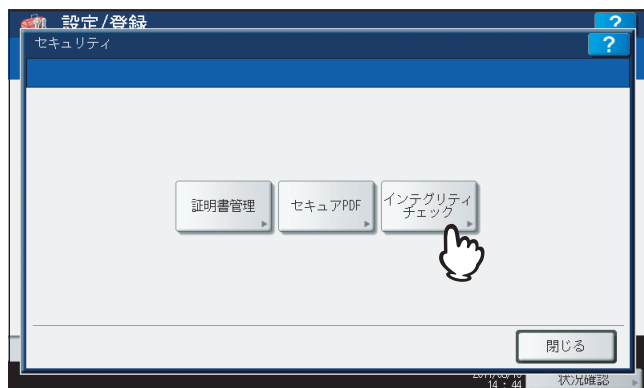
セキュリティ画面が表示されます。

#### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 2 [インテグリティチェック] を押します。



インテグリティチェック画面が表示されます。

### 3 実行したいチェック操作に応じて、操作を続けます。



📖 P.181 「必要最低限のデータをチェックする」

📖 P.182 「すべてのデータをチェックする」

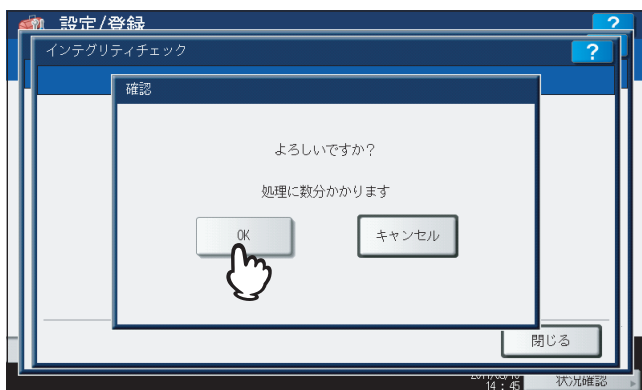
## 必要最低限のデータをチェックする

### 1 [最小限] を押します。



チェック実行の確認画面が表示されます。

### 2 [OK] を押します。

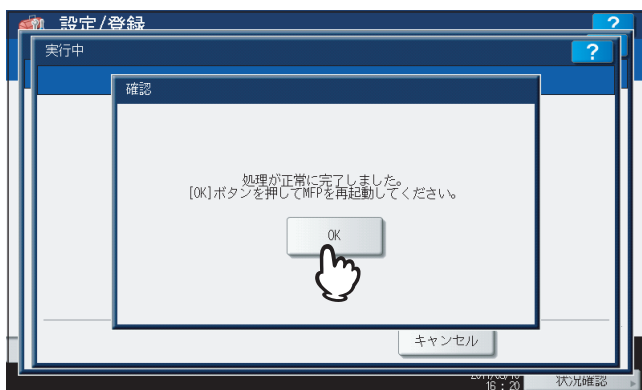


チェックが行われ、完了画面が表示されます。

#### 注意

- インテグリティチェックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [OK] を押すと、警告画面に「他のジョブまたは管理者機能を実行中のため、処理できません。」と表示されます。この場合には [閉じる] を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。
- データに改ざんなどのエラーが検出されると、サービスコール画面が表示されます。この場合は、弊社サービスエンジニアにご連絡ください。

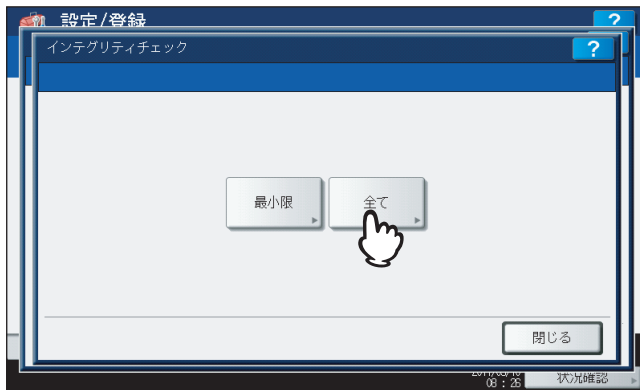
### 3 [OK] を押して、本機を再起動します。



本機が再起動されます。

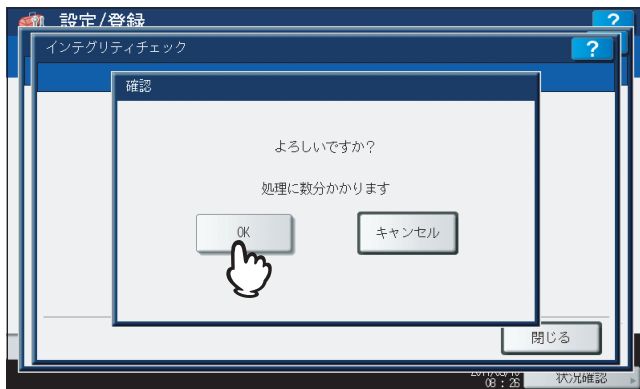
## すべてのデータをチェックする

### 1 [全て] を押します。



チェック実行の確認画面が表示されます。

### 2 [OK] を押します。

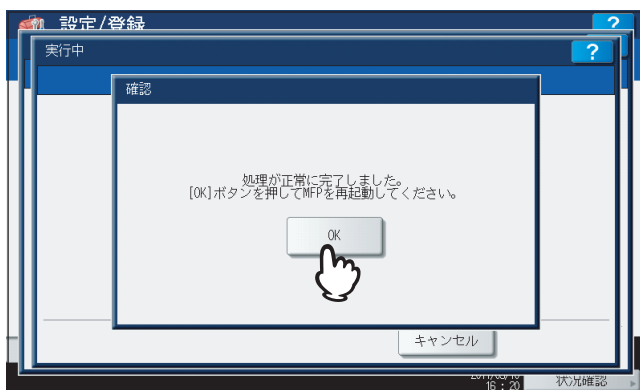


チェックが行われ、完了画面が表示されます。

#### 注意

- インテグリティチェックが完了するまでに時間がかかることがあります。
- 本機でジョブが処理されているときなどに [OK] を押すと、警告画面に「他のジョブまたは管理者機能を実行中のため、処理できません。」と表示されます。この場合には [閉じる] を押し、ジョブの処理が終了してから、再度実行してください。
- データに改ざんなどのエラーが検出されると、サービスコール画面が表示されます。この場合は、弊社サービスエンジニアにご連絡ください。

### 3 [OK] を押して、本機を再起動します。



本機が再起動されます。



# レポート出力設定

このメニューでは、以下のレポートの出力設定を行います。

## • 通信記録出力

本機では、2種類の通信管理記録が出力できます。通信管理記録は自動的に印刷するか手動で印刷するか選択できます。「自動的に印刷する」を選択した場合、送信管理記録、受信管理記録を何回通信後に印刷するかを設定することができます。

### 補 足

管理記録は設定した通信数を超えると古いものから削除されます。TopAccess（管理者モード）からCSVファイルとしてエクスポートし、ファイルにすると新しいものから100件の管理記録を保存することができます。

## • 通信結果表

すべての通信終了後に、通信結果表を印刷することができます。通信タイプごとに、通信結果表を印刷する状態を選択することができます。

## • 通信受付表

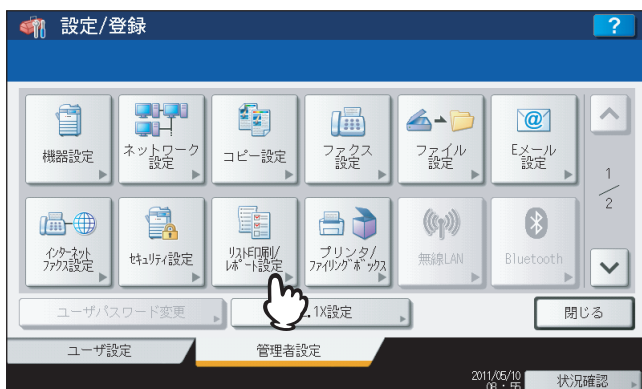
通信受付表の設定では、本機のメールボックスに原稿を受信したときに通信受付表を印刷するかどうかを設定します。この設定は、以下のメールボックス通信ごとに通信受付表を印刷するかどうかを設定できます。

- **中継子局**：中継局として親局から中継送信を受信したとき
- **ローカル**：本機のメールボックスに原稿を予約したとき
- **リモート**：他のファクス機から本機のメールボックスに原稿を予約したとき

### 注 意

[通信記録出力] はFAXユニット（オプション）が装着されている場合にのみ使用できます。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の [リスト印刷/レポート設定] を押します。



リスト印刷/通信レポート設定メニューが表示されます。

### 補 足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

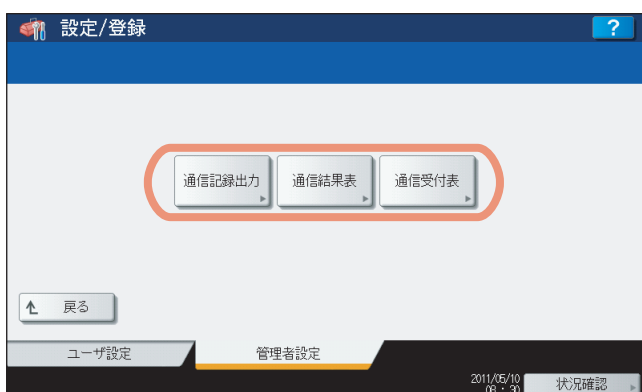
📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [レポート出力設定] を押します。



通信レポート出力設定メニューが表示されます。

## 3 設定したいレポート出力に応じて、操作を続けます。



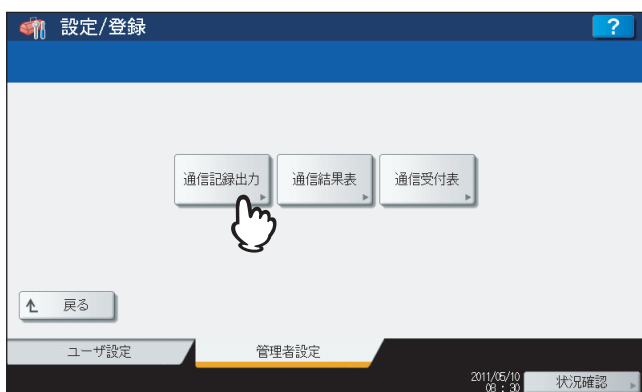
📖 P.184 「通信記録出力を設定する」

📖 P.185 「通信結果表を設定する」

📖 P.187 「通信受付表を設定する」

## 通信記録出力を設定する

### 1 [通信記録出力] を押します。



通信記録出力画面が表示されます。

2 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



**自動印刷**：送信管理記録と受信管理記録を自動的に印刷したい場合に [ON] を押します。[ON] を押すと指定回数の通信が終了すると自動的に送信管理記録、受信管理記録を印刷します。

**送信管理記録**：送信管理記録に印刷する送信回数を指定する回数ボタンを押します。

**受信管理記録**：受信管理記録に印刷する受信回数を指定する回数ボタンを押します。

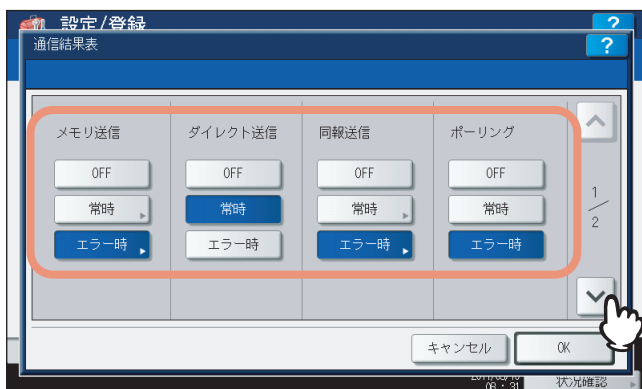
通信結果表を設定する

1 [通信結果表] を押します。



通信結果表画面が表示されます。

## 2 通信ごとに結果表を印刷する状態を設定し、 を押します。



【OFF】：通信結果表を印刷しない場合に押します。

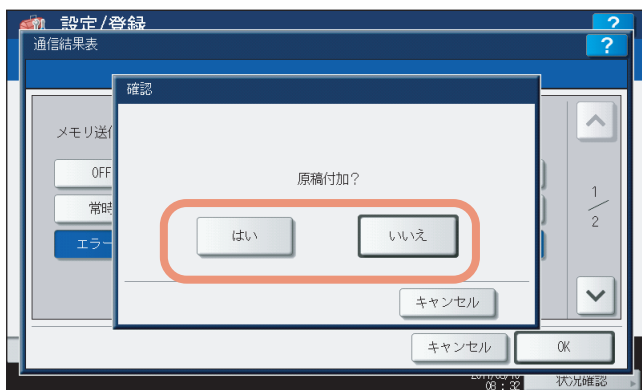
【常時】：通信結果表を常に印刷する場合に押します。

【エラー時】：通信エラーが発生したときに印刷する場合に押します。

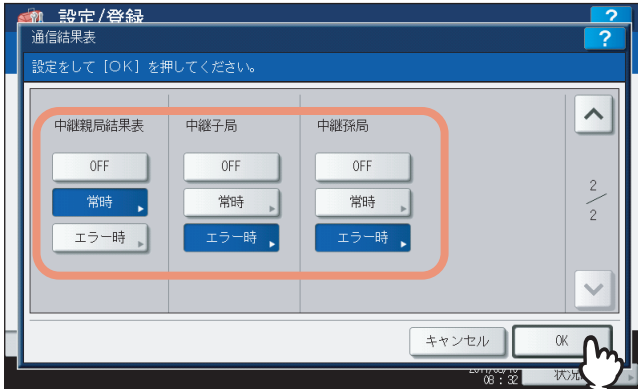
### 注意

「ダイレクト送信」および「ポーリング」はFAXユニット(オプション)が装着されている場合のみ設定できます。

「メモリ送信」または「同報送信」で「常時」または「エラー時」を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、「はい」を押します。原稿を付加しない場合は、「いいえ」を押します。



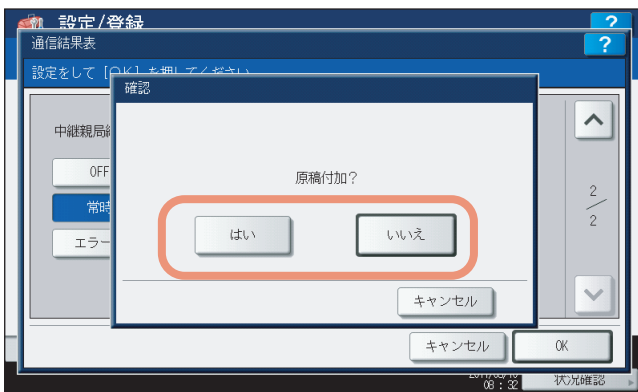
3 通信ごとに結果表を印刷する状態を設定し、[OK] を押します。



**注意**

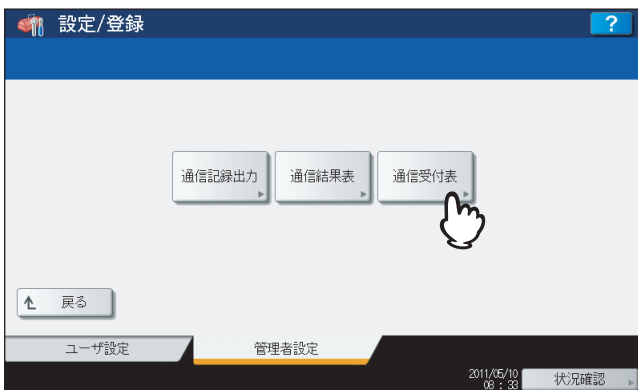
「中継親局結果表」、「中継子局」および「中継孫局」はFAXユニット（オプション）が装着されている場合のみ設定できます。

各ボタンで「常時」または「エラー時」を選択した場合には、タッチパネルに「原稿付加？」と表示されます。送信した原稿の最初のページを付加して通信結果表を印刷したい場合は、「はい」を押します。原稿を付加しない場合は、「いいえ」を押します。



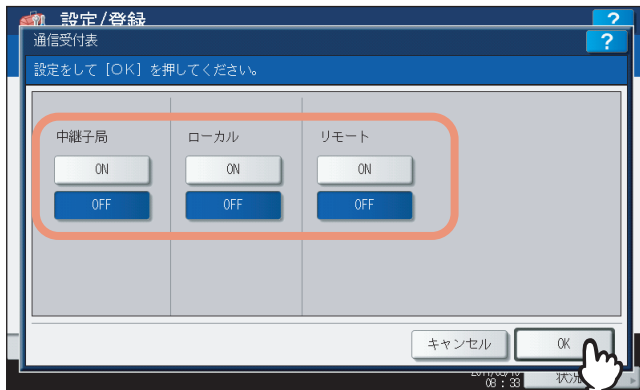
通信受付表を設定する

1 「通信受付表」を押します。



通信受付表画面が表示されます。

## 2 通信ごとに受付表を印刷するかを設定し、[OK] を押します。



**中継子局**：親局から中継送信を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

**ローカル**：本機のメールボックスにローカルからの文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

**リモート**：本機のメールボックスに他の機からリモートで文書を受信したときに通信受付表を印刷する場合は、[ON] を選択します。

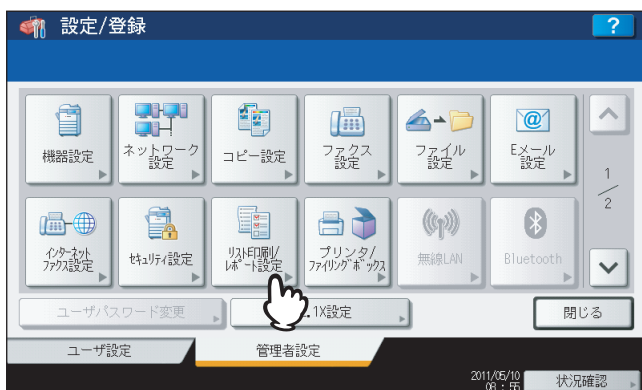
# リスト印刷

NIC設定ページ、システム設定リスト、PS3とPCLフォントのリストを印刷します。

\* 各リストの印字例は、以下のページを参照してください。

☞ P.240 「リスト印字例」

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の [リスト印刷/レポート設定] を押します。



リスト印刷/通信レポート設定メニューが表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

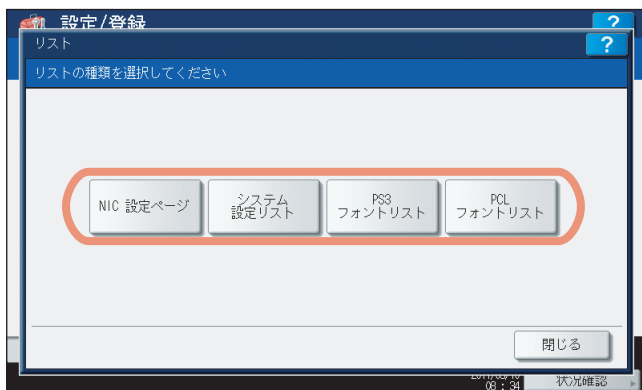
☞ P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 [リスト印刷] を押します。



リスト画面が表示されます。

## 3 印刷したいリストのボタンを押します。



選択したリストが印字されます。

# プリンタ／ファイリングボックス設定

印刷ジョブまたはファイリングボックス文書の印刷に適用するプリンタ設定を設定します。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）の「プリンタ/ファイリングボックス」を押します。



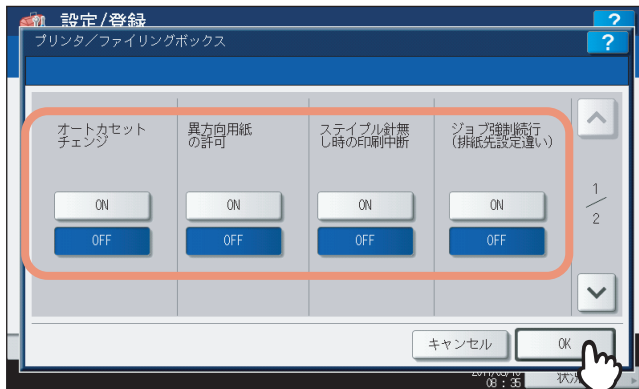
プリンタ/ファイリングボックス画面が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 必要に応じて下記項目を設定し、 を押します。



**オートカセットチェンジ**：印刷を行う際に用紙の給紙元に特定のカセットを指定した場合にも、オートカセットチェンジ機能を有効にするか設定します。

[ON] を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットからサイズが同一の用紙を給紙します。用紙の給紙方法で「自動カセット選択」を選択して印刷を行う際は、この機能は常に有効となります。プリンタのプロパティ画面の詳細は、**印刷ガイド**を参照してください。

**異方向用紙の許可**：[ON] を選択すると、印刷中に用紙がなくなった場合に、別のカセットから向きの異なる同一サイズの用紙を給紙します。

### 補足

印刷中に用紙がなくなった場合の給紙動作は、以下のとおりです。

A4サイズの内紙に印刷中にオートカセットチェンジする場合の例です。

設定項目		給紙動作	
オートカセットチェンジ	異方向用紙の許可	[自動カセット選択] 指定時	給紙元カセット指定時
ON	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	A4およびA4-Rの内紙を給紙
ON	OFF	A4の内紙を給紙	A4の内紙を給紙
OFF	ON	A4およびA4-Rの内紙を給紙	—
OFF	OFF	A4の内紙を給紙	—



**ステイプル針無し時の印刷中断**：サドルステッチ以外のステイプル処理を行っている際にステイプル針切れを起こした場合、印刷を中断するかを選択します。

[ON] を選択すると印刷を中断します。[OFF] を選択した場合はステイプルせずに印刷を続行します。

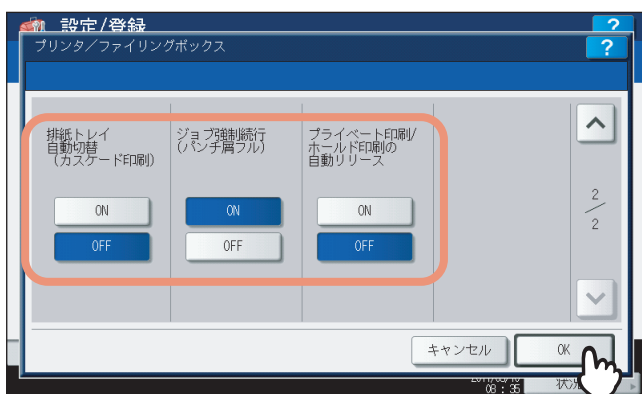
### 注意

サドルステッチの場合、ステイプル針切れを起こすと印刷は中断されます。

**ジョブ強制続行 (排紙先設定違い)**：排紙先に出力できないサイズやタイプ用の紙が印刷ジョブの2ページ目以降に含まれている場合、排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続するかを選択します。

[ON] を選択すると排紙先を自動的に切り替えて印刷を継続します。[OFF] を選択した場合は印刷を中断します。

## 3 下記項目を設定し、[OK] を押します。



**排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)**：[ON] を選択すると、排紙トレイがいっぱいになった場合に排紙トレイを自動的に切り替えて印刷を継続します。[OFF] を選択した場合は、印刷を中断します。

**ジョブ強制続行 (パンチ屑フル)**：[ON] を選択すると、ホールパンチユニット (オプション) のパンチ屑がフルになった場合でもホールパンチ処理を行わずに印刷を継続します。[OFF] を選択した場合は、印刷を中断します。

**プライベート印刷/ホールド印刷の自動リリース**：本機へのログイン時に、プライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブを自動的に印刷するかを設定します。

[ON] を選択すると、本機にログインしたユーザのプライベート印刷ジョブやホールド印刷ジョブがログイン時に自動的に印刷されます。[OFF] を選択した場合は、それらのジョブを印刷するにはタッチパネルでの操作が必要になります。

プライベート印刷やホールド印刷については、**印刷ガイド**を参照してください。

### 補足

[プライベート印刷/ホールド印刷の自動リリース] は、ユーザ認証が有効な場合に使用することができます。

## 無線LAN／Bluetooth

---

無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合は、[無線LAN] から無線LANモジュールの設定を行うことができます。無線LAN設定については、**GN-1060無線LANモジュール取扱説明書**を参照してください。

Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合は、[Bluetooth] からBluetoothモジュールの設定を行うことができます。Bluetooth設定については、**GN-2010 Bluetoothモジュール取扱説明書**を参照してください。

# ユーザパスワード変更

本機で内部認証機能を使用している際に、ユーザが設定されている認証パスワードを忘れてしまった場合などに、管理者メニューからそのユーザのパスワードを変更できます。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）で、[ユーザパスワード変更] を押します。



パスワード変更画面が表示されます。

### 補足

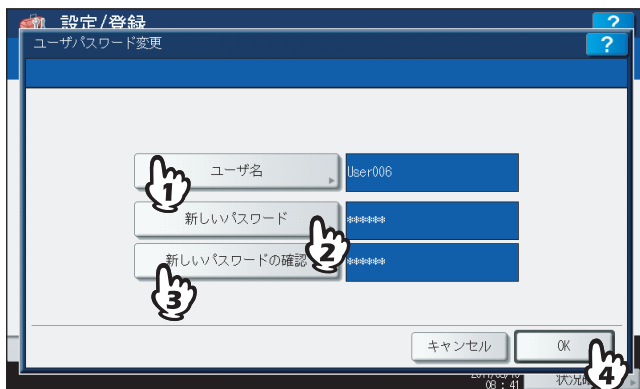
管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
P.73 「管理者設定メニューに入る」

### 注意

[ユーザパスワード変更] は、内部認証機能が有効な場合のみ使用できます。内部認証機能を有効に設定するには、TopAccessの管理者モードから操作します。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

## 2 ユーザパスワードを変更し、設定を保存します。

- 1) [ユーザ名] を押して、認証パスワードを変更するユーザ名を入力します。
- 2) [新しいパスワード] を押して、新しいパスワードを入力します。
- 3) [新しいパスワードの確認] を押して、新しいパスワードを再度入力します。
- 4) [OK] を押します。



ユーザパスワードが変更されます。

### 補足

- 上記ボタン（[ユーザ名]、[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認]）を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。
- [新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] ボックスに入力されたパスワードは、\*（アスタリスク）で表示されます。

# IEEE 802.1X認証設定

有線LAN環境における802.1X認証を設定します。

本機が対応する認証方式は、以下のとおりです。

- EAP-MSCHAP v2
  - EAP-MD5
  - EAP-TLS
  - PEAP
- 内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
- EAP-MSCHAP v2
- EAP-TTLS
- 内部認証方式には、以下のプロトコルが選択できます。
- PAP
  - CHAP
  - EAP-MSCHAP v2
  - EAP-MD5

802.1X認証機能を使用するには、必要に応じてTopAccessで証明書を本機にインストールします。インストールが必要な証明書は以下のとおりです。

認証方式	内部認証方式	CA証明書	ユーザ証明書
EAP-MSCHAP v2	—	—	—
EAP-MD5	—	—	—
EAP-TLS	—	要	要
PEAP	EAP-MSCHAP v2	要	—
EAP-TTLS	PAP	要	—
	CHAP	要	—
	EAP-MD5	要	—
	EAP-MSCHAP v2	要	—

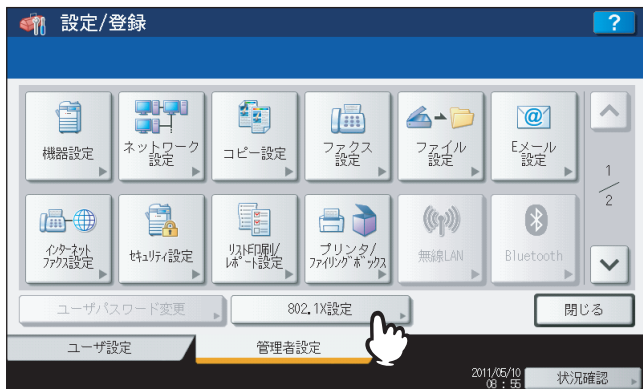
## 補足

証明書のインストール方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。

選択する認証方式によって、設定方法は異なります。

## ■ 802.1X認証をセットアップする

### 1 管理者設定メニュー（1/2）で、[802.1X設定] を押します。



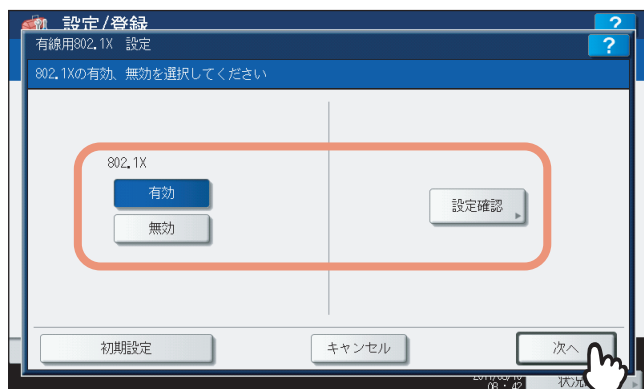
有線用802.1X設定画面が表示されます。

## 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

## 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



**802.1X** : 802.1X認証を使用する場合は、[有効] を押します。使用しない場合は、[無効] を押します。

**[設定確認]** : 現在の設定と認証状態を確認します。

**[初期設定]** : 802.1Xの設定を工場出荷時の状態に戻します。

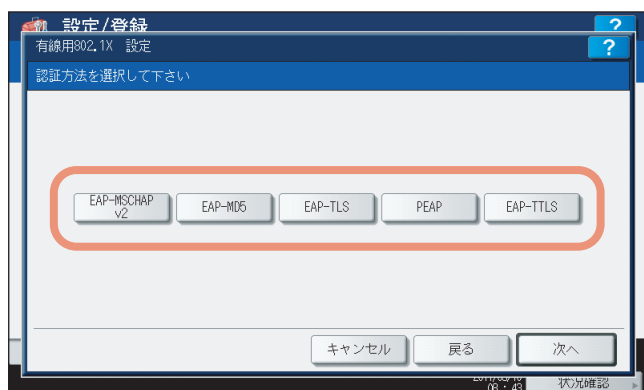
### 注意

[設定確認] は、802.1X認証を [有効] にすると使用できます。

### 補足

802.1X認証を「有効」から「無効」に切り替えた場合は、[次へ] を押し、設定内容の確認画面で [更新] を押して、設定を終了してください。

## 3 設定したい802.1X認証に応じて、操作を続けます。



📖 P.196 「EAP-MSCHAPv2を設定する」

📖 P.197 「EAP-MD5を設定する」

📖 P.198 「EAP-TLSを設定する」

📖 P.199 「PEAPを設定する」

📖 P.201 「EAP-TTLSを設定する」

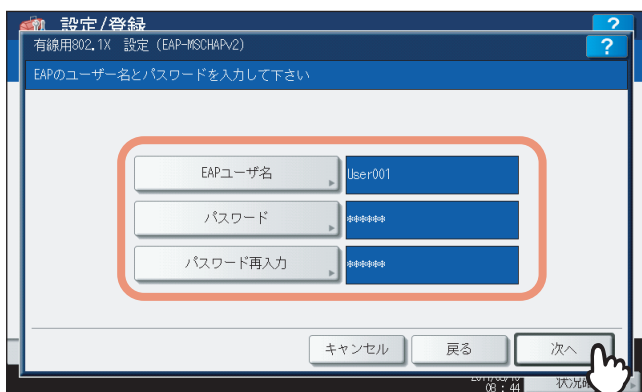
## □ EAP-MSCHAPv2を設定する

### 1 [EAP-MSCHAPv2] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-MSCHAPv2）画面が表示されます。

### 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



**[EAPユーザー名]**：EAPユーザー名を入力します。

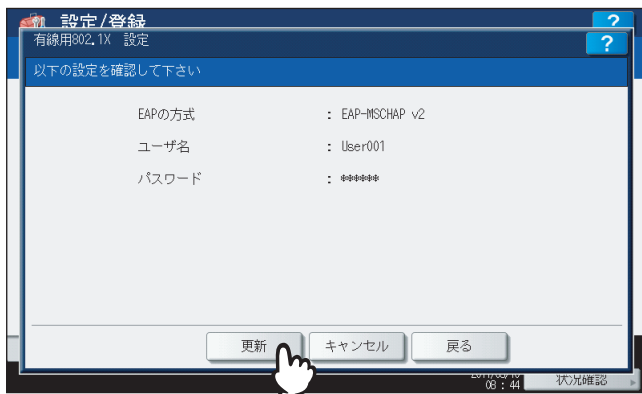
**[パスワード]**：認証パスワードを入力します。

**[パスワード再入力]**：認証パスワードを再入力します。

#### 補 足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

### 3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

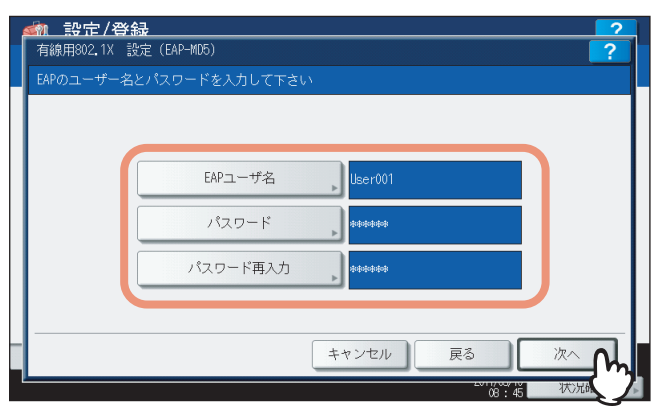
## □ EAP-MD5を設定する

1 [EAP-MD5] を選択し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MD5) 画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

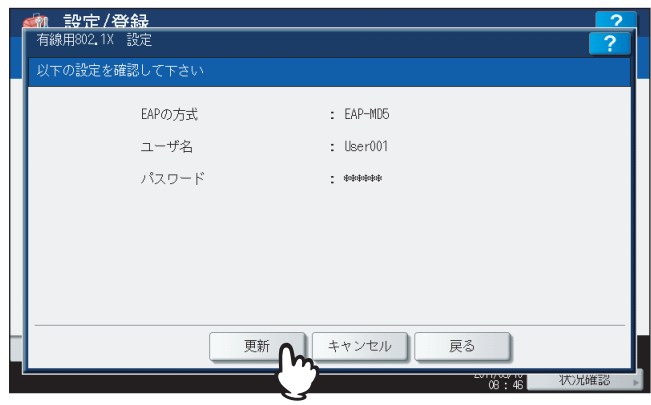


- [EAPユーザー名] : EAPユーザー名を入力します。
- [パスワード] : 認証パスワードを入力します。
- [パスワード再入力] : 認証パスワードを再入力します。

### 補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## □ EAP-TLSを設定する

### 注意

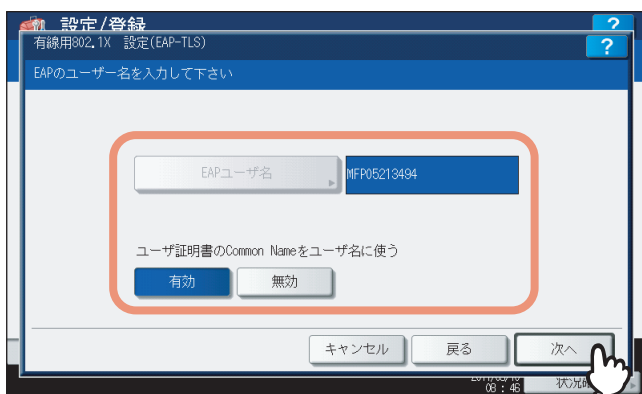
認証機能を設定する前に、CA証明書およびユーザ証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。

### 1 [EAP-TLS] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-TLS）画面が表示されます。

### 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



**[EAPユーザー名]**：EAPユーザー名を入力します。

**ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う**：本機にインストールされているユーザ証明書のCommon Name（コモンネーム）をEAPユーザー名に設定する場合は、[有効] を押します。

### 注意

「ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う」を [有効] に設定すると、[EAPユーザー名] を入力することはできません。

### 補足

[EAPユーザー名] を押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。



### 3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## □ PEAPを設定する

### 注意

- 認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。
- Windows Server 2008では、PEAPは使用できません。

### 1 [PEAP] を押し、[次へ] を押します。



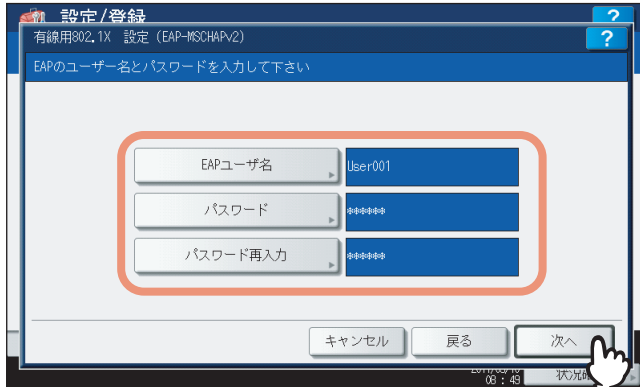
有線用802.1X設定 (PEAP) 画面が表示されます。

### 2 内部認証方式に [EAP-MSCHAPv2] を選択し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MSCHAPv2) 画面が表示されます。

### 3 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名]：EAPユーザー名を入力します。

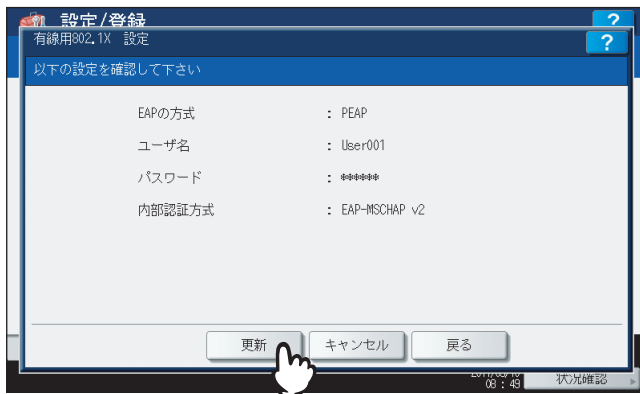
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

#### 補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

### 4 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## □ EAP-TTLSを設定する

### 注意

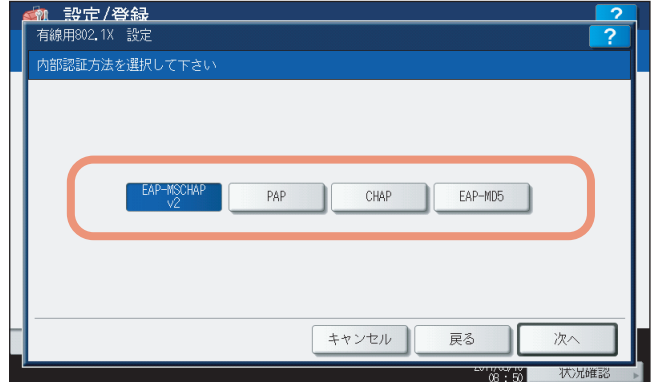
認証機能を設定する前に、CA証明書を本機にインストールしてください。インストール方法は、**TopAccessガイド**を参照してください。

### 1 [EAP-TTLS] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-TTLS) 画面が表示されます。

### 2 設定したい内部認証方式に応じて、操作を続けます。



- 📖 P.201 「内部認証にEAP-MSCHAPv2を設定する」
- 📖 P.202 「内部認証にPAPを設定する」
- 📖 P.203 「内部認証にCHAPを設定する」
- 📖 P.204 「内部認証にEAP-MD5を設定する」

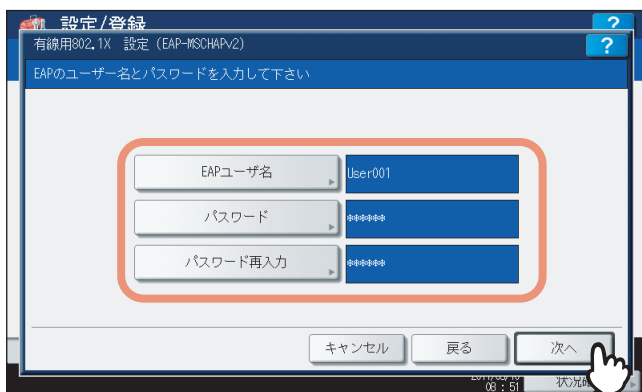
## 内部認証にEAP-MSCHAPv2を設定する

### 1 [EAP-MSCHAPv2] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (EAP-MSCHAPv2) 画面が表示されます。

## 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名]：EAPユーザー名を入力します。

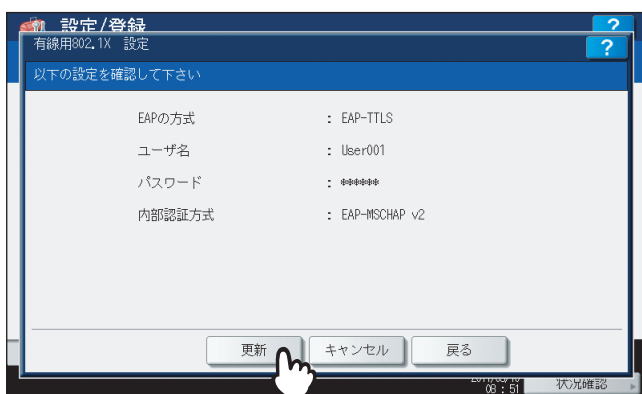
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

### 補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

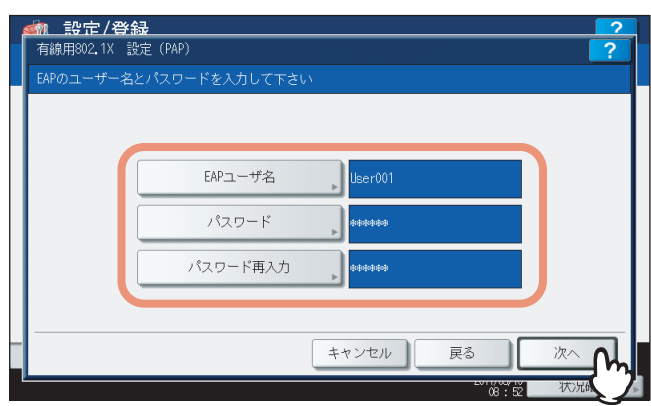
## 内部認証にPAPを設定する

### 1 [PAP] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（PAP）画面が表示されます。

2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

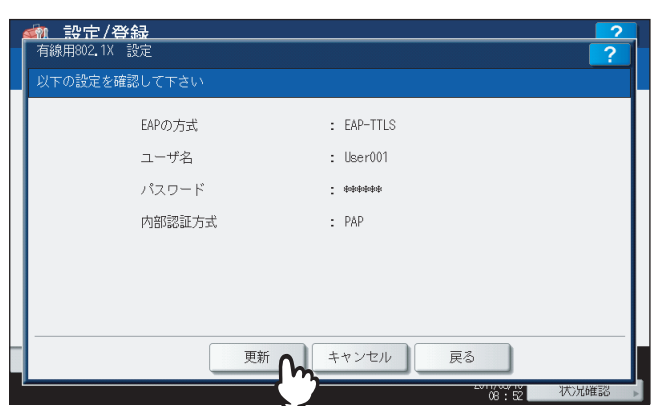


- [EAPユーザー名] : EAPユーザー名を入力します。
- [パスワード] : 認証パスワードを入力します。
- [パスワード再入力] : 認証パスワードを再入力します。

補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

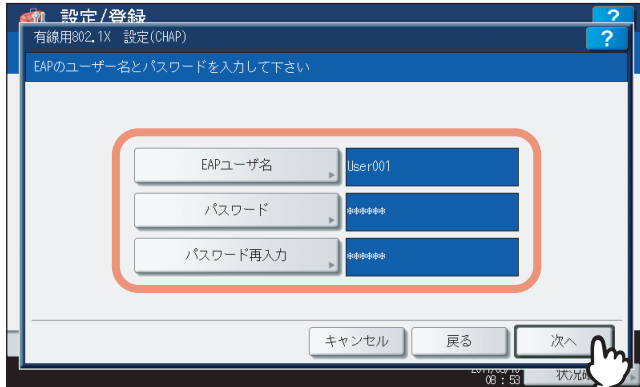
内部認証にCHAPを設定する

1 [CHAP] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定 (CHAP) 画面が表示されます。

## 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。



[EAPユーザー名]：EAPユーザー名を入力します。

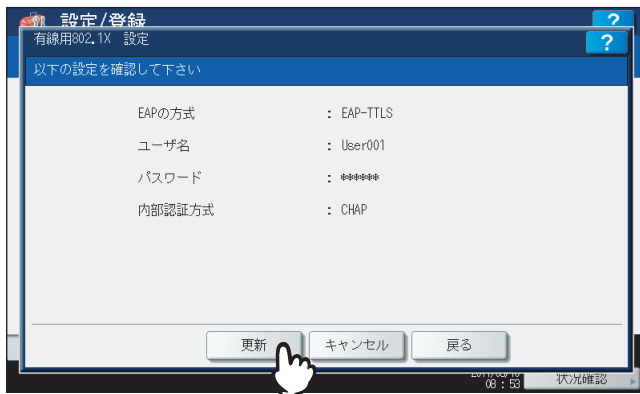
[パスワード]：認証パスワードを入力します。

[パスワード再入力]：認証パスワードを再入力します。

### 補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

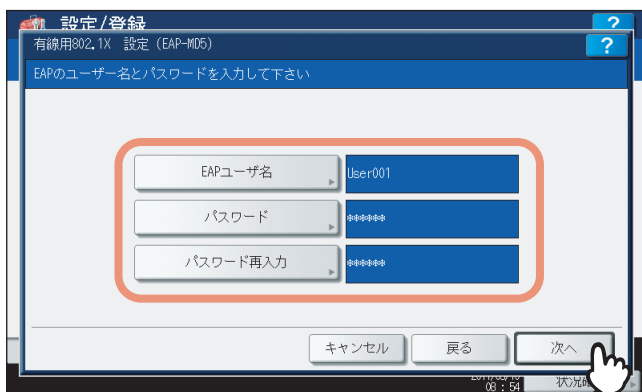
## 内部認証にEAP-MD5を設定する

### 1 [EAP-MD5] を押し、[次へ] を押します。



有線用802.1X設定（EAP-MD5）画面が表示されます。

## 2 下記項目を設定し、[次へ] を押します。

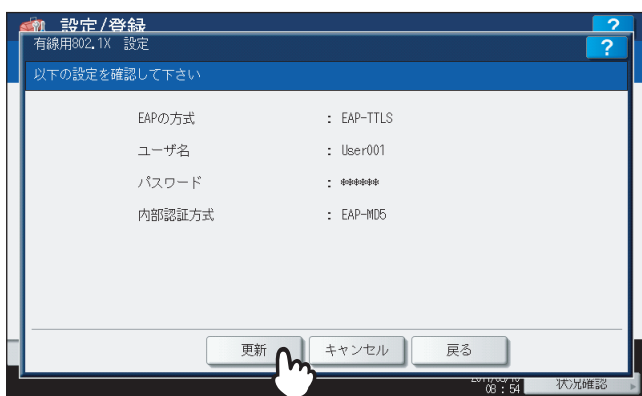


- [EAPユーザー名] : EAPユーザー名を入力します。
- [パスワード] : 認証パスワードを入力します。
- [パスワード再入力] : 認証パスワードを再入力します。

### 補足

上記の各ボタンを押すと、文字入力画面が表示されます。値を入力したら、[OK] を押して入力を確定してください。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 3 設定内容を確認し、[更新] を押します。



画面左下に「NICの初期化中」と表示されます。設定が完了すると、「NICの初期化中」の表示が消えます。

## □ エラーメッセージについて

802.1X認証に関して、以下のエラーメッセージがタッチパネルに表示される場合があります。

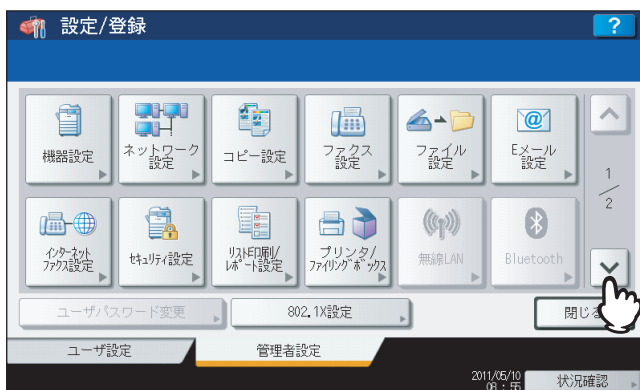
エラーメッセージ	原因
[802.1X] 認証サーバがスイッチに接続できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• RADIUSサーバーが停止している</li> <li>• RADIUSサーバーが正しく設定されていない</li> <li>• 認証スイッチなどのオーセンティケータの不具合</li> </ul>
[802.1X] 認証に失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 間違ったユーザー名やパスワードを入力した</li> <li>• アップロードされた証明書が間違っている</li> </ul>
[802.1X] 認証なしにフォールバックしました。	802.1X認証対応の認証スイッチが見つからなかったが、フォールバック機能によりネットワーク通信を開始している

# システムの初期化

本機の設定を工場出荷時の状態に戻し、各種ユーザデータをクリアします。  
この操作により工場出荷時の状態に戻るデータの詳細は、以下のとおりです。

設定データ		補足
セットアップ	一般	工場出荷時の状態に戻ります。
	ネットワーク	
	コピー	
	ファクス	
	共有フォルダに保管	
	Eメール	
	インターネットファクス	
	プリンタ/ファイリングボックス	
	プリンタ	
	プリントサービス	
	セキュリティ	
ユーザデータ		補足
ユーザ管理	ユーザアカウント	ユーザ管理データがクリアされると、LDAPマップ情報も同様にクリアされます。
	グループ管理	
	ロール管理	
	部門管理	
	割当管理	
カウンタ	ユーザカウンタ	クリアされます。
	部門カウンタ	
テンプレート		
アドレス帳		
Fコード/ファクス受信転送（振り分け）		
プリントデータコンバータ		
ICCプロファイル		
XMLフォーマットファイル		デフォルトのXMLにリセットされます。

## 1 管理者設定メニュー（1/2）で、 を押します。



管理者設定メニュー（2/2）が表示されます。

### 補足

管理者設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.73 「管理者設定メニューに入る」

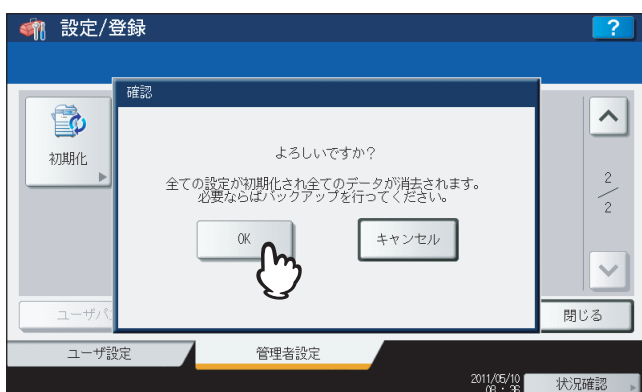


## 2 [初期化] を押します。



初期化実行の確認画面が表示されます。

## 3 [OK] を押します。

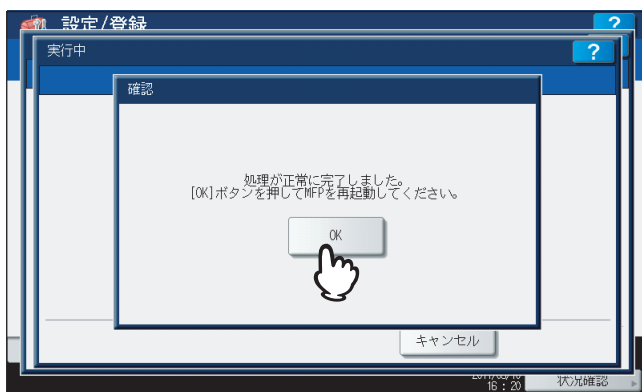


初期化を開始します。

### 注意

- 初期化を実行する前に設定データやユーザーデータをバックアップしたい場合は、クローニング機能を使ってファイルの複製を作成することができます。詳細は、以下のセクションを参照してください。  
P.112 「クローニング」
- 本機の初期化に失敗すると、警告画面に「実行に失敗しました。」と表示されます。この場合には、[閉じる] を押して操作を再度実行してください。

## 4 [OK] を押して、本機を再起動します。



本機が再起動されます。



## カウンタの管理

トータルカウンタ .....	210
トータルカウンタ印刷 .....	213
部門管理カウンタ .....	214
<b>部門管理</b> .....	<b>219</b>
部門管理設定メニューに入る .....	219
部門管理リストの印刷 .....	221
部門管理の有効／無効 .....	222
新しい部門コードの登録 .....	223
部門コードの変更 .....	227
部門コードの削除 .....	230
部門カウンタのクリア .....	231
全部門一括制限 .....	233
ブラック無制限 .....	234
コピー / プリント割当初期化 .....	235
全部門のカウンタのクリア .....	236
全部門コードの削除 .....	237

# トータルカウンタ

この機能では、以下のトータルカウント値を表示します。

## • プリントカウンタ

本機の出カトータルカウント値を表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

- コピーカウンタ：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
- ファクスカウンタ：ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
- プリントカウンタ：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
- リストカウンタ：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

## • スキャンカウンタ

本機でスキャンした原稿のトータルカウント値を表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

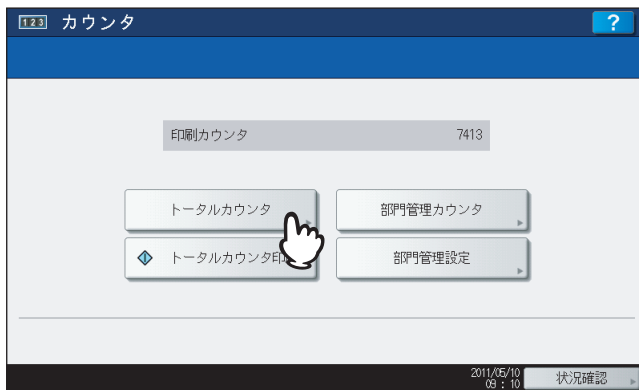
- コピーカウンタ：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
- ファクスカウンタ：ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
- ネットワークカウンタ：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

### 注意

トータルカウンタをクリアすることはできません。

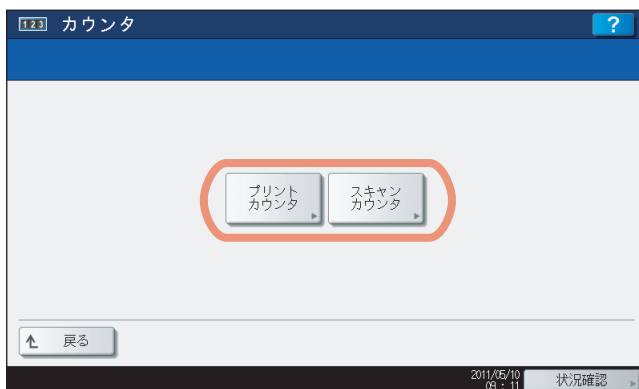
**1** 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。

**2** [トータルカウンタ] を押します。



トータルカウンタメニューが表示されます。

**3** 表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。



📖 P.211 「プリントカウンタを表示する」

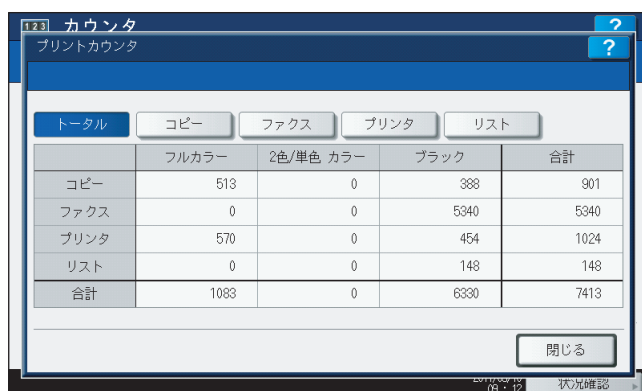
📖 P.212 「スキャンカウンタを表示する」

## プリントカウンタを表示する

### 1 [プリントカウンタ] を押します。



プリントカウンタ画面が表示されます。



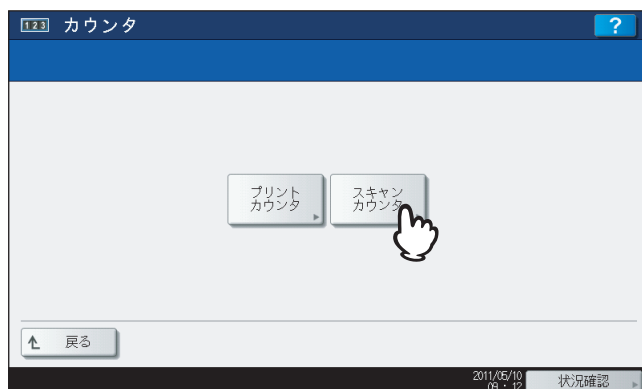
### 2 目的のボタンを選択します。



- コピー枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- 印刷枚数を表示するには、[プリンタ] を押します。
- リスト枚数を表示するには、[リスト] を押します。

## スキャンカウンタを表示する

### 1 [スキャンカウンタ] を押します。



スキャンカウンタ画面が表示されます。



### 2 目的のボタンを選択します。

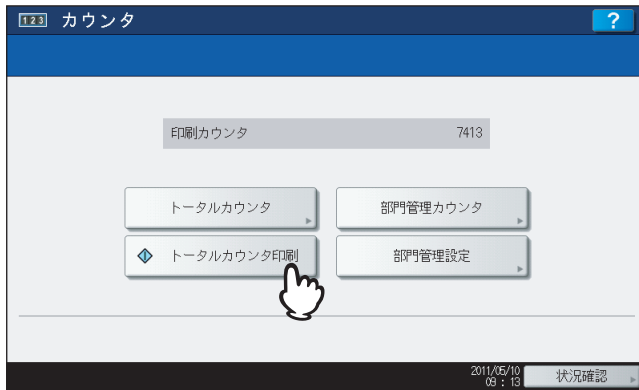


- コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ネットワーク] を押します。

# トータルカウンタ印刷

トータルカウンタリストを印刷します。


- 1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 [トータルカウンタ印刷] を押します。



- 本機が部門管理されていない場合は、トータルカウンタリストが印刷されます。
- 本機が部門管理されている場合は、部門コードの入力画面が表示されます。この場合は、部門コードを入力し [OK] を押すとトータルカウンタリストが印刷されます。

## 補足

トータルカウンタリストの出力サンプルは、以下のページを参照してください。

 P.240 「トータルカウンタリスト」

# 部門管理カウンタ

この機能では、以下の部門管理カウンタ値を表示します。

## 注意

部門管理カウンタは、部門管理機能を有効にしている場合に利用できます。

📖 P.222 「部門管理の有効／無効」

## • 部門プリントカウンタ

出力紙のカウント値を部門コードごとに表示します。プリントカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作で印刷された枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクスポーリング受信で印刷した枚数を表示します。
- **プリンタカウンタ**：印刷操作およびEメール受信（インターネットファクス受信）で印刷された枚数を表示します。
- **リストカウンタ**：システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

## 補足

コピー／ファクス／プリンタ／スキャン／リスト印刷の部門管理機能を個別に無効に選択できます。詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。

## • 部門スキャンカウンタ

本機でスキャンした原稿の枚数を部門コードごとに表示します。スキャンカウンタには、以下のカウンタがあります。

- **コピーカウンタ**：コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ファクスカウンタ**：ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示します。
- **ネットワークカウンタ**：スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。

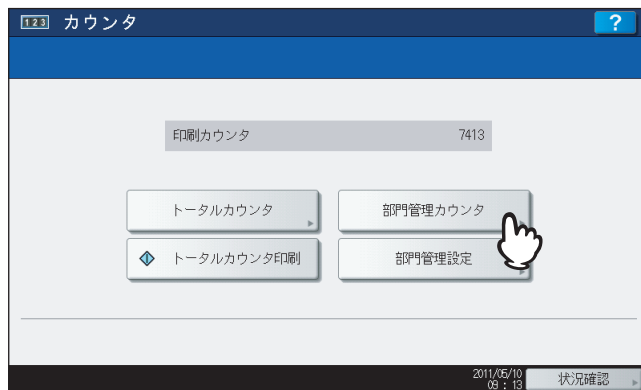
## • 部門ファクス通信カウンタ

ファクス／インターネットファクス送信および受信の通信枚数を部門コードごとに表示します。ファクス通信カウンタには、以下のカウンタがあります。

- **送信**：ファクス送信の通信枚数を表示します。
- **受信**：ファクスポーリング受信の通信枚数を表示します。

**1** 操作パネルの **【カウンタ】** ボタンを押して、**カウンタ管理メニュー**に入ります。

**2** **【部門管理カウンタ】** を押します。



部門コード画面が表示されます。



3 [部門コード] を押します。



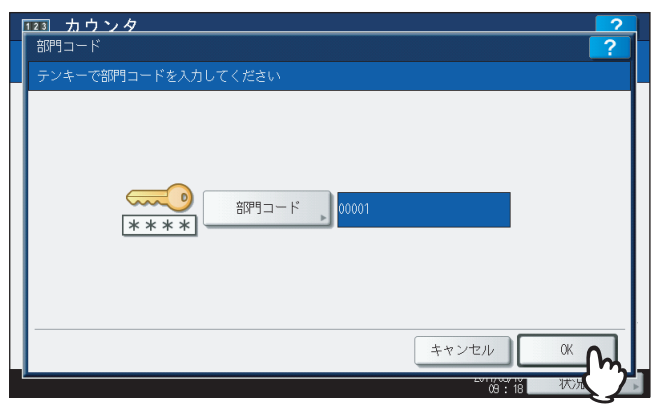
文字入力画面が表示されます。

4 部門コードを入力し [OK] を押します。



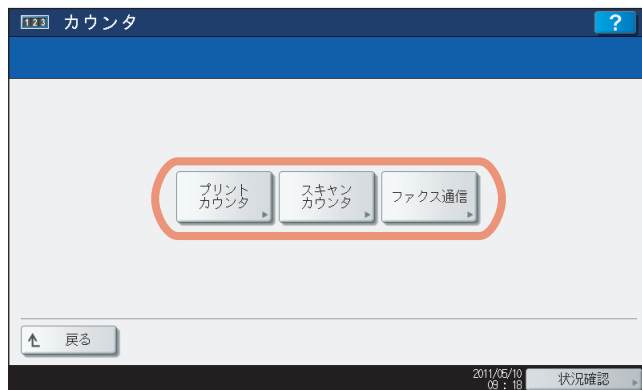
部門コード画面に戻ります。

5 [OK] を押します。



カウンタ画面が表示されます。

## 6 表示したいカウンタに応じて、操作を続けます。



- 📖 P.216 「部門プリントカウンタを表示する」
- 📖 P.217 「部門スキャンカウンタを表示する」
- 📖 P.218 「部門ファクス送信カウンタを表示する」

## 部門プリントカウンタを表示する

### 1 「プリントカウンタ」を押します。



指定した部門のプリントカウンタ画面が表示されます。



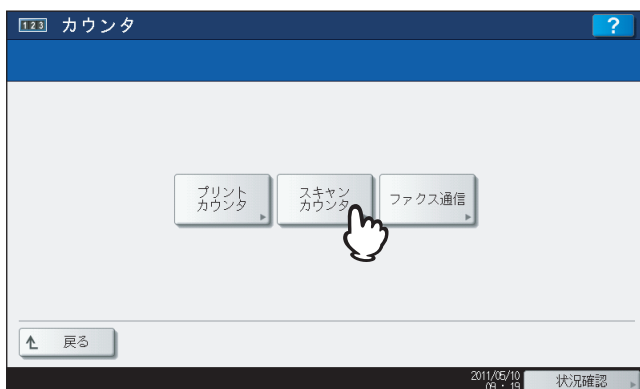
## 2 目的のボタンを選択します。



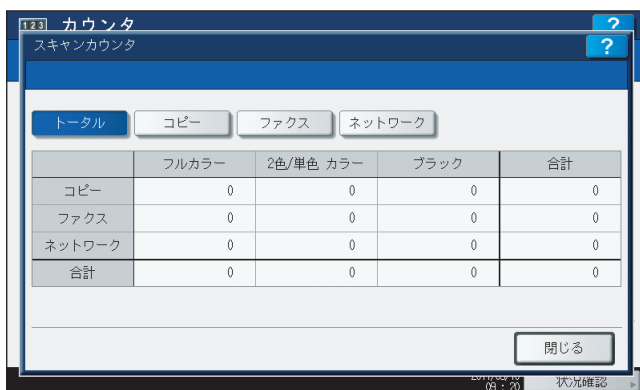
- コピー枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- 印刷枚数を表示するには、[プリンタ] を押します。
- リスト枚数を表示するには、[リスト] を押します。

## 部門スキャンカウンタを表示する

### 1 [スキャンカウンタ] を押します。



指定した部門のスキャンカウンタ画面が表示されます。



## 2 目的のボタンを選択します。



- コピー操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[コピー] を押します。
- ファクス送信やインターネットファクス送信でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ファクス] を押します。
- スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示するには、[ネットワーク] を押します。

## 部門ファクス送信カウンタを表示する

### 1 [ファクス通信] を押します。



指定した部門のファクス通信画面が表示されます。



## ■ 部門管理設定メニューに入る

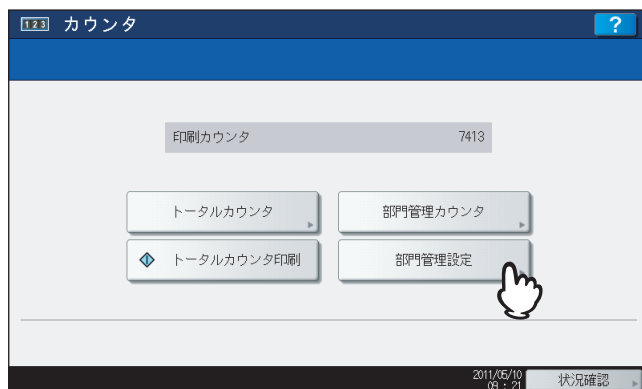
利用目的に応じた分類で部門コードを設定し、それぞれの部門のカウンタ値を管理することができます。1000部門まで登録することができます。

部門コードを管理するには本機の管理者パスワードを知っている必要がありますので、設置場所の管理責任者が部門コードの管理を行うことをお勧めします。

### 注意

ユーザ管理設定が有効になっている場合、アカウントマネージャ権限を持ったユーザ名でログインすると管理者パスワード画面は表示されず、そのまま部門管理設定メニューが表示されます。

- 1 操作パネルの [カウンタ] ボタンを押して、カウンタ管理メニューに入ります。
- 2 [部門管理設定] を押します。



管理者パスワード画面が表示されます。

- 3 [パスワード] を押します。



文字入力画面が表示されます。

## 4 管理者パスワードを入力し [OK] を押します。



部門管理設定メニューが表示されます。

### 補足

- 管理者パスワードを変更したことがない場合は、工場出荷時のパスワード「123456」を入力します。
- 入力したパスワードは、\*（アスタリスク）で表示されます。数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 5 必要な操作を続けて行います。



- 📖 P.221 「部門管理リストの印刷」
- 📖 P.222 「部門管理の有効／無効」
- 📖 P.223 「新しい部門コードの登録」
- 📖 P.227 「部門コードの変更」
- 📖 P.230 「部門コードの削除」
- 📖 P.231 「部門カウンタのクリア」
- 📖 P.233 「全部門一括制限」
- 📖 P.234 「ブラック無制限」
- 📖 P.235 「コピー / プリント割当初期化」
- 📖 P.236 「全部門のカウンタのクリア」
- 📖 P.237 「全部門コードの削除」

### 注意

「部門管理」および「部門管理登録」を除いたメニューは、1つ以上の部門コードを登録し、部門管理を有効に設定した後に使用できます。

## ■ 部門管理リストの印刷

登録されている部門コードと各部門のカウンタ値を印刷します。

### 1 部門管理設定メニューで、[部門コードの印刷] を押します。



印刷を開始します。

#### 補 足

- 部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。  
📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」
- 部門管理リストの出力例については、以下のページを参照してください。  
📖 P.241 「部門管理リスト」

## ■ 部門管理の有効／無効

工場出荷時の状態では、部門管理機能は無効に設定されています。部門ごとにカウンタを管理したい場合は、部門管理機能を有効に設定してください。この機能を有効にすると、操作パネルからコピーやスキャン、ファクス送信、ファイリングボックスの操作などを行うときに部門コードの入力画面が表示され、本機の操作を部門ごとに管理することができます。また、コンピュータからの印刷操作も部門ごとに管理されます。

部門ごとに管理できるカウンタの詳細は、以下のページを参照してください。

📖 P.214 「部門管理カウンタ」

### 注意

- ・ [部門管理] は、1 つ以上の部門コードを登録後に有効になります。部門管理機能を有効にする前に、必要な部門コードの登録を行ってください。

📖 P.223 「新しい部門コードの登録」

- ・ コンピュータからの印刷を部門管理する場合、印刷時に部門コードの入力を必須にするか、または部門コードが入力されていないなくても印刷を許可するかをTopAccessを使って設定することができます。TopAccessから印刷操作の部門管理強制を設定する方法については、**TopAccessガイド**を参照してください。
- ・ 部門管理機能は、Web Service スキャンをサポートしていません。部門管理機能が有効なときに実行されたWeb Service スキャンジョブは、常に「部門カウンタの番号-1001、部門名称-未定義」にカウントされます。

## 1 部門管理設定メニューで、[部門管理] を押します。



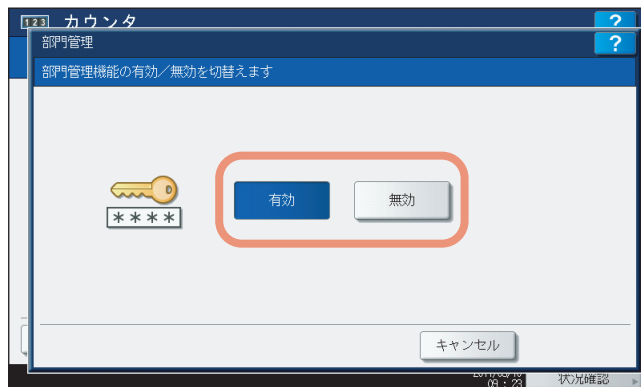
部門管理画面が表示されます。

### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

## 2 部門管理機能を使用するときは [有効] を押します。使用しない場合は [無効] を押してください。





## ■ 新しい部門コードの登録

新しい部門コードを登録します。

### 注意

1つ以上の部門コードを登録してから部門管理設定を有効にしてください。

📖 P.222 「部門管理の有効／無効」

### 1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



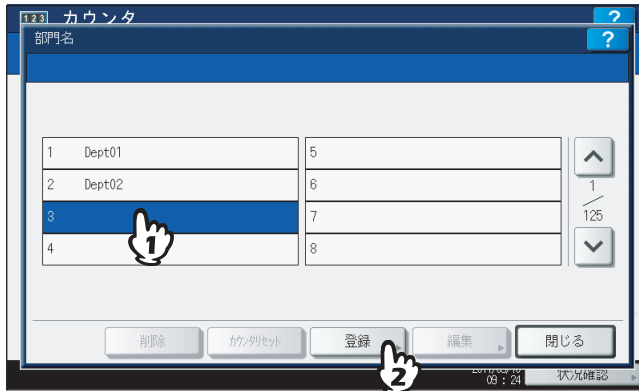
部門名画面が表示されます。

### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 部門を登録する空きボタンを押して、[登録] を押します。



文字入力画面が表示されます。

### 補足

タッチパネルに部門を登録できる空きボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

### 3 部門名を入力し [OK] を押します。

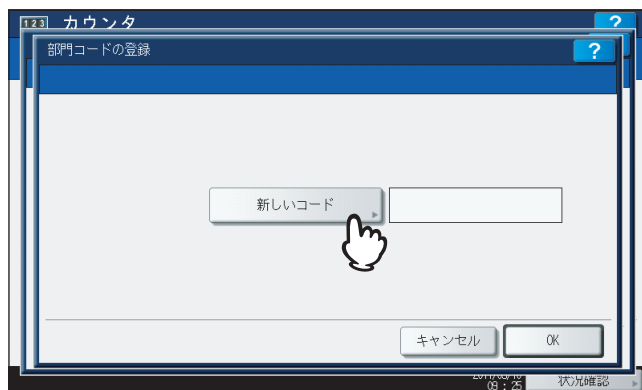


部門コードの登録画面が表示されます。

#### 補 足

- 文字入力のしかたの詳細は、[かんたん操作ガイド](#)を参照してください。  
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。  
📖 P.265 「区点コード表」
- 数字の入力は、テンキーからも行えます。

### 4 [新しいコード] を押します。



文字入力画面が表示されます。

## 5 部門コードを入力し [OK] を押します。



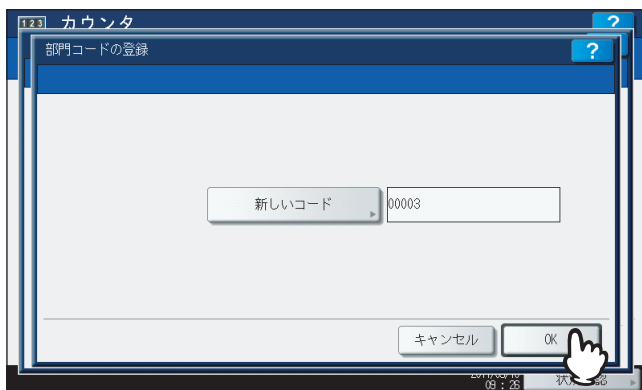
部門コードの登録画面に戻ります。

### 補足

部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。

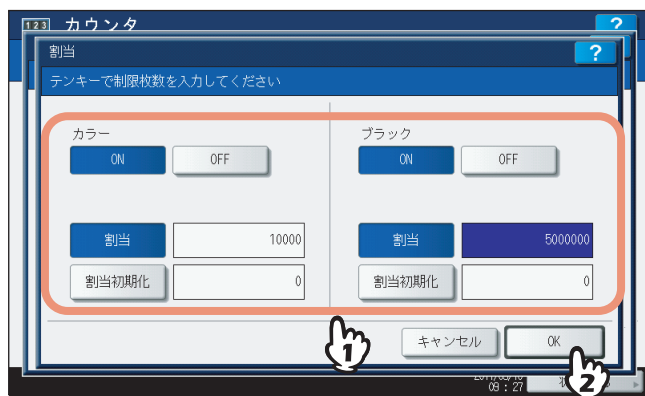
- 英数字および - (ハイフン) \_ (アンダースコア) . (ピリオド)
- 数字の入力は、テンキーからも行えます。

## 6 [OK] を押します。



割当画面が表示されます。

## 7 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、[OK] を押します。



部門名画面に戻ります。

**カラー**：この部門のカラー出力数を制限するかを選択します。[ON] を選択した場合は、[割当初期値] ボックスに、テンキーから割当数を入力してください。出力数を制限しない場合は、[OFF] を押します。

- **割当**：この部門コードで現在カラー出力できる残数が表示されます。[割当初期値] ボックスに入力した値が、出力するごとに減算され、「0」になると出力が制限されます。

新しい部門コードの登録時は、[割当初期値] ボックスに入力した値がこのボックスに表示されます。

このボックスに表示されている割当数は、手動で任意の値に変更することができます。

- **割当初期値**：この部門に設定する割当の初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

**ブラック**：この部門のモノクロ出力数を制限するかを選択します。[ON] を選択した場合は、[割当初期値] ボックスに、テンキーから割当数を入力してください。出力数を制限しない場合は、[OFF] を押します。

- **割当**：この部門コードで現在モノクロ出力できる残数が表示されます。[割当初期値] ボックスに入力した値が、出力するごとに減算され、「0」になると出力が制限されます。

新しい部門コードの登録時は、[割当初期値] ボックスに入力した値がこのボックスに表示されます。

このボックスに表示されている割当数は、手動で任意の値に変更することができます。

- **割当初期値**：この部門に設定する割当の初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

### 補 足

モノクロ出力は、以下の操作が対象となります。

- モノクロコピー
- モノクロプリント
- 受信したファクスの印刷の一部\*1
- リスト印刷

\*1 手動受信やポーリング受信、本機の親展や掲示板などに登録されている原稿の印刷など、部門コードの入力が必要なファクス受信の印刷

### 注 意

- 印刷中に残数が「0」になった場合は、ジョブを即座に中止することができないため、割当設定を数枚超えて印刷される場合があります。
- ブラック無制限機能 (P.234) が有効になっている場合は、ブラック割当は減算されません。

## ■ 部門コードの変更

登録済みの部門コードを編集します。

- 1 部門管理設定メニューから、[部門管理登録] を押します。



部門名画面が表示されます。

### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

- 2 編集したい部門ボタンを押して、[編集] を押します。

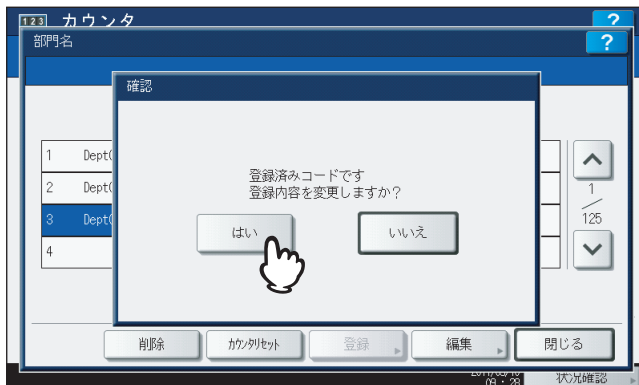


確認画面に「登録済みコードです。登録内容を変更しますか?」と表示されます。

### 補足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

- 3 [はい] を押します。



文字入力画面が表示されます。

- 4 部門名も変更する場合は、新しい部門名を入力し [OK] を押します。部門名を変更しない場合は、そのまま [OK] を押してください。

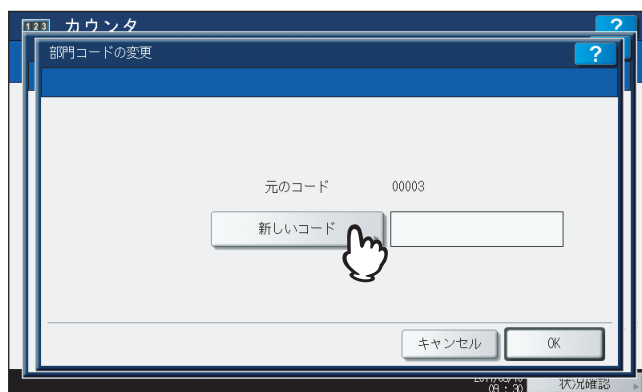


部門コードの変更画面に現在設定されている部門コードが表示されます。

#### 補足

- 文字入力のしかたの詳細は、**かんたん操作ガイド**を参照してください。  
また、[区点コード] から区点コード表に記載されている文字を入力することもできます。区点コード表の詳細は、以下のページを参照してください。  
📖 P.265 「区点コード表」
- 数字の入力は、テンキーからも行えます。

- 5 [新しいコード] を押します。



文字入力画面が表示されます。

## 6 新しい部門コードを入力し [OK] を押します。

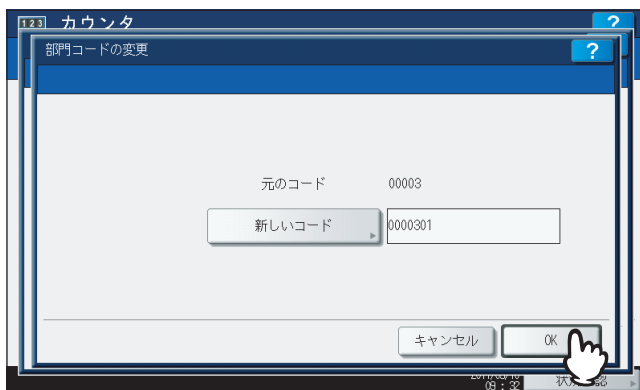


部門コードの変更画面に戻ります。

### 補足

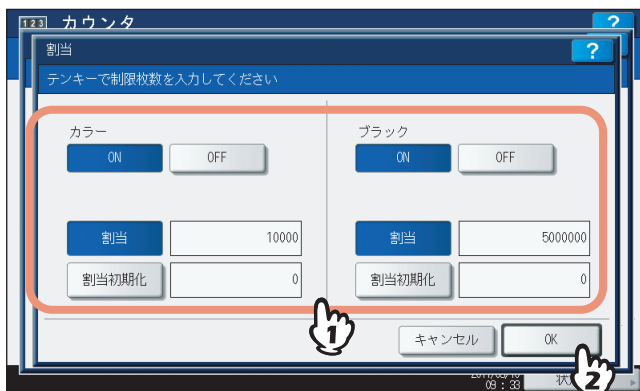
- 部門コードは、63文字以内で入力することができます。入力可能な文字は、以下のとおりです。
  - 英数字および - (ハイフン) \_ (アンダースコア) . (ピリオド)
  - 数字の入力は、テンキーから行えます。
- コードをクリアし再度入力したい場合は、文字入力画面の [クリア] または操作パネルの [クリア] ボタンを押します。

## 7 [OK] を押します。



割当画面が表示されます。

## 8 必要に応じて部門コードに出力の割当を設定し、[OK] を押します。



各項目の説明については、以下の操作の手順7を参照してください。

📖 P.223 「新しい部門コードの登録」

## ■ 部門コードの削除

登録済みの部門コードを削除します。

### 1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



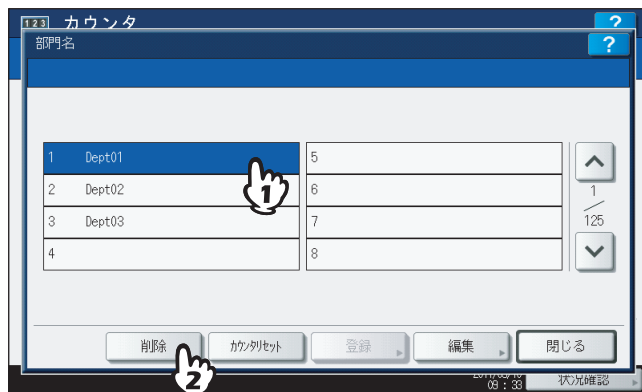
部門名画面が表示されます。

#### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 削除したい部門ボタンを押して [削除] を押します。



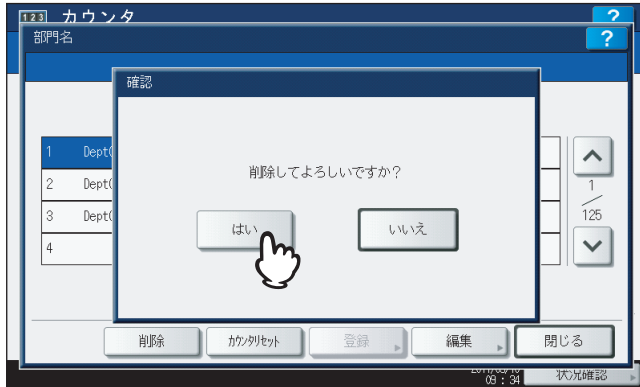
確認画面に「削除してよろしいですか?」と表示されます。

#### 補足

タッチパネルに目的の部門がない場合は、 を押して次の画面を表示します。



### 3 [はい] を押します。



部門コードが削除されます。

#### 補足

部門コードの削除を中止するときは、[いいえ] を押します。

## ■ 部門カウンタのクリア

特定の部門コードのカウンタだけをリセットします。

### 1 部門管理設定メニューで、[部門管理登録] を押します。



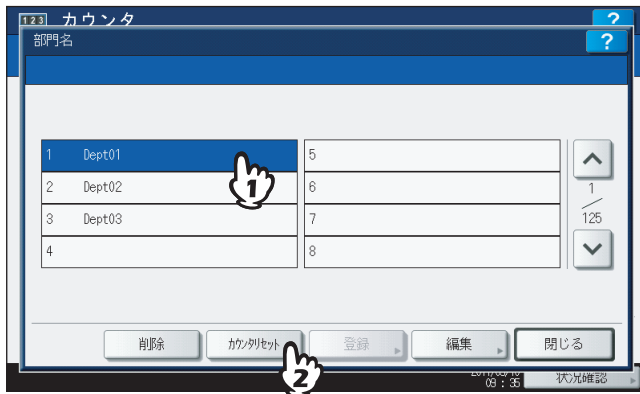
部門名画面が表示されます。

#### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

## 2 カウンタをクリアしたい部門ボタンを押して、[カウンタリセット] を押します。

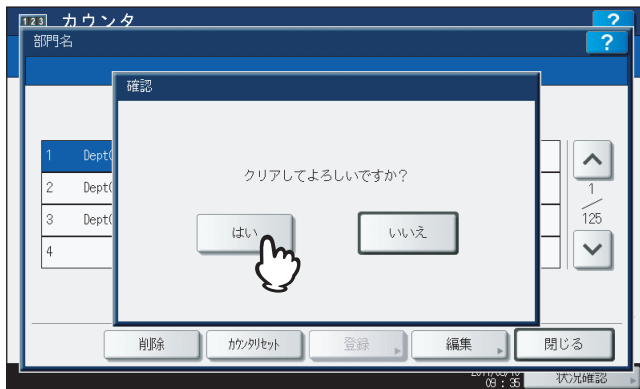


確認画面に「クリアしてよろしいですか?」と表示されます。

### 補足

タッチパネルに目的の部門ボタンがない場合は、 を押して次の画面を表示します。

## 3 [はい] を押します。



カウンタがクリアされます。

### 補足

カウンタのクリアを中止するときは、[いいえ] を押します。

## ■ 全部門一括制限

全部門の出力制限を一括して設定します。出力制限を [ON] にした場合は、全部門から出力ができなくなります。出力制限を [OFF] にした場合は、全部門からの出力を無制限にします。

### 補足

全部門一括制限で [ON] を選択した場合、全部門コードの出力の割当は「0」に設定されます。部門ごとに割当設定を変更したい場合は、割当設定を部門ごとに行ってください。

📖 P.227 「部門コードの変更」

### 1 部門管理設定メニューで、[全部門一括制限] を押します。



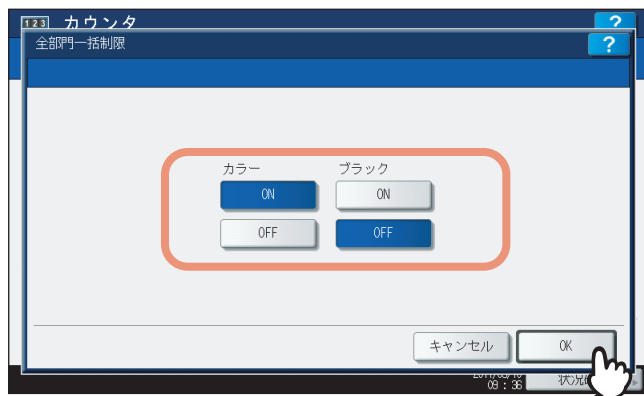
全部門一括制限画面が表示されます。

### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 必要に応じて下記項目を設定し、[OK] を押します。



全部門のリミテーション設定を保存します。[OK] を押すと、設定が適用されるまでタッチパネルに「おまちください」と表示されます。

**カラー**：全部門のカラー出力を不許可にする場合は、[ON] を押します。カラー出力数を無制限にする場合は、[OFF] を押します。

**ブラック**：全部門のモノクロ出力を不許可にする場合は、[ON] を押します。モノクロ出力数を無制限にする場合は、[OFF] を押します。

### 注意

- ブラック無制限 (📖 P.234) が有効になっている場合は、モノクロ出力の一括制限を設定することはできません。
- 登録されている部門コードの数によって、設定が適用されるまで時間がかかることがあります。

## ■ ブラック無制限

ブラック無制限は、部門管理機能が有効な場合に部門コードを入力することなくモノクロコピーやモノクロプリントを許可する機能です。この機能を有効にすると、カラーコピーやカラープリントを行う場合にのみ部門コードの入力が必要となります。モノクロコピーやモノクロプリントは無制限になるので、モノクロ出力のカウンタは部門コードごとにカウントされなくなります。また、部門コードごとに設定するブラック割当も減算されなくなります。

### 補 足

ユーザ管理設定が有効な場合には、ブラック無制限を有効にすることはできません。

### 1 部門管理設定メニューで、[ブラック無制限] を押します。



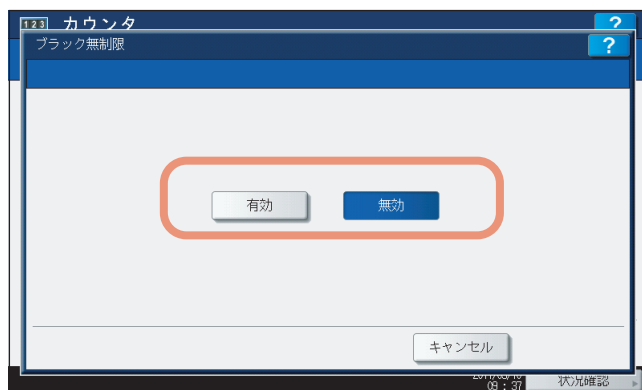
ブラック無制限画面が表示されます。

### 補 足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 ブラック無制限を使用するときは [有効] を押します。使用しない場合は [無効] を押してください。



ブラック無制限の設定が保存されます。

## ■ コピー/プリント割当初期化

すべての部門のカラー割当、ブラック割当および印刷ジョブ割当を一括して初期値に戻します。

### 1 部門管理設定メニューで、[コピー/プリント割当初期化] を押します。



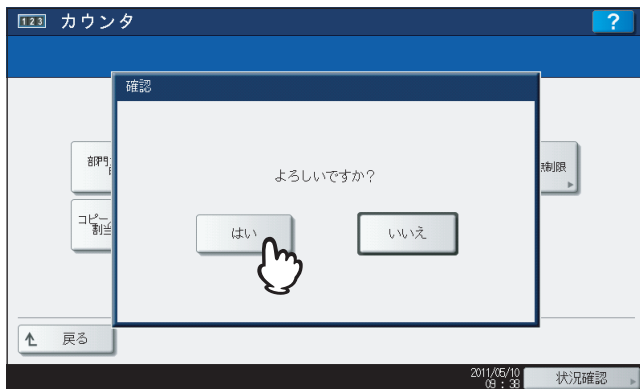
確認画面に「よろしいですか?」と表示されます。

#### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 [はい] を押します。



すべての部門の割当が初期値に戻ります。

#### 補足

割当の初期化を中止する場合は、[いいえ] を押してください。

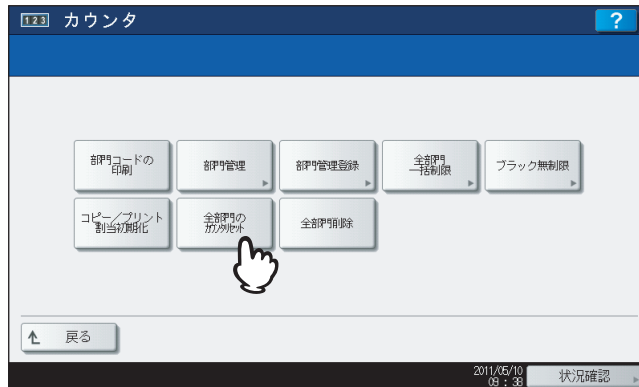
## ■ 全部門のカウンタのクリア

すべての部門のカウンタ値をクリアします。

### 注意

部門カウンタはクリアされますが、トータルカウンタはクリアされません。

### 1 部門管理設定メニューで、[全部門のカウンタリセット] を押します。



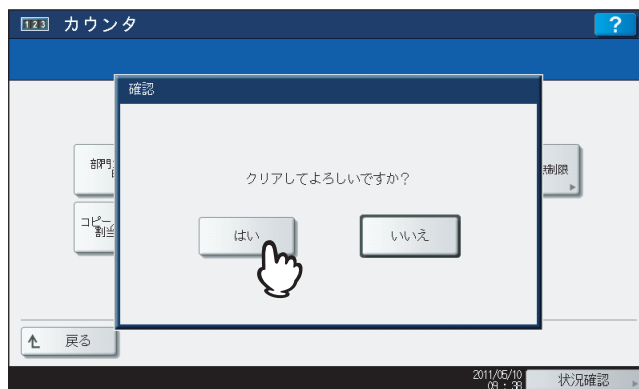
確認画面に「クリアしてよろしいですか?」と表示されます。

### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 [はい] を押します。



すべての部門のカウンタがクリアされます。

### 補足

部門カウンタのクリアを中止するときは、[いいえ] を押します。

## ■ 全部門コードの削除

登録したすべての部門コードを削除します。

### 1 部門管理設定メニューで、[全部門削除] を押します。



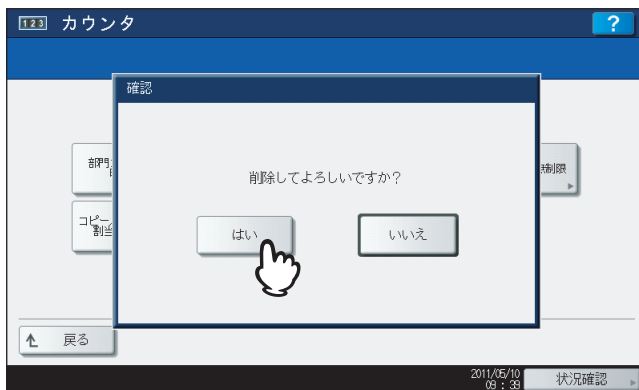
確認画面に「削除してよろしいですか?」と表示されます。

#### 補足

部門管理設定メニューを表示する手順は、以下のページを参照してください。

📖 P.219 「部門管理設定メニューに入る」

### 2 [はい] を押します。



すべての部門コードが削除されます。

#### 補足

全部門コードの削除を中止するときは、[いいえ] を押します。





## 付録

<b>リスト印字例</b> .....	<b>240</b>
トータルカウンタリスト.....	240
部門管理リスト.....	241
アドレス帳登録リスト.....	242
グループ登録リスト.....	243
システム設定リスト（ユーザ）.....	244
NIC設定ページ.....	245
システム設定リスト（管理者）.....	247
PS3フォントリスト.....	263
PCLフォントリスト.....	264
<b>区点コード表</b> .....	<b>265</b>

# リスト印字例

## ■ トータルカウンタリスト

トータルカウンタリストの出力例 (e-STUDIO4540C Series)

トータルカウンタリスト 2011-05-10 10:22	S/N: CME000034 TOSHIBA e-STUDIO4540C	FIN S/N: FIN S/N-	TOTAL : 9999 DF TOTAL : 9999	
プリントカウンタ				
トータル				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
コピー	99999	99999	99999	299996
ファクス	99999	99999	99999	299996
プリンタ	99999	99999	99999	299996
リスト	99999	99999	99999	299996
トータル	399996	399996	399996	1199988
コピー				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
ファクス				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
プリンタ				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	99999
リスト				
	フルカラー	2色/単色 カラー	ブラック	トータル
スモール	16667	16666	16667	399996
ラージ	16667	16665	16667	399996
トータル	33334	33331	33334	
キャリブレーション	カウンタ :		1	

# ■ 部門管理リスト

## 部門管理リストの出力例

部門管理リスト				出力時刻 : 2011-05-10 20:47	
<u>部門番号</u>		<u>部門名</u>			
D	1	01			
プリントカウンタ					
<u>フルカラー</u>				<u>2色/単色 カラー</u>	
	<u>コピー</u>	<u>プリンタ</u>	<u>トータル</u>	<u>リミテーション</u>	
スモール	99999	99999	199998		
ラージ	99999	99999	199998		
	199998	199998	399996	0	
ブラック					
	<u>コピー</u>	<u>ファクス</u>	<u>プリンタ</u>	<u>リスト</u>	<u>合計</u>
スモール	99999	99999	99999	99999	399996
ラージ	99999	99999	99999	99999	399996
	199998	199998	199998	199998	799992
					0
ファクス送受信			スキャンカウンタ		
	<u>送信</u>	<u>受信</u>		<u>フルカラー</u>	<u>2色/単色 カラー</u>
				<u>コピー</u>	<u>ブラック</u>
				<u>ネットワーク</u>	<u>コピー</u>
スモール	99999	99999	スモール	99999	99999
ラージ	99999	99999	ラージ	99999	99999
	199998	199998		199998	199998
				199998	199998
					199998
					199998
<u>部門番号</u>		<u>部門名</u>			
D	2	02			
プリントカウンタ					
<u>フルカラー</u>					
	<u>コピー</u>	<u>プリンタ</u>	<u>トータル</u>		
	99999				

## ■ アドレス帳登録リスト

アドレス帳登録リスト出力例

アドレス帳登録リスト							
				出力時刻	: 2011-05-10 20:47		
				電話番号1	: 9999999999		
				電話番号2	: 9999999990		
				局名	: MFP_04998820		
番号	宛先名	電話番号/メールアドレス	海外指定	送信方法	回線指定	ECM	ATT
001	User01	0000000001 ✉user01@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
002	User02	0000000002 ✉user02@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
003	User03	0000000003 ✉user03@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
004	User04	0000000004 ✉user04@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
005	User05	0000000005 ✉user05@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
006	User06	0000000006 ✉user06@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
007	User07	0000000007 ✉user07@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
008	User08	0000000008 ✉user08@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
009	User09	0000000009 ✉user09@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
010	User10	0000000010 ✉user10@example.com	OFF	メモリ		OFF	0
011	User11	0000000011 ✉user11@example.com	OFF				
	User12						

## ■ グループ登録リスト

グループ登録リストの出力例

番号	グループ名称	アドレス帳
001	Group01	001 ☒001 ☒002 ☒003 ☒004 005 ☒005 006 ☒006 ☒007 007 008 ☒008 009 ☒009 010 ☒010 ☒011 ☒012 ☒013 014 ☒014 015 ☒015 016 ☒016 017 ☒017 018 ☒018 019 ☒019 020 ☒020
002	Group02	005 007 009 ☒015 ☒060 ☒065
003	Group03	005 ☒005 ☒006 ☒006 ☒007 ☒009

☒ メールアドレス  
☒ ファクス番号

## ■ システム設定リスト (ユーザ)

システム設定リスト (ユーザ) の出力例 (e-STUDIO4540C Series)

システム設定リスト			
S/N	: CME000034	出力時刻	: 2010-05-10 20:47
F/W Ver.	: T140SYOW0020	電話番号 1	: 9999999999
M-ROM Ver.	: 140M-015	電話番号 2	: 9999999990
S-ROM Ver.	: 140S-01	局名	: MFP_04998820
一般			
トータルカウンタ	: 9999		
カセット			
1段目カセット	: A4		
2段目カセット	: A3		
3段目カセット	: A4-R		
4段目カセット	: B5		
オートクリア	: 45		
コピー設定			
濃度調整 (カラー)	: 手動		
濃度調整 (ブラック)	: 自動		
カラーモード	: ブラック		
両面時の画像の向き	: 無効		
手差し用紙	: 普通紙		
カラー原稿モード	: 文字/写真		
ブラック原稿モード	: 文字/写真		
オートカラー時の原稿モード	: 文字/写真		
白紙ページ除去判定レベル	: 0		
オートカラー判定レベル	: 0		
2 IN 1 / 4 IN 1	: 横書き		
マガジンソート	: 左開き		
ブック両面	: 左開き		
スキャン設定			
カラーモード	: ブラック		
圧縮率	: 標準		
オートカラー時モノクロページ濃度調整	: 3		
画像回転	: 0		
両面	: 片面		
オートカラー時のブラック画質	: 標準		
プレビュー表示設定	: OFF		
初期プレビュー表示設定	: OFF		
白紙ページ除去判定	: OFF		

### 補 足

システム設定リストに印字される各項目の説明は、下記のページを参照してください。

📖 P.247 「システム設定リスト (管理者)」

## ■ NIC設定ページ

### NIC設定ページの出力例

```

=====
シリアル番号          : CME000034          バージョン : T140SY0W0020
ネットワークアドレス  : 00:80:91:6B:EB:23
ネットワークポロジ-   : Ethernet          コネクター : RJ45
アドレス設定方法      : 自動

ノベルネットワーク情報          有効
  プリントサーバ名          : MFP_04998820
  パスワードあり            :
  サーチルート定義なし
  ディレクトリーサービスツリー : ORG
  ディレクトリーサービスコンテキスト : dept1.org
  スキャンレート            : 5
  フレームタイプ            : Auto Sense

TCP/IP IPv4ネットワーク情報      有効
  アドレスモード            : マニュアル
  IPアドレス                : 10.10.70.120
  サブネットマスク          : 255.255.255.0
  デフォルトゲートウェイ    : 10.10.70.1
  プライマリDNSサーバー      :
  DNS名                      :
  ホスト名                   : MFP07072547
  プライマリWINSサーバーアドレス : 0.0.0.0
  NetBIOS名                  : MFP07072547

IPP印刷情報                    有効
  IPP印刷 SSLなし            : http://MFP07072547:631/Print
  IPP印刷 SSLあり            : https://MFP07072547:443/Print

AppleTalkネットワーク情報        有効
  AppleTalkプリンタ名        : MFP07072547
  AppleTalkゾーン            : *
  AppleTalkタイプ            : LaserWriter

=====

ノベル接続情報
  ファイルシステムサーバ名    : NWSRV
  キュー名                    : MFP_QUEUE

AppleTalk接続情報
  AppleTalkプリンタ名        : MFP07072547

Rawソケット接続情報
  ポート番号

```

シリアル番号	本機のシリアル番号
バージョン	本機のシステムバージョン
ネットワークアドレス	本機のMACアドレス
ネットワークポロジ-	ネットワークタイプ
コネクター	接続タイプ
アドレス設定方法	アドレスの設定方法
ノベルネットワーク情報	
プリントサーバ名	本機のNovellプリンタ名
パスワードあり	パスワード設定の有無
サーチルート	本機のサーチルート設定
ディレクトリーサービスツリー	本機のNDSツリー設定
ディレクトリーサービスコンテキスト	本機のNDSコンテキスト設定
スキャンレート	本機のスキャンレート設定
フレームタイプ	本機のフレームタイプ設定
TCP/IP IPv4ネットワーク情報	
アドレスモード	本機のTCP/IPアドレスモード設定

IPアドレス	本機のIPアドレス
サブネットマスク	本機のサブネットマスク
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバー	本機の優先DNSサーバーアドレス設定
DNS名	本機のDNS名
ホスト名	本機のホスト名
プライマリWINSサーバーアドレス	本機の優先WINSサーバーアドレス設定
NetBIOS名	本機のNetBIOS名
IPP印刷情報	
IPP印刷 SSLなし	本機のIPP印刷用URL
IPP印刷 SSLあり	本機のSSL対応IPP印刷用URL
AppleTalkネットワーク情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
AppleTalkゾーン	本機のAppleTalkゾーン設定
AppleTalkタイプ	本機のAppleTalkプリンタタイプ
ノベル接続情報	
ファイルシステムサーバー名	接続しているNetWareファイルサーバー名
キュー名	接続しているNetWareキュー名
AppleTalk接続情報	
AppleTalkプリンタ名	本機のAppleTalkプリンタ名
Rawソケット接続情報	
ポート番号	Raw印刷用のポート番号
TCP/IP IPv6ネットワーク情報	
LLMNR	LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコル設定
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス
アドレスモード	本機のIPv6アドレスモード設定
IPアドレス	本機のIPv6アドレス
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス
プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス
セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス



## ■ システム設定リスト（管理者）

システム設定リスト（管理者）の出力例（e-STUDIO4540C Series）

```

システム設定リスト
S/N          : CME000034          出力時刻    : 2011-05-10 20:47
F/W Ver.    : T140SYOW0030      電話番号 1  : 99999999999
M-ROM Ver.  : 140M-015          電話番号 2  : 99999999990
S-ROM Ver.  : 140S-01          局名        : MFP_04998820

一般
トータルカウンタ          : 9999
メインメモリ／ページメモリサイズ : 2048 MB / 512 MB
  1段目カセット          : A4
  2段目カセット          : A3
  3段目カセット          : A4-R
  4段目カセット          : B5
オートクリア              : 45
節電モード設定
  ウィークリータイマー    ON          OFF
  タイマ設定 日曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 月曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 火曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 水曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 木曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 金曜日      : 00:00:00 24:00:00
  タイマ設定 土曜日      : 00:00:00 24:00:00
  ウィークリータイマー使用 : 無効
  自動節電時間            : 15
  自動オフ時間            : 60
  スーパースリープ       : 無効
サマータイム設定
  サマータイム使用        : 無効
  標準時間との差          : +1:00
  開始                    : 1月 1週 日曜日 0:0
  終了                    : 1月 1週 日曜日 0:0
データクロニング機能     : 有効
USBダイレクト印刷        : 有効
機能設定
  ローカルHDDへ保存       : 有効
  ファイリングボックス   : 有効
  Eメール送信             :
  FTP保存                 :
  FTPS保存                :
  
```

管理者設定メニューから出力したシステム設定リストには、すべての機能の設定一覧が印刷されます。次の表では、管理者のシステム設定リストに印刷される項目と説明、およびユーザのシステム設定リストにも印刷される項目を確認できます。

### 一般

リスト項目	説明	ユーザ
トータルカウンタ	トータルカウンタ値	○
メインメモリ／ページメモリサイズ	メインメモリ／ページメモリのサイズ	×
カセット-1段目カセット	1段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-2段目カセット	2段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-3段目カセット *1	3段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-4段目カセット *2	4段目カセットに設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置 *3	大容量給紙装置に設定された用紙サイズ	○
カセット-大容量給紙装置（外付け） *4	大容量給紙装置（外付け）に設定された用紙サイズ	○
オートクリア	一定時間操作されていない場合に、タッチパネルで行った操作をクリアし初期画面に戻す時間（秒）	×

一般

リスト項目	説明	ユーザ
節電モード設定-ウィークリータイマー	日曜日から土曜日までの各日の節電モードに入る時間、および節電モードから復帰する時間	×
節電モード設定-ウィークリータイマー使用	ウィークリータイマー機能の有効/無効	×
節電モード設定-自動節電時間	自動節電モードに入る時間(分)	×
節電モード設定-自動オフ時間	自動オフモードに入る時間(分)	×
節電モード設定-スーパースリープ	スーパースリープモードの有効/無効	×
サマータイム設定-サマータイム使用	サマータイム使用の有無	×
サマータイム設定-標準時間との差	現地標準時間との時間差	×
サマータイム設定-開始/終了	サマータイムの適用期間	×
データクローニング機能	データクローニング機能の有効/無効	×
USBダイレクト印刷	USBダイレクト印刷の有効/無効	×
機能設定-ローカルHDDへ保存	ローカルHDDへの保存の有効/無効	×
機能設定-ファイリングボックス	ファイリングボックス機能の有効/無効	×
機能設定-Eメール送信	Eメール送信の有効/無効	×
機能設定-FTP保存	FTP保存の有効/無効	×
機能設定-FTPS保存	FTPS保存の有効/無効	×
機能設定-USBメディアに保存	USBメディアに保存の有効/無効	×
機能設定-SMB保存	SMB保存の有効/無効	×
機能設定-NETWARE保存	NetWare保存の有効/無効	×
機能設定-インターネットファクス送信	インターネットファクス送信の有効/無効	×
機能設定-ファクス送信	ファクス送信の有効/無効	×
機能設定-WEB SERVICESスキャン	Webスキャンサービスの有効/無効	×
機能設定-TWAINスキャン	TWAINスキャンの有効/無効	×
機能設定-外部コントローラへのスキャン	外部コントローラへのスキャンの有効/無効	×
機能設定-ネットワークファクス	ネットワークファクスの有効/無効	×
機能設定-ネットワークインターネットファクス	ネットワークインターネットファクスの有効/無効	×
ジョブスキップ設定-ジョブスキップ使用	ジョブスキップ機能の有効/無効	×
管理者によるアドレス帳操作制限	管理者によるアドレス帳操作の制限の有無	×
地紋印刷設定-地紋印刷設定	地紋印刷設定の有効/無効	×
地紋印刷設定-地紋印刷使用	地紋印刷使用の有効/無効	×
地紋印刷設定-情報読み出し	情報読み出しの有効/無効	×
地紋印刷設定-コピー制限	コピー制限の有無	×
地紋印刷設定-スキャン制限	スキャン制限の有無	×
地紋印刷設定-印刷制限	印刷制限の有無	×
ポップアップ-カセット	カセットポップアップの有効/無効	×
ポップアップ-紙詰り解除後の印刷	紙づまり解除後の印刷ポップアップの有効/無効	×

- \*1 「3段目カセット」は3段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
- \*2 「4段目カセット」は4段目カセットが装着されている場合のみ印字されます。
- \*3 「大容量給紙装置」は大容量給紙装置が装着されている場合のみ印字されます。
- \*4 「大容量給紙装置（外付け）」は大容量給紙装置（外付け）が装着されている場合のみ印字されます。

**コピー設定**

リスト項目	説明	ユーザ
濃度調整（カラー）	カラーコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
濃度調整（ブラック）	ブラックコピー時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラーモード	コピー時に初期設定として適用されるカラーモード	○
両面時の画像の向き	両面時の画像の向き設定の有効／無効	○
手差し用紙	コピー時に初期設定として適用される手差しトレイの用紙タイプ	○
カラー原稿モード	カラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
ブラック原稿モード	ブラックコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
オートカラー時の原稿モード	オートカラーコピー時に初期設定として適用される原稿モード	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○
オートカラー判定レベル	オートカラー判定レベルの設定値	○
2IN1/4IN1	2IN1/4IN1コピー時に初期設定として適用される2IN1/4IN1の設定	○
マガジンソート	マガジンソートコピー時初期設定として適用されるマガジンソートコピーの設定	○
ブック両面	ブック両面コピー時に初期設定として適用されるブック両面の設定	○
最大コピー部数	指定できる最大コピー部数	×
自動両面	コピー時に初期設定として適用される両面コピーの設定	×
ソートモード	コピー時に初期設定として適用されるソートモード	×
オートカラーの初期値	オートカラーの初期値モード	×
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジ機能の有効／無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可機能の有効／無効	×
排紙トレイ自動切替（カスケード印刷）	排紙トレイ自動切替の有効／無効	×
ステイブル針無し時の印刷中断	ステイブル切れ時の印刷中断機能の有効／無効	×
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続機能の有効／無効	×

**スキャン設定**

リスト項目	説明	ユーザ
カラーモード	スキャン時に初期設定として適用されるカラーモード	○
圧縮率	圧縮率の設定	○
オートカラー時モノクロページ濃度調整	スキャン時に初期設定として適用される閾値	○
画像回転	スキャン時に初期設定として適用される回転設定	○
両面	スキャン時に初期設定として適用される両面スキャン設定	○
オートカラー時のブラック画質	オートカラー時スキャン時に白黒スキャンに適用される画質モード	○
プレビュー表示設定	プレビュー機能の有効／無効	○
初期プレビュー表示設定	プレビュー画面の表示設定	○
白紙ページ除去判定レベル	白紙除去判定レベルの設定値	○

## スキャン設定

リスト項目	説明	ユーザ
オートカラー判定レベル	オートカラー判定レベルの設定値	○
カラー - 解像度	カラースキャン時に初期設定として適用される解像度	○
カラー - 原稿モード*	カラースキャン時に初期設定として適用される原稿モード	○
カラー - 濃度調整	カラースキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
カラー - 下地調整	カラースキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
グレースケール - 解像度	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される解像度	○
グレースケール - 濃度調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
グレースケール - 下地調整	グレースケールスキャン時に初期設定として適用される下地調整	○
ブラック - 解像度	ブラックスキャン時に初期設定として適用される解像度	○
ブラック - 原稿モード	ブラックスキャン時に初期設定として適用される原稿モード*	○
ブラック - 濃度調整	ブラックスキャン時に初期設定として適用される濃度調整	○
ブラック - 下地調整	ブラックスキャン時に初期設定として適用される下地調整	○

## ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
ファクスROMバージョン	ファクスROMのバージョン	○
解像度	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される解像度	○
原稿モード	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される原稿モード*	○
濃度調整	ファクス/インターネットファクス送信時に初期設定として適用される濃度調整	○
送信方法* <sup>1</sup>	ファクス送信時に初期設定として適用される送信方法	○
発信元記録	発信元記録の有効/無効	×
受信元記録	受信元記録の有効/無効	○
ECM* <sup>1</sup>	ECMの有効/無効	○
初期設定-リング音量* <sup>1</sup>	電話着信時のリング音量レベル	×
初期設定-モニタ音量* <sup>1</sup>	ファクス通信時のモニタ音量レベル	×
初期設定-終了音量* <sup>1</sup>	ファクス通信完了時の終了音量レベル	×
初期設定-受信方法* <sup>1</sup>	ファクスの受信方法	×
初期設定-呼出し回数* <sup>1</sup>	ファクス受信時の呼び出し回数	×
初期設定-リモート受信* <sup>1</sup>	リモート受信の有効/無効	×
初期設定-ダイヤルタイプ* <sup>1</sup>	回線1のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤル(回線2)* <sup>2</sup>	回線2のダイヤルタイプ	×
初期設定-ダイヤルイン* <sup>1</sup>	ダイヤルインの有効/無効	×
初期設定-ファクス設定* <sup>1</sup>	ダイヤルイン使用時の本機のファクス番号	×
初期設定-TEL* <sup>1</sup>	ダイヤルイン用電話番号	×
回線2設定* <sup>2</sup>	回線2設定	×

### ファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
回線2設定-開始時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の開始時刻	×
回線2設定-終了時刻 *2	回線2の時刻指定使用時の終了時刻	×
記録モード-切り捨て印刷	切り捨て印刷の有効/無効	×
記録モード-縮小印刷	縮小印刷の有効/無効	×
記録モード-両面 *1	両面印刷の有効/無効	×
記録モード-縦横交互排紙 *1	縦横交互排紙の有効/無効	×
復活送信待ち *1	復活送信の有効/無効	×
復活送信-保持時刻 *1	復活送信有効時の保持時刻 (時間)	×
ファクス受信転送 - エージェント1 *1	ファクス受信転送のエージェント	×
ファクス受信転送-エージェント2 *1	ファクス受信転送のエージェント	×

\*1 FAXユニット (オプション) が装着されている場合のみ印字します。

\*2 FAXユニットおよび回線増設ユニット (オプション) が装着されている場合のみ印字します。

### ボックス

リスト項目	説明	ユーザ
印刷画像モード	ファイリングボックス印刷に適用される印刷画質モード	○

### BLUETOOTH BIP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
印刷用紙サイズ	Bluetooth BIP印刷に適用される用紙サイズ	○
印刷サイズ	Bluetooth BIP印刷に適用される印刷サイズ	○

### 注意

BLUETOOTH BIP印刷は、Bluetoothモジュール (オプション) が装着されている場合のみ印字されます。

### ファイル

リスト項目	説明	ユーザ
メンテナンス	メンテナンスの有効/無効	×
保存日数	メンテナンス有効時に適用される保存日数	×

### Eメール設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割送信サイズ	Eメール送信に適用される分割送信サイズ	×
送信者アドレス	Eメール送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	Eメール送信に適用される送信者名	×
リトライ回数	Eメール送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	Eメール送信に適用されるリトライ間隔	×
Bcc送信アドレス表示	Bccアドレス表示の有効/無効	×

### インターネットファクス設定

リスト項目	説明	ユーザ
分割ページサイズ	インターネットファクス送信に適用される分割ページサイズ	×
本文送信	インターネットファクス送信時の本文送信の有効/無効	×
送信者アドレス	インターネットファクス送信に適用される送信者アドレス	×
送信者名	インターネットファクス送信に適用される送信者名	×
リトライ回数	インターネットファクス送信に適用されるリトライ回数	×
リトライ間隔	インターネットファクス送信に適用されるリトライ間隔	×
インターネットファクス受信転送 -エージェント1	インターネットファクス受信転送のエージェント	×
インターネットファクス受信転送 -エージェント2	インターネットファクス受信転送のエージェント	×

### 通信レポート設定

リスト項目	説明	ユーザ
通信管理記録設定-自動印刷	通信管理記録の自動出力の有効/無効	×
通信管理記録設定-送信管理記録	通信管理記録に印字される送信管理記録件数	×
通信管理記録設定-受信管理記録	通信管理記録に印字される受信管理記録件数	×
通信結果表-メモリ送信	メモリ送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ダイレクト送信	ダイレクト送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-同報送信	同報送信通信結果表の印字設定	×
通信結果表-ポーリング	ポーリング通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継親局結果表	中継親局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継子局	中継子局通信結果表の印字設定	×
通信結果表-中継孫局	中継孫局通信結果表の印字設定	×
通信受付表-ローカル	本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-リモート	他のデバイスから本機のメールボックスに文書を保管した際の通信受付表印刷の有無	×
通信受付表-中継子局	他のデバイスから本機のメールボックスに送られてきた文書を中継転送した際の通信受付表印刷の有無	×

### プリンタ/ファイリングボックス設定

リスト項目	説明	ユーザ
オートカセットチェンジ	オートカセットチェンジの有効/無効	×
異方向用紙の許可	異方向用紙の許可の有効/無効	×
ジョブ強制続行 (紙サイズ、紙タイプ違い)	ジョブ強制続行の有効/無効	×
排紙トレイ自動切替 (カスケード印刷)	排紙トレイ自動切替の有効/無効	×
ステイブル針無し時の印刷中断	ステイブル切れ時の印刷中断の有効/無効	×
パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑フル時の印刷継続の有効/無効	×

### 有線802.1X設定

リスト項目	説明	ユーザ
802.1X使用	有線802.1X認証の有効/無効	×

### 有線802.1X設定

リスト項目	説明	ユーザ
EAPメソッド	設定されているEAPメソッド	×

### 無線LAN設定

リスト項目	説明	ユーザ
無線LAN	無線LANの有効/無効	×

**注意**

無線LAN設定は、無線LANモジュール（オプション）が装着されている場合のみ印字されます。

### BLUETOOTH設定

リスト項目	説明	ユーザ
Bluetooth	Bluetoothの有効/無効	×
Bluetooth名	本機のBluetooth名	×
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレス	×
検索の許可	Bluetooth検索の許可機能の有無	×
セキュリティ	セキュリティの有無	×
PIN	本機のPIN番号	×
データの暗号化	データ暗号化の有無	×

**注意**

BLUETOOTH設定は、Bluetoothモジュール（オプション）が装着されている場合のみ印字されます。

### ネットワーク設定 - ネットワーク製品名 - 一般

リスト項目	説明	ユーザ
ETHERNET通信速度 全/半二重設定	送信速度の設定	×

### ネットワーク設定 - ネットワーク - TCP/IP

リスト項目	説明	ユーザ
アドレス設定方法	IPアドレスの取得方法	×
ホスト名	本機の名称	×
IPアドレス	本機のIPアドレス	×
サブネットマスク	本機のサブネットアドレス	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×

### ネットワーク設定 - ネットワーク - IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
IPv6使用	IPv6の有効/無効	×
LLMNR	LLMNR (Linklocal Multicast Name Resolution) プロトコルの有効/無効	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPv6

リスト項目	説明	ユーザ
アドレス設定方法	IPv6アドレスの取得方法	×
リンクローカルアドレス	本機のリンクローカルアドレス	×
IPアドレス	本機のIPv6アドレス	×
プレフィックス長	IPv6アドレスのプレフィックス長	×
ゲートウェイ	本機のゲートウェイアドレス	×
DHCPv6使用（設定取得）	DHCPv6使用（設定取得）の有効／無効	×
ステートフル使用（IPアドレス取得 Mフラグ）	ステートフル使用（IPアドレス取得 Mフラグ）の有効／無効	×
ステートフル使用（設定取得 Oフラグ）	ステートフル使用（設定取得 Oフラグ）の有効／無効	×
IPアドレス1	ルーターから通知された IPv6アドレス プレフィックス長 ゲートウェイ	×
プレフィックス長1		×
ゲートウェイ1		×
IPアドレス2		×
プレフィックス長2		×
ゲートウェイ2		×
IPアドレス3		×
プレフィックス長3		×
ゲートウェイ3		×
IPアドレス4		×
プレフィックス長4		×
ゲートウェイ4		×
IPアドレス5		×
プレフィックス長5		×
ゲートウェイ5		×
IPアドレス6		×
プレフィックス長6		×
ゲートウェイ6		×
IPアドレス7		×
プレフィックス長7		×
ゲートウェイ7		×
ステートフル使用（IPアドレス取得）	ステートフル使用（IPアドレス取得）の有効／無効	×
ステートフル使用（設定取得）	ステートフル使用（設定取得）の有効／無効	×

ネットワーク設定 - ネットワーク - IPX/SPX

リスト項目	説明	ユーザ
IPX/SPX使用	IPX/SPXの有効／無効	×
フレームタイプ	フレームタイプ設定	×



ネットワーク設定 - ネットワーク - APPLE TALK

リスト項目	説明	ユーザ
APPLE TALK使用	AppleTalkの有効/無効	×
デバイス名	本機のAppleTalk名	×
ゾーン名	AppleTalkゾーン名	×

ネットワーク設定 - セッション - LDAPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LDAP使用	LDAPの有効/無効	×
付加情報1	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
付加情報2	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名	×
検索方法	LDAP検索時の検索方法	×

ネットワーク設定 - セッション - DNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DNS使用	DNSの有効/無効	×
プライマリDNSサーバーアドレス	プライマリDNSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス	セカンダリDNSサーバーのIPアドレス	×
プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	プライマリDNSサーバーのIPv6アドレス	×
セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	セカンダリDNSサーバーのIPv6アドレス	×

ネットワーク設定 - セッション - DDNSセッション

リスト項目	説明	ユーザ
DDNS使用	DDNSの有効/無効	×
ホスト名	本機のホスト名	×
ドメイン名	本機のドメイン名	×
セキュリティ方式	本機のセキュリティ方式	×
プライマリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のプライマリログインネーム	×
セカンダリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合のセカンダリログインネーム	×

ネットワーク設定 - セッション - SMBセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SMBサーバプロトコル	SMBの有効/無効	×
制限	プリント共有/ファイル共有の機能制限の有無	×
NETBIOS名	本機のNetBIOS名	×
ログオン	ログオン設定	×
ワークグループ	本機のワークグループ	×
ドメイン	本機のドメイン名	×
プライマリドメインコントローラ	プライマリドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
バックアップドメインコントローラ	バックアップドメインコントローラのホスト名またはIPアドレス	×
デバイス名	本機のドメインデバイス名	×

### ネットワーク設定 - セッション - SMBセッション

リスト項目	説明	ユーザ
プライマリWINSサーバーアドレス	プライマリWINSサーバーのIPアドレス	×
セカンダリWINSサーバーアドレス	セカンダリWINSサーバーのIPアドレス	×
SMBサーバのSMB署名	SMBサーバーのSMB署名の設定	×
SMBクライアントのSMB署名	SMBクライアントのSMB署名の設定	×

### ネットワーク設定 - セッション - NETWAREセッション

リスト項目	説明	ユーザ
バインダリサーバー使用	バインダリモードの有効/無効	×
NDS使用	NDSモードの有効/無効	×
サービスコンテキスト	NDSコンテキスト	×
サービスツリー	NDSツリー	×
優先サーバ	優先サーバー名	×

### ネットワーク設定 - セッション - BONJOURセッション

リスト項目	説明	ユーザ
BONJOUR使用	Bonjourの有効/無効	×
LINK-LOCALホスト名	本機のDNS名	×
サービス名	本機のBonjourサービス名	×

### ネットワーク設定 - セッション - LLTDセッション

リスト項目	説明	ユーザ
LLTD使用	LLTD (Link Layer Topology Discovery) の有効/無効	×
デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名	×

### ネットワーク設定 - セッション - SLPセッション

リスト項目	説明	ユーザ
SLP使用	SLP (Service Location Protocol) の有効/無効	×
TTL	サービスを提供するネットワークの範囲TTL (Time To Live)	×
スコープ	サービスを提供するグループを指定するためのスコープ	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - HTTPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
HTTPサーバー使用	本機HTTPサーバーの有効/無効	×
プライマリポート番号	HTTPネットワークサービスのプライマリポート番号	×
セカンダリポート番号	HTTPネットワークサービスのセカンダリポート番号	×
SSL使用	HTTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	HTTP SSLのポート番号	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPクライアントネットワークサービス

説明	リスト項目	ユーザ
SMTPクライアント使用	SMTPクライアント機能の有効/無効	×
認証	SMTP認証の有効/無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPクライアントネットワークサービス

説明	リスト項目	ユーザ
POP BEFORE SMTP	POP Before SMTP機能の有効/無効	×
SMTPサーバーアドレス	SMTPサーバーのIPアドレス	×
ログイン名	SMTP認証に使用するログイン名	×
ポート番号	EメールやインターネットファクスをSMTPサーバーに送る際に使用するポート番号	×
SSL使用	SMTP SSLの有効/無効	×
SSL/TLS	SSLに使用されるプロトコル	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SMTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SMTPサーバー使用	SMTPサーバー機能の有効/無効	×
ポート番号	本機がSMTP受信する際に使用するポート番号	×
Eメール転送使用	オフランプゲートウェイの有効/無効	×
オフランプセキュリティ	オフランプセキュリティの有効/無効	×
オフランプ印刷	オフランプ印刷の有効/無効	×
Eメールアドレス	SMTPサーバー機能が有効の場合に適用する本機のEメールアドレス	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - IPセキュリティ

リスト項目	説明	ユーザ
IPセキュリティ使用	IPセキュリティ機能の有効/無効	×
ポリシー名	IPセキュリティに使用するポリシー	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - POP3ネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
POP3クライアント使用	POP3クライアント機能の有効/無効	×
POP3サーバーアドレス	POP3サーバーのホスト名またはIPアドレス	×
認証	POP3認証の有効/無効	×
ログインタイプ	POP3ログインタイプ	×
アカウント名	本機用Eメールアカウントのアカウント名	×
ポーリングレート	POP3サーバーに新着メッセージを確認する間隔(分)	×
ポート番号	POP3サーバーにアクセスする際に使用するポート番号	×
SSL使用	POP3 SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	POP3 SSLのポート番号	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPクライアントネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SSL設定	FTP SSLの設定	×
ポート番号(初期値)	本機からFTPサーバーにアクセスする際に初期設定として使用するポート番号	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - FTPサーバーネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
FTPサーバー使用	FTPサーバー機能の有効/無効	×
ポート番号 (初期値)	本機でFTPを使用してデータを受信する際に初期設定として使用するポート番号	×
SSL使用	FTP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	FTP SSLのポート番号	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - WEB SERVICES設定

リスト項目	説明	ユーザ
SSL使用	Web Service SSLの有効/無効	×
フレンドリーネーム (表示名)	本機の表示名	×
WEB SERVICEプリント	Web Serviceプリントの有効/無効	×
プリンタ名	本機のプリンタ名	×
プリンタ情報	本機のプリンタ情報	×
WEB SERVICEスキャン	Web Serviceスキャンの有効/無効	×
スキャナ名	本機のスキャナ名	×
スキャナ情報	本機のスキャナ情報	×
PCからのスキャンでの認証	ジョブを受け付ける際の認証設定	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNMPネットワークサービス

リスト項目	説明	ユーザ
SNMP使用	SNMPの有効/無効	×
リードコミュニティ	リードコミュニティ名	×
SNMP V3使用	SNMP V3の有効/無効	×
SNMP V3トラップ使用	SNMP V3トラップの有効/無効	×
認証トラップ使用	認証トラップの有効/無効	×
警告トラップ使用	警告トラップの有効/無効	×
トラップ送信先1	トラップ送信先のIPアドレス (最大10先まで)	×
IPトラップコミュニティ	IPトラップコミュニティ名	×
IPXトラップアドレス	IPXトラップアドレス	×

### ネットワーク設定 - ネットワークサービス - SNTP設定

リスト項目	説明	ユーザ
SNTP使用	SNTPの有効/無効	×
プライマリSNTPアドレス	プライマリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
セカンダリSNTPアドレス	セカンダリSNTPサーバーのホスト名またはIPアドレス	×
ポート番号	SNTPのポート番号	×
ポーリングレート	SNTPサーバーに時間設定を確認する間隔 (時間)	×
NTP認証	NTP認証の有効/無効	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - TELNETサービス

リスト項目	説明	ユーザ
TELNET使用	TELNETサービスの有効/無効	×
ポート番号	TELNETサービスのポート番号	×
ユーザ名	TELNETサービスユーザ名	×

ネットワーク設定 - ネットワークサービス - フィルタリング

リスト項目	説明	ユーザ
IPフィルタリング使用	IPフィルタリングの有効/無効	×
MACアドレスフィルタリング使用	MACアドレスフィルタリングの有効/無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - RAW TCP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
RAW TCP印刷使用	Raw TCP印刷の有効/無効	×
ポート番号	Raw TCP印刷のポート番号	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - LPD印刷

リスト項目	説明	ユーザ
LPD印刷使用	LPD印刷の有効/無効	×
ポート番号	LPD印刷のポート番号	×
LPDバナー	バナーページ印刷の有効/無効	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - IPP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
IPP印刷使用	IPP印刷の有効/無効	×
IPPポート80使用	ポート80を使用したIPP印刷の有効/無効	×
ポート番号	IPP印刷のポート番号	×
URL	IPP印刷用のURL	×
認証	IPP印刷時の認証の有効/無効	×
ユーザ名	認証に使用するユーザ名	×
SSL使用	IPP SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	IPP SSLのポート番号	×
SSL URL	SSLを使用したIPP印刷用のURL	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - FTP印刷

リスト項目	説明	ユーザ
FTP印刷使用	FTP印刷の有効/無効	×
ユーザ名	FTP印刷のユーザ名	×
パスワード	FTP印刷のパスワード	×

ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - NETWARE印刷

リスト項目	説明	ユーザ
プリントサーバー名	本機のプリントサーバー名	×
パスワード	NetWareファイルサーバーのパスワード	×

### ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - NETWARE印刷

リスト項目	説明	ユーザ
印刷キューポーリングレート	NetWareファイルサーバーからの印刷ジョブの取得間隔（秒）	×

### ネットワーク設定 - プリントサービス設定 - Eメール印刷

リスト項目	説明	ユーザ
ヘッダ印刷	Eメールヘッダの印刷の有無	×
本文印刷	Eメール本文の印刷の有無	×
Eメール本文最大印刷枚数	Eメール本文の最大印刷枚数	×
エラーメッセージの出力	エラーメッセージ印刷の有効/無効	×
エラーメール転送をする	エラーメール転送の有効/無効	×
エラーメールの転送先アドレス	エラーメールが転送されるEメールアドレス	×
分割受信	分割受信したEメール印刷の有効/無効	×
分割受信待ち時間	分割受信したEメールを印刷する場合に印刷を開始する前に次の分割メッセージが届くまで待つ時間（分）	×
MDNリプライ	MDNリプライの有効/無効	×

### プリントデータコンバータ

リスト項目	説明	ユーザ
プリントデータコンバータ使用	プリントデータコンバータの有効/無効	×

### OFF DEVICE CUSTOMIZATION ARCHITECTURE

リスト項目	説明	ユーザ
ポート使用	ポートの有効/無効	×
ポート番号	ポート番号	×
SSL使用	SSLの有効/無効	×
SSLポート番号	SSLポート番号	×
セッションタイムアウト	外部環境との接続状態を継続する時間	×

### セキュリティ設定 - 認証 - 部門設定

リスト項目	説明	ユーザ
部門コード使用	部門コード管理の有効/無効	×
不正な部門コードの印刷ジョブ	不正な印刷ジョブの取り扱い	×
部門管理（コピー）	部門管理（コピー）の有効/無効	×
部門管理（ファクス）	部門管理（ファクス）の有効/無効	×
部門管理（プリント）	部門管理（プリント）の有効/無効	×
部門管理（スキャン）	部門管理（スキャン）の有効/無効	×
部門管理（リスト）	部門管理（リスト）の有効/無効	×

### セキュリティ設定 - 認証 - ユーザ認証設定

リスト項目	説明	ユーザ
ユーザ認証使用	ユーザ認証の有効/無効	×
認証失敗時の印刷ジョブ	認証失敗時の印刷ジョブの取り扱い	×

**セキュリティ設定 - 認証 - ユーザ認証設定**

リスト項目	説明	ユーザ
ログオン時の自動リリース	ログオン時の自動リリースの有効/無効	×
ゲストユーザを有効にする	ゲストユーザによる操作の許可/不許可	×
認証方法	ユーザ認証方法	×

**セキュリティ設定 - 認証 - Eメール送信のユーザ認証設定**

リスト項目	説明	ユーザ
Eメール送信のユーザ認証	Eメール送信のユーザ認証の有効/無効	×

**セキュリティ設定 - 認証 - Eメールアドレス設定**

リスト項目	説明	ユーザ
送信者アドレス設定	送信者アドレスの設定	×
Eメール宛先制限設定	Eメール宛先制限設定の有効/無効	×

**セキュリティ設定 - 認証 - シングルサインオン設定**

リスト項目	説明	ユーザ
シングルサインオン使用	シングルサインオンの有効/無効	×

**セキュリティ設定 - 認証 - ホームディレクトリ設定**

リスト項目	説明	ユーザ
ホームディレクトリ使用	ホームディレクトリの有効/無効	×
ホームディレクトリサーバー	使用するホームディレクトリサーバー	×

**セキュリティ設定 - 証明書管理**

リスト項目	説明	ユーザ
デバイス証明書	デバイス証明書の種類	×

**セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ユーザパスワードポリシー**

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効/無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間(分)	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間(日)	×

**セキュリティ設定 - パスワードポリシー - 管理者、監査者パスワードポリシー**

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効/無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - 管理者、監査者パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×
有効期間設定	パスワードの有効期間設定の有無	×
有効期間	パスワードの有効期間（日）	×

セキュリティ設定 - パスワードポリシー - ファイリングボックス、テンプレートグループ、テンプレート、暗号化PDF、SNMP v3、クローニング - パスワードポリシー

リスト項目	説明	ユーザ
パスワード最小桁数	許可するパスワード最小桁数	×
文字列の制限	使用禁止の文字列の有無	×
ロックアウト設定	ロックアウト機能の有効/無効	×
リトライ回数	許可するパスワード入力リトライ回数	×
ロックアウト時間	ロックアウト時間（分）	×





# ■ PCLフォントリスト

PCLフォントリストの出力例

<b>TOSHIBA</b>	<b>e-STUDIO4540C</b>	Page:1
<b>Internal PCL Font List</b>		
0 Courier	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
1 CG-Times	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
2 CG-Times Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
3 CG-Times Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
4 CG-Times Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
5 CG Omega	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
6 CG Omega Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
7 CG Omega Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
8 CG Omega Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
9 Coronet	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
10 Clarendon Condensed	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
11 Univers Medium	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
12 Univers Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
13 Univers Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
14 Univers Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
15 Univers Medium Condensed	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
16 Univers Condensed Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
17 Univers Medium Condensed Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
18 Univers Condensed Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
19 Antique Olive	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
20 Antique Olive Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
21 Antique Olive Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
22 Garamond Antiqua	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
23 Garamond Halbfett	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
24 Garamond Kursiv	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
25 Garamond Kursiv Halbfett	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
26 Marigold	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
27 Albertus Medium	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
28 Albertus Extra Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
29 Arial	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
30 Arial Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
31 Arial Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
32 Arial Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
33 Times New Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
34 Times New Roman Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
35 Times New Roman Italic	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
36 Times New Roman Bold Italic	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
37 Helvetica	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
38 Helvetica-Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
39 Helvetica-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
40 Helvetica-BoldOblique	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
41 Helvetica-Narrow	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
42 Helvetica-Narrow-Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	
43 Helvetica-Narrow-Oblique	<i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i>	
44 Helvetica-Narrow-BoldOblique	<b><i>The quick brown fox jumps over the lazy dog</i></b>	
45 Palatino-Roman	The quick brown fox jumps over the lazy dog	
46 Palatino-Bold	<b>The quick brown fox jumps over the lazy dog</b>	

# 区点コード表

以下の表に記載されているコードが本機で使用できる区点コードです。

文字入力画面で「区点コード」を押すと「?」が入力されますので、続いて目的の文字の区点コードを入力してください。

区点コードは、以下の表の左行と横列の番号を組み合わせた桁の番号から成ります。

例) 院：[区点コード] を押し「1701」と入力して、[変換] を押す。

記号	1~3 桁目	4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
記号	010			、	。’	、	”	^	—	;	?
	011	!	”	、	。	、	”	^	—	;	?
	012	<	>	∠	∥	⊥	×	○	—	—	—
	013	-	/	\	~	∥		…	·	·	·
	014	“	”	(	)	[	]	{	}		
	015	<	>	《	》	「	」	『	』	[	]
	016	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤
	017	≥	∞	∴	♂	♀	°	’	”	℃	¥
	018	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020		◆	□	■	△	▲	▼	※	〒	
	021	→	←	↑	↓	≡					
数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036					a	b	c	d	e	
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									
ひらがな	040		あ	い	う	え	お				
	041	お	か	き	く	け	こ				
	042	こ	さ	し	す	せ	そ				
	043	そ	た	ち	つ	て	で				
	044	と	ど	な	に	の	ば				
	045	ひ	び	ふ	ぶ	へ	べ				
	046	ぼ	ま	み	む	も	や				
	047	ゆ	よ	り	る	れ	わ				
	048	み	を	ん							
カタカナ	050	ア	イ	ウ	エ	オ					
	051	オ	カ	ク	ケ	コ					
	052	ゴ	サ	シ	セ	ソ					
	053	ゾ	ダ	チ	ツ	テ					
	054	ト	ド	ニ	ネ	ノ	ハ				
	055	ヒ	ビ	フ	ブ	ヘ	ベ				
	056	ポ	ボ	マ	ム	モ	ヤ				
	057	ユ	ヨ	ラ	ル	ロ	ワ				
	058	ヰ	ヱ	ヾ	ヰ	ヱ					
ギリシャ文字	060	A	B	Γ	Δ	E	Ζ	Η	Θ	I	
	061	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	Ρ	Σ	T
	062	Υ	Φ	X	Ψ	Ω					
	063			α	β	γ	δ	ε	ζ	η	
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	070	A	Б	Г	Д	E	Ё	Ж	З		
	071	И	Й	К	Л	M	Н	О	П	Р	C
	072	T	У	Ф	X	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										a
	075	б	в	г	д	e	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
あ	160		亞	娃	阿	哀	愛	挨	始		達
	161	葵	樾	惡	握	渥	旭	葦	芦		鏝
	162	梓	庄	幹	宛	姐	虻	餿	綯		綾
	163	鮎	或	粟	裕	安	庵	按	暗		闇
	164	鞆	杏								
い	164		以	伊	位	依	偉	困	夷		委
	165	威	尉	惟	慰	易	倚	為	夷		異
	166	移	維	緯	胃	委	衣	違	遺		医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壳		逸

記号	1~3 桁目	4桁目										
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
う	168	稻	茨	芋	鰯	允	印					
	169	引	飲	淫	胤	陸						
	170		院	陰	隱	韻	吋					
	170							右	宇	烏	羽	
	171	迂	雨	卵	鶉	竊	丑	碓	白	渦	噓	
	172	頰	蔚	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	樽	
	173	云	運	雲								
え	173				荏	餌	叡	營	嬰	影	映	
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英	
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悅	調	越	
	176	閱	櫻	厭	円	園	堰	燿	燿	延	怨	
	177	掩	援	沿	演	炎	焰	燿	燿	猿	緣	
	178	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	燿				
お	178								於	汚	甥	
	179	凹	央	輿	往	応						
	180		押	旺	横	欧	段	王	翁	襖	鶯	
	181		鴨	黄	岡	萩	億	屋	屋	憶	桶	
	182		牡	乙	俺	沖	卸	温	穩	音		
か	182										下	化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茹	荷	華	菓	
	186	蝦	課	嘩	箇	迦	過	葩	蚊	俄	峨	
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	霞	雅	俄	駕	
	188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	
	189	恢	懐	戒	拐	改						
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	
	191	蟹	開	階	貝	凱	劫	外	咳	害	崖	
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	該	骸	崖	
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	
	194	拡	攪	格	核	殼	獲	確	獲	覺	角	
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	學	岳	峯	額	
	196	顎	掛	笠	椹	櫃	梶	竭	割	劇	喝	
	197	恰	括	活	濯	滑	葛	黻	轄	割	鯉	
	198	叶	花	樺	鞆	株	兜	電	蒲	釜	鎌	
	199	啖	鴨	栢	茅	萱						
	200		粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	
	201	勸	勤	卷	喚	堪	姦	完	官	寬	干	
	202	幹	慳	感	憾	憾	換	敢	柑	監	棺	
	203	款	款	汗	漢	潤	隴	環	甘	藍	看	
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	觀	
	205	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	
	206	鎔	鎔	丸	含	岸	巖	玩	瘡	岩	翫	
	207	廣	雁	頑	顏	願						
き	207						企	伎	危	喜	器	
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	
	209	旗	既	期	棋	棄						
	210		機	歸	毅	氣	汽	畿	折	季	稀	
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	
	212	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	癩	欺	
	213	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	擣	菊	鞠	
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	
	218	巨	拒	拋	學	渠	虛	許	距	鋸	漁	
	219	禦	魚	亨	亨	京						
	220		供	俠	僞	兇	競	共	凶	協	匡	
	221	卿	叫	喬	境	峽	強	彊	怯	恐	恭	
	222	挾	教	喬	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	奔	曉	
	224	業	局	曲	極	玉	桐	秆	僅	勤	均	
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	

	1～3	4桁目									
	桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
く	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	226										九
	227	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	駈
	228	駒	具	懇	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑
	231	栗	線	桑	歛	歛	君	薰	訓	群	軍
	232	郡									
	232		卦	契	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	形	徑	惠	慶	慧	啓	揭
234	携	敬	景	桂	徑	畦	稽	系	綏	纏	
235	繫	敬	莖	荆	蚩	計	詣	警	警	頸	
236	鶉	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁	
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	
238	俟	倦	健	兼	券	劍	喧		堅	嫌	
239	建	憲	懸	拳	捲						
240		檢	權	牽	獻	研	硯	絹	梟	現	
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	陰	頭	驗	
242	齷	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	
243	絃	肱	言	諺	限						
こ	243					乎	個	古	呼	固	
	244	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯	狐	
	245	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鈷	
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	
	247	御	悟	梧	櫛	瑚	暮	語	誤	護	
	248	乞	鯉	交	咬	侯	候		光	公	
	249	効		厚	向						
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿		
254	紅	絃	絞	綱	耕	考	肱	胫	膝		
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	腔		
256	砒	鋼	閭	降	項	香	高	鴻	剛		
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克		
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰		
259	忽	惚	骨	拍	込						
260		此	昆	今	困	坤	壘	婚	恨		
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	良	魂		
さ	261									些	
	262	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	
	263	詐	鎖	娑	坐	座	挫	債	催	再	
	264	哉	塞	宰	宰	彩	才	裁	裁	最	
	265	災	采	犀	碎	彩	祭	齋	細	菜	
	266	載	際	劑	在	材	罪	財	牙	坂	
	267	堺	神	肴	咲	崎	埼	碯	鷲	作	
	268	昨	榨	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	
	269	鮭	筵	匙	冊	刷					
	270		察	搵	擦	札	殺	薩	雜	阜	
271	鯖	捌	鑄	絞	擦	三	傘	參	山		
272	慘	撒	散	棧	燦	珊	產	纂	蚕		
273	讚	贊	酸	餐	斬	暫	殘				
し	273						仕	仔	伺	姿	
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姊	
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	私	
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	社	私	
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	
	278	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	
	279	字		寺	持	時					
	280		滋	慈	治	爾	璽	痔	磁	示	
	281	耳	次	蒔	薛	汐	鹿	式	識	鳴	
	282	軸	穴	雫	七	叱	執	失	嫉	室	
283	湿	漆	疾	質	実	部	篠	偲	柴		
284	屢	蕊	綺	舍	写	射	捨	赦	斜		
285	社	紗	編	謝	車	遮	蛇	邪	借		
286	尺	杓	灼	爵	酌	积	寂	寂	弱		
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	種		
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授		
289	緞	需	囚	収	周						

	1～3	4桁目									
	桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
す	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繡	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	訓	集	醜	什	住	充	十
	293	從	戎	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔
	294	夙	宿	淑	祝	縮	肅	縱	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	術
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	循
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	薯	諸	傷	償	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	嬰
300											
301	妾	娼	宵	將	小	少	尚	庄	床	廠	
302	彰	承	抄	招	小	捷	昇	昌	昭	晶	
303	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	
304	照	症	省	硝	礁	祥	裳	章	笑	粧	
305	紹	肖	苜	舊	蘄	衝	鐘	鐘	障	鞘	
306	詳	象	賞	馨	鉦	鍾	鍾	障	鞘	上	
307	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常	
308	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	
309	釀	錠	囑	壇	飾						
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	
311	蝕	辱	尻	伸	燭	侵	唇	娠	寢	審	
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	王	
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞			
そ	315									諷	
	316	須	酔	囃	厨	逗	吹	垂	帥	推	
	317	炊	睡	粹	翠	哀	遂	醉	錐	錘	
	318	瑞	髓	崇	嵩	數	樞	趨	雛	据	
	319	梶	管	願	雀	裾					
	320					寸					
	た	320					世	瀨	畝	是	凄
		321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴
		322	栖	正	清	性	生	盛	精	聖	声
		323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	靜	斉
324		脆	隻	席	惜	威	斥	昔	析	積	
325		籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	石	
326		接	撰	折	設	窃	刃	讀	雪	切	
327		蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	絶	
328		扇	撰	栓	柵	泉	浅	洗	染	潜	
329		煽	旋	穿	箭	線					
330		織	羨	菜	舛	船	薦	詮	賤		
331	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸		
332	全		禪	繕	臙						
た	332					噌	塑	岨	措	曾	
	333	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	祖	粗	
	334	組	蘇	訴	阻	遯	鼠	僧	創	双	
	335	倉	喪	壯	奏	爽	宋	偃	匠	戇	
	336	搜	掃	挿	搯	操	早	曹	巢	槍	
	337	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	
	339	霜	騷	像	增	憎					
	340		臧	臧	贈	造	促	側	則	即	
	341		束	測	足	速	俗	屬	賊	族	
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村		
た	343	他	多	太	汰	陀	唾	墮	妥	情	
	344	陀	舵	梃	汰	陀	駄	驛	体	堆	
	345	岱	帶	待	怠	怠	戴	替	泰	滯	
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	胎	
	347	台	大	第	醒	題	鷹	瀉	卓	卓	
	348	宅	托	折	拓	沢	濯	琢	託	濁	
	349	諾	苜	夙	朔	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	丹	巽	豈	
	351	棚	谷	狸	鷄	辰	誰	丹	卑	嘆	
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	壇	彈	斷		
354	暖	檀	段	男	談						

		4桁目									
1~3桁目		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	354					値	知	地	弛	恥	
	355	智	池	痴	稚	置	致	知	遲	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窳	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	耐	宙	駐	櫛	瀟		猪	芋	貯
	359	丁	兆	涸	喋	龍					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聽	脹	腸	蝶
	362	調	謀	超	跳	銚	長	頂	鳥	勳	涉
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363							津	墜	椎	
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	梶	梶	佃	
	365	漬	柘	辻	薦	綴	鍔	椿	漬	壺	
	366	嬢	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366					亭	低	停		偵	
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	庭	廷	弟	
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	締	
	369	艇	訂	諦	蹄	遁					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	
	371	的	笛	適	鎗	溺	哲	徹	撤	鞞	
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	373								兎	吐	
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土		
376	怒	倒	党	凍	刀	唐	塔	塘	套		
377	宕	島	嶋	悼	燈	搭	桃	塘	棟		
378	盜	淘	湯	投	燈	東	当	痘	禱		
379	答	筒	糖	統	到						
380		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃		
381	燈	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂		
382	懂	撞	洞	腫	童	桐	苟	道	銅		
383	鴉	雀	得	德	特	禿	篤	篤	毒		
384	独	詭	柄	椽	凸	突	椽	屈	篤		
385	寅	酉	瀨	噸	屯	惇	敦	沌	遁		
386	頓	呑	曇								
な	386				奈	那	内	乍	屈	雍	
	387	謎	灘	捺	鍋	槽	馴	繩	暇	楠	
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弍	迓	匂	肉	
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390		如	尿	菲	任	妊	忍	認		
ぬの	390								濡	襦	
	391	衵	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	燃	
	392	粘	乃	迺	之	莖	囊	悩	濃	能	
	393	脳	膿	農	覗	蚤					
は	393					巴	把	播	霸	杷	
	394	波	派	琶	破	婆	芭	馬	俳	庌	
	395	排	杯	排	杯	牌	背	肺	輩	配	
	396	倍	培	煤	煤	牌	猿	賈	壳	陪	
	397	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	拍	
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	漠	
	399	爆	縛	莫	駁	麥					
	400		函	箱	裕	箸	馨	櫛	幅	肌	
	401	畑	皇	八	鉢	滉	癸	鬚	伐	罰	
	402	抜	筏	閥	鳩	鳩	鳩	隼	伴	判	
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汎	版		
404	犯	班	畔	繁	般	潘	販	範	煩		
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磬	蕃	蚕		
ひ	405									匪	
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	披	斐	
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	
	408	誹	費	避	非	飛	樋	備	尾	微	
	409	枇	毘	毘	眉	美					
	410		鼻	埤	匹	疋	髻	彦	膝	菱	
	411	肘	弼	必	裨	畢	邳	桧	姬	紐	
	412	百	謬	悞	彪	標	水	瓢	票	表	
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	鈎	蒜	
	414	蛭	鱒	品	彬	斌	浜	貧	賈	頻	
ふ	415	敏	瓶								
	415						不	付	埠	夫	
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	婦	富	富	
	417	膚	芙	譜	賦	赴	阜	父	符	撫	
	418	武	舞	葡	負	蕪	部	附	侮	撫	
	419	伏	副	復	幅	覆	淵	弗	抃	沸	
	420		福	腹	復	覆	淵	弗	抃	沸	
	421	物	耐	分	吻	噴	填	憤	扮	焚	
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	422							丙	併	兵	
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	屮		
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏		
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉		
426	鞭								弁		
ほ	426		保	舖	鋪	圃	捕	步	甫	輔	
	427		穂	募	慕	募	暮	母	甫	輔	
	428		俸	包	呆	奉	奉	步	甫	輔	
	429		抱	捧	放	方	朋				
	430			法	泡	烹	咆	縫	胞	芳	
	431		蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	芳	
	432		亡	傍	刮	坊	妨	帽	忘	忙	
	433		望	某	棒	冒	紡	防	忘	謀	
	434		鋒	防	吠	類	紡	僕	卜	墨	
	435		牧	睦	穆	鈕	勃	沒	殆	堀	
436		本	翻	凡	盆						
ま	436						摩	磨	魔	麻	
	437		昧	枚		每	哩	候	又	沫	
	438		罇	榭	亦		俣				
	439		繭	廡	万		慢				
440											
みむ	440						味	未	魅	巳	
	441		蜜	湊		蓑	稔	霧	妙	耗	
	442		夢				牟	矛	鸚	椋	
	442										
め	442										
	443		名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	
	444		免	棉	綿	緬	緬	麵			
	444										
も	444							摸	模	茂	
	445		孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	
	446		目	歪	勿	餅	尤	戾	糶	賈	
	447		紋	門	勿						
	447										
や	447						也	冶	夜	爺	
	448		矢	厄	役	約	約	業	訖	躍	
	449										
ゆ	449			愉	愈	油	癒				
	450			諭	輸	唯	佑	優	勇	友	
	451		悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	
	452		祐	裕	誘	遊	邑	郵	融	融	
よ	452										
	453		余	与	譽	興	預	備	幼	妖	
	454		揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	
	455		窯	羊	耀	葉	蓉	要	誣	踊	
	456		養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	
	456										
ら	456						螺	裸	来	萊	
	457		乱	卵		嵐	欄	濫	藍	藍	
	458										
り	458										
	459		履	李	梨	理	璃				
	460			裏	裡	里	離	陸	律	率	
	461		律	掠	略	劉	溜	溜	留	硫	
	462		隆	龍	龍	侶	流	旅	慮	亮	
	463		両	凌	寮	料	梁	涼	獮	療	
	464		糧	良	諒	遠	量	陵	領	力	
	465		厘	林	淋	麟	琳	臨	輪	隣	
	466		瑠	壘	淚	累	類	令	伶	例	
るれ	467		嶺	嶺	玲	玲	列	隸	零	靈	
	468		齡	曆	歷	列	隸	裂	廉	戀	
	469		漣	煉	煉	練	練				
	470										
	470										

	1~3	4桁目								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ろ	470				呂	魯	櫓	炉	路	
	471	露	勞	婁	廊	弄	朗	榔	浪	漏
	472	牢	狼	簫	老	聾	巢	郎	六	麓
	473	肋	録	論						禄
わ	474				倭	和	話	歪	賄	脇
	475	粹	鷺	瓦	亘	鱈	託	藪	腕	惑
	476	碗	腕							湾
第2水準漢字	480		弋	巧	丕	个	丩	、	井	ノ
	481	乖	乘	亂	丁	豫	爭	舒	式	于
	482	亟	亼	六	京	亳	亼	仍	仄	仆
	483	伉	仗	仉	伉	伉	侏	佻	佻	佻
	484	伉	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
	485	侑	伴	來	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	486	侑	伴	來	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	487	侑	伴	來	侑	侑	侑	侑	侑	侑
	488	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
	489	傀	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
	490		僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	491	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	492	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	493	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	494	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	495	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂	僂
	496	几	處	凖	凖	凖	凖	凖	凖	凖
	497	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉
	498	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉	刉
	499	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦	劦
	500		勌	勌	勌	勌	勌	勌	勌	勌
	501	勌	勌	勌	勌	勌	勌	勌	勌	勌
	502	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂
	503	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂	匂
	504	厄	厶	却	卷	厶	厶	厶	厶	厶
	505	廠	舛	參	筭	雙	叟	叟	叟	叟
	506	叭	叭	吁	吁	吁	吁	吁	吁	吁
	507	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咎	咎	咎
	508	咒	呻	咀	呶	呶	呶	呶	呶	呶
	509	啞	咬	哄	哈	咨				
	510		咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤
	511	唔	哽	哮喘	哭	喘	喘	喘	喘	喘
	512	售	噉	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗
	513	略	喊	喘	喘	喘	喘	喘	喘	喘
	514	喻	喇	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉
	515	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔	嘔
	516	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤
	517	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤
	518	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤
	519	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧	囧
	520		圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
	521	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
	522	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀	圀
	523	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔	埔
	524	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡	堡
	525	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
	526	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
	527	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
	528	天	奢	夸	夸	夸	夸	夸	夸	夸
	529	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢	奢
530		奸	妁	妝	倭	倭	妁	媞	媞	
531	姜	姘	姘	姚	媛	嫫	嫫	嫫	媞	
532	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	
533	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	
534	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	
535	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	媞	
536	學	孛	孛	孛	孛	孛	孛	孛	孛	
537	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
538	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	
539	尹	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	屈	
540		屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	
541	岑	盆	妄	岫	岫	岫	岫	岫	岫	

	1~3	4桁目								
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
542	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇
543	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙
544	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌	嵌
545	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴
546	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖
547	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖
548	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖	巖
549	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
550	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
551	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
552	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂
553	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎
554	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
555	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
556	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠	惠
557	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕	怕
558	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
559	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘
560		惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘
561	惠	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘	惘
562	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
563	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
564	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
565	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
566	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
567	應	懷	懶	勤	懃	懃	懃	懃	懃	懃
568	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆	愆
569	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍
570		戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍	戍
571	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
572	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
573	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
574	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
575	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
576	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
577	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
578	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
579	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
580		扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
581	舉	擠	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡
582	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡	擡
583	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
584	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
585	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
586	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
587	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
588	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
589	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
590		攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷
591	曳	曷	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱
592	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶
593	枉	杰	忝	杼	杪	杪	杪	杪	杪	杪
594	枷	柯	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋	枋
595	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
596	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
597	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
598	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
599	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
600		柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂	柂
601	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
602	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
603	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
604	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
605	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
606	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
607	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
608	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
609		棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠
610		棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠







# 索引

## 数字

2IN1/4IN1 .....	18
[802.1X設定] .....	194
802.1X認証 .....	194

## A

[APPLETALK] .....	149
APPLETALK使用 .....	149

## C

CA証明書のインポート .....	174
[CHAP] .....	203

## D

DHCP使用 (IPアドレス) .....	138, 141
DHCP使用 (オプション) .....	138, 141
DHCP有効 (オプション) .....	136

## E

[EAP-MD5] .....	197, 204
[EAP-MSCHAPv2] .....	196, 199, 201
[EAP-TLS] .....	198
[EAP-TTLS] .....	201
[EAPユーザ名] .....	196, 197, 198, 200, 202, 203, 204, 205
[ETHERNET] .....	152
Eメール	
分割送信サイズ .....	166
本文送信 .....	166
メッセージのプロパティ .....	166
[Eメール確認] .....	67
[Eメール設定] .....	166

## F

FQDNアップデート方法 .....	138, 141
FQDNオプション .....	138, 141

## H

[HTTP] .....	150
HTTPサーバー使用 .....	151

## I

ID番号検索 .....	60
[IPsec] .....	155
[IPv4] .....	130
[IPv6] .....	135, 137, 140
IPv6プロトコル .....	135, 138, 141
[IPX/SPX] .....	143
IPX/SPX使用 .....	143
[IPアドレス] .....	133, 136
IPフィルタリング .....	154

## L

LDAP使用 .....	154
LLMNR .....	135, 138, 141

## M

MACアドレスフィルタリング .....	154
----------------------	-----

## N

NDS使用 .....	145
[NetBIOS名] .....	147
[NETWARE] .....	144
Netware使用 .....	145
NIC設定ページ .....	189, 245

## P

[PAP] .....	202
PCLフォントリスト .....	189, 264

[PEAP] .....	199
PS3フォントリスト .....	189, 263

## S

[SMB] .....	146
SMBプロトコル .....	147
SSL使用 .....	151

## W

[WINSセカンダリ] .....	147
[WINSプライマリ] .....	147

## あ

[明るさ調整] .....	12
圧縮率 .....	21
宛先	
検索 .....	41
削除 .....	39
登録 .....	31
編集 .....	37
アドレス設定方法 .....	131
手動 .....	135
ステートフル .....	141
ステートレス .....	138
アドレス帳 .....	60
[アドレス帳] .....	31, 37, 39, 41, 42, 46, 50, 58, 62, 65
アドレス帳登録 .....	32
[アドレス帳登録] .....	35
アドレス登録帳リスト .....	242
[アドレス帳リスト] .....	26
暗号化レベル	
128-bit AES .....	179
128-bit RC4 .....	179
40-bit RC4 .....	179

## い

[位置合わせ] .....	15, 96
異方向用紙の許可 .....	161, 190
印刷画像モード .....	24
[インストール] .....	102, 105, 110
インターネットファクス	
分割ページサイズ .....	168
本文送信 .....	168
プロパティ .....	168
[インターネットファクス設定] .....	168
[インテグリティチェック] .....	180

## う

[ウィークリータイマー] .....	86
--------------------	----

## お

オートカセットチェンジ .....	161, 190
オートカラー時の原稿モード .....	18
オートカラー時のモノクロページ画質 .....	22
オートカラー時モノクロページ濃度調整 .....	22
オートカラーの初期値 .....	161
オートカラー判定レベル .....	18, 22
[オートクリア] .....	99

## か

会社名 .....	33
解像度 .....	19, 22, 23
カウンタメニュー .....	209
[カウンタリセット] .....	232
[カセット] .....	28
カセット引き出し時紙サイズ・タイプ確認 .....	97
画像回転 .....	21

紙詰り解除後の印刷	97	[言語設定]	105
カラー原稿モード	17	<b>こ</b>	
カラーモード	16, 21	[コピー設定]	16, 160
管理者設定	71	<b>さ</b>	
[管理者パスワード]	80	[サービスコンテキスト]	145
[管理者メッセージ]	76	[サービスツリー]	145
<b>き</b>		[サービス電話番号]	76
[キーボードレイアウト]	127	[サービスパスワードリセット]	81
[機器情報]	75	最大コピー部数	160
機器設定		サブネットマスク	133
明るさ調整	12	<b>し</b>	
位置合わせ	15, 96	[システムアップデート]	109
オートクリア	99	[システム設定リスト]	27
キーボードレイアウト	126	システム設定リスト (管理者)	247
機器情報	75	システム設定リスト (ユーザ)	244
クローニング	112	システム設定リスト	189
言語切替	9	下地調整	22, 23
言語設定	104	自動印刷	185
システムアップデート	109	[自動階調補正]	14, 92
自動階調補正	13, 91	自動階調補正	
ジョブスキップ	124	1200dpi印刷	94
白黒画面反転	10	600dpi印刷	94
ステータスメッセージ	98	コピー	92
節電モード	85	プリンタ	94
日時	82	[自動節電]	88
パスワードの変更	79	自動両面	160
パネルキャリブレーション	119	縮小印刷	164
表示レベル	90	[受信]	35
ポップアップメッセージ	97	受信管理記録	185
メール通知	77	受信ログ一覧	35
ライセンス管理	100	[状況確認]	35
ログエクスポート	122	[情報]	76
強制暗号化	179	[証明書管理]	170
切り捨て印刷	164	[初期化]	207
[記録モード]	164	[初期言語設定]	108
<b>く</b>		[初期設定]	
グループ		802.1X認証	195
ID番号検索	60	IPセキュリティ	156
グループ検索	62	初期プレビュー表示設定	20, 22
削除	58	ジョブ強制続行 (排紙先設定違い)	191
宛先の追加 (ID番号検索)	54	ジョブ強制続行 (パンチ屑フル)	162, 191
宛先の追加 (宛先検索)	55	[ジョブスキップ]	124
宛先の追加 (手動)	53	[白黒画面反転]	10
検索	60	<b>す</b>	
登録	46	[スキャン]	35
編集	50	[スキャンカウンタ]	212, 217
[グループ検索]	62	[スキャン設定]	21
グループ登録	47	スキャンログ一覧	35
グループ登録リスト	243	ステイプル針無し時の印刷中断	161, 191
グループ編集	50	[ステータスメッセージ]	98
[グループリスト]	27	[スリープ/スーパースリープ]	89
[クローニング]	113	<b>せ</b>	
[クローンファイル作成]	117	姓	33
<b>け</b>		[セカンダリポート番号]	151
ゲートウェイ	133	[セキュアPDF]	178
[ゲートウェイ]	136	セキュリティ設定	
権限		インテグリティチェック	180
アクセスビリティ	179	証明書管理	170
印刷	179	セキュアPDF	178
内容の抽出	179	[セッション消去]	156
文書の変更	179	[設置場所]	76
原稿モード	19, 22, 23	[節電モード]	86
[言語切替]	9		

[全部門一括制限] .....	233	濃度調整 .....	19
[全部門削除] .....	237	カラー .....	16
[全部門のカウンタリセット] .....	236	ブラック .....	16
<b>そ</b>		<b>は</b>	
[送信] .....	35	排紙トレイ自動切替（カスケード印刷） .....	162, 191
送信管理記録 .....	185	バインダリサーバー .....	145
[送信者アドレス] .....	167, 169	白紙ページ除去判定レベル .....	18, 22
[送信者名] .....	167, 169	はじめに .....	1
送信ログ一覧 .....	35	[パスワード変更] .....	79
ソートモード .....	160	[パネルキャリブレーション] .....	119
[ゾーン名] .....	149	<b>ひ</b>	
[その他] .....	154	備考 .....	33
<b>た</b>		[日付/時刻] .....	83
ダイレクト送信 .....	186	[日付表示形式] .....	84
<b>ち</b>		[表示レベル] .....	90
中継親局結果表 .....	187	<b>ふ</b>	
中継子局 .....	187, 188	[ファイリングボックス] .....	24
中継孫局 .....	187	[ファイル設定] .....	165
<b>つ</b>		[ファクス設定] .....	19, 163
[通信受付表] .....	187	[ファクス通信] .....	218
[通信記録出力] .....	184	付加機能 .....	34
[通信結果表] .....	185	部署名 .....	33
<b>て</b>		ブック両面 .....	18
デバイス証明書のインポート .....	171	[部門管理] .....	222
デバイス証明書のエクスポート .....	176	[部門管理カウンタ] .....	214
[デバイス名] .....	149	部門管理カウンタ .....	214
電話番号 .....	33	[部門管理設定] .....	219
電話番号2 .....	33	部門管理設定	
<b>と</b>		管理者でログオン .....	219
同報送信 .....	186	コピー/プリント割当初期化 .....	235
トータルカウンタ .....	210	全部門一括制限 .....	233
[トータルカウンタ] .....	210	全部門削除 .....	237
トータルカウンタ印刷 .....	213	全部門のカウンタリセット .....	236
[トータルカウンタ印刷] .....	213	部門カウンタリセット .....	231
トナー切れ事前通知 .....	98	部門管理 .....	222
<b>な</b>		部門コード削除 .....	230
名 .....	33	部門コード登録 .....	223
<b>に</b>		部門コードの印刷 .....	221
[日時] .....	83	部門コード変更 .....	227
<b>ね</b>		ブラック無制限 .....	234
[ネットワーク状態確認] .....	157	[部門管理登録] .....	223, 227, 230, 231
ネットワーク設定		部門管理リスト .....	241
AppleTalk .....	148	[部門コードの印刷] .....	221
ETHERNET .....	152	プライベート印刷/ホールド印刷の自動リリース .....	191
HTTP .....	150	[プライマリポート番号] .....	151
IPv6手動設定 .....	134	ブラック原稿モード .....	17
IPv6ステータフル .....	140	フリガナ .....	33
IPv6ステータレス .....	137	[プリンタ/ファイリングボックス] .....	190
IPX/SPX .....	143	プリンタ/ファイル共有の制限 .....	147
IPセキュリティ .....	155	[プリントカウンタ] .....	211, 216
LDAP/フィルタリング機能 .....	153	フレームタイプ .....	143
NetWare .....	144	プレビュー設定 .....	20, 22
SMB .....	146	[プレフィックス] .....	136
TCP/IP (IPv4) .....	130	分割送信サイズ .....	167
ネットワーク状態確認 .....	157	分割ページサイズ .....	169
<b>の</b>		<b>ほ</b>	
濃度 .....	22, 23	ポーリング .....	186
		[ポップアップ] .....	97
		ポリシー名 .....	156
		[本文] .....	167, 169
		本文送信 .....	167, 169

---

<b>ま</b>	
マガジンソート .....	18
[マスタパスワード] .....	179
<b>め</b>	
[メール通知] .....	77
メモリ送信 .....	186
<b>ゆ</b>	
ユーザ証明書のCommon Nameをユーザ名に使う .....	198
ユーザ設定 .....	7
[ユーザパスワード] .....	179
ユーザパスワードに認証コードを使用 .....	179
[ユーザパスワード変更] .....	69, 193
[優先サーバ] .....	145
<b>よ</b>	
用紙切れ通知 .....	98
<b>ら</b>	
[ライセンス管理] .....	100
<b>り</b>	
[リスト印刷] .....	189
[リスト印刷/レポート設定] .....	183, 189
[リスト印刷] .....	25
リモート .....	188
両面時の画像の向き .....	16
両面モード .....	21
リンクローカルアドレス .....	135, 138, 141
<b>れ</b>	
[レポート出力設定] .....	184
<b>ろ</b>	
ローカル .....	188
[ログエクスポート] .....	122
ログオン .....	147
<b>わ</b>	
割当 .....	226



東芝デジタル複合機  
設定管理ガイド

東芝テック株式会社

